

2023(令和5年度)

松本市 教育要覧

松本市教育委員会

松本市子どもの権利に関する条例（平成25年3月制定）

前文

わたしたちは、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

- 1 どの子どもいのちと健康が守られ、本来もっている生きる力を高めながら、社会の一員として成長できるまち
- 2 どの子ども愛され、大切に育まれ、認められ、家庭や学校、地域などで安心して生きることができるまち
- 3 どの子ども松本の豊かな美しい自然と文化のなかで、のびのびと育つまち
- 4 どの子ども地域のつながりのなかで、遊び、学び、活動することができるまち
- 5 どの子ども自由に学び、そのための情報が得られ、支援が受けられ、自分の考えや意見を表現でき、尊重されるまち
- 6 どの子どもいろいろなことに挑戦し、たとえ失敗しても再挑戦できるまち

まつもと し こ けんり かん じょうれい

松本市子どもの権利に関する条例

松本市子どもの権利に関する条例を守ろう。★

松本市は、子どもの健やかな成長を支えるために、松本市子どもの権利に関する条例を定めて、子どもの権利を守っていき事を決めました。

★4つの大事な権利★

- ① 主体的に成長する権利
自分が大切だと感じながら、自分の力で成長する権利。
- ② 安心して生きる権利
いじめなども受けずに安心して生きる権利。
- ③ 自分らしく生きる権利
自分の考えが受け止められ、自分らしく生きる権利。
- ④ 社会に参加する権利
遊びや学びを通して仲間をつくり、必要な情報を得て、社会に参加する権利。

松本市が目指すすべての子どもにやさしいまち

- ① どの子どもいのちと健康が守られ、社会の一員として成長できるまち
- ② どの子ども愛され、大切に育まれ、認められ、安心して生きることができるまち
- ③ どの子ども松本の豊かな美しい自然と文化の中で、のびのびと育つまち。
- ④ どの子ども地域のつながりのなかで、遊び、学び、活動するまち
- ⑤ どの子ども自由に学び、そのための情報が得られ、支援が受けられ、自分の考えや意見を表現でき、尊重されるまち
- ⑥ どの子どもいろいろなことに挑戦し、たとえ失敗しても、再挑戦できるまち

・条例があると、子どもはどうなるの？

- ・社会に参加できる。自立しやすい
- ・安心して生きられる
- ・困ったとき相談しやすい
- ・自分らしく生きられる

このポスターは、まつもと子ども未来委員会が、条例をたくさんの人に知ってもらいたいという思いをこめてつくりました。



▲まつもと子ども未来委員会

★まつもと子ども未来委員会とは…

- ・子どもたちの意見を大切にするための委員会です。子どもたちが、まちの問題を学び、話し合いをすることで、松本のまちづくりを自分から考えています。





問い合わせ：松本市 こども育成課（Tel: 0263-34-3291）

～子どもたちに笑顔を 子どもたちから笑顔を そして子どもたちと笑顔に～



松本市市民憲章

昭和52年10月24日 議決
昭和53年やまびこ国体と市制施行
70周年を記念して制定しました

松本市は、北アルプスの山なみと城の風姿に象徴される美しいまちです。
私たちは、このふるさとに誇りをもち、幸せで豊かなまちづくりをめざして、つぎの三つの願いを貫きます。

- 1 松本市民は、おたがいの連帯感をつよめ、自由と自治を尊重しましょう。
- 1 松本市民は、人間性をつちかう教育を重んじ、文化をたいせつにしましょう。
- 1 松本市民は、自然を愛し、まちの緑とすんだ川を守りましょう。

.....

都市宣言

安全都市宣言	昭和37年3月29日宣言
公明選挙都市宣言	昭和38年3月7日宣言
心身障害者福祉都市宣言	昭和49年6月28日宣言
部落解放都市宣言	昭和51年9月28日宣言
音楽とスポーツ都市宣言	昭和60年9月26日宣言
平和都市宣言	昭和61年9月25日宣言
暴力追放都市宣言	昭和63年2月24日宣言
〈献血・献眼・献腎〉三献運動推進都市宣言	平成9年3月13日宣言
健康寿命延伸都市宣言	平成25年3月14日宣言

姉妹都市

アメリカ合衆国ユタ州ソルトレークシティ	昭和33年11月提携
神奈川県藤沢市	昭和36年7月提携
兵庫県姫路市	昭和41年11月提携
岐阜県高山市	昭和46年11月提携
ネパール連邦民主共和国カトマンズ市	平成元年11月提携
スイス連邦ベルン州グリンデルワルト村	昭和47年4月提携（旧安曇村）
	平成17年5月姉妹都市交流継続に合意

文化・観光交流都市

石川県金沢市	平成20年7月締結
北海道札幌市	平成22年9月締結
鹿児島県鹿児島市	平成24年9月締結

友好都市

中華人民共和国河北省廊坊市	平成7年3月提携
---------------	----------

姉妹館（国宝旧開智学校）

愛媛県西予市開明学校	昭和62年10月提携
静岡県松崎町旧岩科学校	平成17年11月提携

松本市の概要

1 市の沿革

松本市は、長野県のほぼ中央部西側に位置し、西は中部山岳国立公園に包含される日本アルプスの連峰を望み、東は美ヶ原高原に続く地域で、多くの河川による扇状地などから形成されています。

平安時代中期に編まれた『和名類聚抄』^{わみょうるいじょうしやう}には、信濃の国府の所在地が筑摩郡と記され、この頃にはすでに政治文化の中心地であったことが分かります。江戸時代には、松本城を中心とした6万石の城下町として発展し、産業の町としても繁栄しました。

明治4年、廃藩置県により筑摩県となり、明治9年長野県と合併するまで県庁が置かれました。明治40年には市制を施行し、その後隣村との合併等を経て、長野県の産業・文化の中心地として大きく飛躍してきました。

平成12年11月1日には特例市の指定を受け、地方分権の推進と個性豊かなまちづくりを進め、平成17年4月の四賀村、安曇村、奈川村及び梓川村との合併、また、平成22年3月の波田町との合併により、新たな松本市として歩み始めました。

令和3年4月1日には中核市に移行し、県から新たに約2,300の事務権限の移譲を受け、多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応するとともに、自立した行政運営を図りながら、20年、30年先を見据えた持続可能なまちづくりを進めています。

2 市の位置・面積（基準 松本市役所）

位置 東経 137° 58' 19" 北緯 36° 14' 17"
 面積 978.47 km²
 広さ 東西 52.2 km 南北 41.3 km
 標高 592.21 m

3 面積と人口の推移（各年5月1日現在）

年	面積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人口(人)			人口密度 (人口/km ²)	備 考
			総数	男	女		
明治40年	12.17	6,641	31,866	15,667	16,199	2,618	市制施行
大正5年	12.17	8,374	42,737	21,031	21,706	3,512	
大正9年	12.17	9,541	49,607	23,271	26,336	4,076	第1回国勢調査
昭和5年	18.80	14,648	72,165	35,797	36,368	3,839	大正14年1村合併による
昭和20年	19.87	16,753	76,532	35,080	41,452	3,852	昭和18年1部合併による
昭和30年	214.85	30,925	145,228	71,047	74,181	676	昭和29年13カ村合併による
昭和35年	226.14	34,800	148,710	71,626	77,084	658	
昭和40年	226.20	39,789	154,131	73,840	80,291	681	
昭和45年	226.20	45,421	162,931	78,733	84,198	720	
昭和50年	264.30	55,007	185,595	89,886	95,709	702	昭和49年本郷村との合併による
昭和55年	264.30	60,594	192,085	93,731	98,354	727	
昭和60年	264.60	64,192	197,340	96,803	100,537	746	
平成12年	265.87	80,367	208,056	102,430	105,626	782	特例市の指定を受ける
平成17年	919.35	90,308	228,376	112,211	116,165	248	平成17年四賀村・安曇村・奈川村・梓川村との合併による
平成21年	919.35	92,715	227,615	111,679	115,936	247	
平成22年	978.77	98,597	243,055	119,182	123,873	248	
平成23年	978.77	99,443	243,075	119,132	123,943	248	平成22年3月波田町との合併による
平成24年	978.77	100,418	243,753	119,484	124,269	249	
平成25年	978.77	101,604	243,064	119,131	123,933	248	
平成26年	978.77	102,275	242,458	118,684	123,774	247	
平成27年	978.47	102,834	241,846	118,375	123,471	247	
平成28年	978.47	103,350	241,279	118,161	123,118	247	
平成29年	978.47	104,070	240,470	117,740	122,730	246	
平成30年	978.47	104,971	239,757	117,427	122,330	245	
令和元年	978.47	105,681	238,990	116,974	122,016	244	
令和2年	978.47	106,452	238,249	116,733	121,516	243	
令和3年	978.47	107,422	237,617	116,465	121,152	243	中核市に移行する
令和4年	978.47	108,059	236,640	115,975	120,665	242	
令和5年	978.47	109,006	235,933	115,691	120,242	241	

資料：DX推進本部

目 次

松本市の概要

第1編 松本市の教育

I 教育委員会

- 1 教育長・教育委員 3
- 2 教育委員会実施状況（令和4年度） 4
- 3 総合教育会議の実施状況（令和4年度） 7
- 4 教育委員会組織図 8
- 5 教育委員会職員数 10

II 教育の基本計画

- 1 第3次松本市教育振興基本計画 11
- 2 松本市教育大綱 14
- 3 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価 14
- 4 学都松本推進事業 15
- 5 令和5年度 教育委員会各課概要及び重点目標の内容 18

III 教育財政

- 1 教育関係予算の概要 24

第2編 子どもの教育の充実（学校教育）

I 学校教育の充実

- 1 概要 29
- 2 重点施策 29
- 3 市立学校一覧 36
- 4 学校教職員数 38
- 5 学校基本調査児童・生徒数 40
- 6 特色ある学校行事と学年行事 42
- 7 各校の研究テーマ 48
- 8 中学校卒業者の進路状況 50
- 9 学校保健 50
- 10 特別支援教育 51
- 11 学校施設 52
- 12 市立外の学校等 59

II 学校給食と食育の推進（学校給食）

- 1 概要 63
- 2 重点施策 63
- 3 学校給食の実施状況 64
- 4 施設設備の概要 67
- 5 栄養摂取基準 67
- 6 学校給食センター再整備事業 68

第3編 生涯学習の推進（社会教育）

I 生涯学習の推進

- 1 概要 71
- 2 重点施策 71
- 3 事業の内容 71
- 4 社会教育施設 75

II 公民館の学びを通じた地域づくり

- 1 概要 83
- 2 重点施策 83
- 3 公民館事業の概要 83
- 4 公民館施設一覧 86
- 5 利用状況並びに活動状況 90

Ⅲ 図書館運営の充実	
1 概要	・・・ 94
2 沿革	・・・ 94
3 重点施策	・・・ 96
4 事業の内容	・・・ 96
5 施設の概要	・・・ 99
6 松本市図書館利用状況	・・・ 102
7 団体貸出等利用状況（中央図書館）	・・・ 104
第4編 歴史・文化資産の保護と活用（文化財、博物館、松本城）	
Ⅰ 歴史や文化を活かしたまちづくりの推進	
1 概要	・・・ 107
2 沿革	・・・ 107
3 重点施策	・・・ 107
4 事業の内容	・・・ 108
5 松本市内の指定・登録等文化財	・・・ 113
Ⅱ 博物館事業の推進	
1 概要	・・・ 114
2 沿革	・・・ 114
3 重点施策	・・・ 116
4 事業の内容	・・・ 116
5 活動の状況	・・・ 117
6 松本市立博物館（本館）	・・・ 117
7 松本市立博物館（分館）	・・・ 118
8 施設利用案内	・・・ 124
9 施設観覧者数等	・・・ 126
Ⅲ 松本城の保存・整備と活用	
1 概要	・・・ 127
2 沿革	・・・ 127
3 重点施策	・・・ 128
4 事業の内容	・・・ 128
5 指定	・・・ 132
6 観覧料	・・・ 132
7 観覧状況等	・・・ 133
資料編	
Ⅰ 教育委員会関係委員名簿	・・・ 137
Ⅱ 指定・登録等文化財一覧	・・・ 150
Ⅲ ホームページ・SNS	・・・ 159
Ⅳ 定期刊行物	・・・ 162

第1編



松本市の教育



サイエンス教室（協力：キッセイ薬品工業㈱）
（教育文化センター）



学都松本フォーラム 2023 映画鑑賞・意見交換会
（教育政策課）

I 教育委員会

1 教育長・教育委員

(1) 教育長



伊佐治 裕子
就任 令和3年4月1日
任期 令和6年3月31日（1期目）

(2) 教育委員



教育長職務代理者
小柳 廣幸
就任 令和3年4月1日
任期 令和7年3月31日（1期目）



委員
佐藤 佳子
就任 令和2年12月25日
任期 令和6年12月24日（1期目）



委員
春原 啓子
就任 令和3年12月26日
任期 令和7年12月25日（1期目）



委員
福澤 崇浩
就任 令和4年12月26日
任期 令和8年12月25日（1期目）

2 教育委員会実施状況（令和4年度）

(1) 教育委員会の開催

- ア 定例教育委員会 毎月1回開催
- イ 臨時教育委員会 不定期開催 6回

(2) 教育委員会の開催経過

第1回定例教育委員会

令和4年4月28日 教育委員室

〔議案〕

- 第1号 松本市社会教育委員の委嘱について
- 第2号 松本市教育文化センター運営委員会委員の委嘱について
- 第3号 教育文化センター専門委員の委嘱について
- 第4号 松本市教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する規則の制定について
- 第5号 令和4年度教育委員会各課重点目標について
- 第6号 新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応した学校運営ガイドラインの改訂について
- 第7号 松本市登録文化財の登録に関する諮問について
- 第8号 史跡小笠原城跡保存活用計画策定委員会設置要綱の廃止について
- 第9号 松本市博物館条例の一部改正について【非公開】
- 第10号 国宝（建造物）旧開智学校校舎保存活用計画の策定について【非公開】

〔報告〕 11 〔周知事項〕 1

第2回定例教育委員会

令和4年5月18日 教育委員室

- 第1号 松本市教育文化センター運営委員会規則の一部改正について
- 第2号 第3次松本市教育振興基本計画の策定について
- 第3号 松本市青少年ホーム運営委員会委員の委嘱について【非公開】

〔報告〕 7

第3回定例教育委員会

令和4年6月30日 教育委員室

〔議案〕

- 第1号 松本市教育文化センター運営委員会委員の委嘱について【非公開】
- 第2号 松本市新科学館建設検討委員会の廃止及び同設置要綱の廃止について
- 第3号 長野県教育委員会及び松本市教育委員会相互の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについて
- 第4号 松本市教育長の職務に専念する義務の免除について
- 第5号 松本市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について【非公開】
- 第6号 松本市文化財審議委員会委員の委嘱について【非公開】
- 第7号 松本市立博物館分館の臨時開館について

〔報告〕 8 〔周知事項〕 1

第4回定例教育委員会

令和4年7月28日 教育委員室

〔議案〕

- 第1号 令和3年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
- 第2号 松本市いじめ問題対策調査委員会委員の委嘱について【非公開】
- 第3号 （仮称）あるぷキッズ支援センター設立準備委員会の設置について
- 第4号 松本市図書館未来プランの策定について
- 第5号 市立博物館解体の進め方について【非公開】
- 第6号 松本市民芸間の臨時休館について

〔報告〕 2

第5回定例教育委員会

令和4年8月25日 教育委員室

[議案]

第1号 松本市教育委員会の所管に係る松本市
公共施設案内・予約システムの利用等
に関する規則の一部改正について

第2号 国宝（建造物）旧開智学校校舎保存活
用計画の策定について

[報告] 3 [周知事項] 1

第6回定例教育委員会

令和4年9月29日 教育委員室

[議案]

第1号 松本市図書館協議会委員の任命につ
いて【非公開】

第2号 史跡小笠原氏城跡整備基本計画策定委
員会の設置について

[報告] 4 [周知事項] 1

第7回定例教育委員会

令和4年10月27日 教育委員室

[議案]

第1号 松本市学校給食センター再整備基本方
針（案）について【非公開】

第2号 松本市図書館未来プランの策定につ
いて

第3号 まつもと文化遺産の認定について

第4号 松本市博物館協議会委員の委嘱につ
いて【非公開】

[報告] 3

第8回定例教育委員会

令和4年11月17日 教育委員室

[議案]

第1号 令和5年松本市ハタチの記念式典（成人
式）の開催について

[報告] 3 [周知事項] 1

第9回定例教育委員会

令和4年12月22日 教育委員室

[議案]

第1号 (仮称)あるぷキッズ支援センター設立
準備委員会設置要綱の一部改正につ
いて

第2号 令和4年度松本市公民館活動推進功
労者について

第3号 松本市学校給食センター運営委員会へ
の諮問について

[報告] 3 [周知事項] 1

第10回定例教育委員会

令和5年1月26日 教育委員室

[議案]

第1号 松本市教育文化センター条例の一部改
正について

第2号 令和5年度市立小中学校の授業日数に
ついて

第3号 松本市奈川文化センター夢の森条
例の一部改正について

第4号 松本市立博物館条例の一部改正につ
いて

第5号 松本市学校給食費の改定について

第11回定例教育委員会

令和5年2月22日 教育委員室

[議案]

第1号 松本市教職員研修計画の策定について

第2号 新たな区域外就学制度（松本デュアルス
クール）の導入について

第3号 教育文化センター再整備事業の今後の
方向性について

第4号 地区公民館長の候補者について

第5号 松本市立博物館分館の臨時開館につ
いて

[報告] 2

第12回定例教育委員会

令和5年3月23日 教育委員室

[議案]

第1号 松本市学校部活動の地域クラブ活動へ
の移行検討協議会の設置について

第2号 松本市教育委員会組織規則の一部改正

- について
- 第 3 号 松本市教育委員会事務委任、専決、代
決規則の一部改正について
- 第 4 号 教育委員会の権限に属する事務の一部
の補助執行に関する規則の一部改正に
ついて
- 第 5 号 松本市教育委員会職員の職及び職名に
関する規程の一部改正について
- 第 6 号 松本市教育委員会の所管に係る松本市
個人情報保護条例施行規則の一部改正
について
- 第 7 号 松本市教育委員会傍聴人規則の一部改
正について
- 第 8 号 松本市立小中学校等市費教員設置要綱
の一部改正について
- 第 9 号 松本市立小学校及び中学校の通学区域
外就学に関する事務取扱要綱の一部改
正について
- 第 10 号 松本市学校給食規則の一部改正につい
て
- 第 11 号 松本市公民館条例施行規則の一部改正
について
- 第 12 号 松本市奈川文化センター夢の森条例施
行規則の一部改正について
- 第 13 号 松本市青少年ホーム条例施行規則の一
部改正について
- 第 14 号 松本市生涯学習支援登録制度実施要綱
の一部改正について
- 第 15 号 教育文化センターの臨時開館について
- 第 16 号 新型コロナウイルス感染症拡大防止に
対応した学校運営ガイドラインの改訂
について
- 第 17 号 山形村在住児童の波田中間教室利用に
関する協定書の締結について
- 第 18 号 地区公民館長の任命について
- 第 19 号 松本市学校運営協議会委員の委嘱につ
いて
- 第 20 号 松本市博物館協議会への諮問について
[報告] 8

第 1 回臨時教育委員会

令和 4 年 5 月 12 日 教育委員室

[議案]

- 第 1 号 新型コロナウイルス感染症による学
級閉鎖等の特例措置及び学校給食費
の減額対応の変更について

第 2 回臨時教育委員会

令和 4 年 5 月 24 日 書面表決

[議案]

- 第 1 号 第 2 回臨時松本市教育委員会の書面表
決について
- 第 2 号 新型コロナウイルス感染症拡大防止
に対応した学校運営ガイドラインの
改訂について

第 3 回臨時教育委員会

令和 4 年 6 月 16 日 教育委員室

[議案]

- 第 1 号 松本市教育支援委員会委員の委嘱に
ついて

第 4 回臨時教育委員会

令和 4 年 8 月 9 日 書面表決

[議案]

- 第 1 号 第 4 回臨時松本市教育委員会の書面表決
について
- 第 2 号 名義後援許可の取消しについて

第 5 回臨時教育委員会

令和 4 年 12 月 1 日 オンライン

[議案]

- 第 1 号 新型コロナウイルス感染症に対応する
県の学級閉鎖等の条件緩和に伴う対応
について

第 6 回臨時教育委員会

令和 5 年 2 月 10 日 オンライン

[議案]

- 第 1 号 松本市学校運営協議会規則の制定につ
いて

(3) 関係団体との意見公開会の開催（令和4年度）

- ア スクールソーシャルワーカーとの意見交換会 9月22日、3月17日
- イ 市PTA連合会との意見交換会 1月19日

3 総合教育会議の実施状況（令和4年度）

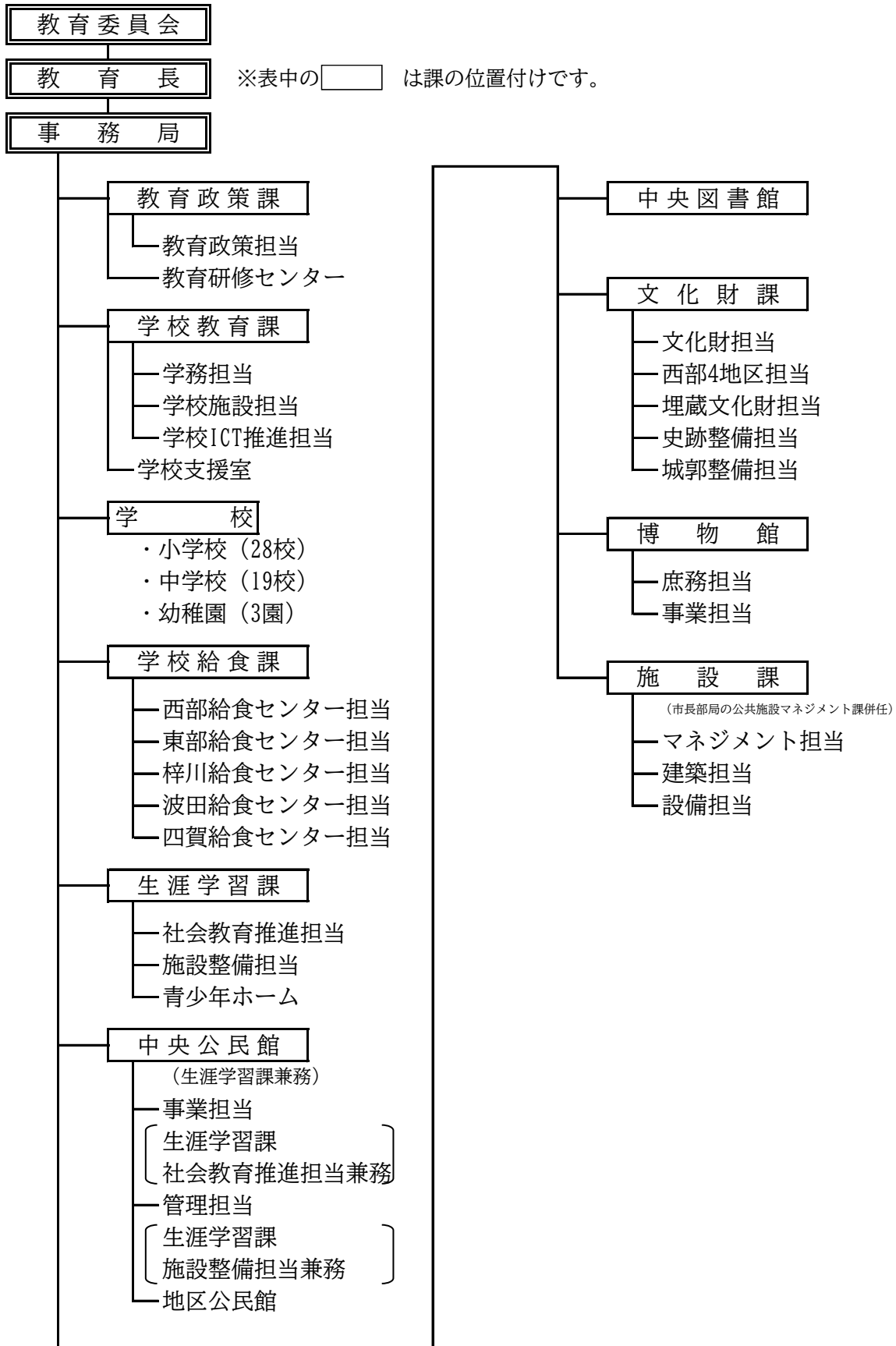
(1) 趣旨

改正地方教育行政法（「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」）の施行により、平成27年度から市長が主宰する会議を行うものです。

(2) 実施状況

日 程	懇 談 内 容
5月26日	人口定常化に向けた教育環境の充実
11月24日	地域に開かれた学校づくりについて～部活動の地域移行について～

4 教育委員会組織図 (R5年4月1日)



（附属施設等一覧）

教育政策課	
教育文化センター	視聴覚センター 科学博物館
学校教育課	
美ヶ原少年自然の家 教員住宅	
学校給食課	
西部学校給食センター 東部学校給食センター 梓川学校給食センター 波田学校給食センター 四賀学校給食センター	
生涯学習課	
あがたの森文化会館 同和教育集会所 池上百竹亭 ふれあいパーク乗鞍 奈川文化センター夢の森 青少年ホーム	
中央公民館	
地区公民館	
第一地区公民館	神林公民館
第二地区公民館	笹賀公民館
第三地区公民館	芳川公民館
東部公民館	寿公民館
城北公民館	寿台公民館
大手公民館	岡田公民館
安原地区公民館	入山辺公民館
城東公民館	里山辺公民館
白板地区公民館	今井公民館
田川公民館	内田公民館
庄内地区公民館	本郷公民館
鎌田地区公民館	松原地区公民館
松南地区公民館	四賀公民館
中山公民館	安曇公民館
島内公民館	奈川公民館
島立公民館	梓川公民館
新村公民館	波田公民館
和田公民館	
Mウイング文化センター	

中央図書館
図書館分館
南部図書館
あがたの森図書館
鎌田図書館
寿台図書館
本郷図書館
中山文庫
島内図書館
空港図書館
梓川図書館
波田図書館
博物館
博物館分館
国宝旧開智学校校舎
松本民芸館
旧山辺学校校舎
考古博物館
はかり資料館
旧司祭館
旧制高等学校記念館
窪田空穂記念館
重要文化財馬場家住宅
歴史の里
時計博物館
山と自然博物館
高橋家住宅
四賀化石館
安曇資料館

5 教育委員会職員数 (R5年5月1日) ()内は市長部局との併任

区 分	教育長 部 長	課 長	課 補 長 佐	係 長	主 査	主査補	事務系	技術系	会計年度 任用職員	合 計	備 考	
教 育 長	1									1		
教 育 次 長	1 (1)									1 (1)	()内 総務部長	
教 育 監	1									1		
事 務 局	教育政策課		2	1	2	4		2		6	17	
	学校教育課		2	3	1	1		11	2	5	25	
	学校支援室		(1)	1		5				52	58	課長補佐1名は主任指導主事、主査は指導主事 ()内は教育監事務取扱
	学校給食課		1	4	5	3	0	2	52	109	176	職名栄養士、調理員、 栄養教諭は技術系
	生涯学習課		1	4	1	2	1	6		12	27	課長は中央公民館 長兼務
	文化財課		3	2	4	3		11		17	40	会計年度任用職員 3名は研究専門員
	施設課		(1)	(3)	(1)	(2)		(6)	(8)	(2)	(23)	()内 公共施設 マネジメント課
	小 計	3 (1)	9 (2)	15 (3)	13 (1)	18 (2)	1 0	32 (6)	54 (8)	201 (2)	346 (25)	
教 育 機 関	小 学 校						1		8	64	73	職名栄養士、調理 員は技術系
	中 学 校					2			4	35	41	小中統合校は全て小 学校に含む
	幼 稚 園				2	3		5	4	10	24	幼稚園教諭は事務 系に含む
	中央公民館		(35)		1			34		38	73 (35)	会計年度任用職員35名 は地区公民館長。併任 は地域づくりセンター 長(館課長)
	中央図書館		1		3	4		8		44	60	会計年度任用職員 10名は分館長
	博 物 館		1	1	3	1		9		22	37	会計年度任用職員8 名は分館長 係長1名は生涯学習 課係長兼務
	小 計		2 (35)	1	9	10	1	56	16	213	308 (35)	
合 計	3 (1)	11 (37)	16 (3)	22 (1)	28 (2)	2 0	88 (6)	70 (8)	414 (2)	654 (60)		

派遣等職員数

派 遣 先	課 長	課 補 長 佐	係 長	主 査	主査補	事務系	技術系	合 計	備 考
松本市・山形村・朝日村中学校組合			1				1	2	
合 計			1				1	2	

Ⅱ 教育の基本計画

1 第3次松本市教育振興基本計画

(1) 「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」の実現に向けて

ア 策定の趣旨

令和4年6月、松本市の教育の目指すべき方向性及び目標を明らかにし、その目標ごとの具体的な事業などを定めた第3次松本市教育振興基本計画「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」を策定しました。

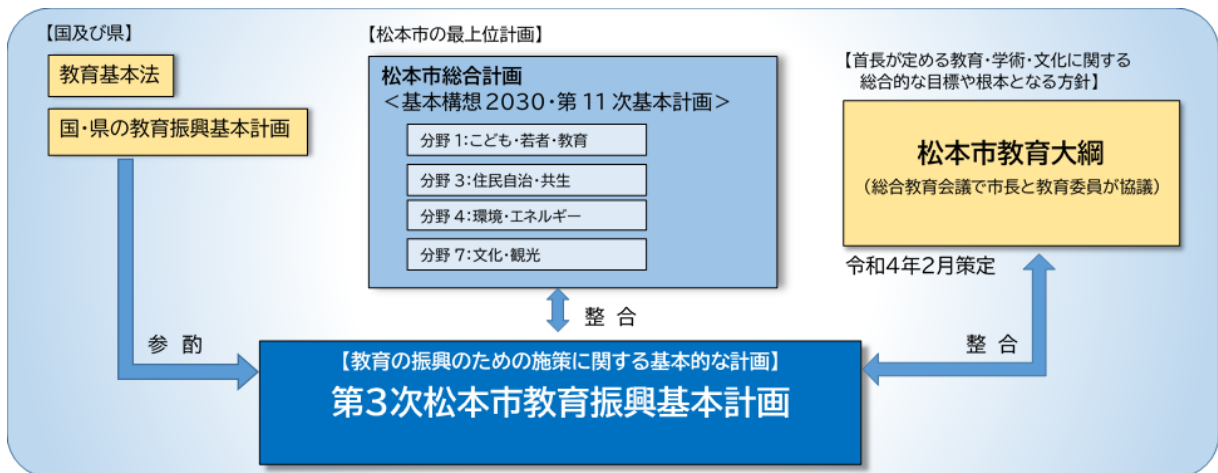
この計画は、『学びに、遊びや体験を。生涯を通じた学びを保障する松本まると学都構想』を具現化するため、各分野の方針ごとに【現状と課題】【施策の方向性】【主要事業一覧】の3つで構成されています。

急速に変化する社会情勢や、多様化する市民ニーズ（アンケート調査結果など）を踏まえて【現状と課題】を概括し、今後5年間の計画期間で特に重点的に取り組む【施策の方向性】を記載しています。また、【主要事業一覧】は、この【施策の方向性】に関連する既存（令和3年度）の事業を一覧で掲載しています。

イ 位置付け

地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の目標や根本となる方針として、令和4年2月に市長が新たに教育大綱を定めました。

第2次計画の策定から5年が経過し、教育を取り巻く環境が目まぐるしく変化する状況の中、市民アンケート等を基に教育大綱と整合を図り、これからの松本市の教育の目指す姿を見据え、新たに第3次の教育振興基本計画を策定しました。



ウ 策定経過

策定に当たっては学校教育関係者、社会教育関係者など13名で構成する松本市教育振興基本計画策定委員会を設置して協議を行いました。

日付	会議等	内容
R2.10.30 ～11.30	教育に関するアンケート実施	策定の基礎資料として、児童生徒、保護者、教職員、一般を対象に実施
12.24	第1回庁内調整会議 幹事会	第2次計画の評価・検証、第3次計画の策定方法について協議

R3. 2.22	第1回策定委員会	アンケート結果報告、第3次計画の策定方法について協議
3.18	教育委員研究会	アンケート結果報告
29	第2回策定委員会	第2次計画の振返り、第3次計画の策定に向けた課題を協議
4.28	第3回策定委員会	第2次計画の振返り、第3次計画の策定に向けた課題を協議
5.6	教育委員研究会	教育大綱及び第3次計画の策定について協議
20	第2回定例教育委員会	アンケート結果報告
6.17	教育委員研究会	アンケート結果及び課題を検証
21	第4回策定委員会	教育大綱策定に係る市長との意見交換
28	教育委員研究会	アンケート結果及び課題を検証
7.21	第5回策定委員会	大綱と計画との整合性、計画の柱について協議
9.1	第6回策定委員会	第3次計画の体系図の構成を協議
10.7	第7回策定委員会	体系図の分野、方針を協議
11.5	第8回策定委員会	体系図の分野、方針を協議
12.23	第9回定例教育委員会	計画策定の進捗状況を報告
R4. 1.17	第9回策定委員会	方針ごとの「現状と課題」「施策の方向性」「主要事業」を協議
27	第10回定例教育委員会	計画案を協議
2.1	庁議	計画案を協議
3.10	市議会経済文教委員協議会	計画案を協議
3.11 ~4.10	パブリックコメント 実施	提出意見 79件
3.23	第10回策定委員会	市議会意見・パブリックコメント意見を報告、対応案を協議
5.12	教育委員研究会	計画策定の進捗状況を報告
18	第2回定例教育委員会	計画案を協議
30	庁議	計画策定（パブリックコメント結果）を報告
6.17	市議会経済文教委員協議会	計画策定（パブリックコメント結果）を報告

(2) 基本的理念 ~子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本~

生きることは学ぶこと。学ぶことは生きること。

自分らしく生きるために欠かすことのできない学び。

そのためには、一人ひとりのいのちの尊厳が守られなければなりません。

すべての人が互いを認め合い、自分らしく生きていく、その権利を保障していく。

すべての人がさまざまな経験を積み重ね、自分らしい学びを深めていく、その機会を保障していく。

松本市は「子どもの権利に関する条例」を制定し、「すべての子どもにやさしいまち」を目指しています。

子どもにやさしいまちは、すべての市民にとっても、魅力あるまちとなります。

大人は、子どもの声に耳を傾け、その思いや気持ちを受け止め、健やかな育ちと豊かな学

びを支えていく。

子どもも大人も、生涯を通じて学び続け、ともに成長し、自分らしく生きていく。

松本市は、「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」を実現していきます。

(3) 特徴

ア 組織を横断する複合的な体系

第3次計画では、常に組織横断的な視点をもって各種事業を推進することを大切にしています。そこで、複数の担当課が一つの事業を連携・協働して推進する姿勢を複合的な体系図として示すこととしました。

イ 遊びや体験の重視

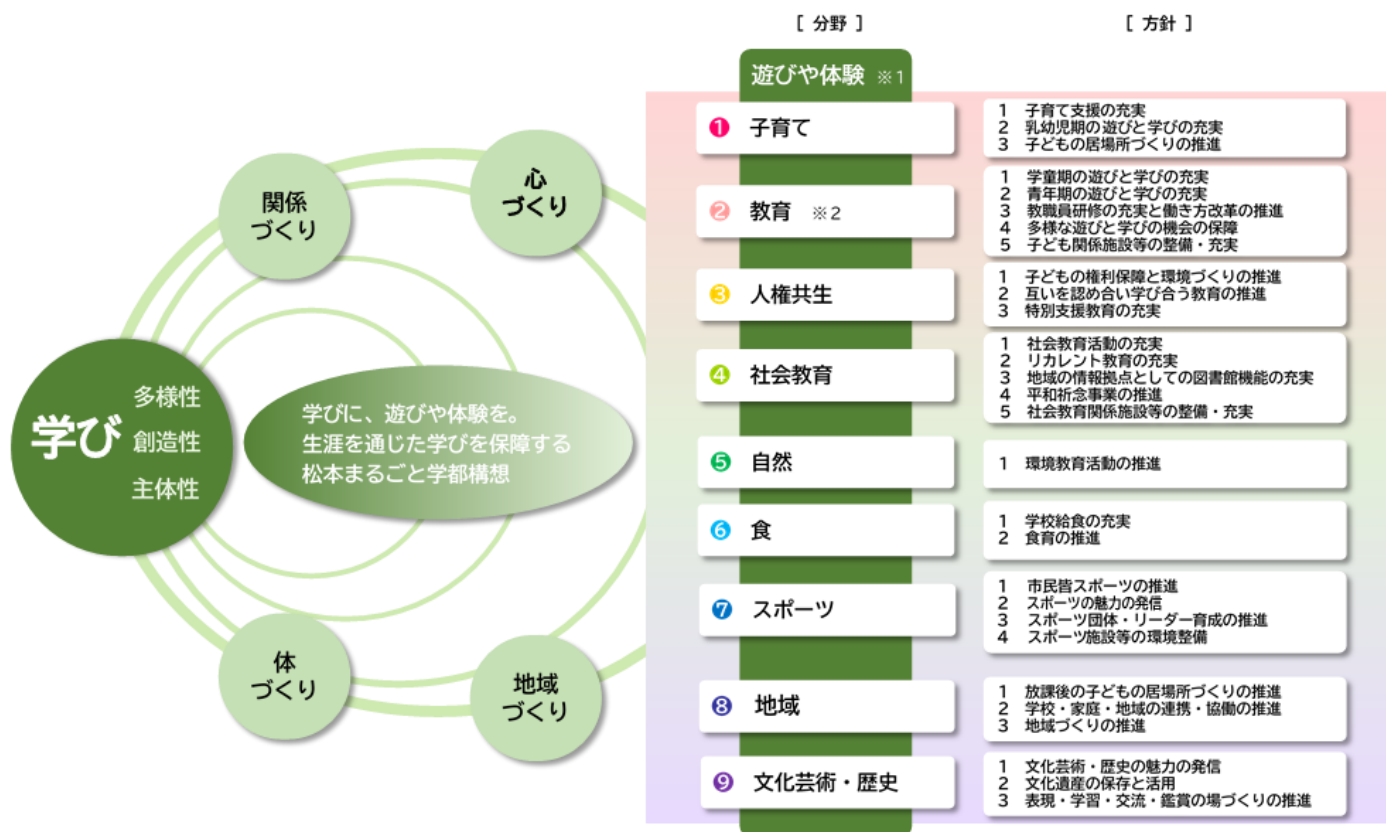
私たちは、学びを支える「楽しさ」を奪い、子どもにとっての豊かな学びの可能性を狭めてこなかったでしょうか。

学びを動かしていく原動力には、もっと知りたい、もっと深めたいという興味・関心や好奇心があります。

夢中になって遊ぶこと（遊育）。他者との関わりのなかで心を動かされること（情動）。

こうした経験の積み重ねが、学びに対する意欲を喚起し、多様性・創造性・主体性を育む資質や能力の育成につながっていくものと考えます。

そこで、第3次計画では、教育にかかわるすべての事業を、「遊び」や「体験」の要素を意識して推進していくこととしました。



2 松本市教育大綱

令和4年2月14日に総合教育会議を開催し、教育長及び教育委員との協議を経て、教育の目標や施策に関する根本的な方針として、市長が松本市教育大綱を策定しました。教育の具体的な計画は、教育大綱との整合を図り教育振興基本計画で定めています。

(1) 学都松本の主人公は子どもです

すべての子どもは、かけがえのない存在です。

すべての子どもは、自ら学び、成長していく力を持っています。

すべての子どもは、生まれ育った環境などに左右されることなく、学びの機会が保障されなければなりません。

すべての子どもが、健やかに成長していく。

すべての子どもが、自由に自分を表現していく。

すべての子どもが、身近な大人の支援を受けることができる。

そして、すべての子どもの違いが、「自分らしさ」として認められていく。

学都松本は、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

(2) 学都松本のシンカ

子どもは、さまざまな経験を通じて、日々成長していきます。

大人は、子どもの声に耳を傾け、その思いや気持ちを受け止め、健やかな育ちと豊かな学びを支えていきます。

そして、子どもも大人も、生涯を通じて学び続け、ともに成長し、自分らしく生きていくことを叶えていきます。

松本市は、「子どもを主人公とし、その学びを地域社会全体で支えること」を学都松本の根本に据え、先人たちが築き上げてきた礎のもと、「学都松本のシンカ」に挑んでいきます。

(3) 学びの3つの視点

子どもを主人公とする学都松本では、「多様性」「創造性」「主体性」を大切にしていきます。

この3つの視点には、「これからの社会を創る子どもたちに大切な価値として受け止めてほしい」という子どもへの期待と、「学びの環境を整え支えていく支援者の大人に常に心に留めてほしい」という大人への期待が込められています。

「多様性」一人ひとりの個性や能力を尊重した多様な学び

「創造性」未来を切り拓き、新しい価値を生み出す創造的な学び

「主体性」自己や他者と対話しながら、社会に参画する主体的な学び

3 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（開始年度 平成21年度）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、毎年、教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価をしています。

点検及び評価にあたっては、各課で年度末に事務事業の総括と自己評価を行い、外部意見を聴取したうえで教育委員会の改善方針をまとめ、市議会への報告と市ホームページへの公開をしています。外部点検及び評価については、松本市教育委員会事務点検評価委員会を設置し、当該委員会の委員の職務としています。

4 学都松本推進事業

(1) 趣旨

教育振興基本計画に基づく「学都松本」を実現するため、学都松本推進協議会等との協議を通じて、市民協働で学都松本推進事業に取り組んでいます。

学都松本フォーラムの開催や「学びの9月」事業の充実など、あらゆる機会を捉えての「学都松本」の市民周知を通して、生涯にわたっての市民の学びの機会を広めるとともに、学びの環境づくりを進めています。

(2) 実施経過

ア 学都松本フォーラム

学都松本推進事業のメイン事業として実施

年月日	種別	会場	内容
H24.9.2 (日)	第1回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 学都松本をめざして (2)予算 350千円 (3)内容 基調講演・パネルディスカッション、展示(13)、催事(9)など (4)参加者 1,730人
H25.9.7 (土) 9.8 (日)	第2回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 学びでつながる わたしたち ～共に学び、次代に引き継ぐために～ (2)予算 780千円 (3)内容 基調講演・パネルディスカッション、展示(12)、催事(18)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、サタデーコンサートなど) (4)参加者 1,180人
H26.9.6 (土) 9.7 (日)	第3回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 日々の学びへの気づき (2)予算 1,020千円 (3)内容 全体会(委員長講話、松商放送部発表、トークセッション)、食育講演会、スポーツシンポジウム、展示・催事(19)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、サタデーコンサート、サロンあがたの森など) (4)参加者 1,943人
H27.9.5 (土) 9.6 (日)	第4回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館、音楽文化ホール	(1)テーマ “ひとり”から“みんな”の学びへ (2)予算 1,450千円 (3)内容 基調講演会：池上彰氏「学び続ける力、伝える力」、食育講演会、語り場、催事展示(22)、食と学びのブース(7)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、サタデーコンサート、秋の気分爽快ウォーク) (4)参加者 2,703人
H28.9.3 (土) 9.4 (日)	第5回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 「学ぶ」って おもしろい！ ～ふくらむ つながる ひろがる～ (2)予算 1,320千円 (3)内容 基調講演会：高橋源一郎氏(100年後の14歳

			へ贈る「ことば」)、食育講演会、分科会(7)、催事展示、食と学び含む(37)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、サタデーコンサート、秋の気分爽快ウォーク) (4)参加者 2,577人
H29.9.2(土) 9.3(日)	第6回学 都松本フ ォーラム	あがたの 森文化会 館など	(1)テーマ 「学ぶ」って おもしろい! (2)予算 1,270千円 (3)内容 基調講演会:天達 武史氏(天気の達人が語る学び 私が気象予報士をあきらめなかった理由)、分科会(4)、催事展示(21)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、サタデーコンサート) (4)参加者 2,041人
H30.9.22(土) 9.23(日)	第7回学 都松本フ ォーラム	Mウイン グ・中央 体育館	(1)テーマ 「学ぶ」って おもしろい! (2)予算 1,320千円 (3)内容 基調講演会:柳田 理科雄氏(考えることは楽しい、だから科学はおもしろい)、催事展示(22)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、松本ノーマイカーデー) (4)参加者 1,036人
R元9.21(土) 9.22(日)	第8回学 都松本フ ォーラム	Mウイン グ・中央 体育館	(1)テーマ どこにでも学びはある。 (2)予算 1,230千円 (3)内容 基調講演会:今泉 忠明氏(愛すべき“ざんねんないきもの”と進化)、催事展示(18)、同時開催イベント(子どもプレイパーク、第1回博物館まつり、第1回具だくさんみそ汁コンテスト) (4)参加者 1,042人
R2.9.19(土) 9.20(日)	第9回学 都松本フ ォーラム	あがたの 森文化会 館	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止。「学都松本・教育100年を語る会」を3回開催(オンライン、動画配信によるもの)
R4.2.12(土) 2.13(日) 2.19(土) 2.20(日)	学都松本 フォーラ ム 2022	勤労者福 祉センタ ー・オン ライン	子どもが楽しめるオンライン型体験講座、子どもや大人誰でも参加できるミニ講演会を開催。
R5.2.19(土) 2.23(木) 2.25(土) 2.26(日) 3.4(土) 3.5(日)	学都フォ ーラム 2023	勤労者福 祉センタ ー・Mウ イングほ か	(1)予算 300千円 (2)内容 映画観賞会「夢みる小学校」、まち歩き(レトロな建物、城下町、古写真)、ワークショップ(フラワーアレンジメント、毛糸ボンボン、紙ひこうき、木の花、七夕人形) (3)参加者 268人

イ 学都松本・教育100年を語る会

年月日	種別	会場	内容
H30.5.27(日)	第1回	あがたの森 2-8 (クラフトフェア)	①100年前の子どもたちのクラフト ②100年前の先生のことば「最近の若者は元気が無い！」 話題提供：旧開智学校 遠藤学芸員
H30.7.28(土)	第2回	博物館講堂(お城太鼓まつり)	「小学校はなにを学ぶところ？」 ～旧開智学校校舎の資料から～ 話題提供：旧開智学校 遠藤学芸員
H30.9.23(日)	第3回	中央公民館(学都松本フォーラム)	「楽しい学校ってどんなところ？」 話題提供：学校指導課 下平指導主事
H30.11.24(土)	第4回	あがたの森 1-5	「ぼくらは開智国民学校一年生」～戦時下の奉安殿と教育勅語～ 講師：生涯学習実践者 手塚 英男さん
H31.1.26(土)	第5回	第三地区公民館大会議室	「教科書で語る戦後」私論 講師：元教育委員長 斉藤 金司さん
H31.3.23(土)	第6回	勤労者福祉センター 2-1	「歴史認識と外交」 講師：学都松本推進協議会長 鈴岡 潤一さん
R元.5.25(土)	第7回	中央図書館3階視聴覚室	「松本の図書館の今までと今とこれから」～図書館のあるまち。だから大好き～ 話題提供：生涯学習実践者 手塚 英男さん
R元.7.27(土)	第8回	勤労者福祉センター2-2 会議室	「弘法山古墳～前方後方墳がここにある意味～」 話題提供：文化財課 直井 雅尚さん
R元.9.22(日)	第9回	中央公民館(学都松本フォーラム)	「学都松本・すべての子どもに教育を」～不易なる旧開智学校の理念が脈々と～ 話題提供：赤羽 郁夫前教育長 対談：旧開智学校 遠藤学芸員
R元.11.23(土)	第10回	教育文化センター視聴覚ホール	映画「沖縄スパイ戦史」から学ぶ
R2.1.25(土)	第11回	第三地区公民館大会議室	「オリンピックと戦争」 話題提供：学都松本推進協議会会長 鈴岡 潤一さん
R2.3.28(土)	第12回	勤労者福祉センター	「平和を学ぶ」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
R2.9.19(土)	第13回	あがたの森文化会館講堂 ホール	「日本の教育の現状と課題」 講師：東京大学大学院教育学研究科教授 本田 由紀さん
R2.11.28(土)	第14回	あがたの森文化会館 2-8 会議室	「ドイツでドイツ人と接して考えたこと」 講師：才能教育研究会業務執行理事 黒河内 健さん
R3.1.30(土)	第15回	あがたの森文化会館講堂 第1会議室	「松本高等学校が地域にもたらしたものは？」 話題提供：松本市立博物館学芸員 本間 花梨さん

5 令和5年度 教育委員会各課概要及び重点目標の内容

(1) 教育政策課

ア 概要

教育行政の総合的な企画・調整を行い、第3次教育振興基本計画の施策の方向性に沿った事業を各課と連携を図りながら進めます。教育を取り巻く環境が目まぐるしく変化する状況の中、これからの時代を生きるために必要な力は何か、社会の変化に対応したこれからの教育のあり方を見定め、「子どもが主人公 学都松本のシンカ」の実現に繋がります。また、庁内関係課との連携や、広く市民と協働しながら事業を実施し、その成果を広く発信していきます。

イ 重点目標の内容

(ア) 人口定常化につなげる教育施策の推進

安曇小中学校に導入した小規模特認校制度について、令和6年4月からの中山小学校への導入に向けた取り組みを進めます。また、松本デュアルスクール制度を導入し、大野川小中学校への積極的な活用を行うとともに、居住地の確保や将来的な移住へ繋げる取り組みなど、関係各課と連携して進めます。

(イ) リーディングスクール Matsumoto サポート事業

「子どもが主人公」の学校づくりに向けたシステム改革や授業改革に挑戦する小中学校をリーディングスクール（LS）として、学校の主体的な取組を支援し、松本市における学校改革・授業改善への機運の拡大を図ります。

(ウ) 教職員研修の充実

令和4年度に策定した教職員研修計画に基づき、約60講座の研修を実施するとともに、令和6年度の完全実施に向けて、研修計画の一層の充実を図ることを通して、教職員の職能の向上を図り、「子どもが主人公の学び」の実現を支えます。

(エ) 学都松本寺子屋事業の推進

地域の多様な人が関わり、学校や家庭以外の居場所で子どもに豊かな学びの機会を提供することにより、子どもたちの学習習慣の定着や、基礎学力及び自己肯定感の向上を図ります。

(オ) 教育文化センター再整備事業

不思議を探り、持続可能な未来を切り拓く、子どもと、大人、教職員が共に育つ人材育成の拠点「（仮称）学都ラボ」として再整備を進めます。新たな施設は人と人、人と学びをつなぐハブとなり、また、ICTを活用した学びの発信、松本独自の教職員研修等を実施します。それらの実現のために必要となる施設機能や備品等について令和5年度に内部検討します。

(カ) 情報発信力の強化

教育委員会の透明性を高めるとともに、市民が教育行政の取組に関心を持ち、理解を深めてもらえるよう、情報をわかりやすく発信します。

(2) 学校教育課

ア 概要

「子どもが主人公・学都松本のシンカ」に向け、「絆の深化」、「学びの進化」を目指して、

学校・教職員、児童生徒への支援に取り組みます。

前年度から引続き、学びのICT活用を推進するとともに、特にいじめ防止対策、不登校・引きこもり児童生徒に係る情報化について検討を進めます。

児童生徒がより良い環境の中で学校生活を送ることができるよう、老朽化した学校施設の長寿命化事業や改築事業を計画的に進めるとともに、設備の改修、校用・教材備品の購入等、学校環境の充実を進めます。

イ 重点目標の内容

(ア) いじめ防止対策、不登校・引きこもり児童生徒への支援の促進

教職員及び児童生徒の人権感覚の醸成、いじめ（SNS、スマホトラブルを含む。）や体罰のない学校づくりを進めます。

また、令和3年度から4年度にかけて、不登校児童生徒が増加していることから不登校児童生徒に対する支援の骨太の方針を策定し、包括的な支援に取り組みます。

(イ) 特別支援教育推進事業（インクルーシブ教育推進事業）

特別支援学校から小中学校特別支援学級へ、特別支援学級から通常学級へと、適切な学びの場の見直しを進め、インクルーシブ教育を推進するとともに、特別支援教育の充実を図り、松本市インクルーシブセンターの令和6年4月開設に向けて、設立準備委員会で協議を継続します。

(ウ) 部活動の地域クラブ活動への移行

子どもたちが自分のやりたいスポーツや文化活動を楽しめる環境を構築するため、土日だけでなく平日も含めた中学校部活動の地域クラブ活動への段階的な移行に取り組みます。

(エ) 学校教育情報化推進事業

児童生徒の1人1台端末や学習用クラウドサービス等の基盤整備など、学校内外における学びのICT活用を進めるとともに、人的支援（ICT支援員の配置等）や教職員の校務の情報化など、国の掲げる「GIGAスクール構想」に基づく教育の情報化やICT活用能力の向上に取り組みます。

(オ) 小中学校施設整備事業

教育環境の改善を図る長寿命化改良事業、改築事業、学校トイレ整備事業、学校照明整備事業など計画的に進めます。

また、学校・保育園・児童センター等の施設整備について、今後はこども部との連携を図り、余裕教室等の施設や学校敷地を有効活用し、施設の複合化・併設化を進めます。

(カ) 学校における働き方改革

部活動の地域クラブ活動への移行をはじめ、ICTの活用や支援員の配置など、保護者や地域の理解と協力を得ながら教職員の働き方改革を進めます。

(3) 学校給食課

ア 概要

学校給食法に基づき、地産地消や季節を大切にされた食材の使用を進め、より安全で安心な給食の提供を目指すとともに、健康な体をつくるために大切な「食」について考える機会を設ける等、正しい食習慣が身につくように給食を通した食育に取り組みます。また、老朽化した施設・設備について早急に解消できるよう、再整備に向けた取組みを進めます。

イ 重点目標の内容

(7) 学校給食センターの再整備事業

波田（昭和46年開設）及び梓川（昭和63年同）学校給食センターは老朽化が著しく建替えの必要があり、また、西部学校給食センターは建設から20年が経過し、大規模修繕が必要となっています。そこで令和4年度に策定した学校給食センター全体の再整備基本方針に基づき、基本計画を策定します。

(イ) 食育の推進

学校給食を生きた教材として活用し、「豊かな体験でつながる松本の食 はぐくむ すこやかな体と心」の実現を図ります。献立の充実、学校、家庭、地域との連携により、楽しく食べる経験を通じて健やかな心と体を育み、松本の郷土食や地域の食材について学び伝え、食べ物を残すことをもったいないと思う気持ちを育てます。

(ウ) 地産地消の推進

地産地消に取り組み、安全安心な食材を使用するとともに、梱包資材や流通コスト、CO₂の削減、環境へ配慮したゼロカーボンシティの取組みを推進します。

(エ) 食物アレルギー対応食提供事業

「食物アレルギー対応マニュアル」及び「アレルギー対応食提供事業実施要綱」に沿ってアレルギー対応食を提供するとともに、アレルギーの理解を深める情報を発信し、対応食解除の取組みを推進します。

(オ) 学校給食費滞納整理

令和2年度から公会計化した学校給食費の収納業務について、滞納整理を強化します。具体的には、滞納繰越分を中心に、文書・電話・臨戸による催告を実施し、過年度滞納繰越の収納率25%を目標とします。また、新規滞納者を増やさないように、就学援助費や児童手当からの直接収納や、コンビニ納付・電子決済（スマホアプリ、クレジットカード、インターネットバンキング）での納付対応を進めていきます。

(4) 生涯学習課・中央公民館

ア 概要

生涯学習の施設整備や地域住民の主体的な学習活動の支援を行い、自治能力を高める学びの推進及び生涯学習による地域づくりを目指します。地区公民館を総合的な地域づくりの拠点と位置づけ、地域課題と向き合い、地域住民が主体的に解決するための学習・実践を充実させ、松本らしい公民館活動を展開します。

イ 重点目標の内容

(7) コミュニティスクール事業

国制度のコミュニティ・スクールをモデル校の大野川小中学校に導入し、効果検証を行い、他地区への展開について検討します。また、学校の負担軽減などに向けた検討を進めます。コミュニティスクール事業を通して、地域・保護者・学校などが子どもや地域に対する願いや思いを共有し、連携・協働しながら子どもを育てる「地域とともにある学校づくり」を推進します。

(イ) 子ども・若者の居場所づくりと社会参画事業

若者の居場所として中央公民館（Mウイング）2階のフリースペースを拡充し、多様

なニーズに対応できる魅力ある居場所づくりと環境づくりを進めます。また、地区公民館において、小中学校の長期休業に合わせた施設開放や、家庭で過ごしている子ども・若者の居場所づくりなど、地域づくりセンターと連携し、子ども・若者の居場所づくりを推進します。

青少年ホームでは、若者のニーズに合わせた講座やイベントを開催し、魅力のある若者の居場所づくりを進めます。また、ひきこもりの若者支援として、交流を通じて他者との関係性の構築や学び直しの事業に取り組みます。若者が成長し、社会で活躍できるきっかけづくりとして、関係機関と連携し、まちづくりに取組む場の提供など、若者の多様な社会参画を推進します。

(ウ) ICTを活用した多様な学びとコミュニティ創出事業

ICTの活用により、いつでも・だれでも・どこでも学ぶことができる学習の場をさらに充実させ、多世代かつ多様な住民が主体的に学び、つながりや住民自治を育むためのコミュニティづくりを推進します。また、デジタル社会ですべての人が活躍し続けるため、ICTの活用支援やメディアリテラシー教育の取組みの検討を進めます。

(エ) 公民館等長寿命化事業

個別施設計画に基づく中間補修及び大規模改修等により、公民館等の長寿命化を図ります。当面は、設備機器（照明・トイレ）の更新をメインとする中間補修を行うこととし、施設の機能維持・回復に努めます。

(オ) 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震事業

平成28年度に策定した保存活用計画等を基に、平成30年度から6カ年の予定で耐震補強工事を実施しています。最終年度となる今年度は、本館北棟の耐震補強工事を行います。

(5) 中央図書館

ア 概要

図書館は、市民にとって単に本を借りるという場所だけでなく、もっと知りたい、もっと深めたいという興味・関心や好奇心を支え、多種多様な情報や学習機会を提供する生涯学習の拠点施設です。社会の変化や市民ニーズを踏まえ、地域が抱える様々な課題の解決や暮らしに役立つ資料・情報の収集に努めるとともに、図書館自らが積極的に情報発信・提供を行い、新しいつながりや交流の拠点となるべく、市民の生涯を通じた学びを支える地域の情報拠点を目指します。

イ 重点目標の内容

(ア) 松本市図書館未来プランに基づく事業の推進

令和4年に策定した「松本市図書館未来プラン」に位置付けられた「施策の柱」及び「具体的な取組み」に沿って事業を推進し、基本理念「出会う つながる ガク都の広場」を具現化するために、ビジネス支援関連コーナーの設置などの取組みを推進します。

(イ) 中央図書館の大規模改修

中央図書館は平成3年の開館から31年が経過し、機械設備等の老朽化、書庫の狭隘化、開架書架の耐震強化、慢性的な駐車場の不足等のハード面での課題が生じています。また、市民からは明るく開放的で複数の機能と融合した施設を望む声が多く寄せられています。

居場所・交流・勉強・趣味など市民ニーズに対応し、利用者の視点に立ったゾーニングを行い、多様な空間の確保に努めることが必要です。安全安心で快適な環境の整備、市民の利便性の向上のための大規模改修を行う時期を迎えています。

(ウ) 電子図書館の導入とICTの利活用

コロナ禍や急速に進むICT化を受け、図書館利用者カードのオンライン申請や「電子書籍」を用いた電子図書館サービスなど、時間や空間の制約を受けず、誰でも気軽に情報にアクセスできる図書館サービスの充実を図ります。

(エ) 子どもの読書活動の推進

令和元年度から5年計画で進める第2次学都松本子ども読書活動推進計画では、サードブック事業など子どもが読書に親しめる環境づくりのほか、図書館が中心となって子ども読書活動を担う人材が情報を共有し、協働して活動を高めていくための計画を推進しています。

(6) 文化財課

ア 概要

行政と市民が連携して文化財の保存活用を図り、次世代へ引き継いでいくため、松本市文化財保存活用地域計画に位置付けた各種事業を積極的に進めるとともに、その成果を市民に分かりやすく伝える講座や学習会、SNS等による情報発信を積極的に行います。史跡松本城及び国宝松本城天守を確実に後世に守り伝えるため、歴史的遺構の復元・整備及び史跡内建造物の整備を進めます。また、今後必要となる整備事業の事業費について、庁内関係課と協力し、募金や寄付金などの新たな財源確保に取り組みます。併せて、歴史的資料の収集・保存・研究を計画的に進め、その成果を周知します。

歴史や文化を活かしたまちづくりを通じて、市民が地域に愛着や誇りを持ち、観光や産業といった経済振興にもつながるような、魅力ある地域づくりを目指します。

イ 重点目標の内容

(ア) 文化財の魅力をも市民に周知し理解を深めるための情報発信

令和3年度から本格的に運用を開始したSNSのFacebook、InstagramやYouTube等を活用した情報発信を通じ、文化財の魅力や価値を幅広い世代の市民に周知します。

(イ) まつもと文化遺産活用事業

「松本市歴史文化基本構想」及び「松本市文化財保存活用地域計画」に基づき、住民が地域の文化財を主体的に保存活用する取組みを支援し、地域の活性化につなげるとともに、博物館や公民館と連携してまつもと文化遺産の周知や活動の支援を図ります。

(ウ) 史跡整備事業の推進

国史跡の小笠原氏城跡及び弘法山古墳について、保存活用計画及び整備基本計画の策定を経て史跡整備を行い、保存活用を図るものです。また、現地保存されている殿村遺跡の整備に向け、国史跡指定を目指します。いずれも地域住民から大切にされている文化財であり、史跡の価値等の市民周知を図りながら、地域づくりにもつながる整備を目指します。

(エ) 白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存整備事業

白色の温泉水がもたらした特殊な地形（特別天然記念物）を、学びながら安全に見学

できるよう、令和6年度の公開に向けて観察路・安全柵・案内板などを整備します。

(カ) 史跡松本城整備事業

史跡松本城を後世に守り伝え、新たな魅力や価値を創出するため、「幕末期」の姿に向け計画的な整備を推進します。実施する事業は、史跡松本城整備基本計画の策定、黒門・太鼓門耐震対策事業、堀浄化対策事業（堀浚渫）、南・西外堀復元事業です。

(キ) 国宝松本城天守整備事業

国宝松本城天守を松本の象徴として後世に守り伝え、来訪者が安全・快適に見学でき、文化財に親しむことができる整備を行います。事業内容は、天守耐震診断結果に基づく国宝松本城天守耐震対策事業と、防災設備の更新・新設を行う松本城防災設備整備事業を推進します。

(7) 博物館

ア 概要

博物館は、市域の歴史・民俗・産業・自然等の資料を収集保管し、市民の学習に供することにより松本市の発展に寄与することを目的とする社会教育機関です。平成12年に策定した「松本まるごと博物館構想」の理念のもと、多くの世代が気軽に学習に利用できる環境を整えるため、展覧会や講座のほか、多様な情報発信を通して松本について学ぶ機会を提供し、市民とともに学びの成果を地域の発展に活かしていきます。博物館本館の開館を契機に、他の博物館や地域の多様な主体との連携・協力による文化観光等の活動の推進を図り、地域の活力向上に取り組めます。松本まるごと学都構想の視点から、博物館・公民館・図書館で話合いの場を設け、具体的な連携事業を検討します。

イ 重点目標の内容

(ア) 松本市立博物館本館のリニューアルオープン

「松本まるごと博物館」の拠点施設として、多様な人々が集い松本の魅力を発信するため、10月7日の開館に向けて特別展や各種事業の開催準備、指定管理者との調整などを進めます。

(イ) 松本市立博物館本館1階のにぎわい創出事業

博物館1階を「人と人、人とまち」をつなぐ松本のハブとして位置づけ、交流の中から新たな価値が生まれ、まち全体の賑わいを創出するための事業を展開します。

(ウ) 国宝旧開智学校校舎保存活用事業

校舎の耐震対策工事、防災設備整備を行います。工事休館中は、隣接する旧司祭館のほか、開智小学校等とも連携し、旧開智学校校舎の紹介展示や耐震工事に関する情報発信を行うほか、松本城三の丸エリアビジョン実現のため周辺環境の在り方を見直します。

(エ) 博物館施設の管理運営のあり方

分館を法体系に沿って整理し施設の管理運営のあり方を検討するとともに、文化財建造物系の施設に建築士を配置する仕組みづくりを検討します。

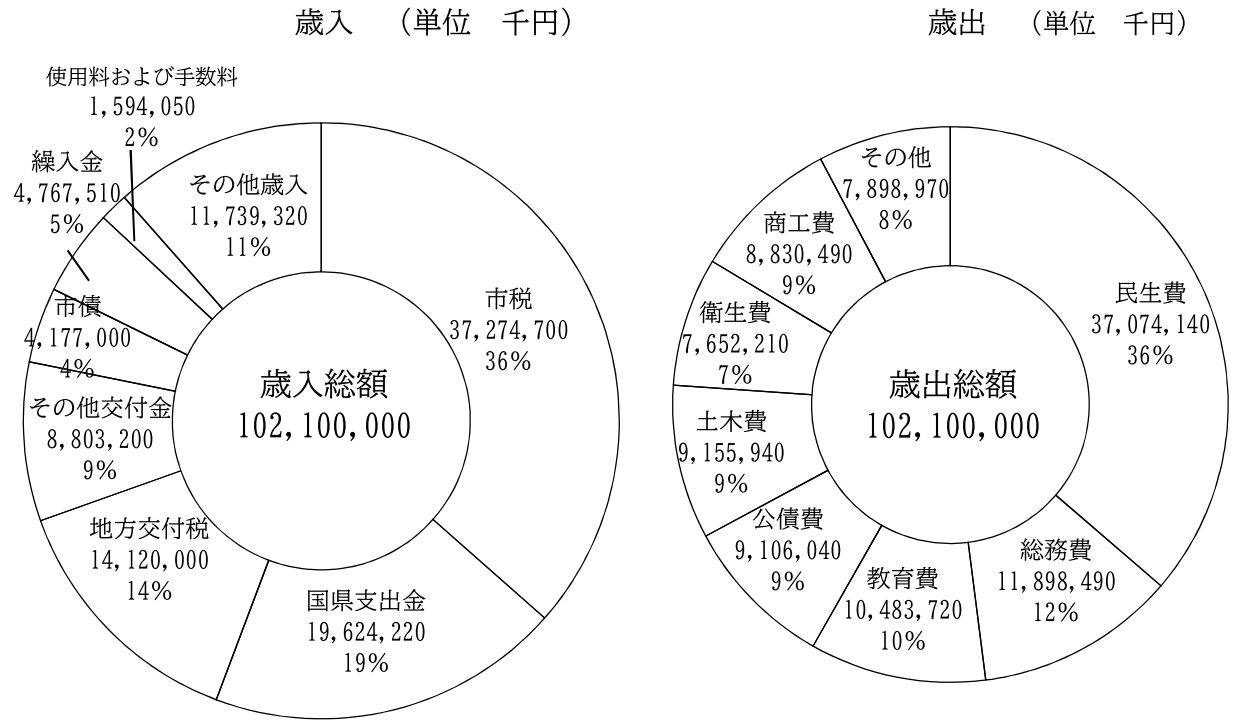
(オ) 旧博物館施設の解体準備

個別施設計画に基づき、令和6年度の着手を目指して旧博物館施設の解体準備を進めます。

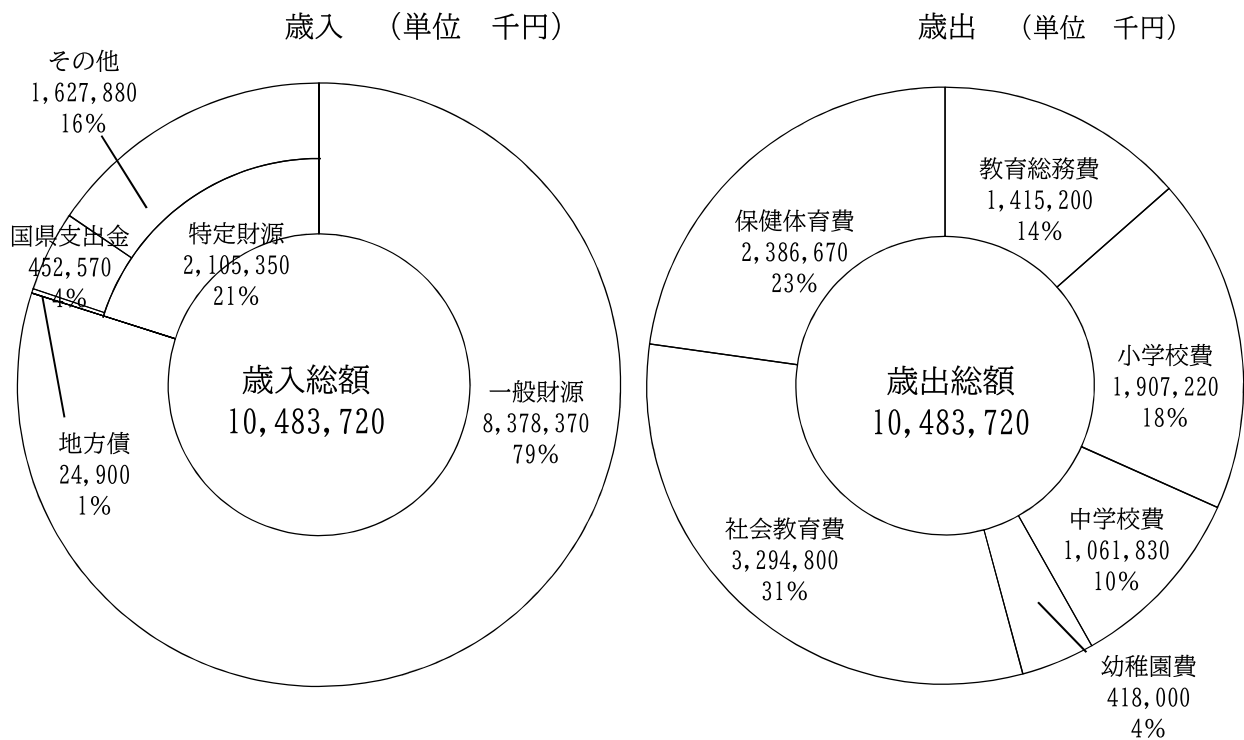
III 教育財政

1 教育関係予算の概要（令和5年度 当初予算）

(1) 一般会計予算



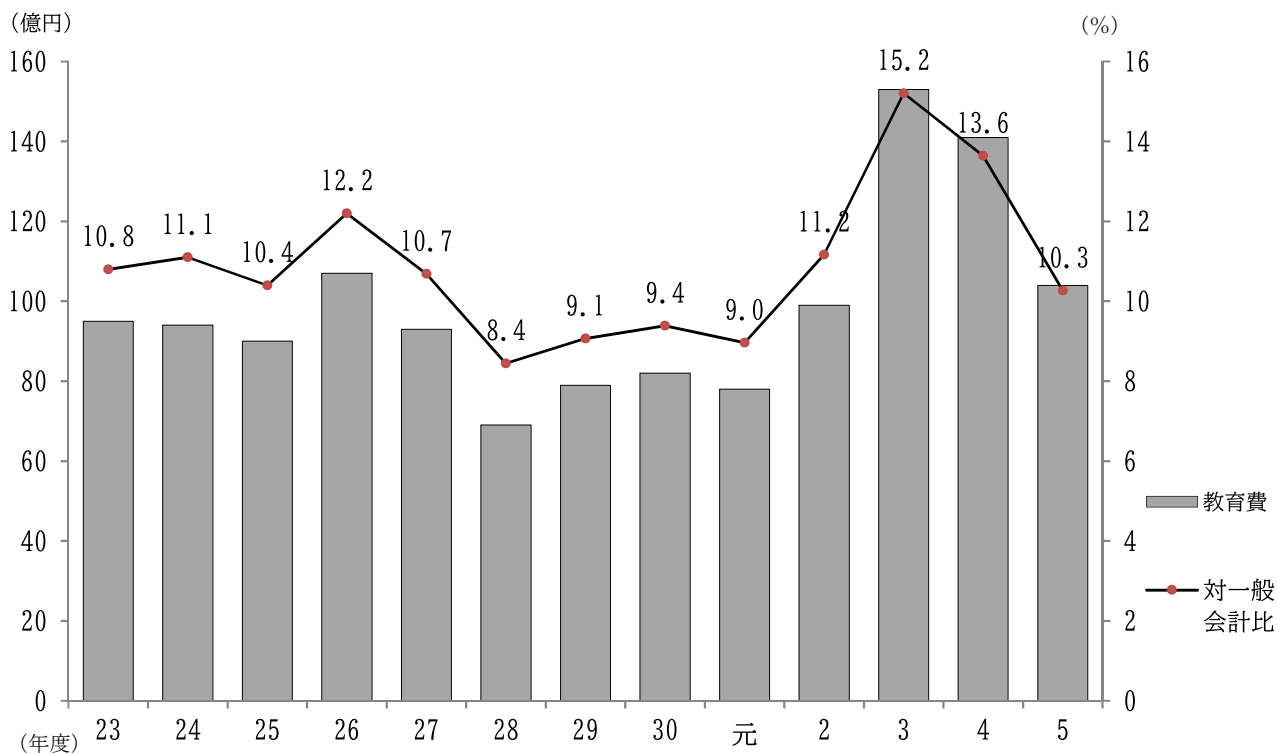
(2) 教育費関係予算



(3) 予算と決算の推移 一歳 出一

年度	当初予算額			決算額		
	一般会計	教育費	対一般会計比	一般会計	教育費	対一般会計比
	千円	千円	%	千円	千円	%
H23	88,540,000	9,562,940	10.8	94,004,163	11,085,885	11.8
H24	84,930,000	9,468,780	11.1	89,839,673	11,783,020	13.1
H25	86,450,000	9,020,740	10.4	90,047,663	11,819,846	13.1
H26	87,780,000	10,727,910	12.2	91,524,927	12,985,022	14.2
H27	87,960,000	9,398,530	10.7	88,622,111	7,851,332	8.9
H28	82,290,000	6,947,440	8.4	90,490,021	9,858,114	10.9
H29	87,270,000	7,910,390	9.1	89,611,460	9,262,262	10.3
H30	87,780,000	8,239,180	9.4	87,443,590	8,342,842	9.5
R元	88,010,000	7,884,110	9.0	92,223,509	9,623,536	10.4
R2	89,510,000	9,993,670	11.2	127,472,420	13,815,801	10.8
R3	101,160,000	15,382,840	15.2	110,611,019	16,254,810	14.7
R4	103,389,240	14,102,840	13.6	111,903,295	14,957,000	13.4
R5	102,100,000	10,483,720	10.3			

教育費及び対一般会計比の推移（当初予算）



(4) 令和4年度教育費項目別の予算額（令和5年5月1日）

区分	予算額	構成比	児童生徒 一人当り	備考
総 額	千円 10,483,720	% 100	円	市民一人当り44,435円
教育総務	1,415,200	13.5		教育委員会費、事務局費、私立学校振興費 (報酬、事務局職員給与を含む)
小 学 校	1,907,220	18.2	164,899	学校管理費、教育振興費、学校施設費関係(市費学校 職員給与を含む)
中 学 校	1,061,830	10.1	186,613	学校管理費、教育振興費、学校施設費関係(市費学校 職員給与を含む)
幼 稚 園	418,000	4.0		幼稚園費(職員給与を含む)
社会教育	3,294,800	31.4		社会教育総務費、公民館費、図書館費、博物館費、文 化費、美術館費、教育文化センター費(教育機関職員 給与を含む)
保健体育	2,386,670	22.8		保健体育総務費、学校給食センター費(給食センター 職員給与を含む)

(注) 1 市人口は令和5年5月1日現在の数による。(235,933人)

2 児童生徒数は令和5年5月1日現在の数による。

小学生	11,566人
中学生	5,690人
計	17,256人

第2編



子どもの教育の充実

(学校教育)



松本市小中学校教諭 初任者研修会
(教育研修センター)

I 学校教育の充実

1 概要

本市の学校教育は、明治6年の開智学校の開校に端を発し、以来150余年の歴史を刻んでいます。現在幼稚園10（うち国立1、私立6）、認定こども園15（私立）、小学校31（うち国立1、私立2）、中学校23（うち国立1、組合立1、私立2）、中等教育学校1（私立）、高等学校12（県立7、私立5）、大学5（国立1、私立2、私立短大2）、盲学校1（県立）、ろう学校1（県立）、養護学校2（県立）、その他多くの各種学校があり、学校施設及び設備の充実、教職員の資質向上等に積極的に取り組むことで、伝統ある教育尊重の気風の上に立って、個性を尊重し、人間性豊かな児童・生徒の育成を図っています。

2 重点施策

本年度の重点施策は、次のとおりです。

(1) 教職員研修の実施

令和3年の中核市移行に伴い、市の教育課題に即した教職員研修計画を策定し、「子ども観」「授業観・指導観」「教師像」「学校像」の4つの観点から実践を問い直す独自の教員研修を実施しています。令和5年度は、一部の研修を長野県と連携して実施し、職務別研修、専門研修など約60講座を市単独で実施します。

ア 長野県と連携して実施する研修

研修名	内容
基本研修	初任者研修、キャリアアップ研修等の法定研修
職務別研修	事務・栄養職員研修、養護教諭研修、一部の管理職研修
希望研修	総合教育センターが開設する希望研修講座

イ 松本市が独自に実施する研修

研修名	内容
職務別研修	職務遂行上、必要な資質・能力の向上を図る研修 松本市新任転任教職員研修、研究主任研修会など
専門研修	教科等の指導力を高める研修 問いと対話による道徳の授業づくり研修、まつもと学研修など
課題別研修	多様な教育課題に対応する力を高める研修 デジタル・シティズンシップ教育研修、訪問型特別支援教育研修など
特別研修	教師としての見方・考え方を深める研修 全教職員研修まつもと学びの日、ファシリテーション力向上研修など
市費教職員研修	市費支援員等の職能向上を図る研修 自立支援教員研修、校内・校外中間教室合同研修会など

(2) リーディングスクール Matsumoto サポート事業

「子どもの多様性・創造性・主体性」を育み、子ども主体の授業づくり、学校づくりを目指して大胆かつ柔軟な取組みにチャレンジする先進的な小中学校をリーディングスクールとして、人的・財政的に支援します。また、その取組みを市内の全学校に広げることで、学びの改

革や子ども中心の授業づくり・学校づくりへの気風があふれる教育を実現し、新たな学びに向けた学校づくりを進めます。

ア リーディング校の取組み

実践校	取組みのテーマ	支援内容
中山小	【地域に根差した探究的な学びを中核とした学校づくり】 コミュニティースクールとの連携、異学年学習の推進等実現のための取組みを具体化。	外部講師謝礼 視察研修旅費 教員加配
寿小	【学校づくりのコンセプトを全職員で共有した踏み出し】 教科担任制、自由進度学習、探究的な学びづくり等への挑戦的な取組みにより、学校の前向きな気風を醸成。	
明善小	【幼児期（園児～小2）の学びへの深い理解による園小の学びの視点の全校展開】 アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの開発と学びの視点の全校展開。	
清水中	【中学校の探究的な学びを中核とした学校づくり】 高校生、大学生との交流を軸に、課題設定、資料収集、考察、表現のプロセスによる探究的な学びを全校展開	
筑摩小	【自らの学びをデザインする力の具現】 全教職員が自由進度学習の実践に挑戦するなど、狙いを絞り込んだシャープな取組みと、研修・研究体制の工夫。	外部講師謝礼 視察研修旅費
鎌田中	【教科における学習者主体の授業実践への挑戦】 全ての生徒が安心して授業に参加し、主体的に学ぶための、授業のUD化や個別最適な学びの実践。	
筑摩野中	【不登校生徒の学習保障と評価の研究】 生徒に学習の主導権を委ねる取組みを全校展開し、すべての生徒が気持ちよく学ぶ学校づくりを実践。	
開成中	【生徒が学ぶ授業づくりの全教室での実践】 目的意識を共有しつつ、教師の子ども観、指導観の改革を計画的に進めようとしている。	

イ リーディングスクール・アドバイザーの設置

学校づくりに関する豊かな知見を有し支援実績を持つ有識者4名をアドバイザーに迎え、リーディング校への直接的・継続的なアドバイスのほか、研修会等をとおした全学校への支援も実施します。

- ・ 奈須正裕氏（上智大学教授） ・ 木村泰子氏（大阪市立大空小学校初代校長）
- ・ 岩川直樹氏（埼玉大学教育学部教授） ・ 岩瀬直樹氏（軽井沢風越学園校長）

ウ 全学校への展開

(ア) リーディングスクールラボ、フェス

アドバイザー等の有識者を招いた実践発表会や情報交換会を定期的に行い、リーディング校の取組みを全学校で共有します。

(イ) リーディング通信

リーディング校の取組みやトピックのほか、授業公開や研究会の開催情報について、毎

月、市公式ホームページなどで発信しています。

(3) 学校施設及び設備の充実

ア 主な工事内容

事業名	工事内容	概算事業費等(千円)
学校施設事業	島内小、山辺中高架水槽更新工事 旭町中屋根防水・塗装改修工事 今井小地下燃料貯蔵タンク内面工事 校長室空調設備整備工事	102,210
学校トイレ整備事業	洋式化・乾式化工事：12校 共用多目的トイレ：4校	1,163,190

イ 長寿命化改良事業

令和2年度に劣化状況調査を基に事業着手の順位付けを行い、また、改築計画も考慮した「松本市学校施設長寿命化計画(個別施設計画)」を策定しました。

令和5年度は、工事(3校)、実施設計(4校)、劣化度調査(2校)を行います。

事業名	概算事業費(千円)
長寿命化改良事業	2,188,160

ウ 地震防災緊急事業

明善中学校で、教室等の非構造部材の耐震化工事の調査・診断・実施設計を行います。

エ 学校教育情報化推進事業

国や県の計画及び松本市教育大綱や松本市学校教育情報化推進計画等に基づき、学校の学習や校務のICT環境を整備し、教育の情報化の推進を図ります。

事業名	R5事業費(予算額、千円)	
学校教育情報化推進事業	小学校費	500,880
	中学校費	341,760
	合計	842,640

(4) 通学区の弾力化(開始年度 平成13年度) (各年度5月1日)

指定校変更申請者 (人)	区分	R元	R2	R3	R4	R5
	小学校	70	43	60	57	56
中学校	32	29	28	40	22	
合計	102	72	88	97	78	

(5) 小規模特認校制度(対象校：安曇小中学校) (各年度5月1日)

小規模特認校制度申請者 (人)	区分	R4	R5
	小学校	4	7
	中学校	-	-
	合計	4	7

(6) 令和4年度就学援助費支給状況

(令和5年4月30日)

区 分		小学校		中学校	
		人 数	金 額	人 数	金 額
学用品費 通学用品費 校外活動費 (宿泊無)	1年	178人	2,295,390円	265人	6,512,481円
	その他	1,115人	16,834,265円	591人	15,887,565円
新入学用品費	小学校 入学予定者	13人	663,780円	—	—
	小1	150人	7,659,000円	—	—
	小6	244人	14,640,000円	—	—
	中1	—	—	34人	2,040,000円
校外活動費(小4~5、中1~2)		405人	2,178,366円	452人	5,154,829円
修学旅行費		236人	5,993,368円	268人	11,738,806円
学校給食費		1,280人	64,720,341円	815人	47,707,611円
合 計			114,984,510円		89,041,292円

(7) トライやるエコスクール事業(開始年度 平成11年度)

特色ある学校づくりの一環として、地域の歴史・文化・自然など特色ある素材の活用を図りながら、活力ある学校の創出を目指すとともに、環境教育の充実を図るものです。

令和5年度事業費(予算額)

区 分	事業費(千円)	1校平均事業費(千円)
小 学 校	8,550	305
中 学 校	9,720	486
合 計	18,270	

(8) 学校人権教育の推進(人権教育研究)

ブロック	ブロック推進委員		
	授業公開校	ブロック推進委員長	ブロック推進副委員長
A	鎌田小	明善中	旭町小
B	梓川中	四賀小	山辺中

(9) 教育相談の充実及び不登校児童生徒支援

ア 心身障がい児の教育相談の充実

(ア) 指導体制

区分	設置年月	相談員
教育相談室	H6年11月~	教育相談員 5名

(イ) 教育相談件数

年度	R2	R3	R4
件数	365件	319件	395件

イ 教育支援センターの充実

山辺教育支援センター	教育文化センター内	TEL 33-1845	Fax 33-1845
鎌田教育支援センター	鎌田中学校南別棟	TEL 29-1275	Fax 29-1276
波田教育支援センター	波田体育館	TEL 92-4932	Fax 92-4932
寿教育支援センター	教職員寿豊丘住宅	令和5年8月開室	

(ア) 支援体制

区 分	設置年月	指 導 員
山辺教育支援センター（愛称 どんぐり）	H 4年 4月～	3名
鎌田教育支援センター（愛称 みらい）	H 10年 10月～	3名（寿と兼務1名）
波田教育支援センター（愛称 あかり）	H 7年 12月～	3名
寿教育支援センター（愛称 よつば）	R 5年 8月開室	3名（鎌田と兼務1名）

(イ) 支援の成果

区 分		R 2	R 3	R 4
在籍数	小学生	33人	39人	63人
	中学生	29人	33人	53人
学校復帰数 （部分登校・重複登校含む）	小学生	28人	17人	20人
	中学生	15人	17人	12人

(10) 児童生徒へのきめ細やかな支援の充実

平成29年度から、これまでの「小学校適応指導・学習指導改善教員」「中学校適応指導教員」に代え、「自立支援教員」を配置しています。

ア 小・中学校別「自立支援教員」の配置

令和5年度 配置体制 (小学校)	開智小	源池小	筑摩小	旭町小	田川小
	鎌田小	清水小	島内小	中山小	島立小
	芝沢小	菅野小	芳川小	寿小	岡田小
	山辺小	今井小	◇開明小	明善小	本郷小
	二子小	並柳小	四賀小	梓川小	波田小
令和5年度 配置体制 (中学校)	清水中	鎌田中	丸ノ内中	旭町中	松島中
	高綱中	菅野中	筑摩野中	山辺中	開成中
	女鳥羽中	明善中	◇信明中	会田中	梓川中
	波田中	鉢盛中	◇複数配置校		

イ 改変・配置の経過

年度	人数	改 変 内 容
H 14	11名	小学校心のケア支援指導員を適応指導・学習指導改善教員へ名称変更
H 17	14名	四賀・安曇・奈川・梓川合併により30校に14名を配置
H 18	14名	中学校にも適応指導教員を配置
H 19	13名	
H 20	15名	小学校30校に対して2校に1名の15名配置とする。
H 22～	16名	波田地区合併により、小学校(含分室)32校に対して2校に1名の16名配置

H25	16名	四賀4校閉校と四賀小開校に伴う統合ギャップ対応のための特別措置による配置（四賀小2名）
H26～	15名	小学校（含分室）30校に対して2校に1名の15名配置
H28～	13名	小学校（含分室）30校に対して2校に1名の13名配置
H29～	30名	「自立支援教員」を小学校13名、中学校17名配置（鉢盛中含む）
R元	30名	「自立支援教員」を小学校16校に13名配置（うち3名2校兼務）、中学校16校に17名配置
R2～	39名	小学校23校に22名配置（うち3名2校兼務）、中学校17校に18名配置（うち1名2校兼務）※1名は小中兼務
R4～	44名	小学校25校に26名配置、中学校17校に18名配置

ウ 学力向上推進教員の配置

学力向上 推進教員	数学	5名	丸ノ内中、菅野中、筑摩野中、梓川中、明善中
	理科	2名	女鳥羽中、信明中
	数学・理科	3名	清水中、開成中、高綱中
	社会	1名	波田中
	英語	5名	鎌田中、旭町中、松島中、鉢盛中、山辺中
	国語	1名	会田中

エ 改編の経過（鉢盛中配置分も含む）

年度	H21	H22～	H28	H29～	R元	R2	R3	R4～
適応指導 推進教員	10名	11名	24名					
自立支援 教員	—	—	—	30名	30名	39名	39名	44名
学力向上 推進教員	17名	17名	17名	17名	17名	17名	17名	17名

(ii) 小学校35人学級編制事業（各年度5月1日）

少人数授業の実施について、国の学級編制基準を弾力化し、1学級を35人とする県の施策を導入（開始年度 平成14年度）

年度	対象学年(年生)	通常学級数(学級)	影響学級数(学級)
R元	2～6	350	38
R2	2～6	346	37
R3	3～6	272	28
R4	4～6	203	21
R5	5～6	134	10

* 義務教育基準法の改正により平成24年度から小学校1年生、令和3年度からは小学校2年生から1年毎、学年進行により学級編成の標準が引き下げられ、令和5年度は小学校4年生まで35人学級編制となりました。

(12) 中学校35人学級編制事業（各年度5月1日）

少人数授業の実施について、国の学級編制基準を弾力化し、1学級を35人とする県の施策を導入（開始年度 平成23年度）

年度	対象学年(年生)	通常学級数(学級)	影響学級数(学級)
R元	1～3	194	27
R2	1～3	195	25
R3	1～3	194	25
R4	1～3	194	27
R5	1～3	186	21

(13) 特別支援教育支援員の配置

①医療的ケアが必要な児童生徒、②介護的ケア（歩行補助、トイレ介助等）が必要な児童生徒、③意思疎通が困難で安全確保が必要な児童生徒、④自閉症・情緒障害等の児童生徒への学習指導や生活指導のうち、①～③に該当する児童生徒への支援を行います。①～③の児童生徒への支援を行いながら④の児童生徒への支援も行っています。（開始年度 平成19年度）

年度		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
小学校	校数	24	20	22	23	23	22	21	26
中学校	校数	11	7	8	8	8	9	11	13

3 市立学校一覧

(1) 小学校

校名	所在地	創立年月	校長名	教頭名	電話番号
開智	開智 2-4-51	明治 6 年 5 月	玉水 智香子	谷口 竜介	32-0006
源池	県 3-5-1	明治 37 年 5 月	原 修司	宮島 千恵子	32-0207
筑摩	筑摩 1-8-1	大正 7 年 5 月	五明 佳代	野澤 重徳	25-0090
旭町	旭 2-4-4	大正 12 年 6 月	高野 毅	馬場 英晃	32-1124
田川	渚 1-5-34	大正 14 年 4 月	木村 令子	三澤 千明	26-1377
鎌田	鎌田 1-8-1	昭和 8 年 4 月	宮下 明浩	高橋 康弘	25-0835
				眞島 紀章	
清水	清水 2-8-18	昭和 3 年 4 月	山口 昇一	山本 崇	32-1210
島内	島内 5323	明治 19 年 4 月	小松 幹	小岩井 浩明	47-1150
中山	中山 3517	明治 22 年 4 月	宮田 恭子	田原 和幸	58-5823
島立	島立 3298	明治 19 年 4 月	齋藤 令子	松井 美香	47-2159
芝沢	和田 1118	昭和 46 年 4 月	赤羽 秀明	安藤 隆子	47-0154
菅野	笹賀 3460	昭和 43 年 4 月	梅田 久仁	中林 文広	58-2482
芳川	小屋北 2-5-1	明治 42 年 4 月	松田 真理	赤羽 洋一郎	58-2030
寿	寿豊丘 1004	明治 33 年 4 月	市川 元彦	滝沢 聖二	58-2106
岡田	岡田松岡 519-1	明治 22 年 4 月	野口 成彦	山本 純子	46-0589
あさひ分校	旭 2-11-30	平成 23 年 3 月	〃	中島 勇吾	38-0883
山辺	入山辺 34	昭和 46 年 4 月	青山 康郎	両角 良彦	32-2619
(美ヶ原)	入山辺 8961-1356	昭和 24 年 4 月	(休校中)		
今井	今井 1616	明治 22 年 12 月	大和 正秀	中山 由加里	59-2003
開明	宮田 11-41	昭和 45 年 4 月	百瀬 顕正	木船 暁美	25-0485
明善	寿豊丘 813	昭和 49 年 4 月	林 淳子	小谷 将紀	58-3244
本郷	浅間温泉 2-9-5	明治 45 年 4 月	高坂 秀樹	武田 敦子	46-0495
二子	笹賀 5921	昭和 54 年 4 月	伊藤 茂	下平 良洋	27-1648
並柳	並柳 4-9-1	昭和 58 年 4 月	石澤 和人	三木 雅博	29-0869
四賀	会田 1113	平成 25 年 4 月	苅部 あゆみ	山口 弘子	64-1070
安曇	安曇 964	昭和 42 年 4 月	降籬 敏昭	西村 浩	94-2234
大野川	安曇 3886-1	昭和 22 年 4 月	柳澤 充人	小松 伸行	93-2224
奈川	奈川 2281	明治 30 年 4 月	青森 隆俊	高橋 和幸	79-2002
梓川	梓川梓 755	昭和 48 年 4 月	田中 寛人	油井 幸樹	78-2035
				大王 雅喜	
波田	波田 10286-1	明治 19 年 4 月	三輪 千子	石井 信好	92-2044
				染川 あゆみ	

(2) 中学校

校名	所在地	創立年月	校長名	教頭名	電話番号
清水	清水 2-7-12	昭和 22 年 4 月	山口 真一	上條 雪絵	32-2078
鎌田	鎌田 2-3-56	昭和 22 年 4 月	小松 直彦	小野澤 健	25-1088
丸ノ内	宮渕 3-6-1	昭和 23 年 4 月	宮下 昌史	古旗 明	32-1962
旭町	旭 3-7-1	昭和 23 年 4 月	林 邦彦	関 雅夫	32-2048
桐分校	桐 3-9-4	昭和 30 年 4 月	//	//	32-3091
松島	島内 3986	昭和 33 年 4 月	阪口 和彦	近藤 達也	40-1367
高綱	島立 4416-1	昭和 28 年 4 月	濱中 浩	赤羽 康隆	47-3929
菅野	笹賀 3475	昭和 24 年 4 月	田中 耕史	重盛 究	58-2056
筑摩野	村井町北 2-11-1	昭和 25 年 4 月	興 幸雄	美齋津 昭博	58-2071
山辺	里山辺 3326	昭和 30 年 4 月	本木 善子	五味 誠	32-0267
開成	神田 2-7-1	昭和 36 年 9 月	中川 由香里	小林 博樹	26-1852
女鳥羽	原 1085-2	昭和 26 年 4 月	普明 秀幸	柳沢 修	46-0285
あさひ分校	旭 2-11-30	平成 23 年 3 月	//	中島 勇吾	38-0883
明善	寿豊丘 812-1	昭和 54 年 4 月	清水 伸行	池上 篤	86-0044
信明	石芝 3-3-20	昭和 60 年 4 月	本田 崇之	中島 紀子	25-3848
会田	会田 8923	昭和 30 年 4 月	宮澤 陽子	花岡 陽	64-2020
安曇	安曇 964	昭和 42 年 4 月	降籟 敏昭	山田 淳子	94-2234
大野川	安曇 3886-1	昭和 23 年 4 月	柳澤 充人	小松 伸行	93-2224
奈川	奈川 2281	昭和 22 年 4 月	青森 隆俊	荒井 和之	79-2002
梓川	梓川梓 800-2	昭和 28 年 4 月	河西 哲也	南山 清高	78-2024
波田	波田 10145-1	昭和 22 年 4 月	渡邊 享秀	水野 直昭	92-2034
松原分校	波田 4417-5	平成 12 年 4 月	//	近藤 勇人	91-2202

(3) 組合立

校名	所在地	創立年月	校長名	教頭名	電話番号
(組)鉢盛	東筑摩郡朝日村 3332-5	昭和 40 年 4 月	中川 満英	小岩井 高德	99-2501

(4) 幼稚園

園名	所在地	創立年月	園長名	電話番号
松本	蟻ヶ崎 2-4-50	明治 20 年 4 月	井坪 秀明	32-0904
本郷	浅間温泉 2-12-15	昭和 42 年 4 月	黒田 陽子	46-1876
本郷南	横田 4-25-2	昭和 50 年 4 月	寺島 陽子	35-5165

4 学校教職員数 (令和5年5月1日)

区分	校名	校長		教頭		教諭		養護教諭		養護助教諭		講師		(含再任用H)非常勤		事務		栄養職員		その他県費		休職教員数
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
小学校	小学校計	18	9	22	9	203	305	0	27	0	12	36	84	14	51	15	21	1	10	4	25	35
	開智	1	1	1	1	10	12		1		1	2	4	3	3	1					1	
	源池	1			1	5	10		1		1		2	2	2	1					1	
	筑摩		1	1		8	8		1		1		2	2	3		1				1	
	旭町	1		1		8	12		1		1		3	1		1					1	1
	田川		1	1		8	6		1		1		4		2	1					1	
	鎌田	1		2		11	21		1	1	1	1	5		2	1					1	1
	清水	1		1		8	14		1	1	1	1	8		4	1					1	5
	島内	1		1		12	22		1	1	1	2	5		3		2				1	2
	中山		1	1		3	6		1	1	1		1		1		2					2
	島立		1		1	5	9		1	1	1	2	3		2		2				1	2
	芝野	1		1		5	12		1	1	1		2	1	3		1				1	
	菅野	1		1		10	12		1	1	1		1	2	2		1				1	
	芳川		1	1		10	18		1	1	1	4	4	1	3	1	1		4		1	2
	寿田	1		1		11	13		1	1	1	4	6	1	3	1					1	3
	岡田	1			1	6	12		1	1	1	3	1		1		1	1	2		2	
	あさひ分校					1	1					1	1									
	山辺	1		1		7	15		1	1	1	1	3		3		1				1	2
	美ヶ原				1	4	3		1	1	1		2	1	1	1				1		
	今井	1		1		12	16		1	1	1	3	7	1	2	1	1				1	5
開明	1		1		9	9		1	1	1	1	1	1	1		1				1		
本善	1	1	1		8	9		1	1	1	1	1	1	1		1				1		
二郷	1		1		1	8		1	1	1	1	2	1	2	1					1	2	
並柳	1		1		8	9		1	1	1	3	3		1		1				2		
四賀		1		1	3	4		1	1	1		3				1				1	1	
安曇	1		1		2	2				1	1	1						1			1	
大野川			1		1	2		1	1	1					1					1		
奈川	1		1		2	2		1	1	1					1					1		
梓川	1		2		15	18		1	1	2	1	4	1	3	2			1		1	5	
波田		1	1		10	22		1	1	1	4	4	1	6	1	1		1		2	1	
中学校	中学校計	14	3	17	3	204	140	0	16	0	4	34	41	9	4	4	14	0	0	4	10	19
	清水	1			1	12	11		1		1	1	1	1		1				1		
	鎌田	1		1		17	10		1		1	2	3	1		1				1		1
	丸ノ内	1		1		10	6		1		1	1		2	1		1				1	
	旭町	1		1		12	6		1		1		3			1				1		1
	桐分校					1																
	松島	1		1		12	8		1		1	1	3			1				1		1
	高綱	1		1		9	8		1		1	1	2			1					1	
	菅野	1		1		11	10		1		1	3	4				2				1	
	筑摩	1		1		22	16		1	1	1	3	4				2				1	3
	山辺		1	1		9	9		1	1	1	4	2				1				1	4
	開成		1	1		12	10		1	1	1	4	4			1					1	2
	女鳥羽	1		1		8	7		1	1	1	3	3		1		1				1	2
	あさひ分校					3	3				1	2										
	明善	1		1		11	5		1	1	1	1	2				1					
	信明	1		1		14	5		1	1	1	3		1			1				1	
会田		1	1		3	3		1	1	1	1	2				1						
安曇				1	3	1					2	1		1							1	
大野川	1				3					1	1	1										
奈川		1	1		2	1				1	1	1	2									
梓川	1		1		13	14		1	1	1	1	5			1					1	4	
波田	1		1		16	7		1	1	1	3	1	2			1				1		
松原分校				1	4						1											
鉢盛	1		1		18	10		1	1	1	1		1			1				1		

区分	園名	園長		教諭		事務職員		給食調理員		会計年度教員		特別加配		休職職員数								
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女							
幼稚園	幼稚園計	1	2	0	8	0	3	0	6	1	3	0	16	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	松本	1			3		1		2	1			7		2							
	本郷南		1		2		1		2		2		4		0							

- (注)1 「休職教員数」は正規教員の内数です(休職教員数には育児休業者を含む)
(注)2 中学校計には鉢盛中学校は含まない
(注)3 部は市費で対応するもの

5 学校基本調査児童・生徒数（令和5年5月1日）

令和5年度学級編成

区分	学校名	4.5.1		5.5.1		増減		1年		2年		3年		4年	
		学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数
小学校	小学校計	517	11,692	516	11,566	-1	-126	64	1,761	61	1,745	64	1,764	63	1,790
	開智	22	581	24	587	2	6	3	86	3	99	3	90	3	91
	源池	13	236	13	233	0	-3	1	29	1	31	1	30	2	43
	筑摩	15	365	15	364	0	-1	2	58	2	61	2	62	2	62
	旭町	18	356	18	342	0	-14	2	46	2	48	2	52	2	48
	田川	16	271	15	268	-1	-3	2	42	2	45	1	37	2	40
	鎌田	34	905	33	870	-1	-35	4	120	5	152	4	127	5	147
	清水	24	595	24	608	0	13	3	92	3	102	3	97	3	82
	島内	30	776	32	788	2	12	4	122	4	110	4	119	4	119
	中山	8	98	8	97	0	-1	1	16	1	18	1	15	1	14
	島立	15	301	15	295	0	-6	2	52	1	32	2	46	2	43
	芝沢	19	424	17	409	-2	-15	2	67	2	71	2	59	2	58
	菅野	23	588	23	566	0	-22	3	78	3	90	3	85	3	99
	芳川	32	786	31	777	-1	-9	4	120	4	135	4	107	4	140
	寿	27	679	27	663	0	-16	4	109	3	94	4	110	3	97
	岡田	17	364	17	373	0	9	2	51	2	53	2	61	2	60
	あさひ分校	2	9	2	12	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	山辺	23	571	24	587	1	16	3	104	3	74	3	94	3	100
	美ヶ原	8	148	8	150	0	2	1	29	1	33	1	22	1	19
	今井	27	592	27	589	0	-3	3	87	3	91	3	90	3	81
	開明	18	401	18	382	0	-19	2	54	2	55	2	56	2	64
	明善	16	341	16	351	0	10	2	58	2	49	2	59	2	47
	本郷	13	226	12	215	-1	-11	1	33	1	25	1	28	1	32
二子	15	313	15	291	0	-22	2	39	2	43	2	48	2	39	
並柳	8	124	8	123	0	-1	1	17	1	12	1	25	1	20	
四賀	5	29	5	29	0	0	1	5	1	7	1	7	1	3	
安曇	4	20	3	19	-1	-1	1	2	4	1	3	1	3	5	
大野川	3	11	2	8	-1	-3	0	0	0	0	1	2	0	0	
奈川	30	761	30	723	0	-38	3	92	3	91	4	107	3	104	
梓川	32	821	34	847	2	26	5	153	4	120	4	126	4	133	
中学校	中学校計	256	5,861	249	5,690	-7	-171	58	1,695	62	1,791	66	1,849		
	清水	18	349	16	331	-2	-18	3	93	4	107	4	114		
	鎌田	19	482	19	476	0	-6	5	158	5	164	4	124		
	丸ノ内	12	251	12	238	0	-13	2	60	3	81	3	75		
	旭町	14	321	13	303	-1	-18	3	89	3	95	3	100		
	桐分校	1	4	1	3	0	-1	0	0	0	0	1	3		
	松島	16	397	15	413	-1	16	4	139	5	145	4	117		
	高綱	13	327	13	320	0	-7	3	106	3	80	4	117		
	菅野	18	445	18	444	0	-1	4	131	4	125	5	157		
	筑摩野	25	699	26	680	1	-19	7	219	6	203	7	219		
	山辺	13	334	12	300	-1	-34	3	90	3	90	3	106		
	開成	16	375	14	359	-2	-16	3	93	4	111	4	133		
	女鳥羽	14	330	13	297	-1	-33	3	72	4	112	3	92		
	あさひ分校	2	10	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0		
	明善	11	221	11	226	0	5	3	79	2	48	3	80		
	信明	14	326	15	316	1	-10	3	80	3	100	4	108		
	会田	5	55	5	52	0	-3	1	14	1	19	1	14		
安曇	3	15	3	18	0	3	1	6	1	6	1	6			
大野川	2	9	2	10	0	1	1	2	5	1	3				
奈川	2	10	2	9	0	-1	1	2	3	1	4				
梓川	19	461	18	446	-1	-15	4	125	5	152	5	146			
波田	17	432	17	435	0	3	4	137	5	144	4	128			
松原分校	2	8	2	4	0	-4	0	0	1	1	1	3			
鉢盛	18	416	18	424	0	8	4	132	4	113	5	148			
幼稚園	幼稚園計	10	152	10	136	0	-16	4	40	3	57	3	39		
	松本	4	53	4	54	0	1	2	14	1	25	1	15		
	本郷南	3	48	3	45	0	-3	1	17	1	15	1	13		
	本郷南	3	51	3	37	0	-14	1	9	1	17	1	11		

は複式学級対応

(注) 1 幼稚園については、1年を3歳児、2年を4歳児、3年を5歳児に読み替える。

(注) 2 桐分校は本科生

学 級 数	5 年		6 年		通常学級計		特別支援計		学 年 別 総 数							学校名
	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	
65	1,817	69	1,884	386	10,761	130	805	1,866	1,857	1,920	1,929	1,946	2,048	11,566	小学校計	
3	93	3	93	18	552	6	35	94	104	96	99	97	97	587	開智	
2	42	2	38	9	213	4	20	31	31	36	44	49	42	233	源池	
2	50	2	52	12	345	3	19	61	66	65	64	50	58	364	筑摩	
2	54	2	55	12	303	6	39	52	54	60	55	56	65	342	旭町	
2	41	2	42	11	247	4	21	43	48	41	43	44	49	268	田川	
4	133	5	146	27	825	6	45	127	164	133	155	139	152	870	田鎌	
3	100	3	101	18	574	6	34	96	107	106	90	103	106	608	清水	
4	127	5	148	25	745	7	43	129	114	131	127	133	154	788	島内	
1	12	1	17	6	92	2	5	17	19	16	15	12	18	97	中山	
2	53	2	50	11	276	4	19	53	34	49	47	57	55	295	中島	
2	63	2	63	12	381	5	28	68	73	67	63	69	69	409	立沢	
3	91	3	91	18	534	5	32	81	94	92	102	95	102	566	菅野	
4	108	4	122	24	732	7	45	126	144	117	149	113	128	777	芳川	
3	100	4	112	21	622	6	41	114	101	121	104	106	117	663	寿	
2	53	2	61	12	339	5	34	54	58	67	66	60	68	373	岡田	
0	0	0	0	0	0	2	12	0	0	1	1	4	6	12	あさひ分校	
3	94	3	79	18	545	6	42	109	77	99	111	101	90	587	山辺	
															美ヶ原	
1	25	1	15	6	143	2	7	31	34	23	20	26	16	150	今井	
3	77	4	109	19	535	8	54	91	101	101	95	83	118	589	開明	
2	57	2	59	12	345	6	37	58	60	61	68	65	70	382	明善	
2	61	2	54	12	328	4	23	58	53	62	54	67	57	351	本郷	
2	37	2	39	8	194	4	21	38	27	32	36	40	42	215	二子	
2	61	2	46	12	276	3	15	42	44	48	41	64	52	291	並柳	
1	18	1	24	6	116	2	7	18	14	26	20	20	25	123	四賀	
	2	1	5	5	29	0	0	5	7	7	3	2	5	29	安曇	
1	4		1	3	19	0	0	2	4	3	5	4	1	19	大野川	
1	5		1	2	8	0	0	0	0	2	0	5	1	8	奈川	
4	131	4	131	21	656	9	67	98	103	121	111	146	144	723	梓川	
4	125	5	130	26	787	8	60	170	122	137	141	136	141	847	波田	
				186	5,335	63	355	1,806	1,921	1,963				5,690	中学校計	
				11	314	5	17	98	113	120				331	清水	
				14	446	5	30	163	176	137				476	鎌田	
				8	216	4	22	67	88	83				238	丸ノ内	
				9	284	4	19	99	101	103				303	旭町	
				1	3	0	0	0	0	3				3	桐分校	
				13	401	2	12	142	152	119				413	松島	
				10	303	3	17	112	84	124				320	高綱	
				13	413	5	31	141	134	169				444	菅野	
				20	641	6	39	232	211	237				680	筑摩野	
				9	286	3	14	93	100	107				300	山辺	
				11	337	3	22	99	118	142				359	開成	
				10	276	3	21	78	123	96				297	女鳥羽	
				0	0	2	10	5	2	3				10	あさひ分校	
				8	207	3	19	84	61	81				226	明善	
				10	288	5	28	90	110	116				316	信明	
				3	47	2	5	17	19	16				52	会田	
				3	18	0	0	6	6	6				18	安曇	
				2	10	0	0	2	5	3				10	大野川	
				2	9	0	0	2	3	4				9	奈川	
				14	423	4	23	133	161	152				446	梓川	
				13	409	4	26	143	153	139				435	波田	
				2	4	0	0	0	1	3				4	松原分校	
				13	393	5	31	140	121	163				424	鉢盛	
				10	136			40	57	39				136	幼稚園計	
				4	54			14	25	15				54	松本	
				3	45			17	15	13				45	本郷	
				3	37			9	17	11				37	本郷南	

6 特色ある学校行事と学年行事

(1) 小学校

学校名	特色ある学校行事	学年行事	
		6年	5年
開智	児童会開智まつり、「礎タイム」（朝読書・ドリル・体力づくり、児童会発表、全校集会）、開智読書の日（保護者・地域ボランティアによる読み聞かせ）、学校周回マラソン大会、松本城清掃、旧開智学校校舎清掃、公民館・福祉施設等との交流（学級単位、金管バンド演奏）、創立150周年記念式典（児童による探究的な活動の発表等）	東京	美ヶ原
源池	「みどり教育」の充実、ノーチャイム、マラソンタイム、ドリルタイム、大相撲源池場所、「源池子ども大学」（職業体験、総合的な学習の時間発表等）、マラソン記録会、源池の森コンサート（子ども会）、源池祭（子ども会）、読書ボランティアによる読み聞かせ	東京	美ヶ原
筑摩	児童会を中心にしたあいさつ運動、縦割り活動（縦割りグループによるレク集会、朝や業間休み、縦割り班による清掃）、「かえで祭」（児童委員会ごとの企画 年1回）、自主活動（朝の時間を中心にして）、合唱団、金管バンド、陸上クラブ、持久走大会	東京	美ヶ原
旭町	松本盲学校・院内学級との交流、地域の方を講師にお願いする「とことん講座」（クラブ活動）、縦割り清掃（年2回、2週間ずつ実施）、全校で取り組む花壇づくり、児童会を中心にしたあいさつ運動、朝のあいさつマラソン、保護者や地域の方を講師に招いてのお仕事講座（キャリア教育）、学校と地域の方との交流拠点としての「あさひカフェ」、地域行事への参加（プラスバンド）	東京	美ヶ原
田川	8の字跳び、全校マラソン、全校読書、児童会主催行事（ドッジボール大会ほか）、縦割り清掃、「読み聞かせボランティア」「地域の方を講師に招いてのクラブ活動（1講座）」「見守り隊」「福祉ひろばとの交流」など地域の方とのつながり、田川夏まつり（PTA・地域とともに）、ニコワクデー（1年生の子どもと職員が月1回水曜日の放課後に一緒に遊ぶ）	静岡県	美ヶ原
鎌田	姉妹学級による交流活動を各学年・学級で実施、地域の縦割り班による集団登校を毎朝実施、「はげもう」（ドリル等）と「よもう」（読書）を朝実施、持久走の習慣作りのためにランラン（マラソン）や縄跳び検定等による体力向上プランの実施、毎月2のつく日は「あいさつーの日」として挨拶向上運動を実施、読書ボランティアによる読み聞かせ、金管バンド部・合唱部・陸上部の活動	東京	
清水	「せせらぎ（学校ピオトープ）」を中心とした総合的な学習の時間や観察会・栽培活動の実施、せせらぎサポートの会の活動、全校縄跳びやマラソンによる体力づくり、読書ボランティアの方による読み聞かせ、合唱部・金管バンド部・陸上部の活動	東京	美ヶ原
島内	静の時間（清掃開始前）、PTA親子作業（6年生参加）、朝の読書活動（授業カウント）「ブックタイム・読書ボランティアによる読み聞かせ」、島内っ子応援団地域ボランティア運営委員会（学習、読み聞かせ、生活、安全、環境）による学校支援の充実、地域の福祉ひろば（お年寄り）との交流体験、金管部・合唱部（通年）・陸上部（大会前）の活動	東京	美ヶ原
中山	中山っ子（生活、総合）の時間（地域を知る・地域に働きかける・地域に発信する）、アルミ缶集め、縦割り班活動（地域や文化を知る縦割り遠足、薬草採り、姉妹学級清掃、中山祭、集会等）、手づくり教室（地域の方としめ縄作りや縄ない）、地域の方を講師に招いてのクラブ活動（5講座）、地域の方々による読み聞かせ	東京	南知多

学校名	特色ある学校行事	学年行事	
		6年	5年
島立	福祉ひろばとの交流、地域の伝統行事の学習、米作り・「島立キュウリ」の体験を含めた学習、環境学習、島立っ子応援団の方によるボランティア事業（読み聞かせ、放課後学習教室、クラブ講師等）で地域の方々の応援により進める学習、児童会主催の「光子祭」	東京	美ヶ原
芝沢	児童会「ものぐさ太郎祭り」、地域の方々から学ぶ学習（米作り、茶道、書道、絵画、読み聞かせ等）、公民館見学、松本大学との交流、保育園との交流、老人施設との交流、窪田空穂記念館見学・文化財の清掃活動、PTAで維持管理する芝生の上での体力作り・運動会、重点目標に迫る各種強化週間	東京	美ヶ原
菅野	姉妹学級での読み聞かせや遊び交流、清掃交流、児童会オリエンテーリング、元気すがのっ子縄跳び（通年）、信州スカイパークでの秋探し、同好会「おはなしすがの」による読み聞かせ、家庭読書の日（毎週水曜日）、地域の田んぼや畑での農業体験、学校応援団（学校支援ボランティア）の方との活動	東京	美ヶ原
芳川	芳川の「人・こと・もの」との出あい・ふれあい・高めあいを通して心身共に健やかな子どもの育成を願っている。その願いを受けて食と農業の大切さや伝統産業を学ぶスクールファームの活動として、3年がジュース用トマト、4年がホウキキビ、5年がイネを、スクールファーム支援会の方々の指導を受けながら栽培、収穫している。4年は収穫したホウキキビで野溝地区の伝統である箒を制作している。	東京	美ヶ原
寿	学校教育目標を「明るい子ども 強い子ども 考える子ども」とし、令和4年度からは、寿小学校のあいとことばに「さあ、やってみよう」を位置付けた。地域の方々からも「子どもは寿の宝」として多くの場面で支援をいただいている。30aの菜園での栽培活動、財産区での里山体験学習、福祉施設訪問、福祉ひろばとの交流のほか、クラブ活動で伝統芸能体験をとおした活動を行うなど地域の方を講師に取り組んでいる。	東京	
岡田	縦割班単位で行うウォークラリー形式の全校縦割り遠足、「みどりの少年団」の活動を通して学ぶ環境教育、児童会がすすめる2ヶ月に1度の児童会イベント、2・3年スケート教室、4～6年スキー教室、年間通しての花の栽培活動、地域講師と学ぶ米作りや野菜作り、「お話の会」による定期的な読み聞かせ、スクールファームでの栽培活動	東京	美ヶ原
山辺	わくわくタイム（4～6年、地域の方を講師に招いて講座を開講） 山辺特産ぶどう栽培（6年、地元JAの方を講師に招いてワイン用ぶどうと食用ぶどうを栽培、姉妹学級の1年生と収穫） 米作り（5年、地域の方を講師に招いて栽培・収穫、お礼の収穫祭） やまべっ子応援団による生活科や総合的な学習の時間等の教育活動	東京	美ヶ原
今井	全学年による松本養護学校との交流活動・福祉ひろばとの交流、今井四郎兼平に因んだ遠足や「兼平太鼓」の演奏、今井小学校学習公園での自然体験学習、道の駅「今井恵みの里」体験農場での5年米づくりと3年リング栽培、中庭リンク（PTA作業で作成）での1・2・3年スケート学習	東京	美ヶ原
開明	生活科や総合的な学習の時間充実のため、栽培活動や開明自然の森に関わる活動を実施、児童会を中心にしたあいさつ運動、読書読み聞かせ（森のお話会）の実施、大縄跳びや校内のコースを活用したマラソンへの取り組みによる体力づくり	東京	美ヶ原

学校名	特色ある学校行事	学年行事	
		6年	5年
明善	牛伏寺川自然体験、米作り・野菜作りを通じた食育・体験学習、昼の一斉読書と読み聞かせ活動、松本ろう学校・寿台養護学校との交流活動、福祉ひろばとの交流活動、地域講師を招いての昔の遊び等の学習寿財産区きずなの森での里山学習	東京	美ヶ原
本郷	本郷の時間（生活科・総合的な学習の時間）、生活科遠足、福祉交流温泉体験学習、持久走大会、女鳥羽川自然観察、野菜作り（松本一本ネギ、大豆など）、大豆栽培と味噌作り、雅楽演奏会、竹ランタンづくり、10分間読書、読み聞かせボランティアによる読み聞かせ、いいあいさつの日の実施	東京	美ヶ原
二子	連学年による活動（1・2年校歌を伝える会、2・3年うさぎの飼育、3・4年太鼓の引き継ぎ会、5・6年児童会活動の引き継ぎ会）、全校による富士山マラソン児童会によるあいさつ運動、「お話あ・ん・と」の皆さんによる読み聞かせ、10分間読書、地域講師を招いてのクラブ活動	東京	美ヶ原
並柳	校内の畑での野菜作り（1～4年）、松本一本ねぎ栽培（4年）、大豆栽培と味噌作り体験（2年）、栽培活動、児童会主催「並柳祭」、スクールバンド、陸上クラブ、PTAによるボランティア読み聞かせ（おはなしなみなみ）、地域ボランティア（給食・あいさつ運動・行事引率・託児など）、地域講師を招いてのクラブ活動	東京	美ヶ原
四賀	耕地内の畑での栽培活動（1～6年）、地域の方々との米づくり体験学習（5年）、福祉ひろば交流（3年）、地域の方との大菊栽培（6年）、小菊栽培（4年）、保育園交流（1年）、連学年遠足、小中連携研究、夢おはなしの会の皆さんによる読み聞かせ、全校道徳、タイムトライアル大会、全校縦割り活動、全校そり・スキー教室	東京	南知多 日間賀島
安曇	小中合同で行う運動会・音楽会・安曇タイム・走る会・安曇駅伝、ウェストン祭碑前祭参加（献花と合唱）（4～6年）、上高地学習（1～6年）、スキー教室（全校）、稲核菜栽培、養蚕体験（3年）、3校交流学习（各学年）、保育園交流（1、2、5年）、上高地清掃遠足（全校）	東京	乗鞍ベース
大野川	自然保護活動、わらびとり遠足、地域ゴミ拾い、乗鞍大野川町会合同運動会、鷹の渡り観察会、中学校文化祭「乗峰祭」・音楽会への参加、乗鞍散策、スキー教室、乗鞍まつり、信濃学園分室との交流、東京大学学生によるサマースクール、大学生の授業研究など受け入れ、アルプホルンの演奏、和太鼓の演奏、アルペンスキー大会クロスカントリースキー大会、小中合同入学式卒業式、3校交流会	東京	乗鞍ベース
奈川	わらび採り、ふるさと学習（旧入山分校等見学）、地域清掃、150周年記念音楽会（小・中合同）、三校交流、スキー学習（3回）、150周年記念運動会（小・中・地域合同）、パラスポーツ交流会、ワシ・タカの渡り観察、とうもろこし農業体験、異年齢ホームルーム、全校カホン学習	東京 （隔年R6実施予定） 乗鞍ベース （隔年R5実施）	
梓川	りんご栽培（3年）、リバーアドベンチャー（4年）、米作り（5年）、松香寮での飯盒炊き（5年）、メディアリテラシー講話（5・6年）、非行防止教室（5年・特別支援学級）、スキー教室（3・4年）、持久走大会「梓川ラン」（全校）	東京	南知多 日間賀島
波田	さつまいも栽培（1年）、大豆栽培と豆腐づくり（2年）、水の学習と上高地源流見学（3年）、信濃の国探訪（4年）、米作り（5年）、栽培活動と郷土料理づくり（6年）、スキー教室（4・6年）、姉妹学級交流活動、信濃学園分室との交流、ボランティアの「読み聞かせ」、学びのパイオニア、なわとび検定、梓川のごみ拾い、松を守る活動（松のこも巻き、松葉掃き）	東京	名古屋 南知多 日間賀島

(2) 中学校

学校名	特色ある学校行事	学年行事		
		3年	2年	1年
清水	全校奉仕活動（女鳥羽川清掃含む）、立志式（2年）、街めぐりや書写指導など地域公民館との連携学習、消防団との合同防災訓練、校歌発表会、芸術館での音楽祭、ピンクシャツ・デーの活動、中高大連携学習	京都 奈良		上高地 飛騨高山
鎌田	アルミ缶回収、ペットボトルキャップ回収（毎週金曜日）、職場体験学習、自然体験学習、KMDタイム（総合的な学習）での学級毎による探究活動、しらかばの日①（KMDタイム発表）、しらかばの日②（体育祭）、しらかばの日③（音楽会）	京都 奈良	高遠	高遠
丸ノ内	学校公開週間、学芸発表会、地域との連携を大切にした学年毎の総合的な学習の時間、ペットボトルキャップ回収、全校レクリエーション、クラスマッチ、通年縦割り清掃、環境整備作業（年3回）、松本城城西花壇花植え、空き缶のプルタブ集め	奈良 京都	飛騨高山	上高地
旭町	松本盲学校・桐分校との交流活動、三つの伝統「挨拶・歌声・清掃」の発展・伸長のために挨拶運動・学年の時間・縦割り清掃への取り組み、地域学習・東北信旅行・修学旅行と関連づけた平和学習、アルミ缶やペットボトルキャップ回収、ごみ拾い登校などのボランティア活動、3年間を見通した進路学習、職場体験学習	広島 京都 奈良		乗鞍岳 上高地
松島	音楽文化ホールでの音楽会、登校中ゴミ拾い活動、職業講話（2年）、全校地域奉仕作業、親子作業（1年）、コミュニティスクール運営委員と中学生の語る会、地域づくりセンターと連携した防災学習、地区文化祭やお祭りへの参加 アルミ缶、ペットボトルキャップ・切手収集（Tボラ）	奈良 京都	戸狩宿泊 学習	乗鞍岳
高綱	学校花壇（サルビア園）づくり、職業講話・職業体験講座（2年）、地域との交流活動・貢献活動、地区の防災訓練への参加、高綱中生と語る会（生徒と地域の方の討論会）、ボランティアによる読み聞かせ	京都 奈良		上高地
菅野	りんご摘果体験（2年）、職場体験学習（2年）、縦割り清掃（各学期に設定）、歌声交換会、小運動会、全校企画、福祉施設訪問、保育実習、牛乳パック・エコキャップ収集、読み聞かせ（朝読書）、地域講師による放課後学習支援、地区文化祭への参加（合唱部、吹奏楽部）、公民館行事への協力（部活動、生徒会）	奈良 京都	飛騨高山	
筑摩野	コミュニティスクールふたむら（地域の方との活動）、ちくわの会（保護者・地域の支援者による読み聞かせ）、学舎ちくまの（地域講師による放課後学習支援）、ラボちくまの（地域講師による放課後体づくり支援）、健康教育（地域講師・支援者による地域食材を使った餃子づくり、筑輪の日（体育祭）	京都 奈良	戸狩宿泊 学習	高遠
山辺	「山辺ドリーム大学」（「生け花」・「香道」等16学科を講師と生徒・PTAが共に学ぶ）、「山辺ドリーム」（ぶどう栽培体験学習）、「学年ドリーム」（職場体験学習、進路指導）、学校花壇作り、アルミ缶・牛乳パック回収、朝読書での読み聞かせ、3年朝学習に地域講師招聘	京都 奈良	飛騨高山	乗鞍岳 上高地
開成	開成タイム（1年、地域での奉仕活動）、職場体験学習（2年）、防災学習（3年、フィールドワーク・避難所設営体験）、ボランティアの方による読み聞かせなど地域の方々とかかわる学習、三つの宝（あいさつ、清掃、歌声）	京都 奈良	乗鞍岳	乗鞍岳

学校名	特色ある学校行事	学年行事		
		3年	2年	1年
女鳥羽	自問教育(自問清掃、自問ノート、自問集会)、強歩大会、女鳥羽地域ボランティア活動、いじめ追放集会(年2回)、職場体験学習	広島 京都		乗鞍岳 上高地
明善	地域に根ざした総合的な学習の時間「チャレンジめいぜん」(1年:地域学習、2年:職場体験学習、3年:福祉体験学習)、いじめ追放宣言について考える集会、アルミ缶回収を通じた福祉活動、4地区公民館行事への参加・応援・連携(音の花束コンサート)	京都 奈良	白馬	高遠
信明	「おらがしんめい」運営委員会、地域出前講座、親子綱引き大会、松本一本ねぎの栽培、歌声づくり、地域一斉清掃、こもれびの会(地域住民による読み聞かせ)、キャリアアップin戸狩(2年)	京都 奈良	戸狩宿泊学習	高遠
会田	四賀地区の自然や町並み・特産品等に目を向けテーマを設定し、縦割りで活動するパノラマタイム(総合的な学習の時間)、里山体験学習(学有林にかかわる活動)、公共施設の清掃活動、デイサービスセンターとの交流、地域行事への参画・参加(四賀夏まつり・四賀コンサート等)	京都 奈良		乗鞍岳
安曇	運動会・音楽会・安曇祭・安曇タイム・走る会・安曇駅伝(以上小中合同)、奥穂高岳登山、ウェストン山行およびウェストン祭参加、松崎町訪問、スキー教室、3校交流、福祉施設訪問、ごみ出しボランティア、上高地清掃遠足、上高地での職場体験学習	京都 奈良	奥穂高岳(隔年)	
大野川	スイスグリーンデルワルト村との交流、乗鞍語ろう会、自然保護活動、わらび採り、奥穂高岳登山・松崎町訪問交流(隔年実施)、運動会(小・中学校・地域合同)、卒業生の生き方に学ぶ会(キャリア講演会)、音楽会(小・中学校合同)、スキー教室(2回)、大阪教育大付属天王寺中学校との交流、乗鞍PR活動、小中合同入学式卒業式、3校交流、	京都 奈良	奥穂高岳(隔年)	
奈川	わらび採り、ふるさと学習(奈川史跡めぐり)、そばの二番粉を使った製品開発、地域清掃、150周年記念音楽会(小・中合同)、3校交流、スキー学習(2回)、150周年記念運動会(小・中・地域合同)、全校カホン学習、パラスポーツ交流会、異年齢ホームルーム、	京都 奈良	東北信 (隔年R5実施)	
梓川	りんごの摘果作業、梓荘訪問、各学級とボランティア委員会で奉仕作業や交流活動、加工トマトの収穫、アルミ缶回収、学校花壇づくり、全校トイレ縦割り清掃	京都 奈良	平和学習旅行	上高地
波田	登校町キレ活動、あいさつ運動、谷浜水難慰霊式(7月)、職場体験学習(7月連続3日間)、地域貢献活動(清掃美化、花壇作り、奉仕活動、児童センターや福祉施設訪問、お祭りや音楽祭、文化祭への参加、高校との交流等)	京都 奈良		上高地
鉢盛	自転車通学生徒9割以上のため地域の方を講師に招いて行う交通安全教室、りんごの摘果作業、地域講師に学ぶ総合的な学習の時間(1年「地域めぐり」、2年「職業講話」「職場体験学習」、3年「講座別学習」)地域の福祉施設・老人介護施設・松本養護学校との交流、3市村合同防災訓練、「いじめ追放宣言」に基づくいじめ追放集会	京都 奈良	上高地	

(3) 幼稚園

園 名	特 別 活 動
松 本	園外保育（自然に触れ社会体験をする）、栽培活動（野菜・草花等）、お茶会（挨拶や感謝の心を学ぶ会、年8回）、絵手紙教室、親子遠足（年1回）、誕生会（発表の場として）、夏まつり、園まつり（学習発表会・音楽会）、サッカー教室、運動会、季節の行事（七夕会、おたのしみ会、もちつき会、お別れ会等）、情操教育（観劇・音楽鑑賞・伝統の遊び）、近隣の小・中との交流、たんぼぼ広場（未就園児）、保育参加（保護者による絵本の読み聞かせ・保育体験）
本 郷	園外保育（自然に触れ社会体験をする）、野菜・花の栽培活動、染物体験、サッカー教室、お茶会、親子遠足、誕生会、運動会、保護者のサークル活動によるお話の会、ひよこ教室（未就園児）、季節の行事（夕涼み会（夏祭り）・もちつき会・園まつり・まゆ玉作り・豆まき会等）、小動物の飼育、保育参加（絵本の読み聞かせ・保育体験）、情操教育（観劇・音楽鑑賞・独楽遊び）、小学校・近隣の保育園との交流、地域との交流活動（遊ぼーる野球教室・親子陶芸教室・紙芝居の読み聞かせ・温泉体験）
本郷南	園外保育（自然に触れる・社会体験をする）、花・野菜の栽培、収穫物の調理体験、お茶会、遊ぼーる野球教室、サッカー教室（地域の教育力を借りて）、風の子広場（未就園児）、近隣の保育園児・小学生との交流（地域との交流活動）、季節の行事（七夕会・夏祭り・運動会・親子遠足・お楽しみ会・豆まき会・もちつき会・お別れ会・誕生会）、保育参加（絵本の読み聞かせ・保育体験）、情操教育（音楽鑑賞・観劇会・伝承遊び・母親コーラスコンサート）、保護者による『はじめてのお買い物体験』

7 各校の研究テーマ

(1) 小学校

学校名	研究の基本方針（学校研究テーマ）
開智	自分らしきを出し合い、ともに学び合う子ども
源池	子どもが主体となり、学びを広げ深めていくことができる授業の創造
筑摩	子どもの“学びデザイン力”を育てる学校づくり
旭町	「探究的につながる子ども」～一人ひとりが願いや疑問を大事にして、友や対象とつながりながら、主体的に追究する姿の具現化～
田川	願いをもち 自ら追究できる 授業づくり
鎌田	子どもたちが主体的に考え、つながり合う授業の創造 ～自ら学ぶ力を育む授業づくり～
清水	感じ、考え、響きあい、ひとりだちに向かう子ども
島内	自ら考え、共に認め合いながら、学びを深める子ども
中山	自ら願いをもち、「人」「もの」「こと」との関わりを深め、主体的・対話的に学ぶ子ども～自ら探究的に学ぶ子どもを育む授業のあり方～
島立	自ら学び、共に学び合いながら、わかる喜びを実感できる子どもの育成
芝沢	子どもが主体的に学ぶ授業づくり
菅野	主体的に考え、対話する授業のあり方
芳川	自分の願いをもち、友とかかわりながら 学びを深める子ども
寿	人・もの・こととつながる中で自らの問いや願いをもち、わたしのことばを表現していく子ども
岡田	主体的に「考える力」「伝える力」をのばす授業づくり
山辺	友と関わりながら自ら考え、学びをつなげる子どもの育成 ～子どもたちが思いや考えを伝えることができる授業を目指して～
今井	「自ら課題を持ち、豊かに表現する今井の子」
開明	一人ひとりが学ぶ喜びを感じ、力をのばす授業のあり方 ～聞きあい、学びあう授業を通し、評価（見取り）を大切に～
明善	子どもが課題解決にむけて粘り強く追究する力を育む授業のあり方
本郷	ねがいをもち「人・もの・こと」と関わり、追求していく子ども
二子	ともに関わりあいながら、自ら学び、自ら考える子どもの育成
並柳	「学ぶって楽しいね」と思える学習活動のあり方 ～子どもの考えを中心にした探究的な学びの実現に向けて～
四賀	仲間との対話的な学びを通して、主体的に粘り強く追究する子ども
安曇	児童生徒が自ら問いを持ち、主体的・対話的に解決する授業の創造
大野川	小中併設、小規模校において、友とかかわりながら高め合っていく学習のあり方 ～異学年集団での学び～
奈川	学びをつなげ深める授業づくり
梓川	子どもとともにつくる授業 ～探究し続ける子どもと教師を目指して～
波田	自ら学び、関わり合いながら学びを深めていく子ども ～子ども理解を深めていきながら～

(2) 中学校

学校名	研究の基本方針（学校研究テーマ）
清水	表現力が育つ～すべての活動を通して～
鎌田	「生徒が学習に主体的に取り組む学校づくり」（1年次） ～生徒の特性に合わせて学習環境を整え、 気付きを促す支援と授業のユニバーサルデザイン化～
丸ノ内	予測困難な未来を生きる力を拓く ～各教科の見方・考え方を働かせた授業を通して～
旭町	生徒同士が主体的に自分の考えを表現し合い、学習を深める授業のあり方
松島	自ら学ぶ生徒が育つ学習指導 ～生徒一人一人の納得した明るい笑顔を求めて～
高綱	生徒の「自律的な学び」を中心にすえ、探究的に考え自らを表現する力を伸ばす授業づくり
菅野	子どもと教師が自ら学ぶ授業を求めて ～あの子が主体的に学ぶ授業の在り方～
筑摩野	「聴く学校」を合言葉とする学校づくりと、対話を基盤とした授業を通して、自己調整学習力を高め、「深く考え 逞しく生きる」生徒を育成する
山辺	知識・技能の確かな習得につながる「わかる・できる授業」の探究 ～生徒が主体的に学ぶために～
開成	「自らの学びの舵を取る生徒の育成」 ～「教師が教える学校」から「生徒が学ぶ学校」へ～
女鳥羽	対話と協働を通して学びを深める学習 ～友の考えを参考に自分の考えやイメージを深め、表現する力を磨く～
明善	主体的に学び共に育つ喜びがあふれる学校 ～わかる・できる・かかわる喜びが実感できる指導のあり方～
信明	生徒同士が支え合いながら「わかる・できる・活かせる・学びたくなる」授業の創造
会田	自らに問い 考え 決めて 動く 生徒 とは？～思いを語る 伝え合う授業づくり～
安曇	児童生徒が自ら問いを持ち、対話的に解決する授業の創造
大野川	小中併設、小規模校において、友とかかわりながら高め合っていく学習のあり方 ～異学年集団での学び～
奈川	学びをつなげ深める授業づくり
梓川	「主体的な学びを引き出す授業づくり」 ～生徒の問いを生かした単元展開を通して～
波田	個の学びの充実 ～「わかったつもり」ではなく「できた」という実感～
鉢盛	自らを表現できる授業づくり

(3) 幼稚園

学校名	研究の基本方針（学校研究テーマ）
松本	一人一人の自立に向けて、個やクラスの育ちを支える保育のあり方はどうあったらよいか ～子どもの興味関心(内面)を探りながら、子ども達自身が活動を創り出すための教師の手立てと環境構成～
本郷	『今、どんな気持ち？』子どもの思いを支える ～「やってみたい」から「こうしたい」までを支える保育の実践～
本郷南	「夢中で遊ぶすがた 『やってみたいな』 を支えて」

8 中学校卒業者の進路状況（令和4年度）

校名	卒業者			進学者			就職者			就職・進学者			家居			左記以外		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	1,971	1,014	957	1,954	1,006	948	0	0	0	0	0	0	14	6	8	3	2	1
清水中	120	73	47	119	73	46	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
鎌田中	166	78	88	164	77	87	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0
丸ノ内中	85	39	46	82	38	44	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	0	1
旭町中	112	71	41	111	70	41	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
松島中	131	63	68	131	63	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高綱中	119	52	67	119	52	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菅野中	139	71	68	137	71	66	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0
筑摩野中	247	137	110	247	137	110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山辺中	125	57	68	123	55	68	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0
開成中	114	65	49	113	65	48	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
女鳥羽中	112	65	47	112	65	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
明善中	79	46	33	77	44	33	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
信明中	103	50	53	102	50	52	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
会田中	20	11	9	20	11	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安曇中	7	3	4	7	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大野川中	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
奈川中	3	0	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
梓川中	149	69	80	148	69	79	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
波田中	139	63	76	139	63	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉢盛中	132	65	67	132	65	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 総数に鉢盛中学校は含まない

9 学校保健

(1) 児童生徒の体位（令和4年度）

区分	身長 (cm)				体重 (kg)			
	男		女		男		女	
	市	県	市	県	市	県	市	県
小1	116.7	116.6	115.8	115.8	21.6	21.6	20.9	21.0
小2	122.0	122.4	121.6	121.5	24.0	24.3	23.8	23.6
小3	128.2	128.3	127.4	127.4	27.5	27.6	26.6	26.6
小4	133.5	133.5	133.5	133.7	31.0	31.0	30.2	30.2
小5	139.1	139.0	140.9	140.5	34.9	34.8	35.0	34.4
小6	145.6	145.4	147.3	147.0	39.2	39.2	39.8	39.4
中1	153.2	152.8	151.9	151.6	44.7	44.5	44.3	44.1
中2	160.5	160.2	154.5	154.6	50.0	49.8	47.3	47.3
中3	165.5	165.3	156.3	156.3	54.8	54.5	50.0	49.9

※ 市は松本市、県は長野県の平均（県は6月30日現在未集計のため令和3年度の数値）

(2) 長期欠席児童生徒数（30日以上欠席）

項目	区分	H30		R1		R2		R3		R4	
病 気	小学校	21	0.2%	20	0.2%	28	0.2%	41	0.3%	62	0.5%
	中学校	71	1.1%	73	1.2%	71	1.2%	99	1.7%	116	2.0%
経済的理由	小学校	0	—	0	—	0	—	0	—	3	—
	中学校	0	—	0	—	0	—	1	—	0	—
不 登 校	小学校	160	1.3%	189	1.5%	221	1.8%	224	1.9%	308	2.6%
	中学校	292	4.6%	270	4.3%	236	4.0%	304	5.2%	372	6.3%
そ の 他	小学校	33	0.3%	51	0.4%	50	0.4%	76	0.6%	111	0.9%
	中学校	0	0%	4	0.1%	10	0.2%	33	0.6%	41	0.7%
合 計	小学校	214	1.7%	260	2.1%	299	2.5%	341	2.9%	484	4.1%
	中学校	363	5.7%	347	5.5%	317	5.4%	437	7.4%	529	9.0%

※ %欄は、全児童生徒数に占める割合を小数点以下2桁で四捨五入したもの

(3) 令和4年度不就学児童生徒数

	就学免除	就学猶予
小学校	0	2
中学校	0	0

1.0 特別支援教育（令和5年5月1日）

校別		知的障害	情緒障害	難聴	肢体 不自由	病虚弱	信大院内 学級
小学校	学校数	25	26	1		1	1
	学級数	46	82	1		1	1
	児童数	256	542	1		3	7
中学校	学校数	16 (1)	17 (1)		1	2	1
	学級数	24 (3)	36 (2)		1	2	1
	生徒数	126 (19)	225 (12)		1	3	1
計	学校数	41 (1)	43 (1)	1	1	3	2
	学級数	70 (3)	118 (2)	1	1	3	2
	児童 生徒数	382 (19)	767 (12)	1	1	6	8

(注) ()内は鉢盛中学校

1 1 学 校 施 設

(1) 校地校舎保有面積 (令和5年5月1日)

区 分	学 校 名	一 般 校 舎					屋 内 運 動 場				
		R	S	W	計	一人 面当 積り	R	S	W	計	一人 面当 積り
小 学 校	小学校計	141,821	5,037	166	147,024	12.73	2,710	24,468	1,050	28,228	2.44
	開智	5,858	32		5,890	10.03			1,050	1,050	1.79
	源池	4,355			4,355	18.69		1,010		1,010	4.33
	筑摩	5,634	10		5,644	15.51		1,010		1,010	2.77
	旭町	6,430			6,430	18.8		1,017		1,017	2.97
	田川	6,324			6,324	23.6	133	895		1,028	3.84
	鎌田	6,686	250		6,936	7.97		1,060		1,060	1.22
	清水	5,888	62		5,950	9.79		1,009		1,009	1.66
	島内	6,802	259		7,061	8.96		1,066		1,066	1.35
	中山	3,442			3,442	35.48		1,010		1,010	10.41
	島立	4,397	16		4,413	14.96		1,050		1,050	3.56
	芝沢	4,299	78	53	4,430	10.83		1,058		1,058	2.59
	菅野	6,139	259		6,398	11.3		975		975	1.72
	芳川	7,542	392		7,934	10.21		1,032		1,032	1.33
	寿	6,592	552		7,144	10.78		1,155		1,155	1.74
	岡山	3,839			3,839	10.29		1,010		1,010	2.71
	(美ヶ原)	6,234	259		6,493	11.06		980		980	1.67
	今井	3,174	225		3,399	22.66		1,010		1,010	6.73
	開明	6,918	17		6,935	11.77		1,008		1,008	1.71
	本善	5,741	984		6,725	17.6		1,096		1,096	2.87
二郷	4,725	27	40	4,792	13.65		1,050		1,050	2.99	
並子	4,673	56		4,729	22		1,064		1,064	4.95	
四柳	4,744	335		5,079	17.45		1,010		1,010	3.47	
安賀	3,009	9		3,018	24.54		1,038		1,038	8.44	
野曇	1,948	18	73	2,039	70.31	463			463	15.97	
大川	2,125			2,125	111.84	258			258	13.58	
奈川	1,536	58		1,594	199.25	0	442		442	55.25	
梓川	6,396	902		7,298	10.09	0	1,413		1,413	1.95	
波田	6,371	237		6,608	7.81	1,856			1,856	2.19	
中 学 校	中学校計	94,775	1,682	1,396	97,853	17.25	2,987	18,119		21,106	3.72
	清水	4,923	30	1,153	6,106	18.45		1,220		1,220	3.69
	鎌田	7,218			7,218	15.16		1,073		1,073	2.25
	丸ノ内	5,127	263		5,390	22.65		1,209		1,209	5.08
	旭町	5,679			5,679	18.74		1,300		1,300	4.29
	松島	5,413	51		5,464	13.23		1,220		1,220	2.95
	高綱	4,647	268		4,915	15.36		1,010		1,010	3.16
	菅野	5,872	164		6,036	13.59		1,660		1,660	3.74
	筑摩	7,395			7,395	10.88		1,498		1,498	2.2
	山辺	4,512	104		4,616	15.39		1,010		1,010	3.37
	開成	5,779	244	0	6,023	16.78		1,220		1,220	3.4
	女鳥	5,290	68		5,358	18.04		1,010		1,010	3.4
	文明	4,884	237		5,121	22.66		1,010		1,010	4.47
	信善	5,366	84		5,450	17.25		1,010		1,010	3.2
	会田	4,459			4,459	85.75		1,296		1,296	24.92
安曇	1,142			1,142	63.44	383			383	21.28	
大野	2,976	28		3,004	300.4	13	985		998	99.8	
奈川	1,282	10		1,292	143.56		388		388	43.11	
梓川	6,049		243	6,292	14.11	1,219			1,219	2.73	
波田	6,762	131		6,893	15.85	1,372			1,372	3.15	
鉢盛	6,786	124		6,910	16.3	133	1,553		1,686	3.98	
幼 稚 園	幼稚園計	1,055	1,146	8	2,209	12.01					
	松本	636	328	8	972	15.43					
	本郷	419	195		614	10.23					
	本郷		623		623	10.21					

凡例：(R) 鉄筋コンクリート (S) 鉄筋その他造 (W) 木造

(注) 1 本表は公立学校施設台帳作成提要に基づき作成

(注) 2 美ヶ原分校の面積は総計に含まない

単位：㎡

校			地			学 校 名
校舎敷地	屋外運動場	実習その他	総面積	借用地	一人当たり面積	
345,478	311,689	25,691	682,858	2,805	59	小学校計
12,336	10,599		22,935		39	開智
9,458	9,061	91	18,610		80	源池
9,856	14,623	819	25,298		70	筑摩
10,480	6,399	0	16,879		49	旭町
8,395	6,435		14,830		55	田川
12,461	4,916		17,377		20	鎌田
7,876	8,624	0	16,500		27	清内
14,878	9,717		24,595		31	島山
7,520	11,064	198	18,782	2,478	219	中島
11,584	12,797	496	24,877		84	島立
13,071	18,689	1,152	32,912		80	芝沢
15,864	15,024	0	30,888		55	菅野
18,559	13,920		32,479		42	芳川
12,772	11,396	1,135	25,303		38	寿
11,831	8,617		20,448		55	岡田
15,492	12,872	2,899	31,263		53	山辺
(1,319)	(1,630)		(2,949)			(美ヶ原)
10,263	14,360	5,654	30,277		202	今井
16,965	10,868	0	27,833		47	開明
17,142	17,448		34,590		91	明善
8,911	11,210	685	20,806		59	本郷
10,102	15,920		26,022		121	二子
9,487	14,161	1,360	25,008		86	並柳
11,040	8,197		19,237		156	四賀
2,956	8,896	636	12,488		431	安曇
12,078		1,625	13,703		721	大野
5,300	10,176	3,318	18,794	327	2,390	大川
22,452	14,973	1,814	39,239	0	54	梓川
26,349	10,727	3,809	40,885		48	波田
220,242	253,234	51,009	524,485	7,719	94	中学校計
14,694	11,099	200	25,993		79	清水
11,387	13,294		24,681		52	鎌田
12,048	12,040	233	24,321		102	丸ノ内
20,155	23,058		43,213		143	旭町
10,950	13,259	821	25,030	2,378	66	松島
12,902	16,448		29,350		92	高綱
14,595	17,470	1,230	33,295	0	75	菅野
13,240	25,583		38,823	4,971	64	筑摩
11,479	13,489	196	25,164		84	山辺
10,407	19,385	12,503	42,295		118	開成
10,147	10,207	248	20,602		69	女鳥
17,487	12,190		29,677		131	明善
11,462	14,411	1,570	27,443		87	信明
9,365	15,440	26,395	51,200		985	会田
4,155		636	4,791		266	安曇
8,161	8,088	1,131	17,380		1,738	大野
4,700	1,300	1,380	7,380	370	861	奈川
13,202	14,877		28,079		63	梓川
9,706	11,596	4,466	25,768		59	波田
24,482	20,191	4,200	48,873		115	鉢盛
4,416	2,078	317	6,811	2,509	51	幼稚園計
2,912	1,052		3,964		63	松本
1,504	1,026	317	2,847		47	本郷
				2,509	41	本郷南

(2) 教室及びその他の室数（令和5年5月1日）

区分	学校名	普通教室	特別教室											多目的	校長室	事務室	職員室
			理科	音楽	図工	技術	家庭	コンピューター	視聴覚	図書	生活科	特別活動	教育相談				
小学校	計	521	41	45	25	0	34	25	23	30	5	71	31	16	27	34	
	小開源	24	2	2	1		2	1	1	1		2	1	3	1	1	
	源池	13	1	1	1		1	1	1	1	1	5	1	3	1	1	
	筑摩	15	2	2	1		1	1	1	1	1	3	2	1	1	1	
	旭町	18	2	2	1		1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	
	田鎌	15	1	2	1		1	1	1	1	1	5	1	4	1	1	
	清島	33	2	2	1		2	1	1	1	1	3	1	1	1	2	
	水内	24	2	2	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	
	中山	32	2	2	1		2	1	1	1	1	2	2	1	1	1	
	立沢	8	1	1	1		1	1	1	1	1	2	1	2	1	1	
	菅野	15	1	1	1		1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	
	芳川	17	1	2			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	寿	23	2	2	1		1	1	1	2		5	1	1	1	2	
	岡あ	31	2	2	1		2	0	1	1	1	5	1	0	1	2	
	山さ	27	2	2	1		2	1	1	1	1	5	2	0	1	1	
	美ヶ	17	1	1	1		1	1		1		1	1	1	1	1	
	原	3											2				
	今開	24	2	2	1		1	1	1	1		2	1	1	1	1	
	明本	1										1	1				
	二並	8	1	1	1		1	1	1	1	1	4	1	0	1	1	
安大	27	2	2	1		2	1	1	1	1	2	2	0	1	2		
奈川	18	1	2	1		1	1	1	2	0	2	1	0	1	1		
梓波	16	2	2	1		1	1	1	1	1	2	1	0	1	1		
波	12	1	1	1		2	1	1	1	1	3	1	0	1	1		
野	15	2	1	1		1	1	1	1	1	4	1	0	1	1		
大奈	8	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	0	1	1		
川	6	1	1	1					1		1	1	1	1	2		
川	2												1	1	1		
川	30	2	2	1		1	1		1		3	1	1	1	2		
田	33	2	2	0		2	1		2		1	1	1	1	1		
中学校	計	252	37	26	20	32	39	20	12	18	0	38	35	14	18	23	
	清鎌	16	2	2	1	2	2	1		1		2	1	1	1	1	
	丸ノ	19	2	2	1	2	2	1		1		8	3	1	1	2	
	旭町	12	2	1	1	1	2	1	1	1		2	2	1	1	1	
	桐分	13	2	2	1	1	2	1	1	1		3	1	1	1	1	
	松島	1					(1)	(1)							(1)		
	高菅	15	2	2	1	2	2	1	1	1		2	2	1	1	1	
	菅野	13	2	1	1	1	2	1	1	1		1	2	1	1	1	
	筑摩	18	2	2	1	2	2	1	1	1		1	2	1	1	1	
	山野	26	3	2	2	2	2	1	1	1		2	4	1	1	1	
	開女	12	2	1	1	2	2	1	1	1		1	1	1	1	1	
	成羽	14	2	1	1	2	2	1	1	1		6	1	2	1	1	
	鳥さ	13	2	2	1	2	2	1	1	1		2	1	1	1	1	
	明善	2	1	1				1					1	1			
	信明	11	2	1	1	2	2	1	1	1		2	2	1	1	1	
	会田	15	2	2	1	2	2	1	1	1		2	2	5	1	1	
	安野	5	1	1	1	1	1	1	1	1		1	2	1	1	2	
	大奈	3												1	1	2	
	川	3	2											1	1	2	
	川	3	1	1	1	1	2	1	1	1		1	1	1	1	2	
梓波	18	2	1	2	2	2	1	1	1			2	1	1	2		
波	17	2	2	1	2	2	1	1	1		1	2	1	1	2		
原分	3	1	1	1	1	2	1	1	1		1	2	1	1	1		
鉢盛	18	2	2	2	2	2	1	1	1		2	4	1	1	2		
幼稚園	計	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3		
	松本	7											1		1		
	本郷	4											1		1		
	本郷	4											1		1		

- (注) 1 中学校計には旭町中学校桐分枝、鉢盛中学校は含まない
(注) 2 更衣室、便所及びコンテナ室は室数に含めない
(注) 3 幼稚園の多目的は遊戯室を示す
(注) 4 安曇・大野川・奈川の小中併設校では共用している室がある

応 会	保	放	教	資 準	学	そ		学
接 議	健	送	材	料 備	習	の	計	校
室 室	室 室	室 室	室 室	室 室	室 室	他		名
12	28	28	26	107	43	15	1,187	小 学 校 計
	1	1	1	5			50	開 智 池
	1	1		4	1		38	源 池 摩
3	1	1		5	5		46	筑 旭 町
	1	1	1	4	5	5	49	田 鎌 川
1	1	1	1	5	2		47	田 鎌 川
	1	1		5	1		61	水 内 山
	1	1	1	3			46	清 島 立
	1	1	1	4			56	島 中 島 立
	1	1	1	3	3		31	島 中 島 立
0	1	1		4			34	芝 菅 野
1	1	1	1	4			37	菅 野 川
1	1	1		5			50	菅 野 川
	1	1		4			56	菅 野 川
	1	1	2	4	2	2	59	岡 あ 山
	1	1	3	4			36	岡 あ 山
	1	1		4		4	7	岡 あ 山
	1	1	1	4		4	49	岡 あ 山
	1	1	1	4	4	1	4	岡 あ 山
2	1	1		4	4		29	今 開 明
1	1	1	1	4	2		58	今 開 明
	1	1	1	4	8		48	本 二 並
	1	1	2	5	2	1	42	本 二 並
1	1	1		2	4		35	二 並 四 安
	1	1	1	4	4		40	二 並 四 安
	1	1	1	4			26	四 安 大 奈
	1	1	1	2			19	四 安 大 奈
	1	1	3	2			18	大 奈 梓 波
	1	1	1	1		1	11	大 奈 梓 波
1	1	1		4		1	51	大 奈 梓 波
	1	1	1	4		1	54	大 奈 梓 波
応 会	保	放	教	資 準	学	そ		学 校 名
接 議	健	送	材	料 備	習	の	計	
室 室	室 室	室 室	室 室	室 室	室 室	他		
18	18	17	3	152	17	6	814	中 学 校 計
2	1	1		10			46	清 鎌 丸
1	1	1	1	8		1	57	丸 旭 桐
1	1	1		9	4		41	丸 旭 桐
	1	1		8	(2)		45	丸 旭 桐
	1	1		8	3		46	丸 旭 桐
1	1	1		8	1	1	42	丸 旭 桐
1	1	1		9			47	丸 旭 桐
1	1	1		9	1		62	丸 旭 桐
1	1	1		7			37	丸 旭 桐
1	1	1		12		1	51	丸 旭 桐
3	1	1		7			42	丸 旭 桐
					1		7	丸 旭 桐
	1	1		7	4		41	丸 旭 桐
	1	1		8			48	丸 旭 桐
2	1	1		10	3		36	丸 旭 桐
1	1	1		2		0	11	丸 旭 桐
1		1	1	4			21	丸 旭 桐
				4			16	丸 旭 桐
1	1	1		10			48	丸 旭 桐
1	1	1		10		1	48	丸 旭 桐
1	1	1	1	1		1	22	丸 旭 桐
	1	1		9	1		53	丸 旭 桐
1	3	0	0	0	0	3	28	幼 稚 園 計
	1					1	11	松 本 郷 南
	1					1	8	松 本 郷 南
1	1					1	9	松 本 郷 南

(3) 小・中学校水泳プール設置状況(令和5年5月1日)

区分	学校名	設置年月	水槽規格(単位m)		付帯設備・備考 (※洗眼、シャワー、浄化装置、上水道は全学校に付帯)
小 学 校	開智小学校	S40.7	25×15.4×1.10	14×6×0.80	更衣室、便所、足洗場
	源池小学校	H元.11	25×13×1.25	10×6×0.60	
	筑摩小学校	H25.3	25×12×1.20	10×10×0.70	
	旭町小学校	S36.7	25×10×1.25	10×5×0.70	(H4本体改修) (H22本体改修)
	田川小学校	H14.3	25×10×1.30	8×10×0.80	
	鎌田小学校	H27.6	25×11.6×1.10	8×10×0.70	更衣室、便所、倉庫
	清水小学校	H13.3	25×13×1.30	10×7.5×0.80	
	島内小学校	H2.7	25×13×1.30	13×7×0.80	更衣室、便所
	中山小学校	H8.1	25×13×1.30	10×7.5×0.80	更衣室、便所
	島立小学校	H4.7	25×13×1.30	15×5×0.75	更衣室
	菅野小学校	H29.3	25×13.6×1.10	12×10×0.70	更衣室、便所、倉庫
	芝沢小学校	S48.8	25×11.8×1.20	10×8×0.70	(H2本体改修)
	寿小学校	H24.6	25×13.6×1.10	12×10×0.70	
	岡田小学校	H10.7	25×13×1.30	10×7.5×0.80	便所
	今井小学校	S52.5	25×13.5×1.25	13×9×0.70	(H25設備改修)
	開明小学校	S46.7	25×11.8×0.95	8×10×0.55	(H26本体改修) (H29設備改修)
	芳川小学校	S50.4	25×13.6×1.30	13.6×5×0.80	(H27本体改修)
	山辺小学校	S50.4	25×13.6×1.15	15×4.5×0.70	更衣室、便所(H23設備改修)
	本郷小学校	H9.3	25×13×1.30	12.5×6×0.80	
	明善小学校	S49.7	25×13.6×1.45	14×8×0.55	(H25本体改修)
	二子小学校	S54.7	25×13.6×1.25	12×10×0.70	更衣室、便所(H29設備改修)
	並柳小学校	S58.7	25×13×1.25	13×7×0.80	更衣室、便所
	四賀小学校	H25.4	25×13×1.20	10×7.5×0.70	更衣室、便所
	安曇小学校	H9.8	25×10.6×1.30	25×2.5×0.70	自動火災報知器、更衣室、便所、足洗場、 電話、温水器、拡声機器、インターフォン、暖房機 器 可動式上屋
大野川小学校	H8.8	25×14.3×1.30	25×2.5×0.70	自動火災報知器、更衣室、便所、足洗場、 電話、温水器、拡声機器、インターフォン、暖房機 器、可動式上屋	
奈川小学校	S60.6	25×10×1.20	10×6×0.65	更衣室、便所	
梓川小学校	S48.4	25×12.6×1.20	12.6×7.5×0.80	更衣室、便所(H24本体改修)	
波田小学校	S60.7	25×14×1.20	20×13×0.80	更衣室、便所(H24本体改修) (R4設備改修)	

区分	学校名	設置年月	水槽規格(単位m)	付帯設備・備考 (※洗眼、シャワー、浄化装置、上水道は全学校に付帯)
中 学 校	清水中学校	R元.3	25× 15×1.10 1.30	更衣室、便所、倉庫
	鎌田中学校	H15.3	25× 15×1.20 1.40	更衣室、便所
	丸ノ内中学校	H14.3	25× 15×1.20 1.40	更衣室、便所
	旭町中学校	H12.2	25× 15×1.20 1.40	更衣室、便所
	松島中学校	H9.6	25× 15×1.20 1.40	更衣室
	高綱中学校	H17.3	25× 15×1.20 1.45	更衣室
	菅野中学校	H18.3	25× 15×1.20 1.40	便所
	筑摩野中学校	H30.3	25×15.0×1.10 1.30	更衣室、便所、倉庫
	山辺中学校	S36.8	25×11.8×1.15	更衣室、便所 (H23本体改修)
	開成中学校	H7.7	25× 15×1.30 1.40	更衣室、便所
	女鳥羽中学校	H3.9	25× 15×1.10 1.40	
	明善中学校	S54.8	25× 15×1.30 1.40	更衣室、便所 (H22本体改修) (H成28設備改修)
	信明中学校	S60.7	25× 15×1.10 1.40	更衣室、便所
	会田中学校			
	安曇中学校	H9.8	25×10.6×1.10 1.30	25×2.5×0.70 自動火災報知器、更衣室、便所、足洗場、 電話、温水器、拡声機器、インターフォン、暖房機 器、可動式上屋
	大野川中学校	H8.8	25×14.3×1.10 1.30	25×2.5×0.70 自動火災報知器、更衣室、便所、足洗場、 電話、温水器、拡声機器、インターフォン、暖房機 器、可動式上屋
	奈川中学校	S60.6	25× 10×1.00 1.20	10× 6×0.50 0.65 更衣室、便所
	梓川中学校	S37.7	25× 15×1.10 1.30	洗体槽 (H8改修) 更衣室、便所
	波田中学校	S61.7	50× 17×1.00 1.20	更衣室、便所 (H28本体改修) (R2濾過機更新)
鉢盛中学校	S42.8	25× 13×1.10 1.20	(S62本体改修) 更衣室、便所	

(注) 安曇小中学校、大野川小中学校、奈川小中学校はそれぞれ小学校と中学校で共用

(4) 柔剣道場設置状況 (中学校)

学校名	設置年月	柔剣道場面積	附帯施設	備 考
高綱中学校	H 5. 3	25m×14m=350 m ²	器具庫	
信明中学校	H 5. 3	25 ×14 =350	器具庫	
鉢盛中学校	S56. 3	28 ×18 =504	器具庫 更衣室 便所	剣道場
筑摩野中学校	H 6. 3	25 ×14 =350	器具庫	
明善中学校	H 6. 3	25 ×14 =350	器具庫	
鎌田中学校	H 6. 12	25 ×14 =350	器具庫	
松島中学校	H 6. 12	25 ×14 =350	器具庫	
丸ノ内中学校	H 7. 12	25 ×14 =350	器具庫	
山辺中学校	H 7. 12	25 ×14 =350	器具庫	
清水中学校	H 8. 12	25 ×14 =350	器具庫	
開成中学校	H10. 3	25 ×14 =350	器具庫	
女鳥羽中学校	H11. 2	25 ×14 =350	器具庫	
旭町中学校	H12. 3	25 ×14 =350	器具庫	
菅野中学校	H16. 3	27 ×18 =486	器具庫 便所	旧南体育館

(5) 松本市美ヶ原少年自然の家

所在地	松本市大字入山辺8961番地1358		電話	31-2052			
建築年度	平成8年度						
開設期間	4月25日～10月31日						
施設内容	研修棟 研修室4室(和室34畳) 研修室1室(和室7.5畳) 厨房、浴室、ホール 屋外施設 炊飯棟、屋外食卓、キャンプファイヤー場						
使用料	大人(高校生以上)730円/日 (中学生以下の宿泊・日帰り使用及び大人の日帰り使用は無料)						
利用状況	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
小人	2,180	2,192	2,145	2,030	—	527	439
大人	468	431	491	484	—	96	56
合計	2,648	2,623	2,636	2,514	—	623	495
一般利用率	32.4%	37.5%	42.5%	42.5%	—	37.5%	8.6%

(注1) 一般利用率とは、市内小中学校(キャンプ)以外の利用者の割合

(注2) 令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から宿泊を原則として不可としました。

1 2 市立外の学校等

(1) 国立小中学校

(令和5年5月1日)

学校名	所在地	校長名	本務 教員数	児童 生徒数	学級数	電話番号
信州大学教育学部 附属松本小学校	桐 1-3-1	宮下 昭夫	18	427	12	37-2216
信州大学教育学部 附属松本中学校	桐 1-3-1	宮下 昭夫	23	463	12	37-2212

(2) 県立養護学校等

(令和5年5月1日)

学校名	所在地	校長名	本務 教員数	児童 生徒数	学級数	電話番号
長野県松本盲学校	旭 2-11-66	関 昌浩	37	20	12	32-1815
長野県松本ろう学校	寿豊丘 820	丸山 勝己	35	16	9	58-3094
長野県松本養護学校	今井 1535	渡邊 和幸	149	245	61	59-2234
長野県寿台養護学校	寿豊丘 811-88	小松 恭子	103	156	43	86-0046

(注) 本務教員数は、校長、教頭及び教諭（養護教諭含む）講師（非常勤除く）の合計

(3) 私立小中学校等

(令和5年5月1日)

学校名	所在地	校長名	教員数	児童 生徒数	学級数	電話番号
才教学園小学校	村井町北 2-14-47	小松 崇	24	249	14	58-0311
才教学園中学校	村井町北 2-14-47	小松 崇	15	106	6	58-0311
松本国際中学校	村井町南 3-6-18	鈴木 徳夫	12	133	5	88-0047
インターナショナル スクールオブ長野小学部	五常 6387 番地 1	栗林 梨恵	9	66	6	87-8418
松本秀峰中等教育学校	埋橋 2-1-1	宗像 諭	33	513	18	31-8311

(注) 1 教員数は、校長、教頭及び教諭、講師の合計

(4) 幼稚園

(令和5年5月1日)

幼稚園名	設置者別	所在地	園長名	教員数	園児数	学級数	電話番号
信州大学教育学部 附属幼稚園	国立	桐 1-3-1	宮下 昭夫	12	88	4	37-2214
鈴蘭幼稚園	私立	県 1-4-23	古川 千尋	13	37	3	36-2094
聖テレジア幼稚園	私立	丸の内 9-32	白木 信一	11	54	3	33-8206
松本青い鳥幼稚園	私立	寿豊丘 606 番地 1	中島 公子	36	241	12	58-2887
松本南幼稚園	私立	野溝木工 2-6-31	幾嶋 肇	48	298	14	28-4888
松本いずみ幼稚園	私立	桐 1-4-7	田所 賢二	11	41	3	33-2553
松本神映幼稚園	私立	神林 3682	竹内 成子	25	179	8	26-7850
計				156	938	47	

資料作成：保育課

(5) 認定こども園

(令和5年5月1日)

幼稚園名	所在地	園長名	教員数	園児数	学級数	電話番号
幼保連携型 認定こども園深志	深志 2-4-27	海野 暁光	29	14	3	35-9187
幼保連携型 ささべ認定こども園	笹部 3-13-25	角尾 豊子	37	53	6	25-0150
幼保連携型 認定こども園ふたご	笹賀 4992-1	武田 典子	34	21	3	58-2196
幼保連携型 やよい認定こども園	南原 2-11-5	大久保 葉子	23	14	3	27-3377
幼保連携型 認定こども園聖十字幼稚園	開智 1-6-25	岡野 尚子	22	65	6	32-4688
幼稚園型 認定なぎさこども園	渚 1-1-9	吉澤 曹典	5	12	3	25-0632
幼稚園型 認定こども園松本光明幼稚園	女鳥羽 1-9-16	西片 紀美子	16	99	5	33-7763
幼稚園型 認定こども園松本中央幼稚園	蟻ヶ崎 4-4-10	野川 大卓	16	69	5	36-0737
幼稚園型 認定こども園松本短大幼稚園	寿台 7-4-1	銭坂 久紀	21	53	2	58-6563
地方裁量型 松本シュタイナー認定こども園ひなたぼっこ	波田 10371-3	神澤 真江	7	10	1	070-4082-0852
地方裁量型	南松本	中島 由布子	6	5	3	87-5971

認定こども園インターナショナル スクールオブ長野 南松本キャンパス	1-22					
地方裁量型 認定こども園インターナショナル スクールオブ長野 島内キャンパス	島内 7779-1	前島 千咲	8	22	3	88-6562
幼稚園型 認定こども園白百合幼稚園	村井町南 4-6-4	青木 知子	16	79	5	86-1084
幼保連携型 信学会松本こども園	笹賀 3121	鈴木 麻衣子	26	4	7	58-8028
幼保連携型 松本やまびこ保育園	小屋南 1-8-10	高澤 智子	36	4	7	58-1229
計			302	524	62	

資料作成：保育課 (注) 園児数は、幼稚園部分の数値

(6) 高等学校

ア 県立

(令和5年5月1日)

学校名	所在地	校長名	教員 数	生徒数			電話 番号
				総数	男	女	
松本深志高等学校	蟻ヶ崎 3-8-1	石川 裕之	69	956	497	459	32-0003
松本県ヶ丘高等学校	県 2-1-1	徳永 佳代	72	971	450	521	32-1142
松本蟻ヶ崎高等学校	蟻ヶ崎 1-1-54	鳥谷越 浩子	50	839	356	483	32-0005
松本工業高等学校	筑摩 4-11-1	野本 裕之	53	555	530	25	25-1184
松本美須々ヶ丘 高等学校	美須々 2-1	久保村 智	53	839	436	403	33-3690
松本筑摩高等学校 定時制午前部 定時制午後部 定時制夜間部 通信制	島立 2237	平林 洋一	(48) [19]	(214) (104) (22) [234]	(133) (65) (15) [94]	(81) (39) (7) [140]	47-1351
梓川高等学校	波田 10000-1	腰原 英徹	30	312	160	152	92-2119

イ 私立

(令和5年5月1日)

学校名	所在地	校長名	教員 数	生徒数			電話 番号
				総数	男	女	
松商学園高等学校	県 3-6-1	長野 雅弘	75	1,337	607	730	33-1210
松本国際高等学校 // 通信制	村井町南 3-6-25	鈴木 徳夫	36 [12]	592 [876]	310 [418]	282 [458]	88-0033

エクセラン高等学校	里山辺 4202	西沢 宏	30	340	191	149	32-3701
松本第一高等学校	浅間温泉 1-4-17	塩野 英雄	39	624	326	298	46-0555
信濃むつみ高等学校	南松本 1-13-26	水野 尚哉	[14]	[454]	[245]	[209]	27-3700

(注) ()内は定時制 []内は通信制

(7) 大学・短大

(令和5年5月1日)

名 称	所在地	学(部)長氏名	教員 数	職員 数	生 徒 数			電話 番号
					総数	男	女	
信州大学本部	旭 3-1-1	学 長 中村 宗一郎	10	206	—	—	—	35-4600
信州大学 人文学部		学部長 早坂 俊廣	38	10	711	308	403	
信州大学 経法学部		学部長 廣瀬 純夫	39	12	781	515	266	
信州大学 理学部		学部長 玉木 大	60	14	880	700	180	
信州大学 医学部		学部長 奥山 隆平	186	38	1,323	661	722	
松本大学	新村 2095-1	学 長 菅谷 昭	86	69	1,861	1,092	769	48-7200
松本大学 松商短期大学部			12	16	402	133	269	
松本大学 大学院			23	0	16	11	5	
松本看護大学	笹賀 3118	学 長 上條 節子	28	8	220	46	174	58-4417
松本短期大学		学 長 木内 義勝	17	7	225	49	176	

(注) 1 信州大学本部は、事務局の数

(注) 2 信州大学医学部には、医学部附属病院の教職員を含まない

Ⅱ 学校給食と食育の推進（学校給食）

1 概 要

本市では、昭和7年に学校給食が開始されました。センター方式での学校給食は、昭和43年に鎌田に建設された給食センターからの提供に端を発し、以降、児童・生徒数、給食内容の見直し及び施設の老朽化等により、平成13年に野溝西地籍に西部学校給食センター、平成21年に原地籍に東部学校給食センターに移転し、市内小・中学校を2分し配送しています。

また、平成17年以降合併により梓川学校給食センター、波田学校給食センター、四賀学校給食センターが加わり、市内5か所の学校給食センターから小学校25校、中学校16校に1日当たり約18,000食の安全・安心でおいしい給食を提供しています。（安曇・奈川地区の3校では、校内の調理室で調理した給食を提供しています。）

2 重点施策

(1) 学校給食センターの再整備事業

波田（昭和46年開設）及び梓川（昭和63年同）学校給食センターは老朽化が著しく建替えるの必要があり、また、西部学校給食センターは建設から21年が経過し、老朽化が進行しています。

令和4年11月に策定した学校給食センター全体の再整備基本方針に基づき、老朽化が進む波田・梓川の学校給食センターの代替となる1つ目の新センターの建設候補地が決定しました。今後は、建設に向けた具体的な取組みと基本計画の策定を進めます。

(2) 食育の推進

「食に関する指導の全体計画」（毎年度改定）に沿って、計画的な食育に取り組みます。

栄養教諭や調理員が学校を訪問して、食に関する指導を行うとともに、ICTを活用し生産現場と学校にいる児童をつないだ食育の取組みを行います。

(3) 地産地消の推進

地産地消に取り組み、安全安心な食材を使用します。

地産地消の取組みにより、梱包資材や流通コストの削減、環境へ配慮したゼロカーボンシティの取組みを推進します。

(4) 食物アレルギー対応食提供事業

「食物アレルギー対応マニュアル」（令和4年度改訂）及び「アレルギー対応食提供事業実施要綱」に沿って、医師の診断に基づき学校と共通理解のもとでアレルギー対応食を適切に提供しています。併せて医師、保護者と連携しながら対応食の解除に向けた取組みを進めます。

(5) 学校給食費滞納整理

会計処理の透明性、保護者の利便性の向上及び学校職員の事務負担軽減を目的に令和2年度から公会計化しました。新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受け、保護者の就労上の理由から高額滞納につながるケースがあるため、個々の事情に寄り添いながら粘り強い収納促進に努めます。

3 学校給食の実施状況

(1) 給食実施校と人数（給食数）（令和5年5月1日）

施設	区分	対象	学校数	学級数	児童 生徒数	教職 員数	計	栄養 士	調理員数	
									正規 ・ 2類	3類 ・ 4類
西部 学校給食センター	小学校	校	11	学級 219	人 5,013	人 429	人 5,442	7	人 48	人 18
	中学校	6	102	2,462	238	2,700				
東部 学校給食センター	小学校	11	213	4,792	415	5,207	5	47	15	
	中学校	7	95	2,241	243	2,484				
梓川 学校給食センター	小学校	1	30	723	59	782	2	10	4	
	中学校	1	18	446	44	490				
波田 学校給食センター	小学校	1	34	847	63	910	2	10	3	
	中学校	1	17	435	44	479				
四賀 学校給食センター	小学校	1	8	123	20	143	2	5	0	
	中学校	1	5	52	20	72				
小 計			41	741	17,134	1,575	18,709	18	120	40
安曇小学校		1		5	29	15	44	1	0	民間 委託2
安曇中学校				3	18	10	28			
大野川小学校		1		3	19	14	33	1	2	0
大野川中学校				2	10	10	20			
奈川小学校		1		2	8	11	19	1	2	0
奈川中学校				2	9	9	18			
小 計			3	17	93	69	162	3	4	0
合 計			44	758	17,227	1,644	18,871	21	124	40

(2) 給食費及び給食日数（令和5年5月1日）

ア 学校給食センター

区分	対象	内 訳(円)				年間給食費 (円)	給食日数 (日)
		主食費	副食費	牛乳費	日額		
西部・東部	小学校	32	182	66	280	54,320	194
	中学校	39	225	66	330	62,700	190
梓川	小学校	33	181	66	280	56,000	200
	中学校	40	224	66	330	63,690	193
波田	小学校	30	184	66	280	55,720	199
	中学校	37	227	66	330	64,350	195
四賀	小学校	29	185	66	280	54,880	196
	中学校	36	228	66	330	65,670	199

イ 安曇・奈川地区

区分	内 訳 (円)				年間給食費 (円)	給食日数 (日)
	主食費	副食費	牛乳費	日額		
安曇小学校	24	190	66	280	55,440	198
安曇中学校	26	238	66	330	65,340	198
大野川小学校	27	187	66	280	55,440	198
大野川中学校	30	234	66	330	65,340	198
奈川小学校	26	188	66	280	55,160	197
奈川中学校	29	235	66	330	65,010	197

※ パン・米飯・牛乳・給食原材料費は保護者負担

※ 人件費、維持管理費（光熱水費を含む。）は市負担

※ 年間給食費（円）は、日額×給食日数（日）で算出

※ 各学校給食センター・安曇・奈川地区とも、5～2月末の各月10回分を同額徴収し、3月末徴収分を年間給食費に合うよう調整額とする。（年間11回で徴収し、4月末の徴収は行わない。）

(3) 給食内容

小学生から中学生にかけては体が一番成長する年代であり、一生のうちでも最も栄養量を必要とする時期です。このため、この成長期にある児童生徒の食事内容について、次の5つの点に重点をおき給食を実施しています。

- ・栄養についての配慮
- ・豊かで多様な献立の配慮
- ・地産地消や季節を大切にされた食材の購入
- ・より安全で安心な食事の提供
- ・ていねいな調理の工夫

ア 主食（令和5年4月1日）

(ア) 学校給食センター

		西部・東部	梓川	波田	四賀
米飯	回数	週4回	週4回	週4回	週4回
	米重量	小学校低学年 50g 中学年 70g 高学年 90g 中学校 100g	小学校低学年 60g 中学年 70g 高学年 85g 中学校 95g	小学校低学年 55g 中学年 70g 高学年 90g 中学校 100g	小学校低学年 50g 中学年 70g 高学年 90g 中学校 100g
	内容	金芽米	金芽米	金芽米	金芽米
	回数	週1回	週1回	週1回	週0.5回
パン	小麦粉重量	小学校低学年 40g 中学年 60g 高学年 70g 中学校 80g	小学校低学年 50g 中学年 60g 高学年 70g 中学校 80g	小学校低学年 50g 中学年 60g 高学年 70g 中学校 80g	小学校低学年 50g 中学年 60g 高学年 70g 中学校 80g
	内容	脱脂粉乳 3%	脱脂粉乳 3%	脱脂粉乳 3%	脱脂粉乳 3%
	回数	—	—	—	週0.5回
	小麦粉重量	—	—	—	小学校低学年 80g 高学年 90g 中学校 110g

(1) 安曇・奈川地区

		安曇小中学校	奈川小中学校	大野川小中学校
米飯	回数	週4回	週4回	週4回
	米重量	小学校低学年 60g 中学年 70g 高学年 90g 中学校 100g	小学校低学年 60g 中学年 70g 高学年 85g 中学校 100g	小学校低学年 60g 中学年 70g 高学年 80g 中学校 100g
	内容	大麦5%	—	—
パン	回数	週0.5回	週0.5回	週0.5回
	小麦粉重量	小学校低学年 50g 中学年 60g 高学年 70g 中学校 80g	小学校低学年 50g 中学年 60g 高学年 70g 中学校 80g	小学校低学年 50g 中学年 60g 高学年 70g 中学校 80g
	内容	脱脂粉乳3%	脱脂粉乳3%	脱脂粉乳3%
麺	回数	週0.5回	週0.5回	週0.5回
	小麦粉重量	小学校低学年 140g 中学年 160g 高学年 180g 中学校 200g (麺重量)	小学校低学年 140g 中学年 160g 高学年 180g 中学校 200g (麺重量)	小学校低学年 135g 中学年 155g 高学年 175g 中学校 200g (麺重量)

イ 副食

(ア) 地域食材を積極的に使用し、行事食、郷土食、季節感のある献立の配慮により、食文化を大切にした献立の工夫を行っています。

(イ) 揚げ物、焼き物、蒸し物、炒め物、あえ物、煮物等の調理形態を考慮した献立を提供しています。

(ウ) 栄養摂取の面で特に、ビタミン類、カルシウム、鉄、食物繊維の摂取に配慮しています。

ウ アレルギー対応食提供事業

(ア) 本市では、食物アレルギーをもつ児童・生徒に対して平成11年1月から、個々の症状に応じたアレルギー対応食を提供しています。(令和5年5月1日)

西部学校給食センター	71人	安曇小中学校	0人
東部学校給食センター	47人	奈川小中学校	0人
梓川学校給食センター	12人	大野川小中学校	0人
波田学校給食センター	14人		
四賀学校給食センター	4人	(西部・東部の小学校新1年は7月から対応)	

(イ) 「松本市学校給食アレルギー対応食提供事業実施要綱」に基づき、学校・保護者・学校給食課との事前協議を行い、教育委員会で審査の後、給食を提供しています。

(ウ) アレルギー専用調理室において、除去すべき食材が混入しないよう細心の注意を払い調理をします。

(エ) 専用の容器に盛りつけ、専用ケースで各学校へ配送しています。

(オ) 安全な給食提供のため、保護者、学校、学校給食課の連携強化をさらに図ります。

4 施設設備の概要

(令和5年4月1日)

施設名称 (所在地)	敷地面積 (延床面積)	建物構造	工事費
西部学校給食センター (野溝西3丁目6番1号)	6,969.21 m ² (3,587.61 m ²)	鉄骨造 2階建て	28億7,300万円 (用地費) 5億4,739万円 (工事請負費) 17億6,578万円 (備品購入費他) 4億7,173万円 (厨房除害施設) 8,715万円
東部学校給食センター (大字原7番地1)	7,705.90 m ² (4,062.46 m ²)	鉄骨造 2階建て	26億3,038万円 (用地費) 3億7,197万円 (工事請負費) 20億6,246万円 (備品購入費他) 1億9,595万円
梓川学校給食センター (梓川梓755番地) 梓川小学校敷地内	1,140.55 m ² (820.55 m ²)	鉄骨造 平屋建て	2億 200万円
波田学校給食センター (波田10286番地1) 波田小学校敷地内	546.35 m ²	鉄骨造 平屋建て	当初建設費 1,922万円 増改築費 9,513万円
四賀学校給食センター (会田1113番地) 四賀小学校敷地内	393 m ²	鉄骨造 平屋建て	2億4,192万円

5 栄養摂取基準 (令和5年度)

児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準

成分項目	児童(6~7歳)	児童(8~9歳)	児童(10~11歳)	生徒(12~14歳)
エネルギー(kcal)	530	650	780	830
たんぱく質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の13%~20%			
脂 質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20%~30%			
ナトリウム(食塩相当量)(g)	1.5未満	2未満	2未満	2.5未満
カルシウム(mg)	290	350	360	450
マグネシウム(mg)	40	50	70	120
鉄(mg)	2	3	3.5	4.5
ビタミンA(μgRAE)	160	200	240	300
ビタミンB1(mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2(mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC(mg)	20	25	30	35
食物繊維(g)	4以上	4.5以上	5以上	7以上

6 学校給食センター再整備事業

松本市には西部学校給食センター、東部学校給食センター、波田学校給食センター、梓川学校給食センター、四賀学校給食センターの5つのセンターで約18,000食の給食を提供しています。

これらのセンターのうち、四賀を除く4つのセンターは建設から年数が経過し、老朽化が進んでいます。とりわけ、波田センターは建築後51年、梓川センターは建築後34年が経過しており早急に対応を検討しなければならない状況にあり、また西部センターも大規模改修の時期に来ています。

これらのことから、学校給食センターの再整備基本計画の策定に向けての基本的な考え方について検討しました。

(1) 再整備基本方針

松本市の学校給食センター再整備に向けて、令和3年度以来、複数の再整備プラン案をもとに検討を重ね、市民説明会の意見等を反映したうえで再整備基本方針を策定しました。

ア センター方式での再整備 最新の設備・効率的な調理導線を備えた高機能センターを整備

(ア) 最大調理能力6,000食の高機能中規模センターを適地に2施設建設しリスク分散

(イ) パススルー方式のスチームコンベクションオープン等の高機能調理機を導入し効率的な調理を実施

(ウ) 東部センターを新センターと同様な機能を持つ、6,000食規模のセンターに大規模改修

(エ) 1カ所目のセンターを建設後、波田学校給食センター、梓川学校給食センターを廃止

イ 質の高い学校給食の実現 波田・梓川学校給食センターの給食提供の質を維持

(ア) 2本献立(2コース)を1,500食4ライン調理にすることにより、調理時間に余裕を持たせる

(イ) 調理時間の短縮により、調理前の手作り作業の時間を増やし、メニューの多様化(手捏ね、野菜の手切り、焼き物の味付け、手作りソース等)

(ウ) 調理食数を1,500食にすることにより、地元で採れた野菜・果物などの使用増

(エ) 栄養士増員により食育を充実させ、新入児童のアレルギー対応食の提供を7月から5月へ

ウ 運営方法 安全・安心な給食提供の継続

(ア) 昭和43年2月に最初の学校給食センターを開設

(イ) 現在まで児童・生徒に安全・安心な給食を提供

(ウ) 今後も公設・公営を継続

(2) 建設候補地の選定方針及び経過

(ア) 波田・梓川学校給食センターを廃止することから、波田・梓川地区での建設を最優先に検討

(イ) 学校給食センターの建築基準法上の用途が工場となることから、市街化区域の工業系用途地域又は工業団地内での建設を検討したが、必要な敷地面積を確保等できる適地なし

(ウ) 農地は農地転用等の手続及び下水道等のインフラ整備が必要となることから、候補地としては除外していたが、上記(ア)(イ)の経過を踏まえ、農地を含め複数の建設候補地について調査検討

(エ) 廃止する梓川学校給食センターに近く、センター整備に必要なインフラの整備が容易であることなどから、梓川小学校西側の農地を候補地として選定

(オ) 令和5年5月、経済文教委員協議会で建設候補地について協議、了承を得る。

(3) 今後の進め方

今後は建設に向けた具体的な取組みと基本計画の策定を進めます。

第3編

生涯学習の推進 (社会教育)



公民館研究集会 基調講演（生涯学習課）



秋の読書週間イベント千田嘉博先生講演会
(図書館)

I 生涯学習の推進

1 概要

近年の急激な社会構造の変化（少子高齢社会・情報化社会等）を背景とした学習需要の多様化に伴い、社会教育行政においては、身近な生活の場所で誰もが、いつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう、ハード、ソフト両面の条件整備が求められています。

そこで、松本市教育振興基本計画に掲げる、「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」の実現に向け、多世代の多様なニーズに応じた学習機会や施設等の充実を図り、誰もが豊かな人生を送り、活躍できる生涯学習社会を目指します。

2 重点施策

(1) 生涯学習の推進

- ア 学習情報の収集と提供
- イ 地域の人的・物的資源の発掘と連携による特色ある地域づくりの促進
- ウ 自発的活動の支援
- エ 生涯学習の啓発
- オ 市民活動などのコーディネート

(2) 社会教育施設の整備等

- ア 地区公民館等の整備・改修
- イ 町内公民館の整備促進

3 事業の内容

(1) 公民館活動の推進（「II 公民館の学びを通じた地域づくり」参照）

社会教育・地域づくりの拠点として公民館を活用・整備し、学習機会の充実・松本らしい地域づくりを目指した活動を推進しています。

(2) 生涯学習の推進

- ア 松本市出前講座「いい街つくろう！パートナーシップまつもと」の実施

(ア) 経過

市民と職員とがパートナーとなり、協働して街づくりを進めるため、出前講座を開講しています。

現在市が行っている業務や政策の中から、市民の生活に密着したものなど130講座をメニュー化し、要望に応じて担当職員等が地域に出向き講座を実施しています。

(イ) 現状

市関係課等の協力を得て、講座の新設や見直し等を行っています。

令和4年度実績 380回 16,943人参加

実施した主な講座は、交通安全、防災、子育て、健康等

- イ 生涯学習情報誌「学びの森いんふおめーしょん」の発行

市民の生涯学習活動を支援するため、生涯学習支援登録団体及び関係機関の情報を収集して、

町内回覧、公共施設での配布及び市公式ホームページにより情報提供を行っています。

(7) 発行回数

年4回（5月、8月、11月、2月）

(イ) 主な掲載内容

a 生涯学習情報 …… 市民が参加できるイベントに関する情報

b 生涯学習ファイル …… 市内近郊で活動している団体の会員募集情報

ウ 生涯学習支援登録制度による情報提供

市民の多様な生涯学習を支援するため、地域に在住する専門的な知識、経験を有する指導者や自発的活動を行っているグループ等の情報を登録し、市公式ホームページ等を利用した情報提供を行っています。

[登録数]（令和4年度末現在）

指導者 159名、グループ 401団体

(3) 社会教育施設の整備等

社会教育・地域活動の充実に寄与することを目指して、中央公民館及び地区公民館（35館）等の社会教育施設を整備しています。重点課題として施設の機能維持・ユニバーサルデザインの導入・エコ改修に取り組んでいます。

ア 社会教育施設等の整備状況（令和4年度実施）

区分	事業名	事業内容	事業費 (千円)
社会教育施設	奈川文化センター夢の森（奈川公民館）中間改修工事	建設から28年を経過した施設の中間改修工事を行い、あわせて福祉ひろばを集約しました。	251,338
	Mウイング整備事業	中間改修第1期工事（全4期）を行いました。個別施設計画に基づき、中間改修の実施設計を行いました。	106,389
	松南地区公民館中間改修工事		11,330

イ 町内公民館整備補助金

町会が所有・管理する町内公民館の整備等について、補助金による支援を行い、一定の負担軽減を図ります。また、整備等による各施設の機能維持・充実をとおして、町会における社会教育、その他多様な住民活動に寄与します。

令和3年度から、一般改修の補助率を現行の1/2から2/3へ引き上げ、解体補助(補助率1/2、限度額200万円)を新設する等の要綱改正を行い、支援の充実を図っています。

(7) 町内公民館整備補助金交付制度概要（令和5年度）

区分		補助率	限度額
建物	新築	未設置町会等	2/3 1,000万円（福祉関連含む）
		既設置町会等	1/2 1,000万円（福祉関連含む）
	改築	1/2	1,000万円（福祉関連含む）

	増 築	1/2	600 万円 ただし、新改築時補助を受けている場合は、400 万円
	改 修	2/3	一般改修 (500 万円)
		2/3	福祉関連・耐震補強 (500 万円)
	既設置建物取得	1/2	800 万円
	未設置建物取得	2/3	1,000 万円
土地	敷地取得	2/3	1,000 万円 (建築基準法に基づき適正面積で計算) 1 回のみ
	借地・借家	1/2	5 万円
	解体除却	1/2	200 万円

※ ただし、2館目以降の限度額は、上記の金額の8割とする

(1) 補助金交付件数

年度	新築	改築	増築	改修	解体	取得		福祉	耐震	借地	借家	合計 件数	金額
						建物	敷地						
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	千円
R2	0	1	1	79	-	0	1	11	0	38	3	134	84,167
R3	0	2	0	76	3	0	1	7	1	36	3	129	97,053
R4	0	1	0	97	1	0	0	12	1	33	2	147	81,275

ウ 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震化事業

(ア) 事業概要

平成22年度に実施した耐震予備診断の結果において、基準値を満たさない項目があったため、文化庁が定めた「重要文化財（建造物）耐震診断指針」に沿い、耐震化事業を進めています。

平成26・27年度に耐震基礎診断を実施。平成28年度は壁の耐久力実験を行い、データに基づいた補強案を作成しました。また、重要文化財旧松本高等学校保存活用計画策定委員会を設置し、建物の保護と活用の方針を検討し、防災計画を含めた保存活用計画の策定をしました。

平成29年度は文化庁指導の基、「糸魚川-静岡構造線断層帯」を起因とする地震動を考慮した追加の耐震基礎診断を実施し、その結果を踏まえた耐震補強工事の実施設計を行いました。平成30年度から講堂、本館の順に6年間の計画で耐震補強工事を進めています。

(イ) 今後の取組み

令和2年度に着手した本館耐震化工事は、令和5年度が最終年度となります。工区毎に部分休館しながら耐震補強工事を行います。

(4) 青少年ホームの活動

平成27年に勤労青少年福祉法が改正され、勤労青少年ホームの設置根拠が削除されたことに伴い、条例を改正して、平成29年4月から名称を松本市勤労青少年ホームから松本市青少年ホームと改称し、対象者を35歳未満の勤労青少年から15歳以上35歳未満の青少年一般としました。

若者が気軽に集まれる魅力ある居場所づくりを通じ、自分づくり、仲間づくりを進めるとともに、ひきこもりの若者を含め、社会で生きていく力を培うことを支援しています。

また、若者が成長し、社会で活躍できるように、若者の多様な社会参画を進めています。

ア コーディネーターと連携し、ひきこもりの若者も参加しやすい講座、イベントの実施

イ 若者に人気のある運動・文化系の講座「ヤングスクール」の実施

ウ 青少年の将来の選択肢を広げる「職人から学ぶ講座」、キャリアアップセミナーの実施

エ 若者が自由に過ごし、交流できるゆるやかな居場所スペースとして「若者カフェ」の開設

オ ひきこもりの若者に対し、家族や地域住民が気持ちを理解し、支援することを目的とした「ひきこもり支援研修会」の実施

カ 若者が地域や企業に働きかけ、まちづくりに参加する「松本若者会議」の参加・協力

キ 青少年ホーム利用者の会の自主活動、所属クラブの育成・支援

ク 若者の職業生活や人生問題等に関する相談事業「若者お悩み相談室」の開設

ケ 二十歳の対象者で構成する実行委員会による、ハタチの記念式典の企画、運営の実施

青少年ホームの活動状況

年度	登録者数 (人)	平均年齢 (歳)	開館日数 (日)	利用状況(人)		
				計	ホーム	体育館
R2	198	27.5	297	4,304	1,565	2,739
R3	178	27.9	296	3,570	1,564	2,006
R4	167	27.4	297	6,149	3,820	2,329

(5) 松本市ハタチの記念式典

二十歳の方々の門出を祝い励まし、故郷松本の良さを再認識することで、将来松本にUターンし、活躍する若者を増やすことを目的に、毎年開催しています。平成29年度(平成30年松本市成人式)から、教育委員会が担当で取り組んでいます。

ア 年度別参加者

年度	令和元年度 (令和2年成人式)	令和2年度 (令和3年成人式)	令和3年度 (令和4年成人式)	令和4年度 (ハタチの記念式典)
参加者	1,938人	803人※1	1,801人	1,740人

※1 令和3年成人式は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止としましたが、開催を求める声が多数寄せられ、令和4年8月に「令和4年成人のつどい」として開催。

イ 成年年齢引き下げについて

令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、これまで「成人式」として行ってきた式典について、令和5年1月開催式典から、「ハタチの記念式典」に名称を変更しました。対象については、従来通り成人の日の前年4月2日からその年の4月1日までに20歳になる方を対象としています。

4 社会教育施設

(1) 松本市あがたの森文化会館

第一期地名校の誇り、大正ロマンあふれる木造校舎 市民や同窓生の熱意によって保存された建物は、今も多くの市民の学びの場として愛されています。			
位 置	松本市県3丁目1番1号	電 話	32-1812
概 要	<p>あがたの森文化会館は、大正8年に開校した旧松本高等学校校舎の保存と活用のため、昭和54年に開館しました。大正9年から11年にかけて建築された校舎は、昭和25年の松本高等学校閉校後も信州大学の文理学部・人文学部校舎として使用されたことにより、全国的に旧制高等学校の遺構が少なくなっている中で、大正時代の木造洋風建築がもっとも良好に保存されているものといわれており、学校建築史上貴重な建造物として重要文化財の指定を受けています。</p> <p>現在は、校舎を文化財として保存するとともに、市民の教育文化活動施設として活用しています。(図書館併設)</p>		
沿 革	<p>大正 7年 松本市に高等学校設置決定 大正 8年 4月 松本高等学校設立、同年9月に松本中学校校舎を仮校舎として開校 大正 9年 8月 県町(現在地)に校舎(本館)が落成 大正 11年 9月 講堂が建てられ全校舎落成 昭和 24年 5月 国立新制大学が発足、信州大学文理学部が設置される。学部再編後は人文学部校舎となる 昭和 48年 4月 人文学部が旭町キャンパスに移り、校舎は閉鎖される 昭和 52年 3月 松本市が建物及び敷地の一部を国から買い取り、文化財としての保存と活用を決め、以後施設の補修等実施 昭和 54年 10月 『あがたの森文化会館』として開館。公民館、図書館を併設 昭和 56年 2月 本館、講堂とも長野県宝に指定される 平成 19年 6月 本館、講堂が重要文化財に指定される</p>		
文化財の種類	重要文化財	指定日	平成19年6月18日
名 称	旧松本高等学校本館・講堂	構 造	木造2階建て
建物延面積	3,611.11㎡	開 館	昭和54年10月1日
休 館 日	毎週月曜日、12月29日～翌1月3日、日曜日以外の祝日(月曜日が祝日及び振替休日の場合は月・火曜休館)		

ア 施設内容

区 分	部 屋 数	収容人員(人)	面 積 (㎡)	備 考
ホ ー ル	1	350	331	
大会議室	4	50~100	455	
中会議室	10	30~50	663	
小会議室	5	25	183	

あがたの森図書館については別頁掲載

イ 使用料及び冷暖房料

(単位：円)

区 分	午 前	午 後	夜 間	午前～午後	午後～夜間	全 日	上段：冷房料 下段：暖房料 (1 回)
	9:00～12:30	13:00～17:00	17:30～22:00	9:00～17:00	13:00～22:00	9:00～22:00	
ホール	1,780	3,140	4,400	4,670	7,160	8,380	3,240 1,780
大会議室	830	1,040	1,250	1,770	2,170	2,800	1,460 830
中会議室	730	940	1,150	1,580	1,980	2,530	1,460 830
小会議室	520	620	730	1,080	1,280	1,680	— 410

※ 冷暖房の1回とは午前、午後、夜間をそれぞれ単位とする

※ 企業等が入場料等を徴収しないで使用する場合は200/100に相当する額、入場料等を徴収して使用する場合は250/100に相当する額とする

ウ 利用実績

年 度	利用者総数 (人)	利用総件数 (件)	減免団体利用件数 (件)	使 用 料 (円)
R2	24,867	2,366	1,936 (244)	1,876,640
R3	26,951	3,093	2,626 (228)	2,287,590
R4	29,237	3,309	2,809 (218)	2,809,600

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で4月中旬～6月下旬まで貸館停止、耐震補強工事の影響で4月の講堂貸館を停止

※ 令和3年度は本館南棟について耐震補強工事の影響で部分的に貸館を制限した期間があったほか、新型コロナウイルス感染症の影響で貸館利用を自粛した期間あり(9月上旬～下旬、1月中旬～2月下旬)

※ 令和4年度は耐震補強工事に伴い、本館北棟と南棟一部に貸館の制限あり。

(2) 松本市教育文化センター

——宇宙や科学にふれて学べる空間——			
科学、天文、ICT（プログラミング、機械制御）について楽しみながら学べる施設です。			
位 置	松本市大字里山辺2930番地1 (旧里山辺小学校跡地)	電 話	32-7600
概 要	教育活動の中心機関として学校教育、社会教育相互に連携を図りながら児童生徒、市民に学習の場を提供しています。		
構 造	鉄筋コンクリート造3階建 (一部地下1階塔屋2階)	建 物 延面積	4,135.45㎡
総工費	1,338,700千円	開 館	昭和58年10月1日
休館日	月曜日(祝日の場合はその翌日)・12月29日～翌1月3日		
管理運営	昭和58年10月 財団法人松本市教育文化振興財団へ管理運営を委託 平成9年4月 松本市が直営		

ア 施設内容

	区 分	部屋数	面積(㎡)	備 考
一階	山辺教育支援センター	6	212.87	・相談室(2室)、遊戯療法室、観察室、検査室、待合室
二階	教 育 館	5	189.05	・中会議室(51人収容)、小会議室(12人×4室)
	大 会 議 室	1	117.27	・75人収容
	小 会 議 室	1	87.00	・12人収容
	科 学 博 物 館	3	476.82	・プラネタリウム(90人収容)、科学展示室、天体観測室(塔屋2階)
三階	視 聴 覚 セ ン タ ー	7	765.53	・視聴覚ホール(168人収容)、研修室(42人、8人)、教材制作室(2室)、科学スタジオ(1室)

イ 使用料及び冷暖房料

室 名	区 分	午 前 (円)	午 後 (円)	夜 間 (円)	午前～午後 (円)	午後～夜間 (円)	全 日 (円)	収容人数 (人)
視 聴 覚 ホ ー ル	料 金	4,400	5,440	6,600	9,340	11,430	14,790	168
	冷暖房	3,240	3,240	3,240	6,480	6,480	9,720	
大会議室 206	料 金	1,670	1,880	2,200	3,370	3,870	5,170	75
	冷暖房	1,150	1,150	1,150	2,300	2,300	3,450	
中会議室 201	料 金	1,150	1,360	1,570	2,380	2,780	3,670	51
	冷暖房	830	830	830	1,660	1,660	2,490	
小会議室 200、202 ～205	料 金	310	410	520	680	880	1,110	12
	冷暖房	310	310	310	620	620	930	

※ 入場料又はこれに類するものを徴収して施設を使用する場合は、当該区分に定める額の200/100に相当する額とする

ウ 観覧料

(ア) プラネタリウム

(単位：円)

区 分	大人	小人：中学生以下	備 考
個 人	520	無料	投映日及び時間 ・土曜日、日曜日、祝日 10:00～、11:15～、13:30～、14:45～ ・小中学校の長期休業中（月曜日を除く） 10:00～、11:15～
団 体 (20名以上)	410	無料	

(イ) 科学展示室

(単位：円)

区 分	大 人	小人：中学生以下	備 考
個 人	無料	無料	平成27年4月1日から無料
団 体 (20人以上)	無料	無料	

エ 利用実績

年度	区分	会議施設等		プラネタリウム (天体観測室含)		科学展示室	
		件 数 (件)	使 用 料 (円)	観覧者数 (人)	観 覧 料 (円)	観覧者数 (人)	観 覧 料 (円)
R2	有料	112	1,281,520	1,319	683,240	—	—
	無料	126	—	4,918	—	2,339	—
	計	237	1,281,520	6,237	683,240	2,339	—
	備考	延利用人数 10,312人		延投映日数 一般投映 特別投映	201日 146日 55日	延開館日数 263日 ※教文学習等の昼休み展 示室開放人数を除く。	
R3	有料	165	1,346,420	1,961	1,010,150	—	—
	無料	241	—	10,070	—	5,097	—
	計	406	1,346,420	12,031	1,010,150	5,097	—
	備考	延利用人数 22,746人		延投映日数 一般投映 特別投映	244日 213日 31日	延開館日数 308日 ※教文学習等の昼休み展 示室開放人数を除く。	
R4	有料	307	1,638,875	2,052	1,058,460	—	—
	無料	406	—	10,881	—	5,411	—
	計	713	1,638,875	12,933	1,058,460	5,411	—
	備考	延利用人数 20,932人		延投映日数 一般投映 特別投映	208日 123日 85日	延開館日数 308日 ※教文学習等の昼休み展 示室開放人数を除く。	

(3) 池上百竹亭

呉服商・池上喜作が多く文化人と交流を深めたゆかりの旧邸。茶道、華道等の学習活動にご活用いただけます。			
位 置	松本市丸の内10番31号	電 話	32-0141
概 要	故池上喜作氏の遺族から建物の寄贈を受けて、住居、茶室、庭園等を整備し、市民に広く施設の提供を行うことにより、教育文化活動の振興を図っています。		
開館時間	午前9時～午後9時	敷地面積	1,038.74 m ²
施設面積 (建物)	居 宅 122.60 m ² 茶 室 16.52 m ²	施設面積 (庭園)	茶 庭 約95.75 m ² 日本庭園 約216.00 m ²
休 館 日	月曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日にあたる場合は、当該日以外の休日に当たらない最初の日）、12月29日～翌1月3日		
管理運営	指定管理者制度を導入 平成19年 (社)松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託 平成23～28年 (一社)梓川ふるさと振興公社を指定管理者として管理委託 平成29年～ (公社)松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託		

ア 使用料及び器具使用料

(単位：円)

使用区分	午前	午後	夜間	午前～午後	午後～夜間	全日
上座敷	310	410	520	620	830	1,040
下座敷	310	410	520	620	830	1,040
中の間	310	410	520	620	830	1,040
茶室	3,240	3,240	3,240	6,180	6,180	8,900
ストーブ	1台1回410円					

イ 利用実績

年度	開館日 (日)	利用日 (日)	利 用 内 訳 (件)				使用料 (円)
			公的団体等	文化団体	そ の 他	総 数	
R2	307	104	1	71	40	112	66,450
R3	311	145	0	57	83	140	178,620
R4	313	204	9	137	109	255	289,240

(4) ふれあいパーク乗鞍

様々な学習活動に対応した「ふれあいパーク乗鞍」は、周辺の豊かな自然を活用した幅広い学習にご利用いただけます。			
位 置	松本市安曇4855番地100	電 話	93-1122
概 要	旧安曇村時代に一般廃棄物最終処分場を当地に建設するにあたり、その影響を少しでも緩和し、地域のコミュニティ形成の一助とする目的で建設されました。		
構 造	鉄骨造平屋建	敷地面積	11,997 m ²
施設面積	979.15 m ²	建設費	318,627 千円
施設内容	多目的ホール、カルチャー教室、調理室、和室、事務室、団らんホール、屋根付広場、自転車置場、駐車場		
竣 工	平成15年3月31日	開 館	平成15年4月1日
開館時間	午前9時～午後9時	休 館 日	12月29日～翌1月3日
管理運営	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度から指定管理者制度を導入 指定管理者 ふれあいパーク乗鞍管理委員会 		

ア 使用料及び器具使用料

区分		単位	金額(円)
施設	多目的ホール	1日1回	1,020
	カルチャー教室		1,020
	畳室		1,020
	調理室		1,020
	全館		5,140
器具	陶芸窯	1回	3,080
	土練機		1,020
	プロジェクター		1,020
	音響機器(一式)		1,020
	そば打ち道具(一式)		1,020

イ 利用実績

年度	利用件数(件)			利用者数(件)			使用料(円)
	有料	無料	総数	有料	無料	総数	
R2	6	102	108	58	1,131	1,189	15,640
R3	11	135	146	100	1,707	1,807	27,080
R4	8	147	155	141	1,677	1,818	22,950

(5) 奈川文化センター夢の森

奈川地区の拠点として、また都市農村交流による活性化促進施設として設置された本施設は、コンベンションホールを活用した芸術・文化活動をはじめ、様々な学習活動にご利用いただけます。

位 置	松本市奈川3301番地	電 話	79-2304
概 要	旧奈川村時代に村の活力低下、山村の課題解決のため、村の風土・文化にふさわしい価値観や自然を最大限に活かした、都会にはないゆとりとふれあいの里を創造していく目的で建設されました。		
構 造	鉄筋コンクリート造3階建	敷地面積	17,456㎡
施設面積	2,448.61㎡	建設費	1,199,300千円
施設内容	コンベンションホール、会議室、調理室・図書室、和室、事務室、視聴覚室、茶室、駐車場		
竣 工	平成6年6月	開 館	平成6年7月14日
開館時間	午前9時～午後9時	休 館 日	12月29日～翌1月3日、祝日

ア 使用料

(単位：円)

区分	9：00～17：00 (1時間につき)	17：00～21：00 (1時間につき)	全日
コンベンションホール	3,300	3,840	33,000
1階ホール	220	320	2,200
2階ホール	220	320	2,200
会議室	220	320	3,300
視聴覚室	540	760	7,700
実習室	440	660	5,500
研修室	440	660	5,500
和室	440	660	5,500
全館	5,500	7,700	55,000

※冷房又は暖房を使用するときは、当該区分の定める額の130/100に相当する額

イ 利用実績

年度	利用件数 (件)			利用者数 (件)			使用料 (円)
	有料	無料	総数	有料	無料	総数	
R2	1	209	210	10	3,562	3,572	440
R3	8	432	440	77	3,635	3,712	3,300
R4	7	404	411	70	3,402	3,472	2,200

松本のお宝は松本城だけじゃない！

第2回

歩いて探そう！
お宝探訪
ウォークラリー

地域再発見！

主催：まちなかウォークラリー実行委員会
(第一地区・第二地区・第三地区・東部・城東・大手公民館)
共催：各地区地域づくりセンター（福祉ひろば）

令和5年3月21日（火・祝）
10時00分～13時00分
Mウイング6階 ホール

参加費 無料

昨年度好評だった講座の第2回！
普段何気なく歩いているけど、実は市街地には隠れた名所がいっぱいあります！
見過ごしがちな松本市街地の名所をウォークラリーしながら見つけてみませんか？

お宝探訪ウォークラリー 募集チラシ
（第一、第二、第三、東部、城東、大手公民館）

松本市広報 No.4-10
内田公民館だより No.4-14
令和4年9月28日
発行：内田公民館

夜の
馬場家探検
&内田ナイトウォーキング

10月28日 金

午後6時集合（1時間程度）

- ☆ 集合場所 内田公民館
- ☆ 申込み 公民館窓口、電話、FAX、E-mail(裏面参照)
- ☆ 距離 約2.6km(往復)
- ☆ 対象 どなたでも参加OK
※中学生以下のお子さんは保護者同伴
- ☆ 定員 20名程度
- ☆ 持ち物 動きやすい服装、懐中電灯、反射材、雨具

参加無料

主催 内田公民館、内田地区福祉ひろば、馬場家住宅

馬場家探索&内田ナイトウォーキング
募集チラシ（内田公民館）

あかちゃんのタッチケア講座

タッチケアって？
赤ちゃんが寝てくつめ合い、抱っこしながら赤ちゃんの肌触りにしっかり触れてあげたり、マッサージをしてあげたりするスキンシップの方法の一つです。

※対象 岡田地区に住んでいる
歩き出す前の赤ちゃんとその保護者

※講師 中野 明子さん（助産師）

【日時】 令和4年11月25日（金）
午前10:00～11:00

【場所】 岡田地区福祉ひろば（松本市岡田町517-1）

【持ち物】 バスタオル
ベビーオイル（なくてもOK！）
母子手帳（計測をご希望の方のみ）

【申込み】 11月16日（水）午前9時から
岡田公民館へ電話（☎46-2313）またはQRコードから
※定員10組とさせていただきます。

【その他】
※参加費は無料です。
※保護者の方はマスクの着用をお願いします。
※発熱や体調不良のある方は参加をお控えください。
※新型コロナウイルス感染状況等の理由で事業を中止することがあります。ご承知おきください。

参加費 無料

ひろばや公民館を利用したことない方も大歓迎！！

主催：岡田地区福祉ひろば、岡田公民館
松本市保健所健康づくり課

あかちゃんのタッチケア講座
募集チラシ（岡田公民館）

地区公民館×中央図書館コラボ企画

参加費 無料

敵を知り倒す！外来種駆除体験講座

外来植物に悩まされていませんか？

河川敷、公園、おうちの庭など私たちの身近にいる外来植物。普段から目にしているあの植物も実は外来種かもしれません。外来種には、生態系、人の生命や身体に影響を及ぼすものもいます。松本の自然を守るため、本と知識を武器と一緒に戦いましょう！

【知る！】
日時 4月17日（月）午前9時30分～正午
会場 中央図書館
内容 図書館の使い方、目的の本へとり着く方法を学びます。植物や園芸の本、外来種に関する本を探してみよう！意外な発見があるかも！

申込み 庄内地区公民館（詳細は裏面をご覧ください。）

【倒す！】
日時 5月22日（月）午前10時～正午
会場 市内の河川敷（申込み受付後に別途ご案内）
内容 講師からのレクチャーを受け、実際に外来植物の駆除を体験します。
講師 高野 宏平 氏（長野県環境保全研究所 自然環境部研究員）
持ち物 申込み受付後に別途ご案内

【主催】庄内地区公民館、和田公民館、内田公民館、中央図書館

外来種駆除体験講座 募集チラシ
（庄内、和田、内田公民館、中央図書館）

Ⅱ 公民館の学びを通じた地域づくり

1 概要

超少子高齢型人口減少社会に対応したまちづくりに向け、主役である市民が身近な地域で学び、考え、具体的に実践する機会が必要となっています。

また、地域では、地域連帯意識の希薄化や家庭機能の低下など、課題の増大や複雑化に伴い行政だけの解決、また地域だけの解決は困難な状況となっています。

このような現状の中で、本市の公民館は、松本市教育振興基本計画のもと、市民一人ひとりの幅広い学習や活動を支援し、総合的な地域づくりの拠点としての役割を担うことができる体制づくりを進めるとともに、学習活動などを通じて地域課題と向き合い、市民自らが地域課題の解決に向けた学習機会を充実させ、実践していく、松本らしい地域づくりをめざした公民館活動を展開しています。

2 重点施策

- (1) 松本らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連帯を育む学習機能の充実を図ります。
- (2) 人権尊重のための学習活動を進めます。
- (3) 男女共同参画社会をめざして、女性問題等解決のための啓発学習を進めます。
- (4) 少子高齢・国際・情報化社会に対応する学習活動の推進を図ります。
- (5) 町内公民館の振興と活動支援を図ります。
- (6) 住民主体の公民館活動推進のリーダーとなる公民館委員の組織強化を図ります。
- (7) ふるさとづくり、まちづくりのため、地域の歴史の掘り起こしと伝承文化の振興を図ります。
- (8) 住民の自治能力を高めるための学習活動を進めます。
- (9) 市民のニーズに合わせた生涯学習活動の推進のための支援体制の整備を行います。
- (10) 次代を担う青年の学習・相談、クラブ活動等の場の提供と講座・行事を開催します。

3 公民館事業の概要

(1) 令和5年度中央公民館主要事業計画

項目	主な事業名	実施時期	事業内容
	第39回公民館研究集会 (未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い)	2月	住民・大学・NPO等や市関係部局の幅広い参画により、自治を基盤とした協働の実践事例を題材に、自治力の必要性や高め方、協働のあり方等について考える集会を開催
	町内公民館館長研修会	通年	町内公民館長の資質向上のための研修 ・新任町内公民館長研修会(2つのブロックに分けて開催、6月) ・ブロック別研修会(7月～8月) ・ほか女性館長研修、理事研修など(随時)
地域交流・まちづくり事業	聴覚障がい者と学ぶ成人学校	10月～2月	障がい者とともに暮らす地域づくり事業
	手話教室	5月～2月	初心者を対象にした、やさしい日常会話からの手話教室と、通訳者レベルを見越した中級者教室、高校生向け手話教室を開催
	第13回こいこい松本 松本国際ふるさと祭り	6月	多文化共生社会の実現をめざしたふれあい交流会
	日本老民考学習会	通年	地域福祉、時事ネタ(原発・憲法)等について学ぶ事業
日本語講座		通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める

項目	主な事業名	実施時期	事業内容
	木曜午前ボランティア日本語教室	通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める
	松本市ヤングにほんご教室	通年	学齢期を過ぎた外国由来の青少年への学習支援
	松本みんなのにほんご教室	4月～2月	学齢期を過ぎた外国由来の青少年への学習支援、就学・就労希望の外国籍住民への日本語支援
	コミュニティスクール事業	通年	子どもたちを地域全体で見守り育てる「地域に開かれた学校」をつくることを目指す（市内全地区／35地区で実施）
	市民教育講座	3月	地域活動実施団体（若者団体）等の活動事例の発表の場・学習会
	松本市出前講座	通年	より開かれた市政と、市民と協働のまちづくりを推進
	第23回松本手まり時計まつり	5月	Mウイング公益施設及び利用団体がタイアップして実施
文化活動	芸術文化祭	4月～1月	第64回松本市芸術文化祭
	公民館活動発表会	5月	第45回公民館活動グループ発表会（ステージ部門・展示部門）
	お城盆踊り	8月	第75回お城盆踊り
広報活動	公民館報の発行	年6回	全市版、地域課題や学習資料の提供
	資料集等の作成	通年	公民館活動資料
	人権教育	通年	学級講座、各地区懇談会等
町内公民館活動	町内公民館長会	通年	住民の自主的な社会教育活動推進への援助

(2) 令和4年度各公民館共通事業

項目	実施時期	実施内容	主な事業内容
人権教育	4月 ～3月	人権教育をあらゆる事業の中に入れ、差別を許さない、差別をしない明るい社会づくりを進めます。	学級講座、各地区懇談会、町内懇談会、隣組単位集会、各種指導者研修会、各種啓発事業
町内公民館活動の推進	4月 ～3月	町内公民館の自主的な活動の推進を図るため各町会へ委託料を交付するとともに、館長研修会、町内公民館との共催講座等を実施します。	町内公民館振興業務委託 町内公民館長研修会 町内公民館学級講座
芸術文化活動	4月 ～3月	市民の自主的な芸術文化活動の助長を図り、更に芸術文化の香り高い市民性の涵養と親睦を深めます。	地区文化祭、史跡の愛護保護、盆おどり、伝承文化の継承
スポーツ活動	4月 ～3月	スポーツを通し、健康の保持、スポーツの向上を図るとともに地域社会づくりの協調性を養い、親睦を深めます。	市民スポーツ大会参加、地区運動会、各種スポーツ大会の開催、スポーツ教室の実施
視聴覚教育	4月 ～3月	各種講座及び町内公民館活動等の中に視聴覚機材の活用を積極的に図ります。	VTR・OHP・パソコン等の活用、映画会等の開催
広報活動	4月 ～3月	学習課題や地域住民のための身近な資料の提供や、住民の意向を反映させる館報等の発行	各地区版公民館報隔月年6回発行 各種お知らせ（公民館ニュース他）
地域づくり	4月 ～3月	地域の課題を共有し、課題解決へ向けた学習と実践を展開しながら、地域連帯を育みます。	地域交流ネットワーク事業として、地域資源や機能を活用した総合的な地域づくりを展開 地区担当職員による学習会の実施
青少年教育	4月 ～3月	各地区子ども会育成会などと連携を密にし、地域ぐるみで次代を背負う青少年の健全な育成活動を推進します。	松本子どもまつり参加、講演会、各種スポーツ大会、映画会、遊びと伝統行事の伝承等事業
図書活動	4月 ～3月	図書館の配布所として各公民館に300～800冊の本を配布し巡回方式により、住民に提供します。図書館との連携を図りながら町会を単位とする身近な文庫活動を支援します。	地区公民館配本、町会文庫配本 こども文庫活動促進 読み聞かせ、創作絵本活動 パネルシアターの実施
食育事業	4月 ～3月	食生活の改善など自ら「食」の在り方を学ぶことにより生涯にわたって生きいきと暮らすことを目指します。	料理教室、食に関する講演会、地域食生活改善協議会・健康づくり推進員等との連携による事業の展開

4 公民館施設一覧

名 称	位 置	沿 革	公民館 床面積 (㎡)
中央公民館	中央1丁目18番1号 (0263-32-1132)	大正6年10月 松本市公会堂として建築 昭和22年4月 松本市公民館として発足 昭和23年10月 松本市第1公民館と呼称 昭和27年6月 松本市公民館と呼称 昭和34年4月 松本市中央公民館と呼称 昭和40年5月 解体のため仮事務所へ移転 昭和41年7月 厚生文化会館へ移転 昭和60年4月 厚生文化会館の廃止に伴い独立館として発足 平成11年4月 中央西開発ビル公益施設内へ移転新たに女性センターを設置、働く婦人の家を付属施設とし、勤労青少年ホーム業務を労政課から移管 ※勤労青少年ホーム 松本市芳野4-1 ※働く婦人の家 松本市中央4-7-28 平成12年4月 女性センター、働く婦人の家を男女共生課へ移管	5,381.55
第一地区公民館	中央1丁目18番1号 (0263-32-1550)	平成22年4月 Mウイング内に地区公民館(事務室のみ)として発足	104.39
第二地区公民館	本庄2丁目3番23号 (0263-39-3601)	平成10年4月 地区公民館として発足	706.86
第三地区公民館	中央4丁目7番28号 (0263-36-7040)	昭和54年10月 中央公民館分館(あがたの森公民館)として発足 平成20年4月 地区公民館として発足	445.97
東部公民館	女鳥羽2丁目1番25号 (0263-36-8565)	平成9年4月 地区公民館として発足	632.72
城北公民館	開智2丁目3番39号 (0263-38-0120)	平成12年4月 同上	700.04
大手公民館	大手3丁目8番1号 (0263-39-5711)	平成14年7月 同上	603.27
安原地区公民館	旭2丁目11番13号 (0263-39-0701)	平成13年1月 同上	660.58
城東公民館	元町3丁目7番1号 (0263-34-0191)	平成11年4月 同上	725.13
白板地区公民館	城西1丁目6番17-3号 (0263-35-7740)	昭和57年6月 同上 平成27年4月 移転、北部から白板地区へ名称変更	696.73
田川公民館	渚3丁目2番7号 (0263-27-3840)	平成13年4月 地区公民館として発足	670.45
庄内地区公民館	出川1丁目5番9号 (0263-24-1811)	平成18年4月 同上	1,003.64
鎌田地区公民館	両島5番50号 (0263-26-0206)	昭和59年6月 同上 平成27年4月 西部から鎌田地区へ名称変更	797.31
松南地区公民館	芳野4番1号 (0263-26-1083)	昭和62年4月 地区公民館として発足 平成26年4月 南部から松南地区へ名称変更	2,060.24

併設施設	改修状況等			エレベーター 設置状況	備 考
	構造	竣工年度	改修年度		
女性センター 中央保健センター 体育館 第一地区福祉ひろば 第一地区公民館	S 地上7F地下1F	平成 10年度		平成 10年度	Mウイング(官 民共有施設)内 に設置
福祉ひろば	RC 2F	平成 9年度		平成 9年度	
トライ・あい松本 福祉ひろば	S 2F	平成 19年度		平成 19年度	トライ・あい松 本に増築
デイサービスセンター 福祉ひろば	S 2F	平成 8年度		平成 8年度	
福祉ひろば	RC 2F	平成 11年度		平成 23年度	
同上	RC 2F	平成 14年度		平成 14年度	
同上	RC 2F	平成 12年度		平成 12年度	
北部地域包括支援センター 北部ヘルパーステーション 北部保健センター	RC 3F	平成 10年度		平成 10年度	ふくふくらい ず内に設置
	RC 2F	昭和 56年度	平成 26年度	平成 26年度	
	RC 2F	平成 12年度		平成 12年度	
体育館 屋内プール トレーニングルーム	RC 地上4F地下2F	平成 17年度		平成 17年度	ゆめひろば庄 内内に設置
図書館 体育館 福祉ひろば 児童センター	RC 2F	昭和 59年度	平成 26年度	平成 26年度	
青少年ホーム 図書館 体育館	RC 3F	平成 元年度		平成 元年度	なんなんひろ ば内に設置

名 称	位 置	沿 革	公民館 床面積 (㎡)
島内公民館	大字島内 4970 番地 1 (0263-47-0264)	昭和 29 年 4 月 合併によって分館として発足 昭和 34 年 4 月 地区公民館として発足	1,115.22
中山公民館	大字中山 3746 番地 1 (0263-58-5822)	同上	742.67
島立公民館	大字島立 3298 番地 2 (0263-47-2049)	同上	714.62
新村公民館	大字新村 2179 番地 7 (0263-48-0375)	同上	523.42
和田公民館	大字和田 2240 番地 31 (0263-48-5445)	同上	590.13
神林公民館	大字神林 1557 番地 1 (0263-58-2039)	同上	662.00
笹賀公民館	大字笹賀 2929 番地 (0263-58-2046)	同上	1,321.97
芳川公民館	野溝東 2 丁目 10 番 1 号 (0263-58-2034)	同上	960.06
寿公民館	大字寿豊丘 424 番地 (0263-58-2038)	同上	709.81
寿台公民館	大字寿豊丘 649 番地 1 (0263-58-6561)	昭和 51 年 9 月 地区公民館として発足	702.82
松原地区公民館	松原 39 番地 1 (0263-57-2322)	平成 22 年 4 月 同上	481.05
岡田公民館	大字岡田町 517 番地 1 (0263-46-2313)	昭和 29 年 8 月 合併によって分館として発足 昭和 34 年 4 月 地区公民館として発足	717.10
入山辺公民館	大字入山辺 1509 番地 1 (0263-32-1389)	同上	912.90
里山辺公民館	大字里山辺 2943 番地 1 (0263-32-1077)	昭和 29 年 8 月 昭和 34 年 4 月 同上 令和 4 年 4 月 教育文化センター内から移転	1,107.37
今井公民館	大字今井 2231 番地 1 (0263-59-2001)	同上	1,121.72
内田公民館	大字内田 2203 番地 1 (0263-58-2494)	昭和 35 年 4 月 合併によって地区公民館として発足	504.98
本郷公民館	浅間温泉 2 丁目 9 番 1 号 (0263-46-1500)	昭和 49 年 5 月 同上	1,083.73
四賀公民館	会田 1001 番地 1 (0263-64-3112)	平成 17 年 4 月 同上	
安曇公民館	安曇 2741 番地の 1 (0263-94-2301)	同上	774.86
奈川公民館	奈川 2546 番地 (0263-79-2121)	同上	906.68
梓川公民館	梓川梓 2285 番地 1 (0263-78-3000)	同上	1,432.00
波田公民館	波田 4417 番地 1 (0263-92-2268)	平成 22 年 3 月 同上 平成 29 年 7 月 波田支所内に移転	1,413.54

併設施設は敷地内の施設を掲載

参考 一公民館設置基準面積一

1,200 世帯まで 450 ㎡ (床面積) 1,200~5,000 世帯まで 660 ㎡ (床面積)
5,000 世帯以上 900 ㎡ (床面積) ※出張所管内は出張所面積分 50 ㎡増

併設施設	改修状況等			エレベーター 設置状況	備 考
	構造	竣工年度	改修年度		
出張所 図書館 福祉ひろば 河西部地域包括支援センター デイサービスセンター	RC一部S 1F	平成 9年度			
出張所 福祉ひろば	RC 2F	平成 13年度		平成 13年度	
出張所 体育館	RC 2F	昭和 63年度		平成 21年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	平成 8年度		平成 25年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	昭和 62年度	平成 30年度	平成 30年度	
出張所 福祉ひろば 体育館 農村広場	RC 2F	昭和 57年度	平成 24年度	平成 24年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	昭和 61年度	平成 29年度	平成 20年度	農村環境改善 センター
出張所 福祉ひろば デイサー ビスセンター 体育館 南部屋 内庭球場	RC 2F	平成 4年度		平成 18年度	
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2F	昭和 62年度		平成 22年度	
図書館	RC 2F	平成 2年度		平成 24年度	
福祉ひろば	S 1F	平成 21年度			
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2F	平成 元年度		平成 17年度	
出張所	RC 2F	昭和 54年度	平成 16年度	平成 16年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	令和 4年度		令和 4年度	
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2F	昭和 59年度	平成 27年度	平成 19年度	農村環境改善 センター
出張所 福祉ひろば	RC 2F	昭和 61年度	平成 28年度	平成 28年度	
支所 図書館	RC 2F	平成 5年度		平成 16年度	
保健福祉センター	RC 3F	平成 14年度		平成 14年度	支所内に事務 室のみ設置
	RC 2F	昭和 53年度	平成 20年度	平成 20年度	基幹集落セン ター
	RC 2F	昭和 52年度			
	RC 2F	昭和 50年度	平成 22年度	平成 22年度	
	SRC 2F	昭和 50年度		平成 9年度	

5 利用状況並びに活動状況

(1) 中央公民館の利用状況

年 度	総 数		公 民 館		Mウイング文化センター	
	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
R2	3,153	35,993	2,721	33,486	432	2,507
R3	3,628	77,003	3,274	71,272	354	5,731
R4	4,378	103,338	3,991	96,825	387	6,513

(2) 中央公民館の活動状況

年度	学級・講座・講演会・展示会等							芸術文化
	健康福祉 スポーツ	環境問題	子ども・青少年 教 育	人権平和 男女共同参画	地域づくり まちづくり	趣味・教養	地域文化	芸術文化祭
R2	事業 2	0	0	7	2	0	1	—
	人 180	0	0	2,908	78	0	79	6,480
R3	事業 2	0	—	7	3	0	3	—
	人 54	0	—	1,456	196	0	126	5,094
R4	事業 2	0	—	7	3	0	3	—
	人 183	0	—	1,679	213	0	146	16,532

(3) 地区公民館活動状況の変移

年度	利用件数 (件)				利用人数 (人)			
	利用総件数	公民館活動以外の利用			公民館活動 の利用件数	公民館活動利用人数		
		件数 (貸館分)				学級・講座		
		総数	有料	無料		成人	女性	高齢者
	①+②	①=A+B	A	B	②	C	D	E
R2	35,702	31,504	373	31,131	4,198	10,645	1,908	2,095
R3	41,450	36,378	394	35,984	5,072	11,235	1,534	1,898
R4	46,681	41,355	536	40,819	5,326	13,794	805	3,259

芸術文化活動		各種集会・研修会等				参加合計
お城盆踊り	公民館活動発表	課題別集会 まちづくり集会	公民館 研究集会	町内公民館 関係	団体育成 関係	
—	—	80	1	25	0	—
0	0	1,598	108	268	0	11,699
—	—	78	1	27	0	—
200	200	1,932	300	208	0	9,766
—	—	78	1	27	0	—
300	597	1,540	430	253	0	21,873

利用人数（人）								
公民館活動利用人数							公民館 活動以外 の利用人数 (貸館分)	利用 総数
学級・講座			諸集会・会議等			公民館活 動の利用 人数		
家庭教育	青少年	その他	体育	文化	その他			
F	G	H	I	J	K	③C～K	④	③+④
1,561	5,871	2,663	5,598	14,615	15,616	60,572	275,325	335,897
1,643	5,344	4,136	8,178	16,688	19,817	70,473	309,095	379,568
2,082	5,661	5,690	10,252	21,731	21,551	84,825	368,608	453,433

(4) 令和4年度 地区公民館活動状況

公民館名	利 用 件 数 (件)				利用人数 (人)			
	利 用 総件数	公民館活動以外の利用件数 (貸館分)			公民館活動 の利用件数	公民館活動利用人数		
		総 数	有 料	無 料		学 級 ・ 講 座		
					成人	女性	高齢者	
①+②	①=A+B	A	B	②	C	D	E	
第一地区公民館	87	0	0	0	87	388	0	0
第二地区公民館	1,414	1,270	73	1,197	144	1,001	46	301
第三地区公民館	1,686	1,573	64	1,509	113	39		306
東 部 公 民 館	1,381	1,342	6	1,336	39	737	0	0
城 北 公 民 館	1,577	1,397	2	1,395	180	0	0	0
大 手 公 民 館	1,575	1,418	0	1,418	157	696	0	0
安原地区公民館	1,607	1,427	41	1,386	180	765	0	0
城 東 公 民 館	2,690	2,658	9	2,649	32	183	0	0
白板地区公民館	1,298	1,241	9	1,232	57	364	0	0
田 川 公 民 館	1,435	1,169	20	1,149	266	753	0	7
庄内地区公民館	2,823	2,750	34	2,716	73	0	0	9
鎌田地区公民館	2,360	2,203	10	2,193	157	1,115	0	0
松南地区公民館	3,826	3,598	92	3,506	228	395	0	14
島 内 公 民 館	1,817	1,706	0	1,706	111	379	0	15
中 山 公 民 館	641	514	3	511	127	616	615	864
島 立 公 民 館	1,085	987	15	972	98	0	0	0
新 村 公 民 館	382	316	1	315	66	512	0	0
和 田 公 民 館	409	355	2	353	54	180	9	0
神 林 公 民 館	803	701	3	698	102	342	0	121
笹 賀 公 民 館	1,663	1,615	2	1,613	48	215	0	32
芳 川 公 民 館	1,646	1,300	51	1,249	346	0	0	948
寿 公 民 館	864	752	8	744	112	0	0	0
寿 台 公 民 館	1,431	1,353	1	1,352	78	289	0	0
松原地区公民館	1,802	1,694	0	1,694	108	218	0	109
岡 田 公 民 館	911	848	8	840	63	245	0	0
入山辺公民館	809	747	8	739	62	316	0	0
里山辺公民館	842	800	2	798	42	540	0	0
今 井 公 民 館	949	861	5	856	88	364	0	0
内 田 公 民 館	448	398	1	397	50	25	0	0
本 郷 公 民 館	2,214	2,150	14	2,136	64	228	0	21
四 賀 公 民 館	35	0	0	0	35	1,376	0	0
安 曇 公 民 館	171	108	0	108	63	539	0	0
奈 川 公 民 館	411	186	7	179	225	209	76	0
梓 川 公 民 館	1,255	1,197	39	1,158	58	187	59	254
波 田 公 民 館	2,334	721	6	715	1,613	578	0	258
合 計	46,681	41,355	536	40,819	5,326	13,794	805	3,259

利 用 人 数 (人)								
公民館活動利用人数						公民館活 動以外の 利用人数 (貸館分)	利用 総数	
学 級 ・ 講 座			諸集会・会議等					
家庭教育	青少年	その他	体 育	文 化	その他	公民館活 動の利用 人数		
F	G	H	I	J	K	③C~K	④	③+④
62	51	0	0	0	227	728	0	728
0	0	0	87	486	307	2,228	9,578	11,806
9	0	13	65	60	818	1,310	15,109	16,419
0	309	3	0	407	0	1,456	7,551	9,007
0	0	686	34	617	1,670	3,007	12,627	15,634
23	27	161	0	107	1,384	2,398	12,731	15,129
0	7	0	555	192	679	2,198	12,809	15,007
74	0	67	5	29	177	535	20,598	21,133
0	29	11	0	430	79	913	8,844	9,757
12	44	13	1,631	697	795	3,952	10,630	14,582
147	164	220	0	297	243	1,080	20,107	21,187
0	486	135	353	0	523	2,612	19,994	22,606
137	801	215	390	2,190	326	4,468	31,702	36,170
650	85	43	110	7,800	431	9,513	20,461	29,974
0	350	60	80	43	100	2,728	3,207	5,935
56	84	94	314	478	948	1,974	8,327	10,301
138	0	0	206	166	821	1,843	2,818	4,661
0	50	0	124	380	0	743	3,814	4,557
0	57	0	71	265	218	1,074	6,109	7,183
0	12	0	48	106	54	467	20,731	21,198
450	144	225	141	225	2,336	4,469	11,084	15,553
0	0	177	0	0	1,651	1,828	5,855	7,683
0	19	0	111	124	124	667	9,153	9,820
0	204	7	238	261	32	1,069	12,874	13,943
115	390	0	20	214	856	1,840	6,591	8,431
0	0	0	161	460	109	1,046	9,395	10,441
113	285	1,309	105	300	40	2,692	6,776	9,468
0	54	0	141	764	201	1,524	9,315	10,839
96	11	0	132	74	152	490	3,664	4,154
0	146	350	22	202	107	1,076	19,028	20,104
0	304	259	48	102	3,200	5,289	0	5,289
0	125	0	6	33	93	796	1,285	2,081
0	1,102	0	11	5	30	1,433	1,916	3,349
0	10	100	17	0	177	804	10,525	11,329
0	311	1,542	5,026	4,217	2,643	14,575	13,400	27,975
2,082	5,661	5,690	10,252	21,731	21,551	84,825	368,608	453,433

Ⅲ 図書館運営の充実

1 概 要

図書館は、国民の知る権利を保障するため、知識、情報を求める市民に対して、公平に、自由に、資料を提供することを目的としています。

とりわけ、今日の超少子高齢型人口減少社会、高度情報化社会が進行する中で、多様化する市民の要望に応えられる資料を収集・整理・保存・提供するとともに、市民自らが学習する場としての機能を果たし、市の教育・文化の中核的施設となることが、図書館に課せられた使命です。

この役割を果たすために、資料の収集、貸出、調査相談支援（レファレンスサービス）、予約サービス、児童向けサービスとしてブックスタート、セカンドブック事業、おはなしの会の実施、身体障害や高齢などにより図書館に通えない方への宅配サービス、視覚障害などにより文字を読むことが困難な方へ朗読サービスの提供などを行っています。

全館での土日開館、中央図書館及び波田図書館での休日開館、パソコンコーナーの設置、インターネットや携帯電話からの予約を可能にするなど、多様化する市民ニーズに応え市民サービスの充実に努めています。また、連携事業として、信州大学病院患者図書室、信州大学図書館との連携をはじめとし、多くの図書館と相互貸借を行っています。

2 沿 革

明治 24 年	5 月	松本小学校長寄藤好実氏が同校内に、「開智書籍館」と名付けて創設
明治 39 年	9 月	旧松本藩の書籍と松原栄氏等寄贈の資料充実により規則を制定。「開智図書館」と改称し市民に一般公開
大正 10 年	2 月	北深志葵の馬場武徳殿に書庫を増設して移転。「松本図書館」と改称し専任職員を配置
昭和 12 年	4 月	条例改正により「市立松本図書館」と改称し夜間開館を開始
昭和 26 年	4 月	図書館法の規定により条例、規則を大幅に改正し、参考事務、巡回文庫、視聴覚教育等の活動を開始
昭和 27 年	11 月	P T A 母親文庫を実施
昭和 43 年	1 月	開智 2 丁目に新築して開館
昭和 53 年	6 月	重度身障者家庭配本事業（やまびこ文庫）を開始
平成 3 年	10 月	本館を現在地に移転改築。コンピュータシステムを導入し開館。 松本市中央図書館に改名
平成 5 年	6 月	サンフランシスコ在住の日系二世中沢望東子氏寄贈による「中沢文庫」開設（英語の本約 2,000 冊）
	7 月	「ユタ日報」（寺沢畔夫・国子夫妻が、大正～平成までアメリカで発刊した日本語新聞）全号（11,876 号）受入れ
平成 7 年	1 月	中央図書館前に「普選実現運動発祥の地」記念碑建立。併せて「普選文庫」開設
	4 月	波田町立図書館とコンピュータを結んで広域図書館協力、愛称「アルペン・ハーモネット」を稼動開始
	8 月	終戦 50 周年平和記念事業として中央図書館に「平和資料コーナー」

		を設置。「ユタ日報復刻版」全7巻刊行
	10月	第一回「図書館まつり」開催
平成8年	10月	所蔵漢籍中から角筆文献発見
平成13年	4月	ブックスタート事業（乳児への絵本贈呈事業）開始
平成15年	9月	「あがたの森図書館」リニューアルオープン（開架スペース46㎡拡大）
平成18年	6月	信濃毎日新聞データベースの提供を開始
	7月	朝日新聞データベース「聞蔵」の提供を開始
	10月	図書館サポーターを募集。整架、排架などの活動を実施
平成19年	5月	インターネット予約開始
	11月	図書館広域利用事業開始（松本広域圏内の住民又は広域圏内に通勤・通学していれば、広域圏内9市町村のどこの図書館でも利用可能）
平成20年	10月	DVDの貸出を開始
平成21年	5月	信州大学医学部付属病院患者図書室（愛称「こまくさ図書室」）との連携を開始（貸出、返却、予約資料の受渡し等が可能）
平成22年	7月	信州大学附属図書館との連携を開始（覚書締結） 図書館資料返却、相互貸借の活用、共催事業の実施
平成23年	1月	視覚障害者用デジタル図書（デージー図書）貸出し開始
平成24年	4月	図書館システムの更新、携帯電話からの予約開始
	12月	図書館ホームページの開設
平成25年	1月	山岳図書コーナーの充実（書架の増設1,500冊から3,500冊に増）
	4月	「図書館だより」発行（以降毎月1回発行）
	10月	「学都松本子ども読書活動推進計画」策定
平成26年	4月	官報情報検索サービス開始
平成27年	1月	国会図書館デジタル化資料送信サービス提供開始
平成28年	4月	Facebook ページ「松本市図書館～アルプスの山々に囲まれた～」を開設
平成29年	4月	第一法規出版法情報総合データベース「D1-low.com」サービス開始 マスコットキャラクター「ライブラリス」誕生
平成30年	3月	アルプス公園「森の文庫」開設
	4月	図書館システムの更新、中央図書館にセルフ貸出機設置 図書館ホームページをリニューアル、My本棚機能を追加 『松本市の地域資料検索「まつサーチ」』を開設
平成31年	2月	第2次学都松本子ども読書活動推進計画を策定
	4月	セカンドブック事業（3歳児への絵本贈呈事業）開始
（令和元年）	8月	「学都松本子ども読書活動推進委員会」発足
令和2年	7月	「松本市中央図書館あり方検討委員会」を設置
	2月	上記委員会から教育委員会に報告書を提出
令和4年	10月	松本市図書館未来プラン策定
5年	4月	松本市図書館のTwitter アカウントを開設
	5月	サードブック事業（小学校1年生のクラスへのブックセット設置事業） 開始

3 重点施策

(1) 資料の収集と整理・保存の効率的な管理

中央図書館の蔵書数は建設時想定の60万冊に達したことから、将来に向けた学都松本らしい特色ある図書館のあり方を検討し、選書基準、分館からの移管基準の見直し明確化を図るとともに、資料収集の具体的な到達点の設定や除籍の適正量・基準の明確化及び地域資料のデジタル化及びICタグ化の必要性の検討を行います。

(2) 第2次学都松本子ども読書活動推進計画の推進について

平成31年2月に策定した第2次学都松本子ども読書活動推進計画に基づき、子どもが読書に親しめる環境づくり、子ども読書活動を広め、支える人材の育成、環境整備を推進するための連携体制づくりを着実に推進します。

(3) 松本市図書館未来プランの策定

新たな市民ニーズや社会の要請を踏まえ、新しいつながりや交流の拠点となる図書館や市民の生涯を通じた学びを支える地域の情報拠点となる図書館として、サービスの充実を図るため、図書館のサービス基本計画となる松本市図書館未来プランを策定しました。

(4) 図書館からの情報発信

市民に図書館をより身近に感じていただき、図書館の利用促進を図るため、図書館からの情報発信を行っています。

平成24年4月 図書館ホームページの開設

平成25年4月 「図書館だより」を月1回発行

平成26年4月 FMまつもとの「まつもと日和」に月1回出演

平成28年4月 Facebook ページ「松本市図書館～アルプスの山々に囲まれた～」を開設

令和5年4月 Twitter アカウントを開設

(5) 図書館利用者サービスの充実

中央図書館及び本郷図書館では、夏期期間の土・日曜日及び休日の開館時間の延長を実施しています。（本郷図書館は土・日曜日のみ）

また、平成30年4月から中央図書館の休日の翌日振替休館を廃止して利用者サービスの充実を図りました。

平成30年4月に更新した図書館システムの貸出履歴保存機能や読書マラソン機能などの新たな機能を活用して、利用者の読書活動の推進や利便性の向上を図りました。また、図書館ホームページのリニューアルに合わせて松本市図書館、松本市美術館コレクション、松本のたから、松本まるごと博物館収蔵品、国立国会図書館デジタルコレクションを横断検索できる外部サイト『松本市の地域資料検索「まつサーチ」』を開設しました。

令和4年8月から県と市町村による協働図書館へ参加しました。

4 事業の内容

(1) 個人貸出

全館合わせて一人10点まで2週間の貸出を行います。ただし、そのうちCD、映像資料（ビ

デオテープ・DVD)は合わせて5点(内、映像資料は3点)まで2週間を期限として貸出します。松本市図書館11館のどこでも貸出、返却ができます。

(2) 団体貸出

中央図書館にある団体貸出専用書架から地区公民館、保育園・幼稚園・小中学校、児童館・児童センター・児童育成クラブ、読書会等の、構成員が10名以上の団体に500冊以内で一般団体は6カ月以内、児童対象の団体は3カ月以内の貸出をします。

(3) 調査・相談(レファレンス)サービス

日常生活の中での疑問や本に関する質問などについて、図書館の資料を使って回答したり、調査研究のお手伝いをしています。令和4年度は9,215件の問い合わせがありました。

(4) 予約(リクエスト)サービス

館内に希望の資料が無いとき、他館からの回送、返却待ち予約を受付けています。また、館内に所蔵のない資料は、購入や国立国会図書館、県立・市町村図書館等からの相互貸借により資料を取り寄せて提供しています。インターネットによる資料検索予約システムの普及に伴い、令和4年度のweb予約件数は、211,859件で予約総件数の88.4%を占めています。

(5) 複写サービス

著作権法第31条に基づき、所蔵資料の複写サービスを行っています。また、中央図書館では、パソコンを4台設置して、国立国会図書館デジタル化資料及び信濃毎日新聞、朝日新聞、官報、法情報総合データサービス、ジャパンナレッジLib、理科年表、日経テレコン、ルーラル電子図書館のデータ資料の閲覧・複写サービスを行っています。

(6) 児童サービス

ア おはなし会

各館で、定期的にこどもの年齢に応じた絵本の読み聞かせ、おはなし、紙芝居などによる「おはなし会」を行って、子どもたちや保護者に楽しい本の世界を紹介しています。令和4年度は、11館合計で212回(出前講座37回を含む)のおはなし会を行いました。

イ ブックスタート事業

乳児を持つ親が赤ちゃんと楽しいひと時を持っていただくことを目的として、10カ月検診時に、絵本1冊と図書館で作成した絵本リスト「いっしょによもうね・こんにちはえほん」(0~3歳対象)を配布しています。令和4年度は、1,633人に配布しました。

ウ セカンドブック事業

ブックスタートのフォローとして、親子で絵本を楽しむ時間のきっかけづくりを目的として、3歳児健診時に、絵本1冊と図書館で作成した絵本リスト「なかよしえほん」(3~5歳対象)を配布しています。令和4年度は、1,652人に配布しました。

エ サードブック事業

小学校での学習が始まる時期に、友達と一緒に楽しみながら多くの知識を得て文化を理解することを目的として、松本市立の小学校1年生の教室にブックセット「わくわくブック」をプレゼントしています。令和5年5月から実施しました。

(7) 障害者サービス

ア やまびこ文庫

心身の障害や高齢等で図書館へ来館するのが難しい方を対象に、図書館の本、CD、カセットテープ、点字図書、デージー図書等を、毎月1回、自宅や入居施設に配達しています。

令和4年度は、57人に3,344冊の宅配を行いました。

イ 対面朗読

視覚障害者、又は視覚による表現の認識に支障があり、通常の本を読むことが困難な方を対象に、中央図書館の対面朗読室や自宅にて、利用者の要望に応じて、ボランティア団体「朗読ふれあいの会」が対面朗読をしています。

令和4年度は、高齢者施設等を含む7カ所で97回の対面朗読を行いました。

ウ デジタル録音図書（デージー図書）貸出

視覚障害者、又は視覚による表現の認識に支障があり、通常の本を読むことが困難な方を対象に、視覚障害者情報総合ネットワーク（サピエ）から借り受けたデージー図書を、郵送により貸出しています。また、デージー化されていない図書は、ボランティア団体「長野県赤十字音訳奉仕団」がデージー図書を製作しています。

(8) 講演会・講座の開催

読み聞かせ等の各種講座や講演会、リサイクル本の提供、クリスマス会など、読書普及のための様々な催しを各館で行っています。令和4年度は、11館合計で46回（出前講座3回を含む）の講演会・講座等を行いました。

(9) 信州大学医学部附属病院患者図書室（こまくさ図書室）との連携

松本市図書館の分館機能を有する図書室として、入院・通院患者や一般利用者に、貸出、返却、予約資料の受け渡し等を行っています。

(10) 公民館図書室との連携

平成23年度から図書館資料を四賀地区、奈川地区の公民館図書室で返却ができるサービスを行っています。令和4年度は、四賀公民館図書室で275冊、奈川公民館図書室で16冊の利用がありました。

(11) 図書館サポーター制度

市民との協働による図書館づくりの一環として平成18年10月に始めた図書館サポーター制度は、館内の書架整理（返却された本を書架に戻す作業や書棚の整頓）や利用案内等を行っていただくとともに、市民目線からの図書館への意見をいただくなど、図書館サービスを支える活動を行っています。

(12) 雑誌スポンサー制度

中央図書館の図書資料（雑誌）を広告媒体として活用することにより、民間事業者の情報発信の場を提供するとともに、図書資料の充実を図ることを目的として、平成27年4月から雑誌スポンサー制度を導入しています。令和4年度は、5社（5誌）の協力がありました。

5 施設の概要

(1) 中央図書館

旧開智学校をうつしだすガラスばりの中央図書館			
位 置	松本市蟻ヶ崎2丁目4番40号	電 話	32-0099
構 造	鉄筋コンクリート造3階建	建築面積	1,932.25㎡
延床面積	4,831.64㎡	開 館	平成3年10月1日
建設事業費	1,956,000千円	施 設	書庫はスチール製積層式2層 身障者用便所、車椅子用スロープ完備
開館時間	平日：9時30分～19時 土・日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日（以降「休日」という）：9時30分～17時		
休館日	月曜日（休日のときは開館し、翌日振替休館。翌日も休日の場合は振替休館なし。）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日にあたるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(2) 南部図書館

カリヨンのひびくなんなんひろばの南部図書館			
位 置	松本市芳野4番1号	電 話	26-1083
構 造	鉄筋コンクリート造3階建の内	面 積	530.9㎡
開 館	昭和62年4月 図書室 平成2年5月 分館		
開館時間	平日・土曜日：10時～22時 日曜日：10時～17時		
休館日	火曜日、休日、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(3) あがたの森図書館

ヒマラヤ杉とけやきの森に囲まれた木造のあがたの森図書館			
位 置	松本市県3丁目1番1号	電 話	32-1761
構 造	木造2階建の内	面 積	198.31㎡
開 館	昭和54年10月1日		
開館時間	平日：10時～19時 土・日曜日：10時～17時		
休館日	月曜日、休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(4) 鎌田図書館

風見鶏の見守る中、子どもたちの元気な声のひびく鎌田図書館			
位 置	松本市両島5番50号	電 話	26-0341
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建の内	面 積	245.68㎡
開 館	昭和59年6月 図書室 平成2年4月 分館		
開館時間	平日：10時～18時 土・日曜日：10時～17時		
休 館 日	月曜日、休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(5) 寿台図書館

山のふもとの、小さい白い土蔵造りの寿台図書館			
位 置	松本市寿豊丘649番地1	電 話	58-7167
構 造	鉄筋コンクリート造2階建の内	面 積	216㎡
開 館	平成3年4月 図書室 平成5年4月 分館		
開館時間	火～日曜日：10時～17時		
休 館 日	月曜日、休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(6) 本郷図書館

桜並木に囲まれた、かわら屋根の本郷図書館			
位 置	松本市浅間温泉2丁目9番1号	電 話	46-1262
構 造	鉄筋コンクリート造2階建の内	面 積	220.80㎡
開 館	平成6年4月 図書室 平成11年4月 分館		
開館時間	火～日曜日：10時～17時		
休 館 日	月曜日、休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(7) 中山文庫

のどかな山間に、レトロなバスがシンボルの中山文庫			
位 置	松本市大字中山3533番地1	電 話	58-5666
構 造	鉄骨・鉄筋コンクリート造地下1階地上1階建	面 積	669.88㎡
開 館	平成13年4月		
開館時間	火～日曜日：10時～17時		
休 館 日	月曜日、休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(8) 島内図書館

北アルプスを望む、田園地帯に文化薫る島内図書館			
位 置	松本市大字島内4970番地1	電 話	48-2711
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建	面 積	470.1㎡
開 館	平成13年5月		
開館時間	火～日曜日：10時～17時		
休 館 日	月曜日、休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(9) 空港図書館

空の玄関、信州まつもと空港に隣接し、緑豊かな松林の中の空港図書館			
位 置	松本市大字今井4237番地1	電 話	86-8460
構 造	鉄骨造平屋建	面 積	408.25㎡
開 館	平成14年4月		
開館時間	火～日曜日：10時～17時		
休 館 日	月曜日、休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(10) 波田図書館

緑豊かな河岸段丘に、子どもの笑顔があふれだす波田図書館			
位 置	松本市波田10106番地1	電 話	92-7503
構 造	鉄筋コンクリート造地下1階地上4階建の内	面 積	1,106㎡
開 館	平成7年4月（旧波田町立図書館として開館） 平成22年3月31日 合併により松本市「波田図書館」となる		
開館時間	4月～11月 火～金曜日：10時～19時 土・日曜日・休日：10時～17時 12月～3月 火～日曜日・休日：10時～17時		
休 館 日	月曜日、休日の翌日（当該日が土曜日、日曜日又は休日に当たるときは、当該日以後の休館日を除いた最初の平日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(11) 梓川図書館

大きなガラス窓と、太陽光発電設備を備えた梓川図書館			
位 置	松本市梓川倭562番地1	電 話	76-2070
構 造	鉄骨造2階建	面 積	595.35㎡
開 館	平成24年5月11日		
開館時間	火～日曜日：10時～18時		
休 館 日	月曜日、休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

6 松本市図書館利用状況

	登録者数（人）			蔵書数（冊）			貸出数（冊）	
	R 2	R 3	R 4	R 2	R 3	R 4	R 2	R 3
中央図書館	23,262	22,119	21,653	679,480	691,771	700,897	498,985	576,062
対前年比%	46	95	98	102	102	101	101	115
南部図書館	9,342	8,813	8,555	75,184	75,601	77,711	217,410	251,715
対前年比%	51	94	97	99	101	103	91	116
あがたの森図書館	3,421	3,228	3,112	27,938	27,450	27,905	82,543	89,935
対前年比%	50	94	96	100	98	102	99	109
鎌田図書館	2,298	2,169	2,120	33,798	33,343	34,060	70,329	77,815
対前年比%	48	94	98	101	99	102	94	111
寿台図書館	2,454	2,270	2,132	28,790	29,773	30,050	66,780	70,958
対前年比%	47	93	94	103	103	101	90	106
本郷図書館	2,189	2,082	2,104	35,781	36,538	36,928	82,825	93,818
対前年比%	54	95	101	103	102	101	101	113
中山文庫	860	844	812	166,507	168,412	170,017	43,473	48,770
対前年比%	51	98	96	102	101	101	97	112
島内図書館	2,167	2,072	2,018	41,148	40,425	39,971	60,575	70,347
対前年比%	50	96	97	98	98	99	92	116
空港図書館	3,745	3,509	3,384	47,691	47,073	48,154	88,958	101,422
対前年比%	48	94	96	99	99	102	101	114
波田図書館	4,046	3,798	3,663	101,164	101,982	102,821	89,393	97,775
対前年比%	35	94	96	101	101	101	86	109
梓川図書館	2,380	2,233	2,124	53,988	55,231	56,037	78,976	85,114
対前年比%	70	94	95	103	102	101	88	108
合計	56,164	53,137	51,677	1,291,469	1,307,599	1,324,551	1,380,247	1,563,731
対前年比%	47	95	97	102	101	101	96	113

※ 登録者数

令和2年度末に、データの削除基準を見直しました。これまで、利用者カードの有効期限が切れてから10年以上未更新の登録者データを削除していましたが、今後は、有効期限が切れてから2年以上未更新の登録者データを削除します。

R 4	開館日数（日）			調査相談（件）			予約（冊）		
	R 2	R 3	R 4	R 2	R 3	R 4	R 2	R 3	R 4
574,314	258	288	286	3,304	3,761	3,285	54,912	52,296	52,830
100				89	114	87	142	95	101
244,245	251	279	279	346	471	629	42,963	46,239	45,333
97				56	136	134	121	108	98
77,019	248	276	276	1,424	1,443	1,337	23,103	22,934	22,238
86				84	101	93	129	99	97
79,697	248	281	279	488	355	212	15,913	15,723	18,573
102				78	73	60	132	99	118
68,244	248	281	279	651	758	650	18,007	17,278	17,083
96				73	116	86	123	96	99
97,956	248	281	279	512	721	543	16,555	15,107	16,057
104				86	141	75	136	91	106
47,940	248	281	277	552	500	424	6,891	7,259	8,138
98				127	91	85	109	105	112
65,690	248	280	278	525	694	629	14,209	16,325	15,267
93				112	132	91	138	115	94
93,758	248	280	278	980	911	842	16,338	16,565	17,036
92				104	93	92	131	101	103
92,833	248	281	277	463	419	381	14,313	12,921	12,106
95				73	90	91	123	90	94
82,304	248	280	278	221	171	283	14,330	14,938	14,954
97				84	77	165	144	104	100
1,524,000	—	—	—	9,466	10,204	9,215	237,534	237,585	239,615
97				87	108	90	131	100	101

臨時閉館

令和2年度	全館	新型コロナウイルスの影響	4/1～5/15
令和3年度	あがたの森 図書館	あがたの森文化会館耐震補強 工事に伴う移転のため	3/25～4/6
令和4年度	波田図書館	L E D照明更新工事のため	6/20～6/24

7 団体貸出等利用状況（中央図書館）

団体区分	R 2		R 3		R 4	
	年間利用 冊数	施設 団体数	年間利用 冊数	施設 団体数	年間利用 冊数	施設 団体数
	冊	団体	冊	団体	冊	団体
読書会	398	1	391	1	345	1
高齢者施設	1,597	5	1,513	5	1,441	5
児童施設	9,167	25	9,528	23	9,980	24
学 校	499	4	1,053	7	827	5
地区公民館	8,791	12	10,035	13	10,313	13
市施設等	1,405	3	2,767	4	2,881	4
計	21,857	50	25,287	50	25,787	52
障害者等家庭配本	4,461	人 64	4,714	人 61	3,344	人 57

第4編

歴史・文化遺産の保護と活用

(文化財、博物館、松本城)



松本市遺跡発掘報告会 発掘された松本 2022 (文化財課)



松本てまりモバイル完成お披露目会 (博物館)

I 歴史や文化を活かしたまちづくりの推進

1 概要

松本市は、豊かな自然と歴史に恵まれ、多くの有形文化財が存在しています。また、地域に伝わる伝統的行事や技術など無形の文化財も、先人たちの努力によって今日まで引き継がれてきました。このような歴史や文化を守り、継承していくため、有形・無形または指定・未指定の文化財を総合的に把握し、文化財を活かしたまちづくりを市民が主体的に取り組みながら、積極的な整備と活用を目指します。

2 沿革

- 昭和 31 年 4 月 松本市文化財保護条例制定
- 昭和 33 年 3 月 松本市文化財審議委員会の組織及び運営等に関する規則制定
- 昭和 36 年 1 月 筑摩神社拝殿ほか 6 件を松本市重要文化財等に指定（初めての市指定文化財）
- 昭和 51 年 2 月 弘法山古墳が史跡指定
- 昭和 57 年 7 月 松本市文化財保護事業補助金交付要綱制定
- 平成 9 年 2 月 針塚古墳が長野県史跡指定
- 平成 12 年 6 月 松本まるごと博物館構想策定
- 平成 22 年 2 月 特別名勝及び特別天然記念物上高地保存管理計画策定
- 4 月 殿村遺跡史跡整備事業開始
- 平成 23 年 6 月 松本市歴史的風致維持向上計画認定
- 平成 25 年 4 月 松本市歴史文化基本構想策定事業開始
- 平成 26 年 4 月 松本市文化財保護事業補助金交付要綱一部改正
- 平成 29 年 2 月 小笠原氏城跡が史跡指定
- 3 月 特別名勝及び特別天然記念物上高地保存管理計画（改訂版）策定
- 平成 30 年 2 月 松本市歴史文化基本構想を策定
- 11 月 まつもと文化遺産認定制度施行
- 平成 31 年 2 月 松本市文化財保存活用地域計画を策定
- 史跡小笠原氏城跡に林城跡小城が追加指定
- 4 月 松本市文化財保護条例を改正し、登録文化財制度を創設
- 令和 元年 7 月 松本市文化財保存活用地域計画を国が認定
- 9 月 旧開智学校校舎が国宝指定
- 令和 2 年 2 月 特別天然記念物白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用計画を策定
- 3 月 同天然記念物に指定地域が追加
- 5 月 特別天然記念物白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用計画を国が認定
- 令和 4 年 3 月 史跡小笠原氏城跡保存活用計画を策定

3 重点施策

(1) 文化財の保護

ア まつもと文化遺産活用事業

本市の文化財の保存活用のマスタープランとして平成 29 年度に策定した松本市歴史文化基本構想に基づく活用事業として、平成 30 年度からまつもと文化遺産活用事業に取り組んでいます。平成 30 年度に設置した「まつもと文化遺産保存活用協議会」を引き続き開催し、歴史文化基本構想で設定した関連文化財群（165 件）の中から「まつもと文化遺産」を認定するとともに、認定済みの 7 件に対し、補助金等の支援策を講じます。

イ 殿村遺跡史跡整備事業

虚空蔵山を中心とする中世の宗教的遺跡と推定されている殿村遺跡について、発掘調査及び周辺一帯の総合調査を実施し、遺跡の全容を明らかにして史跡整備を実施するものです。

平成29年度をもって完了した現地調査（発掘・文献・景観・地名ほか）の成果を令和2年度に総合調査報告書として刊行し、中世の宗教空間を構成する遺跡群として文化財的な価値付けを行いました。総合調査によって明らかとなった遺跡群の文化財的価値をふまえ、史跡指定を目指した取組みを進めます。

ウ 小笠原氏城館群史跡整備事業

中世に信濃守護を務めた小笠原氏の本拠である井川城跡及び林城跡（大城・小城）の3城跡について、保存活用計画、整備基本計画を策定した上で史跡整備事業に取り組むものです。令和3年度に保存活用計画を策定し、令和4年度に整備基本計画策定に着手しました。

エ 白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存整備事業

白色の温泉水がもたらした特殊な地形である特別天然記念物「白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石」を、学びながら安全に見学できるよう整備を進めるものです。令和元年度に保存活用計画、令和2年度に整備計画、令和3年度に整備実施計画を策定しました。令和4年度には、整備実施計画に基づき、観察路等の測量設計を行うとともに、令和6年度の公開に向けて噴湯丘上の土砂除去など保存整備を実施しました。

令和5年度は、観察路などの整備を行い、地元機運を高めるための見学会を開催します。

オ 史跡弘法山古墳再整備事業

3世紀末に築造され、東日本最古級の前方後方墳である弘法山古墳は、史跡指定から47年を経て桜の名所としても知られています。しかし、本来の古墳としての史跡の価値が十分に周知されていないため、古墳の外形や墳丘の規模を確認するための発掘調査を実施したうえで保存活用計画を策定し、周辺古墳も含めた史跡ゾーンとして再整備を行います。

(2) 文化財の活用の推進

ア 松本市文化財ホームページ「松本のたから」の設置

松本市公式ホームページ内に、松本市内にある指定等文化財を紹介するページを設置し、広く周知を図っています。また、令和2年度からSNSによる情報発信を開始し、Facebookに「まつもとの文化財」を開設しました。令和3年度には、Instagramによる発信も開始し、周知の拡大を図っています。

イ 报告会・講演会等の開催

埋蔵文化財の発掘調査の成果等について、広く市民に知っていただき、地域の歴史に対する理解を深めるため、年間を通して現地説明会や展示会、講演会などを開催するとともに、地域の生涯学習講座などに講師を派遣します。

さらに、YouTubeを活用した発掘調査成果等の動画配信にも積極的に取り組みます。

4 事業の内容

(1) 文化財の保存・管理 [文化財保護法、松本市文化財保護条例]

ア 文化財の指定等

(ア) 国指定文化財 指定はありませんでした。

(イ) 県指定文化財 指定はありませんでした。

(ウ) 市指定文化財 指定はありませんでした。

(エ) 国登録有形文化財

・下今井諏訪神社4棟（諏訪社、神楽殿、八坂社、八幡社）

・續麻・今井(兼平)神社4棟（續麻社、神楽殿、神明社、兼平社）

- ・旧小穴家住宅3棟（主屋、離れ、書庫）
- ・黒川堰迫平隧道

(オ) 市登録文化財 登録はありませんでした。

イ 市所有文化財の保存整備

市が所有する文化財を適正に保存・管理するため、破損・腐朽箇所の修理、補修や活用のための整備等を実施しています。

令和4年度は、以下の事業を実施しました。

- ・史跡弘法山古墳駐車場公衆トイレ屋根及び給水設備補修
- ・重要文化財田村堂防災設備修繕
- ・県宝橋倉家住宅防災設備修繕

ウ 文化財に関する調査

文化財的価値を把握し、指定等の必要性を検討するため、文化財審議委員会の委員等とともに、市内にある文化財の調査を実施しています。

令和4年度は、「波田の風穴」の調査を実施しました。

(2) まつもと文化遺産活用事業

「まつもと文化遺産保存活用協議会」を2回開催し、新たに第二地区と芳川地区に所在する文化財群を「まつもと文化遺産」に認定し、合計7件となりました。また、協議会では継続検討してきたロゴマークを決定し、認定後3年となる2遺産の保存活用団体の活動について検証を行いました。また、3件の保存活用団体に補助金を交付しました。

(3) 埋蔵文化財保護事業 [文化財保護法]

ア 発掘調査

文化財保護法の規定に基づき、埋蔵文化財の状況を確認するための試掘調査や、各種開発により破壊される埋蔵文化財を記録保存するための発掘調査を行いました。

(ア) 補助事業 1件1遺跡（松本城外堀南外堀5次）

松本城外堀跡南外堀5次

松本城南・西外堀整備事業に伴い、松本城の南外堀跡において堀の形状や深度を確認するための試掘調査を実施しました。調査の結果、南外堀の形状は、これまで推定されてきた三の丸側が深くなる「片葉研堀」ではなく、堀底が平坦な「箱堀」であることが確認できたほか、深さは現地表から最大3m程度であったこともわかりました。引き続き試掘確認調査を実施し、南・西外堀の形状の確認を行います。

(イ) 受託事業 1件1遺跡（出川南遺跡29次）

出川南遺跡29次調査

出川南遺跡は、南松本駅周辺から南西に広がる弥生時代から中世までの複合遺跡です。これまでの調査で、古墳時代を中心に600軒以上の竪穴住居跡が確認されており、埴輪を伴う古墳も見つかっています。県道の改良事業に先立って実施された今回の発掘調査では、想定された古墳時代の集落跡は確認されませんでした。当地を流れていたかつての穴田川の跡とみられる大規模な流路跡が見つかりました。

令和5年度は整理作業を進め、調査報告書を刊行する予定です。

(ウ) 市単独事業 3件1遺跡（松本城三の丸跡土居尻14次、15次、16次、市内遺跡確認調査）

松本城三の丸跡土居尻16次調査

調査地は松本城南外堀跡に面した三の丸の武家地にあたります。江戸時代の遺構面では、武家屋敷の玄関とみられる石敷き遺構や基礎跡とみられる礎板石などが見つかりました。ま

た、その下層にある中世の遺構面からは、東西方向の小川の跡から多数の木簡や獣骨が出土しました。祭祀の関わる場所であったと考えられ、松本城築城以前の様子を探るうえで貴重な発見となりました。

イ 整理作業・報告書作成

(ア) 受託事業 1件1遺跡（県町遺跡22次）

室内整理作業を実施し、発掘調査報告書を刊行しました。

(イ) 市単独事業 6件2遺跡（県町遺跡16・17次、松本城三の丸跡土居尻6・9・11次、松本城三の丸跡大名町3次）

ウ 発掘報告会の開催

令和4年に実施した発掘調査の成果について、報告会を開催したほか、動画による配信を行いました。動画は7件を配信し延べ3,799回の再生回数がありました。

エ 試掘等の市内遺跡確認調査

年度	試掘確認調査	工事立会調査
令和2年度	29件	262件
令和3年度	34件	236件
令和4年度	31件	316件

オ 文化財保護法に基づく文書進達事務

年度	92条届出(調査)	93条届出(民間工事)	94条通知(公共事業)
令和2年度	1件	343件	39件
令和3年度	2件	375件	31件
令和4年度	3件	377件	24件

(4) 殿村遺跡史跡整備事業

史跡指定に向け、遺跡の価値付けについて長野県教育委員会と協議を行いました。また、殿村遺跡内の旧会田中学校プールについて、遺跡の保存管理及び将来的な史跡整備の支障となることから、解体工事を実施しました。

(5) 小笠原氏城館群史跡整備事業

ア 史跡小笠原氏城跡整備基本計画の策定

史跡小笠原氏城跡（井川城跡、林城跡（大城、小城））の今後の具体的な整備内容を定める整備基本計画の策定に着手しました。

イ 普及公開事業の実施

林城跡（大城）の現地見学講座を開催し、城跡の魅力や文化財的価値の市民周知を図りました（参加者数：18名）。

(6) 史跡弘法山古墳再整備事業

ア 史跡弘法山古墳発掘調査の実施

墳丘の規模や形状を明らかにするため、昭和49年（1974）以来となる発掘調査に令和2年度に着手しました。令和4年度も引き続き発掘調査を実施し、墳丘裾部等を確認しました。

イ 周辺古墳群発掘調査の実施

東海大学との協働事業として、史跡弘法山古墳周辺の古墳について発掘調査を実施しました。

(7) 白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存整備事業

ア 観察路などの測量設計

保存活用協議会で協議のうえ、観察路や安全柵などの測量設計を行い、整備内容を確定しま

した。

イ 公開エリアの環境整備の実施

噴湯丘などの公開を予定するエリアで、保存や観察に支障のある土砂・落ち葉などを除去し、見どころの把握に取り組みました。

ウ 見学会の開催及び学校学習支援

地元小学生や姉妹提携都市である松崎町訪問団の見学・体験学習会を実施し、文化財への理解を深めるとともに、活用に向けた機運を高めました（延べ3回開催・37名参加）。

(8) 文化財保護のための補助事業

[松本市文化財保護条例、松本市補助金交付規則、松本市文化財保護事業補助金交付要綱]

ア 文化財保護事業補助金交付制度概要

貴重な文化財を後世に引き継ぐため、文化財所有者等の負担を軽減する措置として、松本市文化財保護事業補助金交付制度を昭和57年に制定しました。

令和元年度には、松本市文化財保護事業補助金交付要綱の改正を行い、市登録文化財等の修理等事業に対する補助制度を新たに創設しました。

対象事業	補助対象経費	補助額
1 文化財保護法（昭和25年法律第214号。以下「法」という。）の規定による国の補助金の交付を受けた事業	当該事業に要する経費から国及び県の交付する補助金を控除した額	補助対象経費の10分の6以内の額とし、その額が500万円を超えるときは500万円とする。
2 文化財保護条例（昭和50年長野県条例第44号）の規定による県の補助金の交付を受けた事業	当該事業に要する経費から県の交付する補助金を控除した額	補助対象経費の10分の5以内の額とし、その額が500万円を超えるときは500万円とする。
3 松本市文化財保護条例（昭和51年条例第41号。以下「条例」という。）の規定による指定文化財・選定保存技術の管理及び保護のために行う事業	(1) 修理事業 指定文化財の保存のために行う修理及び環境整備事業に要する経費のうち、市長が認めた経費	補助対象経費の10分の5以内の額とし、その額が500万円を超えるときは500万円とする。ただし、災害復旧に係る場合は、10分の6以内の額とし、その額が1,000万円を超えるときは1,000万円とする。
	(2) 管理事業 指定文化財の保護のために行う防災上の工事及び修理に要する経費のうち、市長が認めた経費	
	(3) 伝承事業 指定文化財の伝承者の養成及び公開のために必要な事業に要する経費	市長が別に定める額
	(4) 保存事業 選定保存技術の伝承者の養成及び技術の練磨のために必要な事業に要する経費	
	(5) 松本城下町の舞台の保存のために行う修理事業に要する経費のうち、市長が認めた経費 (6) 戸田家廟園、水野家廟所、御殿山小笠原家廟所及び広沢寺小笠原家墓所の保存のために行う修理事業に要する経費のうち、市長が認めた経費	補助対象経費の10分の5以内の額とし、その額が700万円を超えるときは700万円とする。ただし、災害復旧に係る場合は、10分の6以内の額とし、その額が1,000万円を超えるときは1,000万円とする。

<p>4 法の規定による登録有形文化財(松本市近代遺産登録要綱(平成29年告示第82号)の規定により松本市近代遺産として登録された建造物に限る。)の管理及び保存のために行う事業</p>	<p>(1) 修理事業 登録有形文化財の保存のために行う修理に要する経費のうち、市長が認めた経費 (2) 管理事業 登録有形文化財の保存のために行う耐震対策工事に要する経費のうち、市長が認めた経費</p>	<p>補助対象経費の10分の5以内の額とし、その額が300万円を超えるときは300万円とする。</p>
<p>5 条例の規定による登録文化財の管理及び保存のために行う事業</p>	<p>(1) 修理事業 登録文化財の保存のために行う修理に要する経費のうち、市長が認めた経費 (2) 管理事業 登録文化財の保存のために行う耐震対策工事に要する経費のうち、市長が認めた経費</p>	<p>補助対象経費の10分の5以内の額とし、その額が300万円を超えるときは300万円とする。</p>
<p>6 文化財に関係のある地区史又は旧村史等の発行の事業</p>	<p>当該事業に要する経費で調査費及び印刷費のうち、市長が認めた経費</p>	<p>補助対象経費の10分の3以内の額とし、その額が80万円を超えるときは、80万円とする。</p>
<p>7 国、県若しくは市が指定した文化財又は市が認定したまつもと文化遺産に対し、保存、活用及び教育普及を目的として活動する団体が行う事業で、地域づくりに資する事業として市長が認めたもの</p>	<p>当該事業に要する経費のうち、市長が認めた経費</p>	<p>補助対象経費の10分の8以内とし、その額が5万円を超えるときは5万円とする。ただし、史跡等の管理に係る原材料費、消耗品費及び燃料費については5万円の範囲内で実費相当額を上記に加算することができる。</p>

イ 令和4年度の補助金交付事業

(ア) 修理事業・管理事業

以下の3件の事業について、合計 2,089,000円を交付しました。

- ・ 県宝銅像菩薩半跏像(盛泉寺)防犯設備設置事業
- ・ 市重要文化財松本神社の宝物(松本神社)防犯設備設置事業
- ・ 市重要有形民俗文化財松本城下町の舞台(博労町)の舞台保管庫補強工事

(イ) 保存・活用等事業(団体活動補助)

以下の15件の事業について、合計 816,000円を交付しました。

- ・ 小笠原氏城跡(林城跡)保存管理事業
- ・ 小笠原氏城跡(埴原城跡)保存管理事業
- ・ 針塚古墳保存管理事業
- ・ 若澤寺跡保存管理事業
- ・ 平瀬城跡保存管理事業
- ・ 内田のササラ踊り保存伝承事業
- ・ 島立堀米の裸祭り保存伝承事業
- ・ 島内の鳥居火保存伝承事業
- ・ 奈川獅子保存伝承事業
- ・ 両島のお八日念仏と足半保存伝承事業
- ・ 里山辺千鹿頭社の御柱祭り保存伝承事業
- ・ 里山辺須々岐水神社の御柱祭り保存伝承事業
- ・ 入山辺宮原神社の御柱祭り保存伝承事業

- ・入山辺大和合神社の御柱祭り保存伝承事業
- ・入山辺橋倉諏訪社の御柱祭り保存伝承事業

(ウ) まつもと文化遺産保護事業

以下の3件の認定事業について、合計 94,000円を交付しました。

- ・島内地区 嶋之内の成立と発展～平瀬城&犬甘城 街道と水～
- ・安原地区 松本城下北の要 武家のまちと商家のまち
- ・第二地区 城下町から商都へ 町民の信仰と祈り 暮らしの中のお祭

5 松本市内の指定・登録等文化財

(1) 指定・登録等件数の概要 (令和5年5月1日現在) (単位:件)

指定等区分・種別		指定別	国	県	市	合計
有形文化財	建造物		11	5	26	42
	絵画・彫刻・工芸品		7	11	52	70
	書跡・典籍・古文書		2	0	9	11
	考古資料		0	3	11	14
	歴史資料		0	1	31	32
無形文化財			0	0	0	0
民俗文化財	有形民俗文化財		3	0	5	8
	無形民俗文化財		0	1	25	26
記念物	史跡		3	4	19	26
	名勝		1	2	10	13
	天然記念物		2	9	40	51
小計			29	36	228	293
登録有形文化財			73	-	3	76
選択無形民俗文化財			2	1	-	3
合計			104	37	231	372

※ 重要美術品2件を国の有形文化財に含めています。

※ 件数は、同一の物件につき、2つの区分に重複して指定が行われている場合(例えば史跡及び天然記念物という指定の場合など)、それぞれの区分につき1件として数えたものです。

(2) 指定・登録等文化財一覧

「資料編 II 指定・登録等文化財一覧」に掲載しています。(P.148)

Ⅱ 博物館事業の推進

1 概 要

本格的な生涯学習時代を迎え、博物館がその拠点としての重要性をますます高めるなかで、松本市立博物館は平成27年に開館110周年を迎えました。その設立は明治39年（1906）にさかのぼり、100年余にわたり「学都松本」の屋台骨を支えてきました。現在は松本市域を対象とした資料を収集し、歴史・民俗に関連した資料を中心に展示しています。

博物館では、松本市域全体を博物館と考える「松本まるごと博物館構想」のもと、博物館本館（基幹博物館）の移転オープンに向けた整備と、本館と15分館が下記の事業を実施します。

- (1) 市域の歴史・民俗・自然・産業等に関する市民の学習意欲に応えるため、15分館が各施設の特徴を活かして、様々な資料の収集・保管、調査研究をし、その成果を活用していきます。
- (2) 市民の生涯学習活動を支援するため、展示（常設展示・特別展示）、刊行物の編集・発行、講座・講演会・体験学習会等を開催します。
- (3) 「地域づくり」「ひとづくり」に資するための様々な事業を市民協働により実施します。

2 沿 革

明治39年	9月 21日	松本尋常高等小学校内に明治三十七、八年戦役記念館開館。のち松本紀（記念館）と改称。開館時の資料は軍事関係1,308点、風俗関係315点、博物標本2,102点、その他1,699点、図書19,046冊
昭和 6年	6月 1日	松本市の管理に移管
昭和12年	9月	松本城二の丸に移転。ロックガーデンを設置し、山岳資料を充実
昭和13年	9月 17日	松本記念館として有料開館、観覧料10銭（松本城10銭、共通15銭）
昭和22年	1月 28日	松本史談会「博物館設置二関スル意見書」を市議会に提出。4月1日に松本記念館から松本博物館と改称
昭和23年	2月 11日	地蔵清水に移転し松本市立博物館と改称。山岳・民俗・考古・歴史・教育の5部門を常設展示
昭和27年	7月 21日	県下初の博物館法による登録博物館に登録。11月再び二の丸に移転
昭和29年	4月 1日	中山村との合併にともない中山考古館（昭和6年開館）を分館に位置付け
昭和30年	4月 22日	七夕人形コレクション45点が重要民俗資料（昭和50年文化財保護法の改正により「重要有形民俗文化財」と改称。以下同じ）に指定
昭和34年	5月 6日	農耕用具コレクション79点、民間信仰資料コレクション293点が重要民俗資料に指定
	12月 18日	孔雀文磬（仏具）1面が国の重要文化財に指定
昭和36年	3月 23日	市立開智小学校本館が重要文化財に指定
昭和37年	11月 3日	松本民芸館開館
昭和40年	4月 1日	重要文化財旧開智学校校舎が教育博物館として開館
昭和41年	4月 1日	財団法人日本民俗資料館が設立。8月に博物館法による登録。以後松本市立博物館と日本民俗資料館の両名併記になる
昭和43年	4月 20日	日本民俗資料館開館
昭和58年	10月 1日	財団法人松本市教育文化振興財団設立にともない財団法人日本民俗資料館が解散され、新財団へ移行

昭和61年	4月 1日	松本市立考古博物館を創設、附属施設に位置付け（8月2日開館）
平成元年	8月 4日	松本市はかり資料館開館
平成 3年	12月 1日	松本市旧司祭館開館、市立博物館の附属施設に位置付け
平成 4年	4月 1日	松本民芸館、松本市はかり資料館を市立博物館の附属施設に位置付け
平成 5年	4月 1日	窪田空穂記念館を創設し、市立博物館の附属施設に位置付け（6月5日開館）
	7月 10日	旧制高等学校記念館開館
平成 6年	3月 31日	松本市旧司祭館が市の重要文化財に指定
平成 8年	12月 10日	馬場家住宅、国の重要文化財に指定
平成 9年	4月 8日	重要文化財馬場家住宅を博物館として開館、附属施設に位置付け
平成11年	9月 21日	この日を「松本市博物館の日」に制定し、以後関連行事開催
平成12年	6月	松本まると博物館構想策定
平成14年	4月 1日	松本市歴史の里開館、附属施設に位置付け
	9月 1日	松本市時計博物館開館、附属施設に位置付け
平成15年	4月 25日	松本民芸館がリニューアルオープン
平成16年	4月 1日	松本まると博物館友の会が発足
	17日	松本市立考古博物館がリニューアルオープン
平成17年	3月 28日	松本市旧司祭館が県宝に指定
	4月 1日	日本民俗資料館が市に寄贈され松本市立博物館に名称統一 合併により四賀化石館・安曇資料館・奈川歴史民俗資料館・奈川自然学習館・ 梓川アカデミア館が附属施設に位置付け
平成18年	4月 1日	旧制高等学校記念館を附属施設に位置付け
	9月 21日	市立博物館が開館100周年
平成19年	4月 28日	松本市歴史の里がリニューアルオープン
	5月 3日	山と自然博物館開館、附属施設に位置付け
平成20年	3月	松本市基幹博物館基本構想策定
	4月 1日	奈川歴史民俗資料館を博物館施設としての用途廃止 梓川アカデミア館を美術館に所管替え
平成21年	6月	松本市基幹博物館基本計画策定
	4月 1日	奈川自然学習館を博物館施設としての用途廃止
	5月 2日	松本市重要文化財高橋家住宅を博物館施設として開館、附属施設に位置付け
	12月 21日	工女宿宝来屋、市の重要文化財に指定
平成22年	4月 29日	松本市はかり資料館の改修工事終了、リニューアルオープン
平成23年	2月 11日	松本市はかり資料館内に、旧三松屋蔵座敷を移築しオープン
平成25年	4月 27日	旧制高等学校記念館がリニューアルオープン
平成29年	3月	松本市基幹博物館施設構想及び建設計画策定
	11月 28日	旧松本区裁判所庁舎、国の重要文化財に指定
平成31年	4月 27日	旧山辺学校校舎がリニューアルオープン、分館に位置付け
令和元年	9月 10日	旧昭和興業製糸場、国の登録有形文化財に登録
	30日	旧開智学校校舎が国宝に指定
令和 2年	3月 6日	松本市基幹博物館建築工事着工
令和 3年	4月 1日	移転新築のため、松本市立博物館が令和5年秋(予定)まで臨時休館
	6月 1日	耐震対策工事のため、国宝旧開智学校校舎が令和6年秋(予定)まで臨時休館
令和 4年	7月 15日	松本市基幹博物館建築工事竣工
	11月 14日	松本市基幹博物館展示製作業務完了

3 重点施策

(1) 博物館本館オープンに向けた事業

- ア 開館記念事業及び開館記念特別展の開催に向け、展示計画等を進めます。
- イ 新たに設置するアソシエイトプロデューサーと連携しながら、博物館事業や人づくり等の仕掛けを進めます。

(2) 歴史文化基本構想の実現

- ア 市民団体や地域との連携事業を推進し、人づくり・まちづくりに寄与します。
- イ 市内の博物館の連携に取り組みます。
- ウ 県外博物館等との連携に取り組みます。

(3) 市民学芸員との協働事業の推進

平成24年度に発足した市民学芸員の会を平成30年度に再発足しました。市民学芸員の会と連携した各種事業を分館で実施します。

(4) 講座などの開催

分館では各施設の特徴に応じた行事を随時開催します。

4 事業の内容

博物館法第2条（定義）及び第3条（博物館の事業）、松本まると博物館構想等に基づき、次の事業を行います。

(1) 博物館本館のオープンと博物館施設（本館・15分館）の管理運営

令和5年10月の博物館本館オープンに向に合わせて、施設の管理運営に指定管理者制度を導入します。15分館については引き続き直営で管理運営を行います。

(2) 博物館資料の収集・保管・調査研究及び展示（常設展・企画展・特別展）

松本市域を含む旧松本藩領の地域の成り立ちや、文化・環境などを学習するうえで必要な博物館事業を実施します。

(3) 「学都松本」の創造に向けた、市民をはじめとする利用者の学習支援

- ア 各種講座・講演会・体験学習講座・バス見学会の実施
- イ 館ニュース「あなたと博物館」ほか刊行物の編集、発行
- ウ 小・中学生親子、転入世帯を対象とした博物館パスポートの発行と利用喚起
- エ 教育機関・各種団体への学習会講師の派遣

(4) 児童・生徒・学生の学習支援

- ア 博物館実習及び職場体験学習の学生・生徒の受入と指導
- イ 学びのきっかけづくりとなるアウトリーチ活動の実施

(5) 市民団体・地域との協働、連携

博物館関係団体主催で、日頃の活動内容や成果を発表する「博物館まつり」を開催します。

5 活動の状況

(1) 資料受入状況 (令和4年度)

(単位:点)

種 別	総 記	考 古	歴 史	民 俗	美 術	その他	合 計
購 入	0	0	0	0	0	0	0
寄 贈	11	0	21	34	86	0	152
製 作	0	0	0	0	0	0	0
採 集	0	0	0	0	0	0	0
移 管	0	0	0	0	0	0	0
合 計	11	0	21	34	86	0	152
総 数	9,338	23,155	24,631	39,333	5,717	24,398	126,572

(2) 特別展開催状況

- ア 時の記念日企画展「古時計の世界～時計メーカーと時計師」(松本市時計博物館)
令和4年5月21日(土)～令和4年6月19日(日)
- イ 特別展「松本の七夕・2022」(星に願いを)(窪田空穂記念館)
令和4年7月2日(土)～令和4年8月14日(日)
- ウ 20周年記念展「新・世界の古時計展～時計蒐集家本田親蔵に思いを馳せて」
(松本市時計博物館)
令和4年7月30日(土)～令和4年9月11日(日)
- エ 収蔵資料公開展「最新収蔵資料公開・空穂と三高弟の歌セレクション」(窪田空穂記念館)
令和4年9月13日(火)～令和4年10月30日(日)
- オ 共同企画展「空穂のふるさと 巡りくる信州の四季」写真展(窪田空穂記念館)
令和4年11月5日～令和4年11月15日
- カ あめ市歴史展「塩の道とあめ市のはじまり」(松本市時計博物館)
令和5年1月4日(水)～令和5年1月29日(日)
- キ 作品展「松本の子ども短歌・2022」(窪田空穂記念館)
令和5年3月11日(土)～令和5年4月16日(日)
- ク 工芸の五月参加企画展「旅の鞆」(松本民芸館)
令和5年3月14日(火)～令和5年7月9日(日)

6 松本市立博物館(本館)

(1) 施設の概要

松本は屋根のない博物館!松本の歩みと文化を知る。松本の今にふれ、未来を思う。
——まるごと松本を知る旅のスタート地点です。

位 置	松本市大手3丁目2番21号	電 話	32-0133
構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下3階	延床面積	7,775 m ²
開 館	令和5年10月7日予定	障害者用設備	スロープ、多目的トイレ、 エレベーター、身障者用駐車場

(2) 部門別面積

(単位:m²)

部 門	総 面 積	比 率	内 訳			
展 示	1,747	22.47%	常設展示室	902	特別展示室	616
			子ども向け展示室	101	前室1~4	78

			導入展示	50		
収 集 ・ 保 存	1,481	19.05%	一般収蔵庫 1 (2 階)	692	収蔵庫前室 1 (2 階)	38
			一般収蔵庫 2 (3 階)	49	一時保管庫	28
			トラックヤード	72	荷解室	59
			荷物用エレベーター	84	展示準備室 1 (2 階)	77
			展示準備室 2 (3 階)	78	展示パネル収納庫	35
学 習 支 援	372	4.78%	講堂	159	交流学習室	111
			図書・情報室	102		
調 査 ・ 研 究	121	1.56%	開架書庫	62	撮影室	47
					熟覧室	12
交 流 ・ 情 報 交 換	142	1.83%	市民交流スペース	79		
			会議室 1	32	会議室 3	3
集 客 ・ 観 光	144	1.85%	ミュージアムショップ	69		
			ドリンクコーナー	54	授乳室 1	14
			授乳スペース	7		
施 設 管 理	2,551	32.81%	事務室 1	117	事務室 2	36
			行政書庫	34	会議室 2	50
			委託業者控室 1~2	22	警備中央監視室	29
			MR1~5 (1 階)	125	MR6~7 (2 階)	389
			MR8~10 (3 階)	286	電気室	89
			ピラーボックス置場	2	屋外機置場	55
			ボンベ室	26	非常用発電機置場	71
			施設管理者用共用部	645	サーバー室	7
			金庫	2	ゴミ置場	7
			掃除用具・洗濯室	7	その他諸室	527
共 用 ス ペ ース	1,217	15.65%	WC、HWC	178	エレベーター	29
			ロッカー室	12	エントランスホール 1、2	430
			廊下、ロビー、パノラミックラウンジ、風除室、階段、吹抜階段	568		
合 計	7,775	100.00%				

7 松本市立博物館（分館）

(1) 国宝旧開智学校校舎

「其身を修め智を開き才芸を長ずる」。近代教育の生き証人、白亜の擬洋風建築校舎 ——文明開化の息吹きと、教育にかけた人びとの熱意が伝わります。			
位 置	松本市開智 2 丁目 4 番 12 号	電 話	32-5725
概 要	<p>開智学校は明治 9 年（1876）に竣工した、日本で最も古い小学校校舎のひとつです。初等教育を基本としていましたが、小学校にとどまらず、今の学校制度の幼稚園、中学校、高等学校、大学に当たる学校や、博物館などの生涯学習施設がここに設けられました。</p> <p>立石清重が設計した校舎は、擬洋風学校建築の代表的遺構として令和元年 9 月、新たに国宝に指定されました。また、所蔵する資料は、江戸末期から平成にわたる教育の歩みを示す教科書や学校管理文書など約 11 万点が収められ、うち、建築関係の資料 63 点は国宝附指定になっています。</p>		
構 造	木造 2 階建、棧瓦葺、寄棟、大壁造 中央部八角塔屋附	延床面積	1,283.58 m ²

ア 沿 革

- 明治 6 年 5 月 6 日 松本藩学（廃藩置県後は筑摩県学）を継承し、開智学校として開校
 明治 9 年 4 月 22 日 旧本町 1 丁目の女鳥羽川沿いに擬洋風校舎を新築、開校。計画は地元の人々、設計・施工は松本の大工棟梁立石清重 工費約 1 万 1 千円
 昭和 24 年 5 月 28 日 市立開智小学校本館が重要美術品に指定
 昭和 36 年 3 月 23 日 市立開智小学校本館が学校建築として初めて重要文化財に指定
 昭和 38 年 3 月 31 日 女鳥羽川河川改修工事のため閉校
 5 月 28 日 重要文化財旧校舎の移築復元工事起工（昭和 39 年 8 月 31 日竣工）
 昭和 40 年 4 月 1 日 教育博物館として一般公開開始
 昭和 62 年 10 月 6 日 愛媛県西予市の重要文化財開明学校と姉妹館提携を締結
 平成 10 年 2 月 28 日 『史料開智学校』全 2 1 巻刊行完結（昭和 61 年 3 月着手）
 平成 17 年 11 月 5 日 静岡県松崎町の重要文化財旧岩科学校と姉妹館提携を締結
 令和元年 9 月 30 日 近代学校建築として初めて国宝に指定される
 令和 3 年 6 月 1 日 耐震対策工事に着手し臨時休館（令和 6 年秋までを予定）

イ 収蔵資料（建築および教育関係資料等）

国宝附指定文書（明治 7 年～同 1 0 年）5 6 冊、図面 7 葉。その他建築関係資料
 江戸末期から平成にわたる教育行政、学校管理、教育課程資料、学校日誌、教案、成績物、卒業証書、教科書教材教具など約 1 1 0, 0 0 0 点

(2) 松本民芸館

「美しいものが美しい」 ——物をして美を語らしめた丸山太郎の思い、名もなき職人の手仕事にふれる癒しの空間です。			
位 置	松本市大字里山辺 1313 番地 1	電 話	33-1569
概 要	陶磁器、木工品、編組品、染織物など「庶民が使用した日常の生活用品」である民芸品を約 6,800 点所蔵し、常設展示・企画展示を合わせて約 1,000 点を展示しています。また、民芸に関する講演会や体験講座も開催しています。		
構 造	木造 2 階建瓦葺土蔵造	延床面積	432.82 m ²
開 館	昭和 58 年 4 月 1 日		

沿 革

- 昭和 37 年 11 月 3 日 丸山太郎氏創館
 昭和 58 年 2 月 1 日 市へ建物と資料を寄贈
 平成 15 年 4 月 25 日 リニューアルオープン

(3) 長野県宝旧山辺学校校舎

「山辺に残る村の学び舎」 ——八角塔のある和風校舎は教育にかける村人の心意気を今に伝えます。			
位 置	松本市大字里山辺 2932 番地 3	電 話	32-7602
概 要	昭和 3 年まで利用された校舎内で、山辺学校の建築資料や歴史を中心に、校舎を活かす展示を行っています。2 階では、山辺地区の人々が営んできた暮らしや産業についても展示し、第二次世界大戦中に市内で唯一爆撃を受けた山辺地区ならでの展示として、平和学習の展示スペースも設けています。		
構 造	木造 2 階建	延床面積	623.77 m ²
開 館	昭和 58 年 10 月	障害者用設備	多目的トイレ

沿 革

明治 18 年	山辺学校校舎が村費と村人の寄附によって建築される
明治 19 年 4 月 1 日	山辺学校開校
昭和 3 年	役場庁舎や公民館としての校舎利用開始
昭和 57 年 10 月	全面解体復元工事開始（昭和 58 年 8 月終了）
昭和 58 年 10 月 1 日	山辺学校歴史民俗資料館として開館
昭和 60 年 11 月 21 日	長野県宝に指定
平成 27 年 11 月	耐震工事開始（平成 31 年 3 月終了）
平成 31 年 4 月 27 日	旧山辺学校校舎としてリニューアルオープン

(4) 松本市立考古博物館

考古学は現在を生きる学問 ——モノを通して松本の大地に刻まれた先人の暮らしに出会えます。			
位 置	松本市大字中山 3738 番地 1	電 話	86-4710
概 要	大正 5 年（1916）旧中山村時代に、村内からの考古資料を収蔵・公開する施設としての小学校内の一室から始まります。現在は松本市内の遺跡から出土・採集された考古資料及び松本市教育委員会で実施した埋蔵文化財発掘調査によって出土した考古資料を展示・保存しています。資料総数は約 41,000 点に及びます。平成 15 年度に改修工事を行い、展示内容に体験コーナーを取り入れたものへ更新するとともに、体験学習室を新設しました。また、近接する史跡弘法山古墳のコーナーを設け、出土資料の公開をしています。		
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建	延床面積	1,036.58 m ²
開 館	昭和 61 年 8 月 2 日	障害者用設備	スロープ

沿 革

大正 5 年 12 月 1 日	中山尋常高等小学校内に考古室が開設
昭和 6 年 6 月 1 日	考古室から中山考古館となる。縄文時代、古墳時代の資料約 5,000 点を収蔵
昭和 27 年 8 月 20 日	博物館法による登録博物館に登録
昭和 29 年 4 月 1 日	中山村は松本市に合併、それに伴い松本市立博物館の分館となる
昭和 32 年 3 月	中山考古館開館準備のため休館
昭和 32 年 7 月 4 日	中山小学校横に中山考古館として開館
昭和 61 年 3 月	分館中山考古館を廃止
8 月 2 日	松本市立考古博物館開館
平成 16 年 4 月 17 日	リニューアルオープン

(5) 松本市はかり資料館

物差しで測る、天びんで計る、枴で量る。 ——懐かしい昭和の時代がよみがえる、土蔵造りの資料館です。			
位 置	松本市中央 3 丁目 4 番 21 号	電 話	36-1191
概 要	松本市はかり資料館の前身は、明治 35 年（1902）創業の「竹内度量衡店」で、平成元年（1989）に、はかりの歴史や魅力を伝える資料館として開館しました。現在、約 1,300 点を収蔵し、両替天秤・繭の雌雄選別器など 120 点を展示、附属施設の立石清重が設計施工した擬洋風建築の旧三松屋蔵座敷も公開しています。		

構造	木造瓦葺 2棟 土蔵造	延床面積	330.8㎡
開館	平成元年8月4日		

附属施設

名称	建築年	移築年	その他
旧三松屋蔵座敷	明治27年	平成23年	設計施工 立石清重

(6) 松本市旧司祭館

長野県内では現存する最古の西洋館 ——ここからわが国初の日仏辞典、セスラン神父の『和佛大辞典』の編さんが始まりました。			
位置	松本市開智2丁目6番24号	電話	32-5725
概要	明治22年に建築された西洋館。県内最古の宣教師館として保存を図るとともに、広く市民の教育文化の向上に資するため、平成2年から3年にかけて松本城北側の武家屋敷跡から現在地へ移築復元しました。 平成6年3月31日に市重要文化財に、平成17年3月28日には長野県宝に指定されています。		
構造	木造瓦葺 2階建	延床面積	202.73㎡
開館	平成3年12月1日		

(7) 旧制高等学校記念館

自治と自由と真理の探究 ——未来への憧憬と焦燥、悩める若人の青春群像の舞台です。			
位置	松本市県3丁目1番1号	電話	35-6226
概要	旧松本高等学校及び全国の旧制高等学校に関する資料を収集、保存、展示するとともに、その精神を後世に残し、教育文化の向上に役立てるため、調査研究を行っています。平成24年度には常設展示及び空調設備等の改修工事をおこない、平成25年4月27日にリニューアルオープンしました。		
構造	鉄筋コンクリート造 3階建	延床面積	1,190.48㎡
開館	平成5年7月10日	障害者用設備	エレベーター、多目的トイレ

(8) 窪田空穂記念館

この家と共に古りつつ高野槇二百とせの深みどりかも ——歌人・国文学者、窪田空穂のふるさと文学の香り漂う空間です。			
位置	松本市大字和田 1715番地1	電話	48-3440
概要	郷土が生んだ歌人、国文学者窪田空穂を偲び、永くその業績を讃えるため、誕生地である和田に開館しました。空穂の作品や日本古典文学・短歌に関する資料を展示・紹介しています。		
構造	木造一部 2階建 他収蔵庫	延床面積	752.94㎡
開館	平成5年6月5日	障害者用設備	多目的トイレ

附属施設

名称	建築年	その他
窪田空穂生家	明治8年	本棟造

(9) 重要文化財馬場家住宅

どこか懐かしく、どこか新鮮。 ——本棟造りの建物と豊かな自然環境が織りなす小宇宙、「やまふところの古屋敷」です。			
位 置	松本市大字内田 357 番地 6	電 話	85-5070
概 要	江戸時代末期から明治初期に建築された馬場家住宅は、松本市の南部、内田地区に位置し、主屋は、松本地方の民家建築として特徴のある本棟造です。また、建造物ばかりでなく往時をしのべる屋敷林、土塁等も保存され、古屋敷という屋号を持つ家格にふさわしい雰囲気があります。現在広大な屋敷地は、おおよそ西半分を松本市が寄贈をうけて管理し、東半分を個人が管理しています。平成 8 年 12 月 10 日に主屋等 6 棟の建造物と敷地が重要文化財に指定されました。		
敷地面積	12,297.24 m ²	開 館	平成 9 年 4 月 8 日

重要文化財に指定された物件

名 称	建築年代	延床面積	所有区分
主 屋	嘉永 4 年 (1851)	310.30 m ²	松本市
表門及び左右長屋	安政 6 年 (1859)	72.94 m ²	松本市
中 門	安政 6 年 (1859)	4.52 m ²	松本市
文 庫 蔵	弘化 2 年 (1845)	70.03 m ²	松本市
隠 居 屋	元治元年 (1864)	97.20 m ²	馬場氏
奥 蔵	元治元年 (1864)	115.60 m ²	馬場氏
土 地	面積 12,297.24 m ²		松本市・馬場氏

(10) 松本市歴史の里

たてもの野外博物館！ ——樽木野に移築された懐かしい建物が、信州松本の近代の歩みと文化を教えてください。			
位 置	松本市大字島立 2196 番地 1	電 話	47-4515
概 要	平成 29 年に国の重要文化財に指定された旧松本区裁判所庁舎を中心とした複合施設として、平成 13 年 11 月に (財) 日本司法博物館から松本市に移管され、平成 19 年 4 月 28 日にリニューアルオープンしました。信州の近代をテーマに、旧松本区裁判所庁舎のほか、工女宿宝来屋、木下尚江生家、旧松本少年刑務所独居舎房、旧昭和興業製糸場の建造物を移築・保存し、公開しています。		
構 造	木造 2 階建 他	延床面積	2,104.84 m ²
開 館	平成 14 年 4 月 1 日	障害者用設備	多目的トイレ、スロープ

ア 沿 革

昭和 57 年 3 月 (財) 日本司法博物館が旧長野地方裁判所松本支部庁舎を移築し、日本司法博物館として開館

平成 14 年 4 月 歴史の里として開館

イ 附属施設一覧

名 称	建築年	旧所在地	移 築 年	文化財指定
旧松本区裁判所庁舎	明治 41 年	松本市丸の内	昭和 57 年	重要文化財 庁舎 (門及び資料 2 点) 平成 29 年 11 月 28 日
工女宿宝来屋	江戸後期	松本市奈川川浦	昭和 58 年	市重要文化財 平成 21 年 12 月 22 日

名 称	建築年	旧所在地	移 築 年	文化財指定
木下尚江生家	江戸後期	松本市北深志	昭和 58 年	
旧松本少年刑務所独居舎房	昭和 28 年	松本市桐	平成 6 年	
旧昭和興業製糸場	昭和 9 年	諏訪郡下諏訪町	平成 8 年	登録有形文化財 令和元年 9 月 10 日

(11) 松本市時計博物館

廻る歯車が奏でる時のしらべ、ここで無限の時に会う。 ——大切な人と、大切なときを！				
位 置	松本市中央 1 丁目 21 番 15 号	電 話	36-0969	
概 要	松本まると博物館構想のもとで、はじめて建設されたテーマ拠点施設。 昭和 49 年に寄贈された本田コレクションを中心に、常時約 110 点の時計をできる限り動いた状態で展示しています。			
構 造	鉄筋コンクリート造 4 階建	延床面積	1,046.37 m ²	
開 館	平成 14 年 9 月 1 日	障害者用設備	エレベーター、身障者用トイレ	

(12) 松本市山と自然博物館

北アルプスの 3,000m 峰を抱く松本に織りなす美しい四季 ——自然と人とのかかわりを学び、黎明期に活躍した岳人の足跡を伝えます。				
位 置	松本市大字蟻ヶ崎 2455 番地 1	電 話	38-0012	
概 要	山岳資料や昆虫・植物資料の展示の他、自然史系博物館として身近な自然と人との関わりを学習する講座・教室を開催しています。			
構 造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 地上 2 階 地下 1 階、塔屋 5 階	延床面積	1,243.75 m ²	
開 館	平成 19 年 5 月 3 日	障害者用設備	スロープ、エレベーター、車いす、身障者用トイレ	

(13) 松本市高橋家住宅

松本城下に残る数少ない武家住宅 ——石置き屋根の風情あるたたずまいが武家の暮らしをしのばせます。				
位 置	松本市開智 2 丁目 9 番 10 号	電 話	33-1818	
概 要	現存する武家住宅としては、長野県内でもっとも古い建物のひとつとされ、昭和 44 年に松本市重要文化財に指定されました。平成 16 年に建物が松本市に寄附され、復元修理を行った後、平成 21 年 5 月に博物館施設として生まれ変わりました。			
構 造	木造平屋建て	延床面積	118.56 m ²	
開 館	平成 21 年 5 月 2 日			

(14) 松本市四賀化石館

太古との邂逅 ——いにしへの海を泳いだ、世界最古のマッコウクジラに時を越えて出会えます。			
位 置	松本市七嵐 85 番地 1	電 話	64-3900
概 要	昭和 61 年に地元の小学校 5 年生が発見した、シガマッコウクジラの全身骨格化石の展示を中心に、信州の大地のおいたちを語る化石や岩石を多数展示しています。小学校の理科「大地のつくりと変化」の学習に最適であるとして、毎年、市内外から約 2,500 名の 6 年生が来館します。		
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建	延床面積	759.57 m ²
開 館	平成元年 4 月 20 日	障害者用設備	スロープ、身障者用トイレ

(15) 松本市安曇資料館

上高地、乗鞍、梓川溪谷、大野川・稲核・嶋々・大野田の入四か村 ——「杣の村」から「発電・観光の村」へ、安曇の歩みが凝縮されています。			
位 置	松本市安曇 3480 番地 2	電 話	94-2134
概 要	安曇の地に生きる人びとの暮らしや、それをとりまく自然、歴史に関連した資料を展示している施設です。		
構 造	鉄骨造地上 2 階地下 1 階	延床面積	591.48 m ²
開 館	昭和 56 年 11 月 27 日	障害者用設備	スロープ、身障者用トイレ

8 施設利用案内（令和 5 年 4 月 1 日）

(1) 松本市立博物館（本館）

松本市立博物館は移転新築により令和 5 年 10 月 7 日に開館します。

施設名	観覧料 (単位：円)						観覧時間	休 館 日 (別途臨時休館あり)
	個人			団体 (20 名以上)				
	大人	大学生等	高校生以下	大人	大学生等	高校生以下		
松本市立博物館 (常設展示)	500	250	無料	400	200	無料	午前 9 時から午後 5 時まで	火曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
松本市立博物館 (1 階※)	-	-	-	-	-	-	午前 9 時から午後 9 時まで ※	第 3 火曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで

※ 1 大人は 18 歳以上 ※ 2 1 階子ども向け展示室は午後 5 時まで

(2) 分館

施設名	観覧料 (単位：円)				観覧時間	休館日 (別途臨時休館あり)	
	個人		団体(20名以上)				
	大人	小人	大人	小人			
国宝旧開智学校校舎	400	200	300	150	午前 9 時から 午後 5 時まで	3月から 11月まで	第 3 月曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日)
						12月から 2月まで	月曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日) 12月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
松本民芸館	310	無料	200	無料	午前 9 時から 午後 5 時まで	月曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日) 12月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで	
旧山辺学校校舎	200	無料	150	無料	午前 9 時から 午後 5 時まで	3月から 11月まで	月曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日)
						12月から 2月まで	休日等を除く日 12月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
松本市立考古博物館	200	無料	150	無料	午前 9 時から 午後 5 時まで	3月から 11月まで	月曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日)
						12月から 2月まで	休日等を除く日 12月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
松本市はかり資料館	200	無料	150	無料	午前 9 時から 午後 5 時まで	月曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日) 12月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで	
松本市旧司祭館	無料	無料	無料	無料	午前 9 時から 午後 5 時まで	3月から 11月まで	第 3 月曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日)
						12月から 2月まで	月曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日) 12月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
旧制高等学校記念館	310	無料	200	無料	午前 9 時から 午後 5 時まで	月曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日) 12月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで	
窪田空穂記念館	310	無料	200	無料	午前 9 時から 午後 5 時まで	3月から 11月まで	月曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日)
						12月から 2月まで	休日等を除く日 12月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
重要文化財馬場家住宅	310	無料	200	無料	午前 9 時から 午後 5 時まで	月曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日) 12月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで	
松本市歴史の里	410	無料	310	無料	午前 9 時から 午後 5 時まで	月曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日) 12月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで	
松本市時計博物館	310	150	260	100	午前 9 時から 午後 5 時まで	月曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日) 12月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで	
松本市山と自然博物館	310	無料	200	無料	午前 9 時から 午後 5 時まで	月曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日) 12月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで	
松本市高橋家住宅	無料	無料	無料	無料	午前 9 時から 午後 5 時まで	3月から 11月まで	休日等を除く日
						12月から 2月まで	月曜日から土曜日まで 12月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
松本市四賀化石館	310	150	200	100	午前 9 時から 午後 5 時まで	3月から 11月まで	月曜日 (当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日)
						12月から 2月まで	休日等を除く日 12月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
松本市安曇資料館	無料	無料	無料	無料	午前 9 時から 午後 5 時まで	5月 1 日から 11 月 30 日までの休日等を除く日 12月 1 日から 4 月 30 日まで	

※ 国宝旧開智学校校舎は耐震対策工事のため臨時休館 (令和 3 年 6 月 1 日～令和 6 年秋(予定)まで)

9 施設観覧者数等

施設名	年度	観覧券販売枚数	入館者数	(入館者数のうち) 無料観覧者数	観覧料収入	備考
		枚	人	人	円	
松本市立博物館	2年度	243,554	75,480	14,316	36,089,874	come(calm)to matsumotoキャンペーンのため、令和3年3月1日～3月31日まで無料開館 観覧券販売枚数の詳細は脚注※1参照 臨時休館の詳細は脚注※3参照
	3年度	0	0	0	0	
	4年度	0	0	0	0	

施設名	年度	有料観覧者数	無料観覧者数	観覧者総数	観覧料収入	備考
		人	人	人	円	
国宝旧開智学校校舎	2年度	52,849	14,871	67,720	18,612,650	come(calm)to matsumotoキャンペーンのため、令和3年3月1日～3月31日まで無料開館 耐震対策工事のため令和3年6月1日～令和6年秋(予定)まで臨時休館 臨時休館の詳細は脚注※3参照
	3年度	10,416	2,013	12,429	3,650,200	
	4年度	0	0	0	0	
松本民芸館	2年度	5,137	1,159	6,296	1,541,760	臨時休館の詳細は脚注※3、6参照
	3年度	6,748	1,459	8,207	2,044,030	
	4年度	10,266	1,697	11,963	3,092,480	
旧山辺学校校舎	2年度	603	773	1,376	115,600	臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	3年度	578	4,237	4,815	114,200	
	4年度	805	4,816	5,621	156,200	
松本市立考古博物館	2年度	750	1,898	2,648	147,550	臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	3年度	1,061	3,267	4,328	211,250	
	4年度	2,071	3,577	5,648	410,400	
松本市はかり資料館	2年度	1,877	1,333	3,210	363,750	臨時休館の詳細は脚注※3、6参照
	3年度	2,494	2,287	4,781	486,850	
	4年度	4,090	4,632	8,722	790,500	
旧制高等学校記念館	2年度	1,360	2,732	4,092	402,790	臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	3年度	1,618	5,170	6,788	474,410	
	4年度	2,713	5,411	8,124	799,230	
窪田空穂記念館	2年度	140	1,286	1,426	42,410	臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	3年度	163	1,228	1,391	49,980	
	4年度	246	1,694	1,940	74,060	
重要文化財馬場家住宅	2年度	812	2,063	2,875	251,060	臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	3年度	1,003	3,031	4,034	309,610	
	4年度	1,244	2,754	3,998	368,040	
松本市歴史の里	2年度	1,600	4,437	6,037	639,400	臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	3年度	2,161	5,482	7,643	849,110	
	4年度	3,560	5,198	8,758	1,334,900	
松本市時計博物館	2年度	8,050	2,264	10,314	2,343,760	臨時休館の詳細は脚注※3、6参照
	3年度	11,941	2,694	14,635	3,428,430	
	4年度	20,054	3,863	23,917	5,831,240	
松本市山と自然博物館	2年度	2,491	20,454	22,945	767,370	無料観覧者数の詳細は脚注※2参照 臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	3年度	1,751	35,287	37,038	542,370	
	4年度	1,960	36,139	38,099	603,090	
松本市高橋家住宅	2年度	-	1,370	1,370	-	臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	3年度	-	2,257	2,257	-	
	4年度	-	2,596	2,596	-	
松本市四賀化石館	2年度	3,347	3,444	6,791	802,570	臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	3年度	4,175	4,917	9,092	1,021,510	
	4年度	4,296	4,262	8,558	1,020,490	
松本市安曇資料館	2年度	-	432	432	-	臨時休館の詳細は脚注※5、6参照
	3年度	-	517	517	-	
	4年度	-	804	804	-	

※1 観覧券販売枚数は松本城・市立博物館特別観覧券等の販売実績を基に算出しています。

※2 松本市山と自然博物館の無料観覧者数は展望台及び2階無料展示エリアのみの観覧者数を含みます。

※3 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月4日(水)～3月24日(火)、3月26日(木)～5月31日(日)まで臨時休館をしました。

※4 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月4日(水)～3月24日(火)、3月26日(木)～5月15日(金)まで臨時休館をしました。

(松本市山と自然博物館の展望台及び2階無料展示エリアは、更に6月2日(火)まで観覧休止しました。)

※5 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年5月1日(金)～5月15日(金)まで臨時休館をしました。

※6 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年9月3日(金)～9月12日(日)まで臨時休館をしました。

Ⅲ 松本城の保存・整備と活用

1 概 要

文化財保護法に基づき、国宝松本城天守及び史跡松本城を保存管理するとともに、その活用を図り文化の創造に役立てています。

2 沿 革

永正元年 (1504)	島立右近が深志城を築くと伝えられる
天文19年 (1550)	武田晴信が深志城を占領、鋏立てをする
天正10年 (1582)	織田勢に攻められて武田氏敗退、機を見て小笠原貞慶が入城し松本城と改名する
天正18年 (1590)	豊臣秀吉の世となり小笠原秀政を古河へ移封、代わって石川数正入封
文禄3年 (1593)	石川数正、康長父子により天守が築造される
~4年(1594)頃	
寛永11年 (1634)頃	松平直政により月見櫓、辰巳附櫓が付設される (築城以来、石川、小笠原、戸田、松平、堀田、水野、戸田と6家 23代にわたり城主が代わる)
明治4年 (1871)	廃藩置県により松本県(7月)、筑摩県(11月)となる 松本城の櫓、太鼓門などが取り壊される
明治5年 (1872)	天守など払下げとなるが、後に市川量造らにより買い戻される
明治36年 (1903)	天守の修理(明治の大修理)が行われる(完了は大正2年(1913))
昭和5年 (1930)	本丸と二の丸(一部)が国の史跡に指定される
昭和11年 (1936)4月	天守など5棟が国宝(国宝保存法)に指定される
昭和25年 (1950)	天守の解体復元工事(昭和の大修理)が国の直轄事業として行われる
昭和27年 (1952)3月	天守など5棟が国宝(文化財保護法)に指定される
昭和30年 (1955)	解体復元落成祭を行う
昭和35年 (1960)	黒門枳形一の門が復興される
昭和45年 (1970)	総堀の一部が国の史跡に追加指定される
昭和54年 (1979)	二の丸御殿跡の発掘調査と史跡整備に着手(昭和60年(1985)完成)
昭和61年 (1986)6月	黒門枳形二の門(高麗門)と袖堀復元に着手(平成2年(1990)1月完成)
平成8年 (1996)3月	史跡松本城太鼓門枳形復元工事起工式を行う
平成11年 (1999)3月	史跡松本城太鼓門枳形復元工事落成式を行う
平成17年 (2005)	解体復元50周年を迎える
平成19年 (2007)2月	西総堀土墨跡(土井尻)が国の史跡に追加指定される
平成22年 (2010)3月	史跡松本城西総堀土墨跡の整備が完成する
平成25年 (2013)3月	南・西外堀の一部が国の史跡に追加指定される (以降、平成29年度まで継続して追加指定)

3 重点施策

- (1) 国宝松本城天守・史跡松本城の文化財としての適切な公開・保全管理を行います。
- (2) 国宝松本城天守・史跡松本城の歴史的な調査研究を進めるため、必要な資料等を収集するとともに、適切な保存・管理・活用を行います。
- (3) 平成11年に策定した「松本城およびその周辺整備計画」に基づき、史跡松本城の歴史的整備を計画的に進めます。
- (4) 平成26～28年度に実施した天守耐震診断及び平成30年度に実施した黒門・太鼓門の耐震診断結果をもとに、各建造物の耐震対策に取り組みます。
- (5) 松本城の防災に対する取組みを強化するため、天守の耐震事業とあわせ、建造物等の防災設備の見直し及び防災体制の強化を図ります。
- (6) 松本城の堀の水質浄化を図るため、堆積物の除去（浚渫）を進めます。
- (7) 松本城や松本藩に関連する歴史資料の収集、調査・研究、保存と、松本城に関する学びの機会を提供します。
- (8) 松本城にふさわしい行事の開催やホスピタリティの向上、PR等の推進による魅力アップに取り組みます。

4 事業の内容

(1) 史跡松本城の整備

史跡松本城の整備は昭和51年度に策定した16項目からなる「松本城中央公園整備計画」を基に進め、困難な4項目を残し終了しました。

その後、平成11年9月「史跡松本城整備研究会」の調査研究と指導・助言を仰ぎ、18項目に厳選した「松本城およびその周辺整備計画」を策定しました。現在はこの計画に基づき、早期に事業化すべきものから順次進めています。

また、史跡松本城の今後の整備に関する方向性や手順を明確にするため、史跡松本城保存活用計画等の内容を反映した、「史跡松本城整備基本計画」を令和5年度中に策定します。

ア 南・西外堀復元事業

(ア) 事業概要

松本城南・西外堀の復元は、「松本城およびその周辺整備計画」で、外堀の史跡化を図るとともに、内環状北線（外堀大通り）道路拡幅改良工事と一体化し、地元の理解と協力を得て復元すると位置付けています。平成29年度に実施した土壌汚染調査の結果、事業用地の一部に自然由来と推定される土壌汚染が確認され、平成30年度に事業方針を堀復元から平面整備へと変更しましたが、「水をたたえた堀」の実現に向けて調査・研究を進めています。

(イ) 経過

昭和51年度 「松本城中央公園整備計画」で外堀復元の基本方針を決定

平成11年度 「松本城およびその周辺整備計画」を策定

平成18年度	文化庁の指導により発掘を実施
平成20年度	関係地権者に個別意向調査を実施
平成21年度	史跡範囲を決めるための測量調査を実施
平成22年度	地元説明会を5回開催し、南・西外堀復元計画及び内環状北線（先線）の整備計画の素案を提示
平成23年度	地元の相談窓口として松本城周辺整備課を設置 権利関係者等に対して権利調査及び意向調査を実施 地元説明会で権利調査及び意向調査結果を報告 用地測量を実施 「松本城南・西外堀復元に係る事業計画」を策定
平成24年度	松本城周辺整備課を本部体制にして城下町整備本部を設置 ブロック別説明会の開催 南・西外堀の一部が史跡松本城に追加指定
平成25年度	ブロック別説明会を開催し、用地買収単価等について説明 事業用地取得に着手 南・西外堀の一部が史跡松本城に追加指定
平成26～ 29年度	事業用地の取得、南・西外堀の一部が史跡松本城に追加指定（民有地部分の追加指定が平成29年度に完了）
平成30年度 令和2年度	事業方針を堀復元から平面整備へと変更し、権利関係者及び地元へ説明 市議会6月定例会において、市長が「水をたたえたお堀」復元のための調査・研究を進める考えを表明
令和3年度 令和4年度	新たに設置されたお城まちなみ創造本部が南・西外堀復元事業を主管 文化庁に「水をたたえた堀」を復元整備することを協議し、了承 市議会総務委員協議会へ取り組み状況を報告

(ウ) 今後の取組み

現在の事業方針である「平面整備」から、「水をたたえた堀復元」への転換に向けた調査研究等はお城まちなみ創造本部、用地買収・家屋補償等は公共用地課、史跡整備のための国・県との協議・調整及び幕末維新期の堀の範囲・形状を把握するための発掘調査は文化財課がそれぞれ担当して事業を進めます。なお、事業推進にあたっては、計画段階から市民への丁寧な説明を行い、市民の声に耳を傾けながら、事業への理解と協力が得られるよう、慎重な対応により進めていきます。

イ 国宝松本城天守耐震対策事業

(ア) 事業概要

国宝松本城天守の地震時の安全性を確保するため、国の「重要文化財（建造物）耐震診断指針」に基づき、平成26～28年度の3カ年で実施した松本城天守（5棟）の耐震診断結果を基に耐震構造補強内容を検討のうえ、耐震対策工事基本計画を策定し、耐震補強工事を実施するものです。

(イ) 経過

平成26 ～28年度	国宝松本城天守耐震診断を実施し、大地震動時の耐震性能が不足していることが判明
平成29年度	国宝松本城天守耐震対策基本計画策定に着手、当面の安全対策として天守内への入場制限や警備員配置と避難誘導計画の策定に着手
令和元年度	耐震に係る石垣の取扱いについて、国の指針を待たず、松本市独自の

調査方法検討に着手

- 令和 2 ～ 3 年度 天守の耐震補強内容検討に必要な基礎データを取得するための天守台内部地盤及び石垣等の調査実施および調査結果の集約・解析
- 令和 4 年度 石垣の耐震対策補強案を検討

(ウ) 今後の取組み

これまでの取組成果を基に、天守と石垣の一体的な耐震補強案の作成を進め、国宝松本城天守耐震対策専門委員会で検討を行い、耐震対策基本計画を策定します。

ウ 国宝松本城天守防災対策事業

(ア) 事業概要

フランスのノートルダム大聖堂や沖縄県の首里城の火災を受け、松本城天守耐震対策工事への影響を考慮しながら、既存防災設備の見直し・更新、新たな防災設備の設置を計画的に行い、防災に対する取組みを強化するものです。

(イ) 経過

- 令和 2 年度 防災設備の更新・新設に係る実施設計を実施
- 令和 3 年度 自動火災報知設備やスプリンクラー等自動消火設備、屋内外消火設備等の更新・新設と、設備設置に伴う発掘調査の実施
- 令和 4 年度 スプリンクラーに接続するポンプ室や貯水槽などの送水設備新設や、電気配管、配水管の敷設、受電設備の改修を実施

(ウ) 今後の取組み

老朽化した本丸庭園内の電気配管、配水管の更新、既存ポンプ室の改修を行います。設備の更新に伴う本丸内の遺構確認を行います。

エ 黒門・太鼓門耐震対策事業

(ア) 事業概要

地震時の来場者の安全確保を目的に、平成 30 年度に実施した耐震診断結果を基に、文化庁や有識者と相談・協議を行いながら、黒門・太鼓門の建造物利用に影響が生じないような補強内容を検討したうえで、耐震対策を行うものです。

なお、耐震補強工事は大地震動時の被害が大きい太鼓門から先行して実施し、黒門は、天守耐震対策工事の実施時期と調整しながら、太鼓門耐震補強工事完了後、来場者等に不都合が生じないよう事業を進めます。

(イ) 経過

- 平成 30 年度 松本城黒門・太鼓門の耐震診断を実施し、大地震動時の耐震性能が不足していることが判明
- 令和 2 年度 黒門・太鼓門耐震対策基本計画を策定
- 令和 3 年度 太鼓門の実実施設計実施
- 令和 4 年度 太鼓門の一の門、二の門の耐震補強工事を実施

(ウ) 今後の取組み

令和 3 年度に実施した実施設計に基づき、袖堀の耐震補強と一の門及び袖堀の漆喰塗替工事を実施予定

オ 堀浄化対策事業

(ア) 事業概要

松本城の堀（内堀、外堀、総堀）の堆積物除去（浚渫）や水質の浄化により、歴史的な景観及び快適な公園環境の維持向上を図るものです。

(イ) 経過

- 平成25年度 松本城天守南西側の内堀の浚渫工事
平成30～ 堀の堆積物・水量・水質等の基礎データを取得するための松本城堀総合
令和2年度 調査を実施
令和2年度 松本城の堀に適した浚渫工法確認のための実証実験（3工法・約900
m³）を実施
令和3年度 令和2年度に実施した実証実験の結果等をもとに、松本城の堀に適した
堆積物除去（浚渫）の工法を選定
令和4年度 全面的な堀浚渫のための実施設計を実施

(ウ) 今後の取組み

浚渫に着手し、令和11年度の堀浚渫事業の完了を目指します。

また、日常的な堀浄化業務を、松本城管理の主管課である松本城管理課に協力し、継続して実施します。

(2) 松本城歴史資料保存事業・学びと研究事業

松本城を後世に残し伝えるために必要な資料を収集したうえで、調査・研究及び保存を進めます。また、それらの成果を活用しながら、松本城を身近に感じてもらうために「松本城の歴史・夏休み子ども勉強会」「松本城講座 城と鉄砲」「学校・企業への出前講座」などの学びの機会を提供します。

(3) 国宝松本城の公開と活用

松本城天守等の公開と通常管理及び松本城公園の管理、各種行事の開催は、文化観光部松本城管理課が担当しています。

ア 松本城天守の公開

松本市を代表する文化財・文化観光施設として、市民及び観光客に松本城天守及び本丸庭園を公開しています。文化財課城郭整備担当が行う各種整備事業に協力し、来場者の安全管理等に努めています。

イ 各種行事開催

観光誘客と市民のお城への愛着の醸成や文化財の活用として、国宝松本城夜桜会、国宝松本城新能、国宝松本城古式砲術演武等の各種行事を開催しています。例年11月3日を中心に開催している「お城まつり」については、「松本城を世界遺産に推進実行委員会」が令和3年度に松本城の日を11月10日と決定したことにより、11月3日から11月10日までの期間を通して行事等を開催する「国宝松本城Week」を実施しています。

ウ 国宝松本城おもてなし隊事業

松本城における甲冑・和服等による、写真撮影サービス等来場者への「記憶に残る松本城体験」の提供、周辺案内等による松本城を基点とした回遊性創出のきっかけ作りを行うための「国宝松本城おもてなし隊事業」に取り組んでいます。

エ 松本城観光ガイド環境整備支援について

松本城の観光案内ボランティア2団体（松本城案内グループ、アルプス善意通訳協会）について円滑な活動をサポートするため、観光ガイド案内所の設置、従事者のユニフォーム整備、研修等環境整備支援を行っています。

オ 松本城VR、インターネットを活用した情報発信について

スマートフォン等の情報端末向けアプリケーションを通して松本城内の往時の姿を再現したVR映像を楽しむことができる松本城VRの活用を進めるとともに、ホームページやイ

Instagram等 SNS を活用した情報発信を進めています。令和4年度末からは、静止画ライブカメラを本丸庭園内と黒門の2台体制とし、YouTube でライブ動画配信しています。

5 指 定

区分	指定年月日	名称及び規模	摘要			所有者	
			高さ	床面積	延床面積		
国 宝	(国宝保存法) 昭和 11.4.20	天 守 5重6階本瓦葺木造	29.4m	267.1㎡	1,050.5㎡	国	
		乾小天守 3重4階本瓦葺木造	16.8m	74.7㎡	199.2㎡		
		渡 櫓 2重2階(一部地階)	12.0m	39.6㎡	79.2㎡		
	(文化財保護法) 昭和 27.3.29	本瓦葺木造	14.7m	28.9㎡	57.8㎡		
		辰巳附櫓 2重2階本瓦葺木造	11.1m	35.5㎡	71.1㎡		
		月見櫓 1重1階(一部地階)		(合計)	(合計)		
		本瓦葺木造	445.8㎡	1,457.8㎡			
史 跡	(史跡名勝天然 記念物保存法) 昭和 5.11.19	本丸跡地 園地	面 積	18,307.00㎡		国 長野県他 松本市他 松本市他 松本市 松本市他	
		二の丸跡地 園地(含松本城公園)		30,038.18㎡			
	堀跡地 内堀、外堀	26,923.58㎡					
	(文化財保護法) 昭和 25.8.29	堀跡地 総堀		8,307.56㎡			
	追加	西総堀土塁跡地		679.48㎡			
	昭和 45.1.17	堀跡地 南・西外堀		9,419.80㎡			
	平成 19.2.6			計	93,675.60㎡		
	平成 25.3.27						
	平成 26.3.18						
	平成 27.3.10						
平成 28.3.1							
平成 29.10.13							
位置		松本市丸の内4番1号他					

6 観 覧 料

文化財保護法に基づき、管理保護に万全を期するとともに、国宝松本城及び史跡松本城本丸庭園を有料公開しています。

区 分	個 人(円)		団 体			備 考
	大 人	小 人	区分(人)	大人(円)	小人(円)	
観覧料	700	300	20~99	630	270	団体扱いは20人以上
			100~299	560	240	
			300以上	490	210	
公開期間	1月1日から12月28日まで				正月、日曜、祭日も公開し、 観覧の便をはかっている	
公開時間	午前8時30分から午後5時まで				春季及び夏季時間延長	

※ 松本市民は天守を除く本丸庭園内への入場は無料

7 観覧状況等（資料：松本城管理課）

(1) 年次別・各種別観覧状況

年度	総 数		料 金(円)			
	料 金 (円)	人 員 (人)	個 人		団 体	
			大 人	小 人	大 人	小 人
H30	284,002,950	743,069	227,140,410	11,280,200	43,827,300	1,755,040
R元	283,596,552	717,645	228,510,490	11,087,020	42,315,584	1,683,458
2	137,755,440	266,625	121,496,020	4,905,060	8,387,304	2,967,056
3	215,049,959	343,872	189,112,000	9,089,400	10,481,959	6,366,600
4	402,716,060	626,951	350,248,500	16,636,200	31,599,050	4,232,310

年度	入 場 者 数 内 訳(人)			
	個 人		団 体	
	大 人	小 人	大 人	小 人
H30	554,001	56,401	122,457	10,210
R元	538,230	54,511	115,079	9,825
2	218,443	21,047	11,631	15,504
3	270,160	30,298	18,507	24,907
4	500,355	55,454	54,500	16,642

(2) 駐車場利用状況

年度	総 数		開 智 駐 車 場		臨 時 駐 車 場	
	台 数	料 金	台 数	料 金	台 数	料 金
	台	円	台	円	台	円
H30	140,463	51,061,570	112,747	43,445,770	27,716	7,615,800
R元	140,811	51,299,550	116,043	44,654,750	24,768	6,644,800
2	83,125	29,518,480	73,594	27,231,980	9,531	2,286,500
3	100,128	33,850,580	89,139	31,259,080	10,989	2,591,500
4	145,004	49,742,920	123,322	44,073,120	21,682	5,669,800

資料編



- I 教育委員会関係委員会名簿
- II 指定・登録等文化財一覧
- III ホームページ・SNS
- IV 定期刊行物

I 教育委員会関係委員名簿

1 松本市教育委員会事務点検評価委員会

根拠法令等 松本市教育委員会事務点検評価委員会設置要綱

活動内容 松本市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行う。

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学識経験者	荒井 英治郎	松本市教育顧問 信州大学教職支援センター准教授
学校教育関係者	杉村 修一	長野県高等学校長会 事務局長
社会教育関係者	伊東 直登	元松本大学松商短期大学部教授 松本市図書館協議会長

(任期 令和6年3月31日まで)

2 学都松本推進協議会

根拠法令等 学都松本推進協議会設置要綱

活動内容 学都松本を推進するため、学都松本フォーラム等の事業について協議し、実施する。

会長◎ 副会長○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学校教育及び 社会教育関係者	川 船 義 嗣	松本まるごと博物館友の会
	百 瀬 一 美	松本市社会教育委員
	相 馬 路 子	大野川小中学校学校運営協議会
	齊 藤 孝 資	松本城案内グループ
	中 田 安 子	松本市公民館運営審議会
	谷 口 和 恵	松本地域子ども文庫・おはなしの会連絡会
家庭教育関係者	永 塚 博	松本市子ども会育成連合会
	市 川 一 彦	松本市PTA連合会
有識者	金 井 直	信州大学人文学部教授
	伊 東 直 登	元松本市教育委員会事務点検評価委員
公募	中 村 美 智 子	公募委員
	櫻 井 利 彦	公募委員
	服 部 公 威	公募委員

(任期 令和6年6月30日まで)

3 社会教育委員

根拠法令等 松本市社会教育委員条例

活動内容 社会教育に関する研究、調査、審議を行い、教育委員会への助言及び意見を述べる。

議長◎ 副議長○

区分	氏名	所属団体等
学校教育関係者	三輪 千子	松本市校長会（波田小学校長）
	久保村 智	中信地区高等学校校長会（美須ヶヶ丘高等学校長）
社会教育関係者	◎ 白木 好雄	元町内公民館長会会長
	○ 百瀬 一美	前安曇公民館長
	栗田 せつこ	博物館市民学芸員
	中村 良子	松本市女性団体連絡協議会幹事
家庭教育関係者	由井 三佐子	松本市子ども会育成連合会監事
	○ 内藤 謙	元松本市PTA連合会会長
学識経験者	丸山 文男	松本大学 人間健康学部スポーツ健康学科准教授
公募による市民	上嶋 太	公募
	後藤 将史	公募
	山田 裕一	公募

（任期2年：令和6年3月31日まで）

4 松本市教育文化センター運営委員会

根拠法令等 松本市教育文化センター条例、松本市教育文化センター運営委員会規則

活動内容 教育文化センターの運営を円滑に行う。

委員長◎ 職務代理○

区分	氏名	所属団体等
学校教育関係者の代表	○ 松田 真理	松本市校長会（芳川小学校長）
	阪口 和彦	松本市校長会（松島中学校長）
	坂口 克夫	元松本市教育会長（元今井小学校長）
	原 修司	教育文化センター専門委員会代表（源池小学校長）
社会教育関係者の代表	百瀬 英昭	博物館市民学芸員の会 会長
	百瀬 淳一	スターウォッチングクラブ北斗
	小幡 泰俊	里山辺公民館長
学識経験者	◎ 澤柿 教淳	松本大学教育学部学校教育学科教授
	木下 誠一郎	元松本市教育文化センター科学博物館長
教育委員会が必要と認める者	三澤 禧美子	長野県退職女性校長会長

（任期2年：令和5年9月30日まで）

5 松本市立小学校、中学校結核対策委員会

根拠法令等 松本市立小学校、中学校結核対策委員会設置要綱

活動内容 松本市立小学校、中学校の児童生徒への結核感染防止、感染者及び発病者の早期発見・早期治療、患者発生時の対応の充実・強化を図る。

委員長◎

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
松本市保健所長	◎ 塚 田 昌 大	松本市保健所長
結核対策の専門家	五 味 英 一	松本市医師会感染症対策委員 (医療法人抱生会丸の内病院生活習慣病センターセンター長)
学校医	宮 林 麻 里	松本市医師会学校保健衛生担当理事 (みやばやしこどもクリニック院長)
学校長	木 村 令 子	田川小学校長
養護教諭	齊 藤 有 華	山辺小学校養護教諭

(任期1年：令和5年7月まで)

6 松本市教育支援委員会

根拠法令等 松本市教育支援委員会設置条例

活動内容 個別の教育的ニーズのある幼児児童生徒について専門的な調査、審議を行い、就学に関する相談、判断をはじめ、早期からの教育相談を含めた一貫した支援を行う。

委員長◎ 副委員長○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学識経験者	◎ 洞 沢 佳 久	元寿台養護学校長
	○ 渡 邊 和 幸	松本養護学校長
	田 中 寛 人	梓川小学校長
医師	石 田 修 一	城西病院 (小児科医)
	窪 田 俊 樹	くぼた眼科医院 (眼科医)
	佐 藤 圭 司	佐藤耳鼻咽喉科医院 (耳鼻科医)
	宮 城 真 志	まつもと内科・心療内科クリニック (精神科医)
	鈴 木 成 典	鈴木整形外科 (整形外科医)
教育職員	倉 澤 輝 巳	寿台養護学校教諭
	古 瀬 英 之	松本盲学校教諭
	竹 川 太 一 郎	開成中学校教諭
	末 益 奈 緒 美	鉢盛中学校教諭
児童福祉施設職員	池 内 泰 恵	松本圏域障がい者総合相談支援センターWish 発達障害サポートマネージャー
	松 本 久 憲	松本市保育課 保育専門指導員
	山 崎 ひ と み	松本市子ども福祉課 あるぷキッズ支援担当課長 (保健師)

(任期2年：令和6年5月31日まで)

7 松本市教育相談員

学齡未満児の就学に関する教育相談及び小・中学校児童生徒に対する就学支援を行う。

氏名	摘要	氏名	摘要
古瀬 英之	松本盲学校教諭	両澤 佳代	源池小学校教諭
齋藤 春美	鎌田小学校教諭	小林 直子	寿小学校教諭
飯尾 美穂	松本ろう学校教諭	宮島 さち	山辺小学校教諭
倉澤 輝巳	寿台養護学校教諭	上野 由香里	岡田小学校教諭
高見澤 智美	清水小学校教諭	馬場 美穂	明善小学校教諭
内城 美里	島立小学校教諭	波多腰 智恵	二子小学校教諭
常盤 明子	旭町小学校教諭		
上條 美紀子	菅野小学校教諭		
大王 博子	芝沢小学校教諭		

(任期2年：令和6年3月31日まで)

8 松本市学校給食センター運営委員会

根拠法令等 松本市学校給食センター条例、松本市学校給食センター運営委員会規則

活動内容 学校給食に関する重要な事項を審議する。

区分	氏名	所属団体等
学校長	伊藤 茂	二子小学校長
	普明 秀幸	女鳥羽中学校長
	五明 佳代	筑摩小学校長
PTA関係者	高木 守	松本市PTA連合会会長
	米倉 直樹	菅野中学校PTA副会長
	石橋 治	岡田小学校PTA会長
	齋藤 鮎美	梓川小学校PTA学級会長会長
	西澤 瑞穂	波田中学校PTA会長
	横山 幸仁	会田中学校PTA会長
松本市保健所	塚田 昌大	松本市保健所長
学校医	宮林 麻里	松本市医師会理事
	須澤 弥生子	松本市歯科医師会理事
学校薬剤師	吉澤 貴代美	松本薬剤師会常務理事
有識者	中嶋 恒子	前県学校栄養教諭

(任期2年：令和7年5月末まで)

9 松本市学校給食食品等選定委員会

根拠法令等 松本市学校給食食品等選定委員会設置要綱

活動内容 市立小中学校における、安全で良質な学校給食食品を確保し、円滑な運営を図る。

区分	氏名	所属団体等
学校長	清水 伸行	明善中学校長
学校長	五明 佳代	筑摩小学校長
P T A関係	滝沢 由佳	松本市P T A連合会副会長
教育委員会が必要と認めるもの	成瀬 祐子	松本大学人間健康学部健康栄養学科専任講師
松本市保健所関係者	丸山 彩音	松本市保健所健康予防課管理栄養士
学校給食課長	三代澤 昌秀	学校給食課長
教育委員会が必要と認めるもの	斉藤 歩	西部学校給食センター栄養教諭
	東方 映里奈	東部学校給食センター栄養教諭
	荻上 裕子	波田学校給食センター栄養教諭
	百瀬 速宏	西部学校給食センター係長（調理員）
	宮坂 一男	東部学校給食センター（調理員）

（任期 1年：令和6年5月18日まで）

10 松本市公民館運営審議会（松本市Mウイング文化センター運営委員会）

根拠法令等 松本市公民館条例、松本市公民館運営審議会規則、松本市Mウイング文化センター運営委員会設置要綱

活動内容 館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するとともに、Mウイング文化センターの運営について協議する。

委員長◎ 副委員長○

区分	氏名	所属団体等
学校教育	五明 佳代	筑摩小学校長
	阪口 和彦	松島中学校長
社会教育	御子柴 宏	元寿公民館長、寿地区学校応援団顧問
	立石 恵子	NPOフリマネット信州代表
	高橋 昌子	更生保護女性会会長
	降旗 都子	第三地区まちづくり協議会副会長
	染井 伴子	松本市女性団体連絡協議会
	中田 安子	前第三地区公民館長
	百瀬 壽	松本市町内公民館長会会長
	中島 麻衣	松本BBS会
山口 茂	松本市公民館報全市版編集委員長	
家庭教育	熊谷 留理子	松本市P T A連合会副会長
	○ 久保田 由美	松本みんなのほんご教室
有識者	◎ 向井 健	松本大学総合経営学部准教授

	前 田 豊	信州大学人文学部助教
公募者	北原 千佐子	公募
	興 熹	公募

(任期2年：令和5年7月31日まで)

1.1 松本市青少年ホーム運営委員会

根拠法令等 松本市青少年ホーム条例、松本市青少年ホーム条例施行規則

活動内容 青少年ホームの運営・活性化・青少年の福祉の増進に関して意見を述べる。

委員長◎ 副委員長○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
ホームの利用者	○ 奥 山 祈	松本市青少年ホーム利用者の会 監事
	千 葉 葵	信州大学地域参画プロジェクト CHANGE 代表
関係行政機関の職員	小 林 宏 安	松本公共職業安定所業務部長
有識者	小 澤 美 智 子	ジョブカフェ講師、プリマリアカウンセラー養成講座講師
	◎ 勝 亦 達 夫	信州大学キャリア教育・サポートセンター講師
	二 茅 真 由 美	中信子ども・若者総合相談センター受託事業者 NPO法人ジョイフル

(任期2年：令和6年5月31日まで)

1.2 松本市あがたの森文化会館管理運営委員会

根拠法令等 松本市あがたの森文化会館管理運営委員会設置要綱

活動内容 教育委員会の求めに応じ、文化会館の管理運営に関する事、重要文化財旧松本高等学校の保存活用に関する事及び保存活用計画の進行管理に関する事に意見を述べる。

委員長◎ 委員長職務代理○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
同窓会役員	可 知 偉 行	信州大学文理学部同窓会会長
利用団体の 代表者	丸 山 修 二	松本交響楽団 理事長
	太 田 瑞 穂	松本シビックウインドオーケストラ 代表
	小 幡 周 子	創作人形教室 代表
有識者	◎ 上 野 勝 久	東京藝術大学大学院教授
	○ 松 田 昌 洋	信州大学工学部建築学科助教

(任期2年：令和6年3月31日まで)

1.3 松本市図書館協議会

根拠法令等 松本市図書館条例、松本市図書館協議会規則

活動内容 図書館の運営に関し、中央図書館長の諮問に応じるとともに、図書館の行う図書館奉仕について、館長に対して意見を述べる。

会長◎ 会長職務代理○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
委員	柳澤 充人	松本市校長会（大野川小中学校長）
	内藤 謙	松本市社会教育委員
	赤津 章恵	松本地域子ども文庫・おはなしの会連絡会
	○ 豊嶋 さおり	学都松本子ども読書活動推進委員会 委員長
	長岡 眞弓	朗読ふれあいの会
	◎ 伊東 直登	元塩尻市立図書館長、長野県図書館協会副会長
	住吉 冬子	松本視覚障害者福祉協会
	宮永 忠将	公募

（任期2年：令和5年8月4日まで）

1.4 学都松本子ども読書活動推進委員会

根拠法令等 学都松本子ども読書活動推進委員会設置要綱

活動内容 学都松本子ども読書活動推進計画の効果的な実施及び継続的な推進を行う。

会長◎ 副会長○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学校教育	三ツ井 千恵子	元松本幼稚園長、元田川小学校長
	○ 上條 ひとみ	元鎌田小学校司書
社会教育	奥原 忠孝	社会教育委員
	小岩井 成人	城北公民館長
子ども読書活動を 推進する者	谷口 和恵	松本地域子ども文庫・おはなしの会連絡会
	舟田 恵理子	二子児童センター長
有識者	◎ 豊嶋 さおり	松本短期大学幼児保育学科 非常勤講師 おはなしの会 すがのっくる代表
公募	越高 令子	公募
	清水 理恵	公募

（任期2年：令和6年10月23日まで）

15 松本市文化財審議委員会

根拠法令等 松本市文化財保護条例、松本市文化財審議委員会の組織及び運営等に関する規則
 活動内容 文化財に関する重要事項を調査、審議する。

委員長◎ 副委員長○

区 分	氏 名	専 門 分 野
学識経験者	伊藤 羊子	美術史
	小山 泰弘	自然（植物）
	後藤 芳孝	歴史（中近世史）
	大串 潤児	歴史（近現代史） ※任期：令和7年6月30日まで
	原 明 芳	考古
	梅干野 成央	建築史
	○三石 稔	民俗
	◎山本 雅道	自然（水生動物）
	米山 文香	建築設計

（任期2年：令和6年6月30日まで）

16 松本市特別名勝及び特別天然記念物上高地保存管理協議会

根拠法令等 松本市特別名勝及び特別天然記念物上高地保存管理協議会設置要綱
 活動内容 本文化財の適切な保存管理に向けた協議を行う。

会長◎ 副会長○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
有識者	◎ 佐々木 邦博	信州大学名誉教授
	○ 鈴木 啓助	信州大学理学部特任教授・名誉教授
	大窪 久美子	信州大学農学部教授
	苅谷 愛彦	専修大学文学部教授
	北原 曜	信州大学名誉教授
	東城 幸治	信州大学理学部教授
地域関係者	小林 清二	上高地町会長
	青柳 浩一郎	上高地観光旅館組合長
	山田 直	北アルプス山小屋友交会 会長
国	羽生田 久男	林野庁中信森林管理署森林技術指導官
	三宅 悠平	林野庁中信森林管理署上高地森林事務所治山技術官
	小口 貴雄	国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所 建設専門官
	松野 壮太	環境省中部山岳国立公園上高地管理官事務所国立公園管理官
県	柏木 和之	長野県環境部自然保護課自然公園整備係長
	宮坂 勲	長野県松本建設事務所計画調査課課長補佐
	贄田 明	長野県教育委員会文化財・生涯学習課主任指導主事

（任期2年：令和6年10月23日まで）

17 特別天然記念物白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用協議会

根拠法令等 特別天然記念物白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用協議会設置要綱

活動内容 本文化財の適切な保存活用に向けた協議を行う。

会長◎ 副会長○

区分	氏名	所属団体等
有識者	◎ 大塚 勉	信州大学全学教育機構特任教授（地質学）
地域関係者	○ 齋藤 志津人	白骨温泉まちづくり委員会委員長、白骨温泉旅館組合理事長
	齋藤 元紀	一般社団法人松本市アルプス山岳郷代表理事
	木村 希喜	大野川区長、大野川区町会長
	筒木 隆雄	丸永旅館経営
行政関係者	森川 政人	環境省信越自然環境事務所中部山岳国立公園管理事務所長
	石尾 浩市	国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所長
	太田 茂登	長野県松本建設事務所長
	贄田 明	長野県教育委員会文化財・生涯学習課主任指導主事

（任期2年：令和6年7月28日まで）

18 史跡弘法山古墳調査委員会

根拠法令等 史跡弘法山古墳調査委員会設置要綱

活動内容 史跡弘法山古墳の再整備に向けた適切な調査、保存活用方法等について、専門的な見地から検討する。

委員長◎ 副委員長○

区分	氏名	所属団体等
有識者	◎ 北條 芳隆	東海大学文学部教授
	○ 矢島 宏雄	元千曲市歴史文化財センター専門員
	赤塚 次郎	NPO法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク理事長
	若狭 徹	明治大学文学部教授

（任期3年：令和7年11月25日まで）

19 史跡小笠原氏城跡整備基本計画策定委員会

根拠法令等 史跡小笠原氏城跡整備基本計画策定委員会設置要綱

活動内容 史跡小笠原氏城跡の保存活用及び整備の指針となる史跡小笠原氏城跡整備基本計画を策定する。

委員長◎ 副委員長○

区分	氏名	役職等
学識経験者	◎ 笹本 正治	長野県立歴史館特別館長
	○ 原 明芳	松本市文化財審議委員会委員
	大塚 勉	信州大学特任教授
	佐々木 邦博	信州大学名誉教授
	中井 均	滋賀県立大学名誉教授
地域関係者	小岩井 俊忠	林古城会会長
	窪田 浩	井川城下区町会長
	赤廣 伴夫	入山辺橋倉町会長
	横山 盛高	里山辺林町会長

(任期 計画が策定される日まで)

20 まつもと文化遺産保存活用協議会

根拠法令等 まつもと文化遺産保存活用協議会設置要綱

活動内容 松本市歴史文化基本構想に基づく歴史文化を活かしたまちづくりを推進するため、まつもと文化遺産の認定及び解除、保存活用策の検討等を行う。

会長◎ 副会長○

区分	氏名	所属団体等
文化財所有者	大谷 宥秀	牛伏寺副住職
地域住民代表者	原 勝美	今井地区文化財委員会
	有馬 正敏	松本市地域文化財連絡協議会
NPO 法人等関係団体の代表	山本 桂子	新まつもと物語プロジェクト
	高松 伸幸	ココブラ信州実行委員会代表
商工・観光関係団体の代表	花岡 由梨	中町商店街振興組合
	瀬原田 久英	(一社)松本観光コンベンション協会事務局
関係行政機関の代表	馬場 伸一郎	長野県教育委員会
	新村 芳男	松本市公民館長会
有識者	後藤 芳孝	松本市文化財審議委員会
	倉澤 聡	都市計画家
	巻山 圭一	松本大学教職センター

(任期2年：令和6年9月30日まで)

2.1 史跡松本城整備研究会

根拠法令等 史跡松本城整備研究会規程

活動内容 史跡松本城の整備と環境保全等について専門的な見地から調査研究する。

委員長◎

区分	氏名	所属団体等
知識経験者	◎ 渡邊 定夫	東京大学名誉教授
	吉田 ゆり子	東京外国語大学大学院 総合国際学研究院教授
	佐々木 邦博	信州大学農学部名誉教授
	原 明 芳	安曇野市豊科郷土博物館長
	西形 達 明	関西大学名誉教授
	梅干野 成央	信州大学工学部建築学科准教授
	澤柳 秀 子	松本大学教育学部教職支援センター専門員
	米 本 潔	文化遺産マネジメントラボアドバイザー総括

(任期2年：令和5年9月30日まで)

2.2 史跡松本城整備基本計画策定委員会

根拠法令等 史跡松本城整備基本計画策定委員会設置要綱

活動内容 良好な状態で後世に引き継いでいくための適切な整備を図る計画を策定する。

委員長◎

(任期2年：令和6年3月31日まで)

区分	氏名	所属団体等
知識経験者	◎ 渡邊 定夫	東京大学名誉教授
	吉田 ゆり子	東京外国語大学大学院 総合国際学研究院教授
	佐々木 邦博	信州大学農学部名誉教授
	原 明 芳	安曇野市豊科郷土博物館長
	西形 達 明	関西大学名誉教授
	梅干野 成央	信州大学工学部建築学科准教授
	澤柳 秀 子	松本大学教育学部教職支援センター専門員
	米 本 潔	文化遺産マネジメントラボアドバイザー総括

2.3 国宝松本城天守耐震対策専門委員会

根拠法令等 国宝松本城天守耐震対策専門委員会設置要綱

活動内容 国宝松本城天守の適切な耐震対策を専門的な見地から検討する。

委員長◎

区分	氏名	所属団体等
知識経験者	大窪 健之	立命館大学理工学部教授
	河合 直人	工学院大学建築学部教授
	後藤 治	工学院大学総合研究所教授
	藤田 香織	東京大学大学院工学系研究科教授
	松田 昌洋	信州大学工学部助教
	◎ 渡邊 定夫	東京大学名誉教授
	西形 達明	関西大学名誉教授
	橋本 隆雄	国土館大学理工学部教授

(任期2年：令和7年8月31日まで)

2.4 松本市博物館協議会

根拠法令等 松本市立博物館条例、松本市博物館協議会規則

活動内容 博物館法及び松本市立博物館条例に基づき、松本市立博物館の運営等に関し協議する。

会長◎ 副会長○

区分	氏名	所属団体等
学校教育	玉水 智香子	松本市校長会（開智小学校長）
社会教育	川船 義嗣	松本まるごと博物館友の会会長
	百瀬 英昭	市民学芸員の会会長
家庭教育の向上に 資する活動を行う者	村井 博子	特定非営利活動法人 中信多文化共生ネットワーク
有識者	◎ 笹本 正治	長野県立歴史館 特別館長
	山根 宏文	松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学科教授
	米山 文香	松本市文化財審議委員会委員
公募	川手 修一	市民学芸員の会
	林 信孝	市民学芸員の会
教育委員会が必要と 認める者(観光関係者)	○ 小林 磨史	松本ホテル旅館協同組合理事長 ホテルニューステーション代表取締役

(任期 2年：令和6年10月31日まで)

2.5 窪田空穂記念館運営委員会

根拠法令等 窪田空穂記念館運営委員会設置要綱

活動内容 窪田空穂記念館の事業を効果的に実施するため、意見又は提言を行う。

委員長◎ 副委員長○

選出区分	氏名	所属団体等
歌壇関係者	大下 一真	歌人・空穂会会長
	三枝 浩樹	歌人・空穂会幹事
学識経験者	◎ 大澤 秀夫	鈴蘭幼稚園理事長
	折井 理智子	茶道教授（裏千家）
	高野 毅	松本市校長会長（旭町小学校長）
	赤羽 秀明	芝沢小学校長
地元関係者	○ 萩原 良治	松本市和田公民館長
教育委員会が必要と認める者	三ツ井 夏月	信州大学職員・信大競技かるたサークルOG
記念館設立協力者	窪田 武夫	血縁者・生家提供者

（任期 2年：令和7年4月30日まで）

Ⅱ 指定・登録等文化財一覧(令和5年4月1日現在)

(1) 概要

(単位 件)

指定別	区分	件数	種別内訳
国指定	国宝	2	建造物 2
	重要文化財	16	建造物 9 彫刻 5 工芸品 1 典籍 1
	重要有形民俗文化財	3	年中行事 1 信仰 1 生産生業 1
	史跡	3	史跡 3
	名勝	1	特別名勝 1
	天然記念物	2	特別天然記念物 2
	重要美術品	2	工芸品 1 書跡 1
国登録	登録有形文化財(建造物)	73	住宅 26 治山治水 5 学校 5 生活関連 6 産業1次 4 産業2次 1 産業3次 6 宗教 18 文化福祉1 その他 1
国選択	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	2	風俗慣習 2
国 小計		104	
県指定	県宝	20	建造物 5 絵画 1 彫刻 9 考古資料 3 歴史資料 1 工芸品 1
	無形民俗文化財	1	無形民俗文化財 1
	史跡	4	史跡 4
	名勝	2	名勝 2
	天然記念物	9	天然記念物 9
県選択	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	1	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 1
県 小計		37	
市指定	重要文化財	129	建造物 26 絵画 6 彫刻 34 工芸品 12 書跡 3 典籍 1 古文書 5 考古資料 11 歴史資料 31
	重要有形民俗文化財	5	有形民俗文化財 5
	重要無形民俗文化財	25	無形民俗文化財 25
	特別史跡	19	特別史跡 19
	特別名勝	10	特別名勝 10
	特別天然記念物	40	特別天然記念物 40
市登録	登録文化財	3	建造物 3
市 小計		231	
合計(国+県+市)		372	

※複数の種別で指定されている文化財は、それぞれの種別で1件ずつ数える。

(2) 国指定文化財等

ア 国宝 [2件]

指定年月日	種別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地
昭和27. 3.29	建造物	松本城天守	5棟	国(管理:松本市)	丸の内4-1
令和元. 9.30	建造物	旧開智学校校舎	1棟	松本市	開智2-4-12

イ 重要文化財 [16件]

指定年月日	種別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地
大正 3. 8.25	彫刻	木造十一面観音及両脇侍立像	3軀	牛伏寺	内田2573
	彫刻	木造釈迦如来及両脇侍像	3軀	牛伏寺	内田2573
	彫刻	木造薬師如来坐像	1軀	牛伏寺	内田2573
	彫刻	木造大威徳明王像	1軀	牛伏寺	内田2573
昭和 5. 5.23	建造物	筑摩神社本殿	1棟	筑摩神社	筑摩2-6-1
昭和12. 8.25	彫刻	木造阿弥陀如来及両脇侍像	3軀	真光寺	梓川上野1918
昭和24. 2.18	建造物	大宮熱田神社本殿	1棟	大宮熱田神社	梓川梓4419
	建造物	大宮熱田神社若宮八幡宮本殿	1棟	大宮熱田神社	梓川梓(南北条)
昭和28. 8.29	建造物	若宮八幡社本殿	1棟	若宮八幡社	筑摩3-6-2
	建造物	田村堂	1棟	松本市	波田4570
昭和34.12.18	工芸品	孔雀文磬	1面	松本市	丸の内4-1(市立博物館)
昭和55. 6. 6	典籍	宋版漢書	60冊	松本市	中央4-2-22(美術館)
平成 8.12.10	建造物	馬場家住宅	6棟	松本市・個人	内田357-6他
平成19. 6.18	建造物	旧松本高等学校	2棟	松本市	県3-1-1
平成24. 7. 9	建造物	牛伏川本流水路(牛伏川階段工)	1所	長野県	内田字内田山
平成29.11.28	建造物	旧松本区裁判所庁舎	1棟	松本市	島立2196-1

ウ 重要有形民俗文化財 [3件]

指定年月日	種別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地
昭和30. 4.22	年中行事	七夕人形コレクション	45点	松本市	丸の内4-1(市立博物館)
昭和34. 5. 6	信仰	民間信仰資料コレクション	293点	松本市	丸の内4-1(市立博物館)
	生産生業	農耕用具コレクション	79点	松本市	丸の内4-1(市立博物館)

エ 史跡 [3件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和 5.11.19	史跡	松本城 (昭和45.1.17総堀追加指定) (平成19.2.16西総堀土塁追加指定) (平成25.3.27南西外堀追加指定) (平成26.3.18南西外堀追加指定) (平成27.3.10南西外堀追加指定) (平成28.3.1南西外堀追加指定) (平成29.10.13南西外堀追加指定)	国・県・松本市他	丸の内4-1他
昭和51. 2.20	史跡	弘法山古墳	松本市	並柳2-1000他
平成29. 2. 9	史跡	小笠原氏城跡 (井川城跡・林城跡) (平成31.2.26林城跡(小城)追加指定)	松本市・個人	井川城1-4553他、里山辺5348他

オ 名勝 [1件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和27. 3.29	特別名勝及び特別天然記念物	上高地	国・穂高神社	安曇4469-2他

カ 天然記念物 [2件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和27. 3.29	特別名勝及び特別天然記念物	上高地	国・穂高神社	安曇4469-2他
	特別天然記念物	白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石 (令和2.3.10石灰華分布域追加指定)	松本市ほか	安曇4190-ハ他

キ 重要美術品 [2件]

指定年月	種別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地
昭和18.10. 1	書跡	手鑑「兎玉集」	1帖	松本市	中央4-2-22(美術館)
昭和19. 7. 6	工芸品	銅鐘	1口	長稱寺	女鳥羽2-4-42

ク 登録有形文化財(建造物) [73件]

登録年月日	種別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地
平成11.10.14	住宅	原田家住宅主屋	1棟	個人	入山辺南方582
平成12. 4.28	住宅	波多腰家住宅主屋	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅米蔵	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅味噌蔵	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅納屋	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅灰屋	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅蔵	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅文庫蔵	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅表門	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅門	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅中門	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅南門	1棟	個人	波田6492
平成14. 8.21	治山治水	釜ヶ淵堰堤	1基	国	安曇4460地先
平成15. 3.18	学校	長野県松本深志高等学校管理普通教室棟	1棟	長野県	蟻ヶ崎3-8-1
	学校	長野県松本深志高等学校講堂	1棟	長野県	蟻ヶ崎3-8-1
平成16. 3. 2	住宅	塩原家住宅主屋	1棟	個人	今井上耕地5990
	住宅	塩原家住宅門	1棟	個人	今井上耕地5990
	住宅	塩原家住宅米蔵	1棟	個人	今井上耕地5990
	産業1次	塩原家住宅蚕屋	1棟	個人	今井上耕地5990
	産業3次	松本館旧館	1棟	株松本館	丸の内163-1
	産業3次	松本館便所棟	1棟	株松本館	丸の内163-1
平成17.11.10	宗教	無量寺本堂	1棟	無量寺	会田岩井堂3111
	宗教	無量寺庫裏	1棟	無量寺	会田岩井堂3111
	宗教	無量寺鐘楼堂	1棟	無量寺	会田岩井堂3111
平成17.11.10	宗教	無量寺宝物殿	1棟	無量寺	会田岩井堂3111
	宗教	無量寺土蔵	1棟	無量寺	会田岩井堂3111
	宗教	無量寺衆寮	1棟	無量寺	会田岩井堂3111

平成19.10.2	産業3次	旧第一勸業銀行松本支店	1棟	榊明神館	大手3-70-5
平成22.9.10	産業3次	旧光屋店舗兼主屋	1棟	個人	大手4-1169-1他
	産業3次	旧光屋文庫蔵	1棟	榊明神館	大手4-1169-1他
平成23.10.28	学校	松商学園高等学校本館	1棟	学松商学園	県3-2312-2他
	学校	松商学園高等学校講堂	1棟	学松商学園	県3-2301-4他
	学校	松商学園高等学校柔剣道場	1棟	学松商学園	県3-2301-4他
	産業3次	徳本峠小屋休憩所	1棟	個人	安曇1743
	住宅	嘉門次小屋田畑裏の間	1棟	有嘉門次小屋	安曇4469-1
	産業1次	旧上高地孵化場飼育池(信州大学山岳科学総合研究所上高地ステーション観察)	1所	国立大学法人信州大学	安曇4469-1
	産業1次	旧上高地孵化場物置(信州大学山岳科学総合研究所上高地ステーション別館)	1棟	国立大学法人信州大学	安曇4469-1
平成24.8.13	その他	旧松本歩兵第五十連隊糧秣庫(信州大学医学部資料室)	1棟	国立大学法人信州大学	旭3-696-1
平成26.10.7	宗教	徳運寺本堂	1棟	徳運寺	入山辺4526
	宗教	徳運寺庫裏	1棟	徳運寺	入山辺4526
	宗教	徳運寺山門及び高塀	1棟	徳運寺	入山辺4526
平成27.8.4	生活関連	松本市上下水道局島内第一水源集水井及び会所	1棟	松本市	島内3635-1
	生活関連	松本市上下水道局島内第一水源石垣及び階段	1棟	松本市	島内3635-1
	生活関連	松本市上下水道局島内第一水源旧唧室	1棟	松本市	島内3890-1
	生活関連	松本市上下水道局島内第一水源倉庫	1棟	松本市	島内3890-1
	生活関連	松本市上下水道局城山配水地接合井	1棟	松本市	蟻ヶ崎字城山腰1133-1
	生活関連	松本市上下水道局城山配水地旧配水池	1棟	松本市	蟻ヶ崎字城山腰1133-1
平成29.10.27	住宅	大嶋家住宅主屋	1棟	個人	笹賀4143
平成30.3.27	住宅	本折井家住宅主屋	1棟	個人	白板1丁目81
平成30.5.10	住宅	平林家住宅主屋	1棟	個人	笹賀5063
令和元.9.10	産業2次	旧昭和興業製糸場	1棟	松本市	島立2196-1(歴史の里)
令和3.2.26	宗教	日本聖公会松本聖十字教会	1棟	日本聖公会中部教区	開智1-200-1
令和3.10.14	治山治水	牛伏川第二号堰堤	1基	長野県	大字内田字内田山
	治山治水	牛伏川第三号堰堤	1基	長野県	大字内田字内田山
	治山治水	牛伏川第四号堰堤	1基	長野県	大字内田字内田山
	治山治水	牛伏川第五号堰堤	1基	長野県	大字内田字内田山
	住宅	旧小澤家住宅主屋	1棟	合名会社小沢一塚社	保福寺246
	住宅	旧小澤家住宅離れ	1棟	合名会社小沢一塚社	保福寺246
	住宅	旧小澤家住宅北土蔵	1棟	合名会社小沢一塚社	保福寺246
	住宅	旧小澤家住宅南土蔵	1棟	合名会社小沢一塚社	保福寺246
	文化福祉	旧松岡医院	1棟	有かわかみ建築設計室	大手5丁目1319-5
	令和4.10.31	宗教	下今井諏訪神社諏訪社	1棟	宗教法人諏訪神社
宗教		下今井諏訪神社八幡社	1棟	宗教法人諏訪神社	今井2971番地2
宗教		下今井諏訪神社八坂社	1棟	宗教法人諏訪神社	今井2971番地2
宗教		下今井諏訪神社神楽殿	1棟	宗教法人諏訪神社	今井2971番地2
宗教		續麻・今井(兼平)神社續麻社	1棟	宗教法人續麻神社兼平神社	今井1077番地
宗教		續麻・今井(兼平)神社兼平社	1棟	宗教法人續麻神社兼平神社	今井1077番地
宗教		續麻・今井(兼平)神社神明社	1棟	宗教法人續麻神社兼平神社	今井1077番地
宗教		續麻・今井(兼平)神社神楽殿	1棟	宗教法人續麻神社兼平神社	今井1077番地
住宅		旧小穴家住宅主屋	1棟	個人	北深志1丁目319番地1
住宅		旧小穴家住宅書庫	1棟	個人	北深志1丁目319番地1
住宅		旧小穴家住宅離れ	1棟	個人	北深志1丁目319番地1
産業1次		黒川堰追分隧道	1基	東筑摩郡黒川堰土地改良区	波田3622番4

ケ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 [2件]

選択年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
平成10.12.1	風俗慣習	松本のミキノクチ製作習俗		
平成12.12.25	風俗慣習	松本のコトヨウカ行事		

(3) 県指定文化財等

ア 県宝 [20件]

指定年月日	種別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地
昭和41. 1.27	建造物	筑摩神社拝殿	1棟	筑摩神社	筑摩2-6-1
昭和42. 5.22	工芸品	刀銘松代藩吉原一菴直行佩刀 明治元年十月日兼虎	1口	個人	入山辺85
昭和44. 5.15	考古資料	桜ヶ丘古墳出土品 (平成22.10.18金銅製天冠除く63点追加指定)	64点	松本市	中山3738-1(考古博物館)
昭和45.10.22	絵画	絹本着色真言八祖像	8幅	洞光寺	刈谷原町692
昭和47. 3.21	彫刻	木造千手観音立像	1躯	海岸寺千手観音保存会	入山辺東桐原
昭和49. 1.17	彫刻	木造金剛力士像	2躯	松本市	波田4570-1他
昭和49.11.14	彫刻	木造十一面観音立像	1躯	放光寺	蟻ヶ崎1283
昭和51. 3.29	建造物	橋倉家住宅	1棟	松本市	旭2-10-1
昭和60.11.21	建造物	旧山辺学校校舎	1棟	松本市	里山辺2932-3
	彫刻	木造蔵王権現立像	1躯	牛伏寺	内田2573
	彫刻	木造如意輪観音坐像	1躯	牛伏寺	内田2573
	彫刻	木造奪衣婆坐像	1躯	牛伏寺	内田2573
昭和61. 8.25	歴史資料	里山辺お船祭のお船	9基	里山辺9町会	里山辺9町会
平成 5. 8.12	考古資料	弘法山古墳出土品	一括	松本市	中山3738-1(考古博物館)
平成10.10.26	彫刻	銅造菩薩半跏像	1躯	盛泉寺	波田6011
平成11. 3.18	彫刻	銅造伝薬師如来坐像御正体残闕	1躯	盛泉寺	波田6011
平成17. 3.28	建造物	旧松本カトリック教会司祭館	1棟	松本市	開智2-6-24
平成24. 3.22	建造物	旧念来寺鐘楼	1棟	妙勝寺	中央4-9-12
平成30. 2.13	彫刻	銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像	3躯	西善寺	和田境1317
令和 2. 3.16	考古資料	エリ穴遺跡出土品	485点	松本市	中山3738-1

イ 無形民俗文化財 [1件]

指定年月日	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和63. 3.24	島立堀米の裸祭り	島立堀米町会	島立堀米

ウ 史跡 [4件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和35. 2.11	史跡	埴原牧跡附信濃諸牧牧監庁跡	松本市・個人	中山古屋敷、千石、乾田
昭和45.10.22	史跡	小笠原氏城跡 (昭和55.9.8山家城、桐原城追加指定)	松本市・個人	入山辺字日影7350他
昭和59. 3. 1	史跡	旧野麦街道	国・松本市	奈川ワサビ沢
平成 9. 2.20	史跡	針塚古墳	松本市	里山辺3172,3173

エ 名勝 [2件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和54. 3.22	名勝	中田氏庭園	個人	出川2-23-4
昭和56.12. 7	名勝	三本滝	国	安曇国有林144林班ホ

オ 天然記念物 [9件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和37. 9.27	天然記念物	梓川のみも	大宮熱田神社	梓川梓4419
昭和40. 7.29	天然記念物	千手のイチョウ	個人	入山辺8548
昭和43. 5.16	天然記念物	大野田のフジキ	伊勢二ノ宮神社	安曇394
昭和48. 3.12	天然記念物	穴沢のクジラ化石	松本市	取出大平1236-1
昭和60.11.21	天然記念物	シナノトド化石	松本市	七嵐85-1(化石館)
平成15.12. 7	天然記念物	八幡宮鞠子社のメグスリノキ	八幡宮鞠子社合殿	梓川上野1942-1
平成17. 3.28	天然記念物	反町のマッコウクジラ全身骨格化石	松本市	七嵐85-1(化石館)
平成17. 9.26	天然記念物	横川の大イチョウ	個人	中川横道下4825-1他
平成19. 1.11	天然記念物	矢久のかや	個人	中川6229

カ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 [1件]

選択年月日	名称	所有者又は管理者	所在地
平成13. 9.11	松本のぼんぼん・青山様		

(4) 市指定文化財

ア 重要文化財 [129件]

指定年月日	種別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地
昭和36. 1.24	工芸品	筑摩神社梵鐘	1口	筑摩神社	筑摩2-6-1
	工芸品	筑摩神社の陵王・納曾利面	2面	筑摩神社	筑摩2-6-1
	工芸品	廣澤寺堆朱菊花文香合	1合	廣澤寺	里山辺5112
昭和37. 8.31	彫刻	男神立像	1軀	牛伏寺	内田2573
	彫刻	女神坐像	2軀	牛伏寺	内田2573
	彫刻	地藏菩薩半跏像	1軀	牛伏寺	内田2573
	彫刻	十王像 附 司命司録	12軀	牛伏寺	内田2573
	彫刻	童子坐像 附 子持石	1軀	牛伏寺	内田2573
	工芸品	追儺面	2面	牛伏寺	内田2573
	工芸品	鉄磬残欠 附 鉄劍残欠 鏡残欠	5口	牛伏寺	内田2573
昭和44. 7. 4	建造物	岡宮神社本殿	1棟	岡宮神社	旭1-4-16
	建造物	牛伏寺観音堂	1棟	牛伏寺	内田2573
	建造物	牛伏寺仁王門	1棟	牛伏寺	内田2573
	建造物	無極寺本堂	1棟	無極寺	和田1743
	建造物	高橋家住宅	1棟	松本市	開智2-9-10
	建造物	浄林寺山門	1棟	浄林寺	中央1-24-2
	建造物	中田家住宅	2棟	個人	出川2-23-4
	工芸品	岡宮神社神輿	1台	岡宮神社	旭1-4-16
	工芸品	深志神社神輿	2台	深志神社	深志3-7-43
昭和55. 3.18	彫刻	大安楽寺の木造大日如来坐像	1軀	大安楽寺	女鳥羽2-5-8
	彫刻	西善寺の木造阿弥陀如来坐像及両脇侍立像	3軀	西善寺	和田境1317
	彫刻	西善寺の木造地藏菩薩半跏像	1軀	西善寺	和田境1317
	彫刻	正念寺の木造阿弥陀如来半跏像及両脇侍立像	3軀	正念寺	寿中1-28-7
	彫刻	正念寺の木造地藏菩薩立像	1軀	正念寺	寿中1-28-7
昭和61. 3.13	彫刻	今村観音堂の木造阿弥陀如来坐像	1軀	笹賀今区	笹賀827
	彫刻	小俣観音堂の木造千手観音立像 附 注文証文	1軀	笹賀小俣区	笹賀1824-1
昭和62. 4.14	考古資料	柏木古墳出土品	一括	松本市	中山3738-1(考古博物館)
	考古資料	中山36号古墳出土品	一括	松本市	中山3738-1(考古博物館)
昭和63. 3.17	彫刻	神宮寺の薬師如来坐像	1軀	神宮寺	浅間温泉3-21-1
	彫刻	王徳寺の不動明王坐像	1軀	王徳寺	寿北9-10-1
	考古資料	下神遺跡熊坂10号住居址出土品	一括	松本市	中山3738-1(考古博物館)
平成 6. 3.31	建造物	馬場家住宅旧灰部屋	1棟	松本市	内田357-6
平成 7. 4.28	建造物	千鹿頭神社本殿	1棟	千鹿頭神社	神田1-887
	建造物	千鹿頭社本殿	1棟	千鹿頭社	里山辺5203
	建造物	松本城天守土台支持柱残欠	1基	松本市	丸の内4-1
	絵画	西善寺紙本着色釈迦涅槃図	1幅	西善寺	和田境1317
	工芸品	松竹梅と桐紋蒔絵の女乗物	1台	松本市	丸の内4-1(市立博物館)
	工芸品	戸田家伝世の甲冑	1領	個人	丸の内4-1(市立博物館)
	工芸品	野々山家伝来拵付大小	1腰	松本市	丸の内4-1(市立博物館)
	書跡	西善寺名号刻字額	1面	西善寺	和田境1317
	古文書	諸士出身記並びに出身記・出身帳等	一括	松本市	丸の内4-1(松本城)
	古文書	朱印状及び領知目録	一括	松本市	丸の内4-1(松本城)
	考古資料	旧海岸寺経塚出土品	一括	松本市	丸の内4-1(市立博物館)
	考古資料	南方古墳出土品	一括	松本市	中山3738-1(考古博物館)
	考古資料	三間沢川左岸遺跡出土銅印	1顆	松本市	中山3738-1(考古博物館)
	考古資料	南栗遺跡出土銅鏡	1点	松本市	中山3738-1(考古博物館)
	考古資料	針塚遺跡再葬墓出土弥生土器	一括	松本市・個人	中山3738-1(考古博物館)
	歴史資料	寛永通宝松本銭と鑄造の許状	1点1通	松本市	丸の内4-1(市立博物館)
	歴史資料	松本城下絵図	1舗	松本市	丸の内4-1(松本城)
	歴史資料	信濃国松本藩領国大絵図	1舗	松本市	丸の内4-1(松本城)

平成11. 3. 4	建造物	浅間温泉天満宮本殿	1棟	天満宮	浅間温泉1173-2
	建造物	和田神社本殿	1棟	和田神社	和田2687
平成13. 7. 2	歴史資料	西善寺の彈誓上人立像	1軀	西善寺	和田境1317
	歴史資料	正念寺の彈誓上人立像	1軀	正念寺	寿中1-28-7
平成15. 2.26	建造物	小俣諏訪社本殿	1棟	小俣諏訪社	笹賀1822
平成18. 3.27	建造物	松澤家長屋門	1棟	松本市	会田361
	絵画	奉納絵馬「潮干狩之図」	1幅	会田御厨神明宮	会田4040-1
	彫刻	木造千手観音立像	1軀	保福寺	保福寺町727-4
	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	1軀	穴沢町会	穴沢525-イ
	彫刻	木造大覚禪師倚像	1軀	長安寺	会田1001-1
	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	1軀	廣田寺	会田566
平成19. 3.30	建造物及び工芸品	恭俊寺鐘楼並びに梵鐘	1棟	恭俊寺	梓川梓5577
	建造物	山村家稲荷社	1棟	個人	村井町南1-29-7
	彫刻	聖観世音菩薩像	1軀	金松寺	梓川梓3457
	彫刻	釈迦堂の釈迦如来坐像	1軀	南北条町会他	梓川梓4238-1
平成20.12.22	建造物	上野真光寺の観音厨子	1棟	真光寺	梓川上野1918
	絵画	洞光寺紙本着色釈迦涅槃図	1幅	洞光寺	刈谷原町692
	絵画	常光寺紙本着色釈迦涅槃図	1幅	保福寺町町会	保福寺町142-2
	絵画	氷室の三大師画像	1幅	氷室地区総代	梓川倭2765
	彫刻	麻生薬師堂木造薬師如来坐像及び両脇侍立像	3軀	麻生集落	五常8184-口
	歴史資料	刈谷原町の庚申塔	1基	刈谷原町町会	刈谷原町無番地
	歴史資料	常光寺木造大日如来坐像	1軀	保福寺町町会	保福寺町142-2
	歴史資料	常光寺木造毘沙門天立像	1軀	保福寺町町会	保福寺町142-2
	歴史資料	原山の善光寺常夜燈	1基	原山町会	中川2237-3
	歴史資料	会吉の地藏	1基	会吉町会	中川会吉 地藏峠
	歴史資料	藤池の百体観音	一括	藤池町会	中川7887
	歴史資料	浄雲寺木造阿弥陀如来立像	1軀	浄雲寺	取手934
	歴史資料	長安寺木造虚空蔵菩薩坐像	1軀	長安寺	会田611
	歴史資料	廣田寺山門周辺石造物群	一括	廣田寺	会田566
	歴史資料	廣田寺木造十八羅漢像	18軀	廣田寺	会田566
	歴史資料	本町の善光寺常夜燈	1対	本町町会	会田432-1
	歴史資料	岩井堂の芭蕉句碑	1基	無量寺	会田337-2
	歴史資料	無量寺木造阿弥陀如来坐像	1軀	無量寺	会田3111
	歴史資料	岩井堂の観音堂木造千手観音坐像	1軀	長安寺	会田3596
	歴史資料	観音山周辺石造物群	一括	長安寺	会田3596
	歴史資料	岩井堂の馬頭観音	1基	岩井堂町会	会田9172-18
	歴史資料	麻生薬師堂薬師如来	1基	麻生集落	五常8184-口
	歴史資料	小室七日山金比羅宮参道石仏群	一括	小室町会金比羅宮氏子	梓川梓6930
	平成21.12.22	建造物	工女宿宝来屋	1棟	松本市
彫刻		男神坐像	1軀	牛伏寺	内田2573
彫刻		明阿上人坐像	1軀	松本市	丸の内4-1(市立博物館)
考古資料		経筒	1点	牛伏寺	内田2573
歴史資料		松本神社の宝物	118点	松本神社	丸の内10-37
歴史資料		餌差町十王堂の諸仏	13軀	餌差町十王堂の諸仏保存会	大手5-5-31
歴史資料		深志神社の宝物	3点	深志神社	深志3-7-43
平成23. 3.22	建造物	金亀多宝塔	1棟	盛泉寺	波田6011
	彫刻	銅造菩薩立像	1軀	盛泉寺	波田6011
	彫刻	木造不動明王立像	1軀	盛泉寺	波田6011
	彫刻	真言宗祖師像	2軀	盛泉寺	波田6011
	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	1軀	上波田高齢者クラブ	波田4570
	彫刻	銅造薬師如来坐像御正体残闕	1軀	個人	波田5984
	彫刻	線彫六地藏尊像	6基	盛泉寺	波田6011
	彫刻	線彫一石六地藏尊像	1基	盛泉寺	波田6011
	彫刻	線彫閻魔王坐像	1基	上波田高齢者クラブ	波田4570
	歴史資料	西光寺絵図	1幅	上波田高齢者クラブ	波田4570
	歴史資料	若澤寺関係供養碑	3基	水沢山共有林組合他	波田4570他
	歴史資料	若澤寺参道丁石	10基	水沢山共有林組合他	波田4570他

平成24. 3.26	建造物	八坂神社本殿	1棟	八坂神社	里山辺3684-1
	考古資料	古瀬戸瓶子・四耳壺	2点	松本市	波田4417-1(波田公民館)
平成27. 7. 7	建造物	正覚院観音堂	1棟	正覚院	今井2180-1
	建造物	牛伏寺観音堂宮殿	1棟	牛伏寺	内田2573-1
	建造物	牛伏寺如意輪堂	1棟	牛伏寺	内田2573-1
	絵画	牛伏寺四尊像	1幅	牛伏寺	内田2573-1
	工芸品	牛伏寺銅板線刻十一面観音御正体	1面	牛伏寺	内田2573-1
	書跡	牛伏寺法華経断簡	1幅	牛伏寺	内田2573-1
	書跡	牛伏寺光明真言頌	1幅	牛伏寺	内田2573-1
	典籍	牛伏寺宋版大般若経	94帖18点	牛伏寺	内田2573-1
	考古資料	牛伏寺銅伏鉦	1点	牛伏寺	内田2573-1
平成28. 3.23	歴史資料	放光庵の石造地藏菩薩立像	1軀	放光庵	大手5-376(放光庵)
平成29. 3.29	彫刻	円城寺の木造観音菩薩立像	1軀	円城寺	内田2573(牛伏寺)
	建造物	南方諏訪神社本殿	1棟	諏訪社	入山辺7511
平成30. 2.23	歴史資料	生安寺の木造地藏菩薩半跏像	1軀	生安寺	蟻ヶ崎4-5-39(生安寺)
	建造物	千鹿頭社拝殿	1棟	千鹿頭神社	里山辺5203-1
令和 2. 3.27	彫刻	木造男神坐像(前鉢伏神社伝来)	1軀	牛伏寺	内田2573
	彫刻	木造菩薩形立像及び木造天部形立像2軀	3軀	個人	松本市内
令和 4. 3.29	古文書	廣澤寺文書	12点	廣澤寺	里山辺5112
	古文書	倉科家文書	36点	個人	松本市内
	古文書	立石清重関係文書	1428点	個人(文書館寄託)・松本市	鎌田2-8-25(文書館) 蟻ヶ崎2-4-40(旧開智学校)

イ 重要有形民俗文化財 [5件]

指定年月日	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和55. 3.18	西善寺の名号雨乞軸	西善寺	和田境1317
平成 7. 4.28	初市の宝船・七福神人形	松本市	丸の内4-1(市立博物館)
平成13. 7. 2	松本城下町の舞台	深志神社氏子等18町会	深志3-7-43他
	西善寺の百万遍大数珠	西善寺	和田境1317
平成18. 3.27	木造聖観音立像二十軀	西北山集落	会田1001-1

ウ 重要無形民俗文化財 [25件]

指定年月日	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和51.10.21	内田のササラ踊り	内田ササラ踊り保存会	内田
平成 4. 3.11	島内の鳥居火	鳥居火会	島内
	ぼんぼんと青山様	松本市内23地区の行事实施町会長	松本市内
平成 8. 2. 8	里山辺追倉のお八日の綱引き	里山辺追倉のお八日の綱引き行事頭屋	里山辺薄町
	入山辺上手町の貧乏神送りと風邪の神送り	入山辺上手町町会	入山辺上手町
	今井下新田の八日念仏と足半	今井下新田町会	今井下新田
	両島のお八日念仏と足半	両島地区お八日念仏足半草履保存会	両島
	入山辺舟付の八日念仏と百足ひき	入山辺舟付・宮原町会舟付地区	入山辺舟付
	入山辺中村の風邪の神送り	入山辺北入中部町会中村地区	入山辺中村
	入山辺厩所の貧乏神送り	入山辺原・厩所町会厩所地区	入山辺厩所
	入山辺奈良尾の貧乏神送りと風邪の神送り	入山辺三反田・奈良尾町会奈良尾地区	入山辺奈良尾
平成12. 6.30	内田のおんべ祭り	内田第4町会横山講中、第5町会北花見講中、第6町会荒井常会	内田横山、北花見、荒井
	入山辺大和合神社の御柱祭り	大和合神社の氏子	入山辺大和合
	入山辺宮原神社の御柱祭り	宮原神社の氏子	入山辺宮原
	入山辺橋倉諏訪神社の御柱祭り	橋倉諏訪神社の氏子	入山辺橋倉
	里山辺須々岐水神社の御柱祭り	須々岐水神社の氏子	里山辺薄町、湯の原、新井、下金井、荒町、西荒町、上金井、藤井、兎川寺
	里山辺千鹿頭社の御柱祭り	千鹿頭社の氏子	里山辺林、大嵩崎
	神田千鹿頭神社の御柱祭り	千鹿頭神社の氏子	神田
	島立沙田神社の御柱祭り	沙田神社の氏子	島立三の宮、中村、永田、町区、大庭、小柴、荒井、堀米

平成19. 3.30	古宿の祇園囃子	子安諏訪神社氏子総代	奈川(古宿)
	奈川獅子	奈川獅子保存会・奈川獅子舞保存会	奈川(寄合渡)
	花見の御柱	花見育成会他	梓川上野(花見)
平成26.12.26	上波田の御柱	上波田御柱保存会	波田13区町会及び14区町会
平成27.12.25	横沢の御柱とスースー	横沢中御柱保存会及び横沢第2町会 西下	松本市梓川(倭2161-6及び3256-1の 西側道路敷)
令和 2. 3.20	法音寺の百万遍	法音寺常会	五常落水

エ 特別史跡 [19件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和36. 1.24	特別史跡	戸田家廟園	松本市他	県2-3-5
昭和42. 2. 1	特別史跡	源智の井戸	松本市	中央3-7
	特別史跡	了智上人の墓	個人	島立4900
	特別史跡	中山古墳群	埴原神社・松本市他	中山地区一帯
	特別史跡	徳雲寺跡	徳運寺	入山辺4526
	特別史跡	伊深城跡	松本市・岡田財産区	岡田伊深1518-口、ハ他
	特別史跡及び特別天然記念物	槻井泉神社の湧泉とケヤキ	個人	清水1-2他
昭和55. 3.18	特別史跡	水野家廟所	玄向寺	大村684-口
昭和57.12.20	特別史跡	稲倉城跡	個人	稲倉1510他
昭和60. 7.18	特別史跡	御殿山小笠原家廟所	個人・神宮寺	浅間温泉1175
昭和61. 3.13	特別史跡	廣澤寺の小笠原家墓所	廣澤寺	里山辺5112-イ
昭和63. 3.17	特別史跡	秋葉原第1号古墳	松本市	新村1963-1
平成21.12.22	特別史跡	旧上神林村高札場	松本市	神林1905
平成23. 3.22	特別史跡	若澤寺跡	水沢山共有林組合他	波田9103
	特別史跡	波多山城跡	個人	波田8946他
平成24. 3.26	特別史跡	元寺場跡	林野庁	波田
平成24.11. 2	特別史跡	安塚第6号古墳	個人	新村1042
平成26. 3. 5	特別史跡	平瀬城跡	個人	島内9627イ号他
平成27. 7. 7	特別史跡	牛伏寺堂平	牛伏寺	内田2574-1

オ 特別名勝 [10件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和55. 3.18	特別名勝	玄向寺の境内	玄向寺	大村681
昭和57.12.20	特別名勝	法船寺の境内	法船寺	内田2946
平成19. 3.30	特別名勝	番所大滝	国・松本市	安曇3788-2先 他
	特別名勝	善五郎の滝	国・松本市	安曇4306-3先 他
	特別名勝	乗鞍高原一の瀬のミズバショウ 群落とレンゲツツジ群落	大野川区、大野川区営企業 株式会社	安曇4307他
	特別名勝	天狗の滝	松本市	奈川1629-1・2082-1
特別名勝	岩岡の火打岩(明神岩)	岩岡神社氏子中	梓川(倭)4132	
平成20.12.22	特別名勝	林照寺庭園	林照寺	奈川2462
平成26. 7.25	特別名勝	百瀬家庭園	個人	平田西1-277
令和 2. 1.28	特別名勝	城山公園	国	蟻ヶ崎1219の一部、1221-2

カ 特別天然記念物 [40件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和42. 2. 1	特別史跡及び特別天然記念物	槻井泉神社の湧泉とケヤキ	個人	清水1-2他
	特別天然記念物	東方のビャクシン	個人	島内4817-1
	特別天然記念物	西牧家祝殿のビャクシン	個人	新村2342-口
	特別天然記念物	牛伏寺のカラマツ	牛伏寺	内田2573
	特別天然記念物	内田のカキ	個人	内田1015
	特別天然記念物	内田のケヤキ	個人	内田322
	特別天然記念物	中村のカヤ	個人	入山辺2529
昭和44. 7. 4	特別天然記念物	古池氏の屋敷林	個人	今井5953他
昭和50.11.11	特別天然記念物	伊和神社のケヤキ群	伊和神社	惣社539、540
	特別天然記念物	和田萩原家のコウヤマキ	個人	和田330
	特別天然記念物	常楽寺のコウヤマキ	常楽寺	内田2090
昭和51.10.21	特別天然記念物	芳川のタキソジウム	松本市	村井町北1-594-42
昭和62. 4.14	特別天然記念物	岡田神社旧参道のケヤキ	岡田神社	岡田下岡田487他

平成18. 3.27	特別天然記念物	長命寺跡のモミ	七嵐町会	七嵐1123-ロ
	特別天然記念物	殿野入春日社のスギ	殿野入町会	殿野入941
	特別天然記念物	矢久のアカマツ	個人	中川6076
	特別天然記念物	東北山のイチイ	個人	五常6156-イ
	特別天然記念物	社宮祠のシダレヒガンザクラ	個人	五常7738
	特別天然記念物	赤怒田のフクジュソウ群生地 (令和元.7.1一部指定解除)	個人	赤怒田64-1の一部他
平成19. 3.30	特別天然記念物	入山の御殿桜	松本市	奈川4641-6
	特別天然記念物	入山のトチの群生	松本市	奈川4879-1
	特別天然記念物	追平のシダレグリ	松本市	奈川1921-1
	特別天然記念物	中塔のツガ	個人	梓川梓7215-1
	特別天然記念物	金松寺山のシダレカラマツ	松本市	梓川 市有林18-ろ-1イ
平成20.12.22	特別天然記念物	七嵐のカツラ	個人	七嵐540-1
平成23. 3.22	特別天然記念物	三ツ岩	個人	波田2883-1
	特別天然記念物	安養寺のシダレザクラ	安養寺	波田1660
	特別天然記念物	安養寺の三本スギ	安養寺	波田1660
	特別天然記念物	安養寺のコウヤマキ	安養寺	波田1660
	特別天然記念物	イワテヤマナシ	個人	波田6492
	特別天然記念物	カラカサスギ	諏訪社	波田菖蒲沢
	特別天然記念物	波田小学校のアカマツ林	松本市	波田10286-1
	特別天然記念物	波多神社のコナラ	波多神社	波田4571
平成25. 6.20	特別天然記念物	奈川のゴマシジミ	無主物	奈川
平成27. 7. 7	特別天然記念物	牛伏寺ブナ林	牛伏寺	内田2574-1
平成28. 3.23	特別天然記念物	大型鱗脚類の陰莖骨化石	松本市	七嵐85-1(化石館)
	特別天然記念物	アロデスルス頭骨の化石	松本市	七嵐85-1(化石館)
平成30. 2.23	特別天然記念物	廣澤寺参道のケヤキ並木	廣澤寺	里山辺5112-イ他
平成30. 8.21	特別天然記念物	枇杷の湯のサルスベリ群	個人	浅間温泉3-641-21他4筆
令和 3.12.27	特別天然記念物	シガウスバハギの化石	松本市	七嵐85-1(化石館)

キ 登録文化財 [3件]

登録年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
令和元. 9.27	建造物	旧デリー(壱の蔵)	個人	中央2丁目476-6
令和 3. 9.28	建造物	旧今井京染店店舗兼主屋	個人	大手4丁目1262-イ
令和 3. 9.28	建造物	旧今井京染店土蔵	個人	大手4丁目1262-イ

※各文化財の詳細については、松本市公式ホームページ内に設置した「松本のたから」をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.city.matsumoto.nagano.jp/site/kyoiku/51931.html>

Ⅲ ホームページ・SNS

1 ホームページ

教育に関して独自のホームページを開設しているものを紹介します。

(1) 松本市教育委員会

ア 「松本市教育委員会」 <https://www.city.matsumoto.nagano.jp/site/kyoiku/>

イ 開設年月 令和4年6月

ウ 主な内容

令和4年6月、松本市ホームページの更新に伴い、松本市教育委員会のサイトを新設しました。松本市の教育行政全般に関する情報発信を行っています。また、松本市の教育行政の動向や話題を「教育長通信」として、定期的に発信しています。



(2) 中央図書館

ア 「松本市図書館」 <https://www.lib.city.matsumoto.lg.jp/>

イ 開設年月 平成24年12月（平成30年4月リニューアル）

ウ 主な内容

図書館イベントの情報発信や利用案内の周知のほか、蔵書検索等を行うものです。パスワード登録することで資料の予約、利用状況の確認、My本棚などの機能を利用することができます。また、美術館、博物館、国立国会図書館などの松本市の地域資料横断検索「まつサーチ」にリンクしています。



(3) 松本城管理課

ア 「国宝 松本城」 <http://www.matsumoto-castle.jp/>

イ 開設年月 平成27年4月

ウ 主な内容

世界遺産を目指す松本城を国内外へ広く周知するものです。

松本城の歴史文化財としての価値や魅力を発信するため、観光面だけでなく文化面の情報も掲載しています。4カ国語表記による情報発信、松本城の歴史や構造、松本城の価値、収蔵品のほか、ライブカメラによる動画、イベント情報、松本城周辺の街歩きルート、松本城の四季の写真などを掲載しています。



(4) 博物館

ア 「松本まるごと博物館」 <https://www.matsu-haku.com/>

イ リニューアル 平成27年4月（令和5年9月リニューアル予定）

ウ 主な内容

松本のマチ全体を屋根のない博物館として、松本まるごと博物館「まる博」を紹介するホームページです。「まる博・各館案内」では本館及び15分館の企画展などの案内、定期刊行物、収蔵品の紹介をしているほか、「まる博マップ」や「あなたと博物館（定期刊行物）」、ミュージアムショップの情報などを掲載しています。令和5年度秋の本館リニューアルオープンに伴い、各分館のホームページ以外は、本館の指定管理者が運営する新ホームページに移行予定です。



2 SNS

教育に関して情報発信しているSNSについて紹介します。

(1) Facebook

概 要	担当課
松本市図書館～アルプスの山々に囲まれた～ 図書館の新設、事業、イベント情報 図書館所蔵の資料に関する情報 その他図書館に関する周知事項 等	中央図書館
まつもとの文化財 市内の指定・未指定文化財の紹介 事業・主催イベントの紹介 地域住民による文化財活動の紹介	文化財課

(2) X (旧 Twitter)

概 要	担当課
松本市教育文化センター 教育文化センター各種事業の紹介 教育文化センターの施設・周辺環境・関連団体の紹介	松本市教育文化センター
国宝旧開智学校校舎 耐震工事の進捗状況、各種イベント情報 旧開智学校や昔の教育に関する情報	博物館 旧開智学校校舎
中央図書館 図書館利用情報、各種イベント情報	中央図書館

(3) Instagram

概 要	担当課
まつもとの文化財 市内の指定・未指定文化財の紹介 松本の発掘調査のあゆみや主催イベント等の紹介 地域住民による文化財活動の紹介	文化財課
国宝松本城 松本城の日々の様子、イベント情報など	松本城管理課

(4) YouTube

概 要	担当課
松本市教育委員会公式チャンネル 松本市教育委員会各課の教育動画や施設の紹介動画	教育政策課
松本市公民館チャンネル 松本市内各公民館の活動紹介動画	生涯学習課・中央公民館
国宝松本城公式チャンネル 本丸庭園と黒門からのライブ配信 松本城の魅力紹介動画	松本城管理課

IV 定期刊行物

教育に関する定期刊行物を紹介します。

1 教育政策課

「松本市教育研修センターだより」

松本市教育研修センターだより No.14 令和5年5月31日

緑深まる 5月の研修から

新緑が徐々に深緑に移りゆく5月。教育研修センターでは11講座の研修を実施し、多くの先生方にご参加いただきました。いずれの研修でも、参加された先生方の前向きで真摯な姿に、私たち自身がさわやかな充実、そして新たな学びをいただいています。

その中で、今年度、松本市教職員研修計画に基づいて新たなチャレンジとして実施した研修の様子を、いくつかお伝えします。

「対話をベースに、学校のチーム力を高める」 教頭マネジメント研修

5月16日(火)、松本市では初めての実施となる「教頭マネジメント研修」を実施しました。松本市の教頭先生が一室に集い、二人の講師の先生の導きで、先生方のチーム力を高め、学校の力を最大化するマネジメントのあり方について学び合いました。

午前中は、大阪教育大学教授の田村知子先生を講師に迎え、先生方の対話による振り返りから始める「学校みんなで取組むカリキュラムマネジメント」のあり方についてオンラインでの講義・演習や学びました。

午後は、日本大学教授の北村勝樹先生にご来場いただき「コーチング」の考え方をベースに、職員「成長」を支援し、学校を前向きなチームに高めるマネジメントのあり方について学びました。午前、午後ともに、様々なワークを通して活き活きと体験的に学び合う研修となりました。

【研修リフレクションシートから】

- ◆これまで受講してきた研修の中で「履も」といってよいほど、充実した研修を受けることができた。また、このことが自校の校内研修のあり方のヒントになった。
- ◆カリキュラムマネジメントを機能させるために何をしなければいけないか、日々難しく考えていた自分気づきに、奥組に先生方に声をかけながらきちんと目標を共有し、その目標に向けて皆が実践を共有する価値を確保することが基本であり、大切なことだった。奥組うことなく、職員と楽しみながら皆で実践していきたい。

「見方・感じ方が深まる学びを実感」 上高地フィールド実習

5月10日、12名の先生方と青年の下、上高地フィールド実習を行いました。2人の講師の先生と「新物と地質」の視点から科学的に掘り下げてきました。岳頂松本のシンボルである上高地について、現地での実習とおして、校外学習や授業づくりの視点からも新たな発見がありました。また市内の他地域についても実習を充実させてほしいという希望が多く寄せられました。

【研修リフレクションシートから】

- ◆今まで想像しただけで足運んで来た上高地でしたが、詳細を知ることでこれまで何も知らなかった世界は白黒で、それにカラフルに色がついていく感覚になりました。講師の先生の話に引き込まれ、実物を見て、触れて、感じながら学べるとても貴重な時間でした。
- ◆現地で見ながらの学びは格別でした。周りの山を見ながら実践し、羅針盤スピードを想像すると大地の羅針盤が実感できました。生涯にもそんな感動をしてみたいと思うよう、現地や本物を感じられるような教材を考えたり工夫したりしたいと思えます。

- (1) 発行回数 月1回
- (2) ページ数 2ページ
- (3) 主な内容

教育研修センター主催の研修に関する情報や研修レポート、研修参加者の声などを掲載しています。

各学校及び市内外の教育機関に配信するとともに、市公式ホームページにも掲載しています。

- (4) 創刊年月 令和4年5月
- (5) 通算14号(令和5年5月現在)

「学びの風便り～リーディングスクール通信」

学びの風便り

リーディングスクール通信 02 R5.5.30

発行：松本市教育委員会 教育研修センター

松本市のリーディングスクール・パイオニアスクールの取組の様子をお伝えする通信「学びの風便り第2号」をお届けします。今回は、第1号ではお知らせできなかったリーディングスクール、パイオニアスクール6校の今年度の取組の概要を紹介します。

リーディングスクールの今年度の取組み

<p>筑摩小学校</p> <p>子どもの「学びデザイン」を育てる学校づくり</p> <p>筑摩小学校では数年前、子どもが計画し追究する「けずり」に基づく家庭学習に取り組みできました。高学年の子どもたち中心に「けずり」のよさを感じ、意欲的に取組むようになってきました。今年度は、子どもたちが学びをデザインする力をさらに伸ばせるように、児童会や運動会などの行事を中心に、「子どもが決める場面」を増やし、「子ども自身が追究したり、発見したりする機会」を取るようしています。「自分で調べたい、追究したい」という経験を大切に、自由温度学習の実践に向け取り組んでいます。</p> <p>明善小学校</p> <p>「遊び」の中の「学び」を深め 取り、園小接続のあり方を探る</p> <p>明善小学校では、2年間、長野県教育委員会の学びの改革応援事業・徳州幼児教育支援センターフィールド研修に参加し、園と小の接続期にあたる1年生と、幼年期の最終となる2年生の授業改善を中心に、園小接続のあり方について研究を進めてきました。今年度は園の「あそびノート」、小の「まなびノート」に表現されたものから、園児・児童が自ら遊び、活動する中で感じる楽しさや驚き、感動・発見など「遊び」の中の「学び」を深め取れるよう研修を深め、園小接続のあり方を探っていきます。</p>	<p>鎌田中学校</p> <p>教科における学習者中心の探究実践への挑戦</p> <p>鎌田中学校では、「多様な生活に多様な学びの場を保障する学校」をテーマに、授業のUD化を中心に研究を進めてきました。今年度は、総合的な学習の時間「KMDタイム」を中心に、地域と繋がり、地質に真摯でできることを目指し、探求的で探究的な学びの実践に取り組みしていきます。中心講師に信州大学修士一筆先生を迎え、探究的な学びに向けての研修を深め、培われた探究的な手法を、教科の学習にも生かしていくよう、生徒の表現活動の基礎となる語彙教育を中心に研究を進めていきます。</p> <p>間成中学校</p> <p>「教師が教える学校、から生徒が学ぶ学校へ」</p> <p>間成中学校では、「はげら子どもの姿」を教職員みんなで話し合い、「考えをもつ生徒」を大切にしたい、という願いを共有しました。そして「生徒が学ぶ」学校づくりに向け、「探究」の視点で授業改善を図ることを目指しています。</p> <p>今年度は、横浜創英中学・高等学校など先進的な取組をしている学校に視察研修へ行ったり、定期的に校内外研修会を設け、小グループに分かれ、各教科のしごきで探究的な学習ができそうか検討し合ったりしながら、「探究的な学び」のイメージを共有し、その実践に向け取り組んでいます。</p>
---	--

- (1) 発行回数 月2回程度
- (2) ページ数 2ページ
- (3) 主な内容

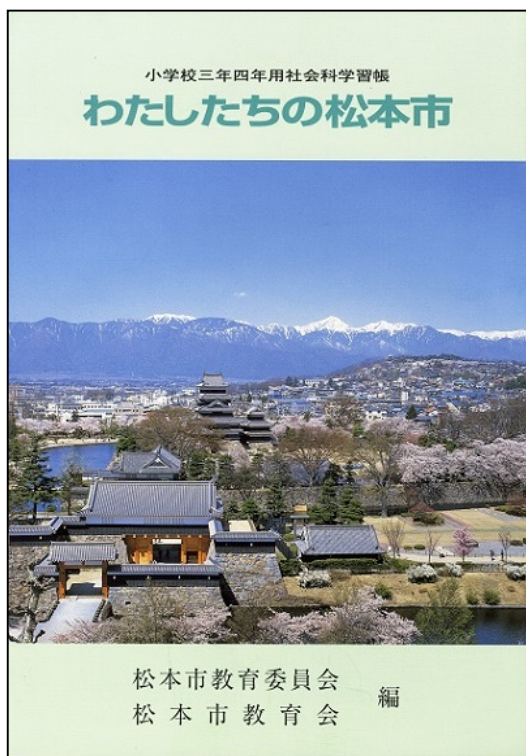
新たな学びに挑戦している松本市の学校（リーディングスクール・パイオニアスクール）の取組を掲載しています。

各学校及び市内外の教育機関に配信するとともに、市公式ホームページにも掲載しています。

- (4) 創刊年月 令和5年5月
- (5) 通算2号(令和5年5月現在)

2 学校教育課

「わたしたちの松本市」



- (1) 発行回数 年1回
- (2) ページ数 138ページ (B5版)
- (3) 編集 松本市教育会 社会科資料委員会
- (4) 主な内容
小学校3・4年生が松本のまちについて学ぶ副読本です。(主に社会科の授業で使用)
児童が松本のまちについて自分で調べる手助けとなるよう、写真や地図、グラフなどを使って、松本市での暮らしや郷土に伝わる願いなどをわかりやすく掲載しています。
この副読本は、昭和35年に源池小学校で3年生の副読本として発刊されました。その後、副読本の普及にともない、松本市教育会が編集し教育委員会が発行し、市内3・4年生全員に無償配布されています
- (5) 創刊年月 昭和35年
- (6) 通算63号(令和5年5月現在)

3 生涯学習課・中央公民館

「公民館報まつもと」



- (1) 発行回数
年6回、奇数月末
- (2) ページ数
全6ページ
全市版4ページ、地区版(35地区)2ページ
- (3) 編集等
35地区の350名を超える公民館報編集委員が、市民の目線で、市民の考えや意見をより多く取り入れて、編集しています。市内全戸配布
- (4) 主な内容
公民館や地域の問題を中心に、市民の自由な発想と構想で、公民館が発行する情報紙です。
- (5) 創刊年月
昭和35年3月(全市版)

「学びの森いんふおめーしょん」

町内回覧
松本市版 84-4
NO.100
2022年8月号

学びの森

いんふおめーしょん

●新規掲載(生涯学習ファイル)
指導者……………2
グループ……………2
●イベント情報(2022年8月-11月)
社会文芸……………2
スポーツ・レクリエーション……………2
人文・自然……………2
生活・健康……………2
松本市から……………3
●会員募集情報……………3

はじめましょう **まつもと市民 生きいき活動**
この活動はいつの時代にあっても大切なことを、市民一人ひとりが、各自目標を定めて地道に取り組む活動です。

わたしは
「こころをみかきつたてを使おう」
あなたに
「あいさつをしよう」
このまちを
「きれいにしよう」

まつもと市民 生きいき活動
いろいろな活動や、目標を定めて地道に取り組む市民一人ひとりの活動の様子をご紹介します。

掲載写真募集!! あなたの写真・動画をご紹介します。

- (1) 発行回数
年4回(5月、8月、11月、2月)
- (2) ページ数
6ページ
- (3) 編集等
生涯学習支援登録制度の登録団体及び行政等から生涯学習に関する情報を募集し、掲載しています。隣組回覧
- (4) 主な内容
生涯学習関連のイベント情報、会員募集情報、新規登録団体・新規登録指導者情報
- (5) 創刊年月
平成7年8月
- (6) 通算103号(令和5年5月現在)

「nanmatsu」

nanmatsu

松本市青少年ホーム

2022.12
No.176

●なんなんフェスタ2022に青少年ホームサークルが参加いたしました

なんなんひろばで、3年振りになんなんフェスタ2022が開催されました。今年は9月17日と18日の2日間にわたって開催となりました。青少年ホームサークルも18日に南部体育館で露店を出店し、小さなお子様から好評をいただきました。今回は、露店を出店した3サークルの様子をご紹介します。

FEVER: ジュース販売

バレーボールサークルFEVERは、ジュースの販売をしました。フルーツジュースが大人気で、たくさんの子供たちが買いに来てくれました。おいしいジュースを飲んで、子どもたちも大満足の様子でした。

jum★:けん玉体験

ソフトバレーサークルのjum★はけん玉体験コーナーを実施。成功した技の難易度に応じて、お菓子のプレゼントをしました。多くの子どもたちが最高難度の技を成功させようと、果敢にチャレンジしていました。

ぼんず: 工作体験

卓球サークルのぼんずは、工作体験コーナーを実施しました。作ったのは、きらきら水そう。塗り絵の魚を色鉛筆やシールでデコレーションをして、自分だけのオリジナル水そうを完成させました。

- (1) 発行回数
年3回
- (2) ページ数
4ページ
- (3) 内容など
青少年ホームのクラブやイベント、連続講座(ヤングスクール)などを紹介する、ホーム利用者の皆さんによる記事のほか、今後のイベントや講座の情報などが掲載されている広報紙です。
市内各事業所や施設などへデータ、紙媒体により配布しています。
- (4) 通算176号(令和5年5月現在)

4 中央図書館

「松本市図書館だより」



- (1) 発行回数 毎月
- (2) ページ数 2ページ
- (3) 主な内容など

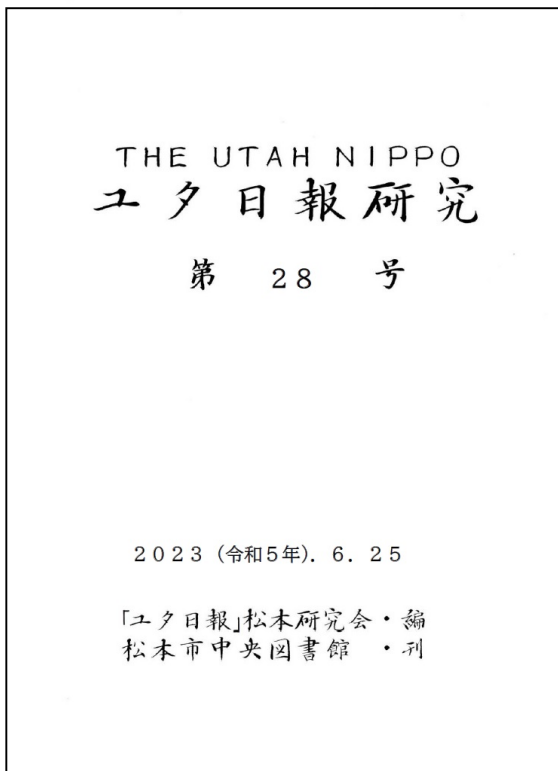
各図書館で行われるイベント情報、新刊の「おすすめ本」紹介、予約本のベスト5、「図書館に聞いてみよう」（市民からの疑問にお答えするコーナー）などを掲載しています。

なお、図書館だよりは、図書館ホームページからもご覧いただけます。

- (4) 創刊年月 平成25年4月
- (5) 通算119号（令和5年5月現在）
- (6) 耳より情報

FMまつもと「まつもと日和」で図書館情報を発信しています（毎月第2木曜日12：30～）。

「ユタ日報研究」



- (1) 発行回数 年1回
- (2) ページ数 約300ページ
- (3) 編集：ユタ日報松本研究会
発行：中央図書館
- (4) 由来など

「ユタ日報」とは、信州からアメリカに移民した寺沢夫妻によって発刊された邦字新聞。

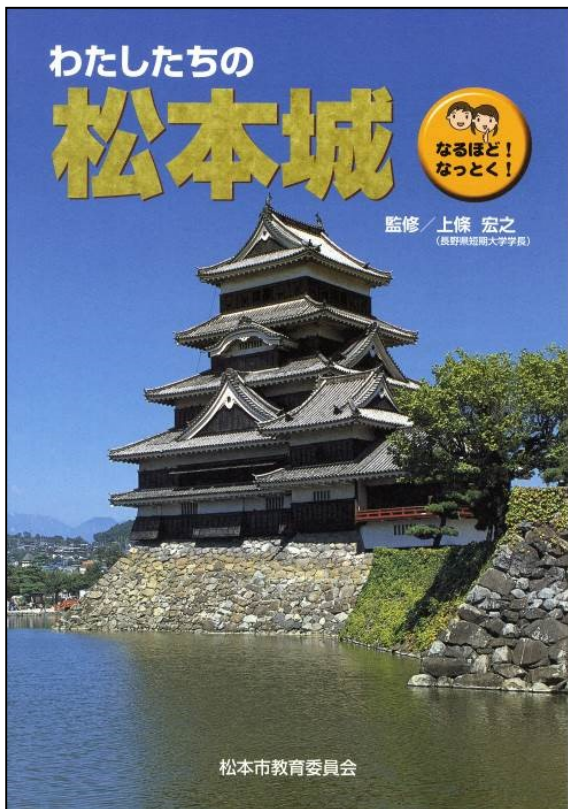
1914（大正3）年から77年間、通算11,876号という歴史を有します。1992年松本市ソルトレークシティ姉妹提携委員会の尽力で、寺沢家遺族より、「ユタ日報」全号と最終号の版組みなどの資料が松本市に寄贈され、中央図書館で保存・活用することになりました。

「ユタ日報研究」は、市民レベルで国際交流について研究するため、「ユタ日報」松本研究会が寄稿などにより編集しているものです。

- (5) 創刊年月 平成6年6月
- (6) 通算28号（令和5年6月現在）

5 文化財課

「わたしたちの松本城」



- (1) 発行回数 年1回
- (2) ページ数 約100ページ (A4版)
- (3) 編集 副読本「わたしたちの松本城」編集委員会
- (4) 主な内容
小学校6年生が松本城について学ぶ教材として、市内6年生全員に無料配布しています。社会科の授業などで使用されています。
児童が松本城について自分で調べる手助けとなるよう、写真や地図、イラストなどを使って、松本城や城下町の歴史、現在の様子などをわかりやすく掲載しています。
- (5) 創刊年月 平成16年3月
- (6) 通算21号 (令和5年7月現在)

6 博物館

「あなたと博物館」



- (1) 発行回数 年4回 (6、9、12、3月)
- (2) ページ数
全8ページ
- (3) 主な内容
展覧会・イベント情報などを掲載しています。
見どころは、企画展等に合わせて発表される学芸員の紹介記事です。学都松本の歴史や自然をつむぐ「誌上博物館」です。
配布先は、県内外博物館、市内学校・公共施設です。
- (4) 創刊年月 昭和59年8月
- (5) 通算244号 (令和5年6月現在)

7 年報など

(1) 生涯学習課・中央公民館

「松本市の公民館」 （年1回発行）

各公民館の利用状況、事業報告などを掲載

(2) 中央図書館

「図書館概要」 （年1回発行）

図書館の利用実績、貸出状況、事業報告などを掲載

松本市教育要覧

(令和5年度)

令和5年7月発行

編集 松本市教育委員会

発行 松本市教育委員会

松本市大手3丁目8番13号
